

令和3年度

主要な施策の成果説明書

一 般 会 計

国民健康保険特別会計

公営簡易水道事業特別会計

令和3年度 主要な施策の成果説明書

目 次

一	般	会	計 ……	1		
			概要 ……	2		
			決算状況 ……	5		
総	務		費 ……	10		
民	生		費 ……	37		
衛	生		費 ……	70		
労	働		費 ……	88		
農	林	水	産	業	費 ……	90
商	工		費 ……	109		
土	木		費 ……	127		
消	防		費 ……	142		
教	育		費 ……	146		
			国民健康保険特別会計 ……	184		
			公営簡易水道事業特別会計 ……	190		

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	総務費	1	1	職員研修事業	庶務課	10
2	2	総務費	1	1	人権政策費	まちづくり交流課	11
3	2	総務費	1	2	広聴広報事業	情報交通課	12
4	2	総務費	1	3	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課	13
5	2	総務費	1	3	定住促進事業	まちづくり交流課	14
6	2	総務費	1	3	ふるさと応援団事業	企画財政課	17
7	2	総務費	1	6	交通安全対策費	市民課	18
8	2	総務費	1	6	消費生活センター運営事業	市民課	19
9	2	総務費	1	6	市民バス運行事業	情報交通課	20
10	2	総務費	1	6	公共交通対策事業	情報交通課	21
11	2	総務費	1	8	市民活動促進事業	まちづくり交流課	22
12	2	総務費	1	8	ひとが輝くまちづくり事業	まちづくり交流課	23
13	2	総務費	1	9	電子自治体構築事業	情報交通課	24
14	2	総務費	1	9	電算処理委託事業	情報交通課	25
15	2	総務費	1	9	大町総合情報センター管理運営費	情報交通課	26
16	2	総務費	1	9	ケーブルテレビ運営事業	情報交通課	27
17	2	総務費	1	10	男女共同参画推進費	まちづくり交流課	28
18	2	総務費	1	11	八坂地域振興事業	八坂支所	29
19	2	総務費	1	11	八坂定住促進事業	八坂支所	30
20	2	総務費	1	11	明日香荘管理運営費	八坂支所	31
21	2	総務費	1	12	美麻地域振興事業	美麻支所	32
22	2	総務費	1	12	美麻定住促進事業	美麻支所	33
23	2	総務費	1	12	ぽかぽかランド美麻管理運営費	美麻支所	34
24	2	総務費	1	13	芸術文化振興事業	まちづくり交流課	35
25	3	民生費	1	1	総合福祉センター管理事業	福祉課	37
26	3	民生費	1	1	市社会福祉協議会助成事業	福祉課	38
27	3	民生費	1	2	その他障害者福祉サービス事業	福祉課	39
28	3	民生費	1	3	高齢者福祉一般経費	福祉課	41
29	3	民生費	1	3	高齢者施設入所費	福祉課	42
30	3	民生費	1	3	高齢者福祉事業費	福祉課	43
31	3	民生費	1	4	社会就労センター運営管理費	福祉課	44
32	3	民生費	1	4	美麻福祉企業センター運営管理費	福祉課	45
33	3	民生費	1	6	福祉医療給付一般経費	市民課	46
34	3	民生費	1	7	介護予防包括的支援事業	福祉課	47
35	3	民生費	1	7	通所型介護予防事業	福祉課	48
36	3	民生費	1	7	訪問型介護予防事業	福祉課	50
37	3	民生費	1	7	介護予防普及啓発事業	福祉課	51
38	3	民生費	1	7	家族介護支援事業	福祉課	52
39	3	民生費	1	7	成年後見制度支援事業	福祉課	53
40	3	民生費	1	7	地域自立生活支援事業	福祉課	54
41	3	民生費	1	7	地域包括ケア実践事業	福祉課	55
42	3	民生費	1	7	認知症総合支援事業	福祉課	57
43	3	民生費	2	1	子育て応援事業	子育て支援課	58
44	3	民生費	2	1	幼稚園・認定こども園運営支援事業	子育て支援課	59
45	3	民生費	2	1	児童福祉扶助費	子育て支援課	60

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
46	3	民生費	2	1	母子等福祉費	子育て支援課	61
47	3	民生費	2	1	子ども家庭総合支援拠点事業	子育て支援課	63
48	3	民生費	2	1	療育事業	子育て支援課	64
49	3	民生費	2	1	病児・病後児保育事業	子育て支援課	65
50	3	民生費	2	2	子育て支援センター事業	子育て支援課	66
51	3	民生費	2	2	母子通園施設費	子育て支援課	67
52	3	民生費	2	2	児童クラブ運営事業	子育て支援課	68
53	3	民生費	2	3	保育所管理運営事業（繰越明許費を含む。）	子育て支援課	69
54	4	衛生費	1	1	病院事業運営費	企画財政課	70
55	4	衛生費	1	1	上原の湯管理費	市民課	71
56	4	衛生費	1	1	後期高齢者健診事業	市民課	72
57	4	衛生費	1	2	予防接種費	市民課	73
58	4	衛生費	1	3	母子保健事業	市民課	74
59	4	衛生費	1	3	子育て世代包括支援センター事業	市民課	75
60	4	衛生費	1	4	健康増進事業	市民課	76
61	4	衛生費	1	4	がん検診事業	市民課	77
62	4	衛生費	1	4	精神保健事業	市民課	79
63	4	衛生費	2	1	不法投棄対策事業	生活環境課	80
64	4	衛生費	2	1	合併処理浄化槽設置推進事業	生活環境課	81
65	4	衛生費	2	3	し尿処理事業	生活環境課	82
66	4	衛生費	2	4	生ごみ等資源化推進事業	生活環境課	83
67	4	衛生費	3	1	環境調査事業	生活環境課	84
68	4	衛生費	3	1	環境保全事業	生活環境課	86
69	4	衛生費	3	1	自然エネルギー活用推進事業	生活環境課	87
70	5	労働費	1	1	創業支援事業	商工労政課	88
71	5	労働費	1	2	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課	89
72	6	農林水産業費	1	3	農業農村交流事業	農林水産課	90
73	6	農林水産業費	1	3	農業振興事業	農林水産課	91
74	6	農林水産業費	1	3	農業マーケティング事業	農林水産課	93
75	6	農林水産業費	1	3	農業経営基盤強化推進事業	農林水産課	94
76	6	農林水産業費	1	3	中山間地域等直接支払事業	農林水産課	95
77	6	農林水産業費	1	3	多面的機能支払事業	農林水産課	96
78	6	農林水産業費	1	3	農業推進支援センター事業	農林水産課	97
79	6	農林水産業費	1	3	遊休農地荒廃防止事業	農林水産課	98
80	6	農林水産業費	1	3	園芸振興事業	農林水産課	99
81	6	農林水産業費	1	3	有害鳥獣対策事業	農林水産課	100
82	6	農林水産業費	1	3	有害鳥獣対策強化事業	農林水産課	101
83	6	農林水産業費	1	5	たかね市民農園管理費	農林水産課	102
84	6	農林水産業費	1	5	ふたえ市民農園管理費	美麻支所	103
85	6	農林水産業費	1	5	おおしお市民農園管理費	美麻支所	104
86	6	農林水産業費	2	1	農業用施設管理事業	建設課	105
87	6	農林水産業費	3	1	林業振興一般経費	農林水産課	106
88	6	農林水産業費	3	1	松林健全化推進事業	農林水産課	107
89	6	農林水産業費	3	1	森林環境譲与税事業	農林水産課	108
90	7	商工費	1	1	中小企業支援事業（繰越明許費を含む。）	商工労政課	109

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
91	7	商工費	1	1	特産品振興事業（ブランド振興事業）	商工労政課	110
92	7	商工費	1	1	中心市街地多目的ホール管理事業	商工労政課	112
93	7	商工費	1	1	中心市街地活性化事業（繰越明許費を含む。）	商工労政課	113
94	7	商工費	1	1	がんばろう！大町応援券事業	商工労政課	114
95	7	商工費	1	1	官民連携まちなか推進事業	商工労政課	115
96	7	商工費	1	1	大町ふるさと応援便事業	商工労政課	116
97	7	商工費	1	2	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室	117
98	7	商工費	1	2	工場等誘致振興助成事業	産業立地戦略室	118
99	7	商工費	1	3	観光誘客宣伝事業（繰越明許費を含む。）	観光課	119
100	7	商工費	1	3	観光資源活用事業	観光課	120
101	7	商工費	1	3	2次交通対策事業（繰越明許費を含む。）	観光課	121
102	7	商工費	1	3	仁科三湖振興事業	観光課	122
103	7	商工費	1	3	広域観光推進事業	観光課	123
104	7	商工費	1	3	山岳観光推進事業（繰越明許費を含む。）	観光課	124
105	7	商工費	1	3	着地観光充実事業	観光課	125
106	7	商工費	1	4	温泉供給事業（繰越明許費を含む。）	上下水道課	126
107	8	土木費	2	2	道路維持管理事業（繰越明許費を含む。）	建設課	127
108	8	土木費	2	2	交通安全施設整備事業	建設課	128
109	8	土木費	2	3	道路新設改良事業	建設課	129
110	8	土木費	2	4	雪害対策事業	建設課	130
111	8	土木費	3	1	水路維持改良事業	建設課	131
112	8	土木費	4	1	おたんじょ桜事業	建設課	132
113	8	土木費	4	2	街路整備事業	建設課	133
114	8	土木費	4	2	コンパクトシティ形成事業	建設課	134
115	8	土木費	4	3	公園管理事業	建設課	135
116	8	土木費	4	3	仁科三湖周辺整備事業（繰越明許費を含む。）	建設課	136
117	8	土木費	4	3	まちなか緑地整備事業	建設課	137
118	8	土木費	4	4	住宅・建築物耐震化推進事業	建設課	138
119	8	土木費	4	4	安心・安全住宅リフォーム支援事業	建設課	139
120	8	土木費	4	4	宅地耐震化推進事業	建設課	140
121	8	土木費	5	1	住宅管理費	建設課	141
122	9	消防費	1	2	消防団運営経費	危機管理課	142
123	9	消防費	1	3	消防施設整備事業	危機管理課	143
124	9	消防費	1	5	防災対策一般経費	危機管理課	144
125	9	消防費	1	5	防災施設整備事業	危機管理課	145
126	10	教育費	1	2	奨学金事業	学校教育課	146
127	10	教育費	1	2	山村留学支援事業	生涯学習課	147
128	10	教育費	1	2	コミュニティスクール推進事業	学校教育課	149
129	10	教育費	1	2	ICT活用推進事業	学校教育課	150
130	10	教育費	2	1	小学校管理一般経費（繰越明許費を含む。）	学校教育課	151
131	10	教育費	2	2	小学校教育振興一般経費	学校教育課	152
132	10	教育費	3	1	中学校管理一般経費（繰越明許費を含む。）	学校教育課	153
133	10	教育費	3	2	中学校教育振興一般経費	学校教育課	154
134	10	教育費	4	1	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課	155
135	10	教育費	4	1	公民館分館整備助成事業	生涯学習課	156

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
136	10	教育費	4	1	生涯学習推進事業	生涯学習課	157
137	10	教育費	4	1	人権教育推進事業	生涯学習課	158
138	10	教育費	4	2	補導・環境浄化活動事業	生涯学習課	159
139	10	教育費	4	2	青少年育成事業	生涯学習課	160
140	10	教育費	4	3	大町公民館活動費	生涯学習課	161
141	10	教育費	4	3	平公民館活動費	生涯学習課	162
142	10	教育費	4	3	常盤公民館活動費	生涯学習課	163
143	10	教育費	4	3	社公民館活動費	生涯学習課	165
144	10	教育費	4	3	八坂公民館活動費	生涯学習課	167
145	10	教育費	4	3	美麻公民館活動費	生涯学習課	169
146	10	教育費	4	4	図書資料購入事業	生涯学習課	170
147	10	教育費	4	5	文化会館公演事業	生涯学習課	171
148	10	教育費	4	6	文化財保護一般経費	生涯学習課	173
149	10	教育費	5	1	体育大会運営事業	スポーツ課	174
150	10	教育費	5	1	スポーツ振興事業	スポーツ課	175
151	10	教育費	5	2	体育施設整備事業	スポーツ課	176
152	10	教育費	5	3	おいしい給食費	学校教育課	177
153	10	教育費	6	1	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館	178
154	10	教育費	6	1	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館	179
155	10	教育費	6	1	山岳資料収集保管事業	山岳博物館	180
156	10	教育費	6	1	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館	181
157	10	教育費	6	1	ライチョウ飼育事業	山岳博物館	182
158	10	教育費	6	1	付属園整備事業	山岳博物館	183

国民健康保険特別会計

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	6	保健事業費	1	1	特定健診・保健指導事業	市民課	187
2	6	保健事業費	2	1	保健衛生費	市民課	188
3	9	諸支出金	3	1	高額療養費貸付金	市民課	189

公営簡易水道事業特別会計

番号	款	款名称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	建設改良費	1	1	水道施設整備事業	上下水道課	191

一 般 会 計

はじめに

令和3年度の経済動向

令和3年度の我が国の経済状況は、新型コロナウイルスの感染拡大を抑止するため、断続的に経済活動の抑制が続いたことにより、対面型サービス業を中心に消費低迷が継続し、産業動向においてもコロナ禍が長期化する中で、宿泊・外食・交通といった産業では、厳しい経営環境が継続しています。

政府は、感染症の拡大防止策、「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え、未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とする累次の経済対策や補正予算により財政面から経済の下支えを実施してきましたが、経済活動の回復は緩やかなものにとどまり、GDPは危機前の水準を回復していません。

令和3年度の実質GDPの成長率は2.6%程度、名目GDPの成長率は1.7%程度と見込まれ、消費者物価（総合）変化率は▲0.1%程度と見込まれています。

県内の経済状況は、本年1月の景気動向では、新型コロナウイルス感染症の影響が見られるものの、持ち直しつつあるとしています。

製造業の業況は、一部に新型コロナウイルス感染症による需要の減少や部品不足の影響が見られるものの、電気・電子、機械及び精密などで受注、生産が堅調に推移していることから、4期連続のプラス水準となりました。非製造業の業況は、飲食業や宿泊業などで、大幅に悪化した前年よりは改善し、全体では3期ぶりの改善となりました。個人消費、生産活動、雇用情勢は、いずれも持ち直していると判断され、設備投資や企業収益については、3年度は増益見込みとなっています。

当市では、法人市民税は回復傾向にあるものの、個人市民税は減収となっており、コロナ禍の影響が残っているものと考えられます。

こうしたコロナ禍から、市民の皆様の命と健康を守り、持続可能な社会経済構造の構築に向け、新型コロナ克服戦略おおまち再生プランに基づき、効果的な手法を検討し、切れ目ない連続性のある事業展開を図るため、15回の補正予算を実施してまいりました。

感染力がより強いと言われるBA.5系統による新型コロナ第7波が急激に拡大するなど、感染の終息や今後の経済動向などの見通しが立たない中、新しい生活様式や働き方改革など、社会の変容及び価値観の変化等を踏まえつつ、市民の声を的確に捉えて、ウィズコロナを見据えた、適切な事業内容へと転換を図る力が求められています。

以下、令和3年度の主要な施策の成果について報告いたします。

決算の概要

令和3年度一般会計決算は、歳入総額 18,981,047,494 円、歳出総額 17,986,000,909 円、差し引き形式収支は 995,046,585 円となりました。

このうち翌年度に繰り越すべき財源 140,970,000 円を差し引いた実質収支は 854,076,585 円の黒字となっています。

歳入

歳入では、市税の収入済額は 4,118,584,560 円で、前年度比 0.6%、24,674,643 円の増となっています。これは主に、法人市民税が回復傾向となったものによるものです。

地方譲与税は 207,717,000 円で、地方揮発油譲与税及び自動車重量譲与税の増額により、前年度比 1.4%の増、法人事業税交付金は前年度比 103.4%増の 63,231,000 円、地方消費税交付金は 7.6%増の 707,408,000 円、税制改正により令和元年度に創設された環境性能割交付金は、8.0%増の 13,466,000 円、地方特例交付金は、中小企業者等が所有する固定資産税の課税標準額の軽減措置による軽減額が全額措置されるなど 387.5%増の 113,200,000 円となっております。

地方交付税は 6,492,235,000 円で 8.5%の増となっており、その内訳は、普通交付税が、新たに算定項目となった地域デジタル社会推進費、国の補正予算に基づく事業を円滑に実施するための必要経費を算定するために臨時費目として創設された臨時経済対策費、令和3年度の臨時財政対策債を償還するための基金積立経費を算定するために臨時費目として創設された臨時財政対策債償還基金費の算定額の増加等により、8.6%増の 5,373,108,000 円、特別交付税が原油価格高騰対策経費、除雪経費などの増額により 8.0%増の 1,119,127,000 円です。

国庫支出金は前年比 49.0%減の 2,348,884,209 円で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 287,882,320 円（事業者支援分を含む。）、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 121,809,369 円、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金 327,918,789 円、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 264,727,041 円などとなっております。

県支出金は 1,029,765,789 円で、施設型給付費負担金の増や新型コロナ対策としての第6波対応事業者支援金などにより、前年度比 9.8%の増となっております。

寄附金はふるさと寄附金の増額、地方創生寄附金により、前年比 1.5%増の 130,790,852 円となりました。

繰入金は 356,076,000 円で、財政調整基金繰入金の減などにより、前年度比 43.7%の減となっております。

諸収入は全体で 1,417,302,126 円、前年比 2.3%の増、雑入では、512,886,943 円で

7.4%の増となっています。

市債は 809,572,000 円で、臨時財政対策債の 379,872,000 円、白馬山麓清掃センター解体等に活用した合併特例債 141,000,000 円などが主なものとなっております。

歳出

歳出で主なものは、総務費では、地域活動に対する補助金交付など、ひとが輝くまちづくり事業に 7,827,877 円、人口減少、少子高齢化対策としての定住促進事業に 57,261,267 円、美麻の定住促進事業及び八坂定住促進事業に 79,916,292 円、北アルプス国際芸術祭を開催するにあたり芸術文化振興事業に 129,112,939 円、ケーブルテレビ運営事業 81,097,495 円などの事業を実施いたしました。

民生費では、障害者自立支援給付事業に 637,237,514 円、福祉医療費の給付に 214,338,143 円、介護予防や認知症対策等の地域支援事業に 129,777,320 円、幼稚園・認定こども園の運営支援に 296,943,449 円、子ども家庭総合支援拠点事業に 10,830,822 円、新型コロナ対策として子育て世帯を対象とした臨時特別給付金事業に 317,989,158 円、保育所管理運営事業では、感染対策物品の購入や園舎の消毒清掃委託料等を含め 265,246,476 円などの事業を実施いたしました。

衛生費では、白馬山麓清掃センターの解体や白馬リサイクルプラザの実施設計費、北アルプスエコパークの維持管理経費など、広域ごみ処理施設の負担金に 423,541,000 円、病院事業会計への繰出金に 880,000,000 円、新型コロナウイルスワクチン接種事業に繰越明許費を含めて、187,770,257 円などの事業を実施しました。

農林水産業費では、農業の担い手育成と農地の課題解決及び地域活性化に向けた事業を推進する農業振興事業に18,466,432円、多面的機能支払事業に109,654,184円、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る農業用施設管理事業では、水路等の長寿命化のための改修や県営事業への負担金など129,946,145円、有害鳥獣対策に係る駆除委託や補助金等に23,660,413円、森林経営管理制度の推進に向けた森林環境譲与税事業では、基金積立を含め35,978,974円などの事業を実施いたしました。

商工費では、コロナ禍の影響を大きく受けた商工業、観光業の皆さんを支援するべく様々な事業に取り組み、中小企業支援事業では、市制度融資資金の原資預託金の増額に 650,000,000 円、県・市制度資金保証料補給金に 27,740,054 円、制度融資資金利子補給金 27,303,672 円の補助、新型コロナウイルス拡大防止支援事業では、新型コロナウイルス感染症対策店舗等支援金 5,845,000 円や、感染症の影響で売上が大きく減少した中小企業を支援するための中小企業特別応援金 9,939,000 円、第 6 波対応事業者支援金 1,900,000 円の補助などの事業を実施いたしました。

また、消費喚起を促すため、プレミアム付き商品券、がんばろう！大町応援券の販売に 122,359,029 円、観光誘客宣伝事業では、宿泊キャンペーン・満喫クーポン事業・冬の観光宣伝事業など 117,754,704 円の事業を実施いたしました。

このほか、工場等誘致振興条例による助成金を 316,471,100 円助成、官民連携まちなか再生推進事業に 3,626,000 円、温泉供給事業に 38,634,481 円、海ノ口キャンプ場公衆便所の特設配水管布設替工事に 12,419,000 円などを実施しました。

土木費では、交通事故防止や安全確保、施設の長寿命化のための道路維持管理に繰越事業を含め 264,177,758 円、緊急車両の通行確保や利便性の向上のための道路新設改良に 36,572,902 円、除排雪業務委託を含む雪害対策経費に 506,475,833 円、建築費では、住宅・建築物の耐震化推進や安心・安全住宅リフォーム支援事業に 32,070,000 円な、大規模盛土造成地変動予測調査業務を行う宅地耐震化推進事業に 2,618,000 円など生活関連の事業を実施いたしました。

消防費では、常備消防への負担金 394,189,000 円、地域消防力向上のため、車庫改築工事などの消防施設整備事業に 5,688,805 円、有事の際を想定し、避難所の環境改善や同報系防災行政無線親局更新工事等の防災施設整備事業に 48,685,926 円などの事業を実施いたしました。

教育費では、山村留学支援事業に 20,395,000 円、GIGA スクール事業に 14,446,872 円、ICT 活用推進事業に 5,719,921 円、美麻小中及び八坂小学校のトイレ洋式化工事 30,548,100 円の事業を実施したほか、生涯学習、スポーツ振興の分野では、コロナ禍の中、それぞれに感染予防を徹底し、開催手法に創意工夫を凝らし、各種事業に取り組みました。

公債費は前年度比 4.1%、57,448,391 円増の 1,463,799,940 円となりました。内訳は、償還元金が 1,414,070,985 円、償還利子が 49,728,955 円となっております。

一般会計決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款 項	令和3年度 収入済額	令和2年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1 市税	4,118,584,560	4,093,909,917	24,674,643	0.6
1 1 市民税	1,478,708,640	1,431,684,690	47,023,950	3.3
2 固定資産税	2,241,615,113	2,274,401,982	-32,786,869	-1.4
3 軽自動車税	114,305,254	111,969,810	2,335,444	2.1
4 市たばこ税	171,214,469	163,021,438	8,193,031	5.0
5 入湯税	21,769,150	19,938,150	1,831,000	9.2
6 都市計画税	90,971,934	92,893,847	-1,921,913	-2.1
2 地方譲与税	207,717,000	204,772,000	2,945,000	1.4
1 地方揮発油譲与税	47,212,000	45,896,000	1,316,000	2.9
2 自動車重量譲与税	134,990,000	133,532,000	1,458,000	1.1
3 地方道路譲与税	0	0	0	-
4 森林環境譲与税	25,515,000	25,344,000	171,000	0.7
3 1 利子割交付金	2,056,000	2,562,000	-506,000	-19.8
4 1 配当割交付金	15,893,000	11,288,000	4,605,000	40.8
5 1 株式等譲渡所得割交付金	17,041,000	13,010,000	4,031,000	31.0
6 1 法人事業税交付金	63,231,000	31,093,000	32,138,000	103.4
7 1 地方消費税交付金	707,408,000	657,676,000	49,732,000	7.6
8 1 ゴルフ場利用税交付金	1,710,450	1,431,500	278,950	19.5
9 1 環境性能割交付金	13,466,000	12,474,000	992,000	8.0
10 地方特例交付金	113,200,000	23,222,000	89,978,000	387.5
1 地方特例交付金	113,200,000	23,222,000	89,978,000	387.5
11 1 地方交付税	6,492,235,000	5,981,632,000	510,603,000	8.5
12 1 交通安全対策特別交付金	3,178,000	3,415,000	-237,000	-6.9
13 分担金及び負担金	58,012,953	55,010,249	3,002,704	5.5
2 負担金	58,012,953	55,010,249	3,002,704	5.5
14 使用料及び手数料	264,885,715	271,139,180	-6,253,465	-2.3
1 使用料	231,331,890	235,078,115	-3,746,225	-1.6
2 手数料	33,553,825	36,061,065	-2,507,240	-7.0
15 国庫支出金	2,348,884,209	4,602,366,030	-2,253,481,821	-49.0
1 国庫負担金	1,105,640,154	1,024,284,528	81,355,626	7.9
2 国庫補助金	1,233,626,336	3,567,572,111	-2,333,945,775	-65.4
3 国庫委託金	9,617,719	10,509,391	-891,672	-8.5
16 県支出金	1,029,765,789	937,626,521	92,139,268	9.8
1 県負担金	468,213,858	465,243,183	2,970,675	0.6
2 県補助金	483,709,163	412,831,632	70,877,531	17.2
3 県委託金	77,842,768	59,551,706	18,291,062	30.7
17 財産収入	29,721,710	29,260,955	460,755	1.6
1 財産運用収入	18,939,699	17,615,117	1,324,582	7.5
2 財産売払収入	10,782,011	11,645,838	-863,827	-7.4
18 1 寄附金	130,790,852	128,804,538	1,986,314	1.5
19 1 繰入金	356,076,000	632,135,000	-276,059,000	-43.7
20 1 繰越金	780,316,130	637,459,853	142,856,277	22.4
21 諸収入	1,417,302,126	1,385,131,118	32,171,008	2.3
1 延滞金加算金及び過料	4,185,665	7,273,853	-3,088,188	-42.5
3 貸付金元利収入	757,016,974	757,793,807	-776,833	-0.1
4 受託事業収入	143,212,544	142,691,089	521,455	0.4
5 雑入	512,886,943	477,372,369	35,514,574	7.4
22 1 市債	809,572,000	803,355,000	6,217,000	0.8
合計	18,981,047,494	20,518,773,861	-1,537,726,367	-7.5

歳出（目的別）

（単位：円）

款 項		令和3年度 支出済額	令和2年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	議会費	144,987,038	145,013,640	-26,602	-0.0
1	議会費	144,987,038	145,013,640	-26,602	-0.0
2	総務費	2,799,629,377	5,179,016,917	-2,379,387,540	-45.9
1	総務管理費	2,528,948,617	4,931,972,527	-2,403,023,910	-48.7
2	徴税費	177,951,200	179,431,358	-1,480,158	-0.8
3	戸籍住民基本台帳費	38,977,105	29,128,407	9,848,698	33.8
4	選挙費	37,948,953	9,265,994	28,682,959	309.6
5	統計調査費	5,134,728	18,483,783	-13,349,055	-72.2
6	監査委員費	10,668,774	10,734,848	-66,074	-0.6
3	民生費	4,887,630,441	4,287,566,088	600,064,353	14.0
1	社会福祉費	2,850,587,537	2,521,507,033	329,080,504	13.1
2	児童福祉費	1,769,462,984	1,493,258,360	276,204,624	18.5
3	生活保護費	267,549,920	272,770,695	-5,220,775	-1.9
4	災害救助費	30,000	30,000	0	0.0
4	衛生費	2,426,974,091	2,486,228,493	-59,254,402	-2.4
1	保健衛生費	1,664,794,784	1,740,050,426	-75,255,642	-4.3
2	清掃費	720,374,605	700,328,329	20,046,276	2.9
3	環境保全費	41,804,702	45,849,738	-4,045,036	-8.8
5	労働費	125,631,441	126,020,904	-389,463	-0.3
1	労働諸費	125,631,441	126,020,904	-389,463	-0.3
6	農林水産業費	679,737,180	614,768,662	64,968,518	10.6
1	農業費	364,568,867	344,817,981	19,750,886	5.7
2	耕地整備事業費	243,254,260	191,615,892	51,638,368	26.9
3	林業費	62,617,585	68,231,536	-5,613,951	-8.2
4	水利対策費	9,296,468	10,103,253	-806,785	-8.0
7	商工費	1,715,473,963	1,826,078,452	-110,604,489	-6.1
1	商工費	1,715,473,963	1,826,078,452	-110,604,489	-6.1
8	土木費	1,815,349,799	1,639,155,722	176,194,077	10.7
1	土木管理費	39,275,940	41,621,688	-2,345,748	-5.6
2	道路橋梁費	868,939,004	732,747,071	136,191,933	18.6
3	河川費	34,036,614	39,408,625	-5,372,011	-13.6
4	都市計画費	757,374,068	776,354,480	-18,980,412	-2.4
5	住宅費	115,724,173	49,023,858	66,700,315	136.1
9	消防費	565,753,957	551,224,815	14,529,142	2.6
1	消防費	565,753,957	551,224,815	14,529,142	2.6
10	教育費	1,326,838,592	1,422,587,189	-95,748,597	-6.7
1	教育総務費	148,230,496	262,951,550	-114,721,054	-43.6
2	小学校費	312,894,567	299,113,164	13,781,403	4.6
3	中学校費	127,236,956	136,878,711	-9,641,755	-7.0
4	社会教育費	307,302,226	305,192,883	2,109,343	0.7
5	保健体育費	338,928,889	334,521,903	4,406,986	1.3
6	山岳博物館費	92,245,458	83,928,978	8,316,480	9.9
11	災害復旧費	34,195,090	54,445,300	-20,250,210	-37.2
1	農林施設等災害復旧費	8,034,840	20,086,000	-12,051,160	-60.0
2	土木施設等災害復旧費	26,160,250	34,359,300	-8,199,050	-23.9
12	公債費	1,463,799,940	1,406,351,549	57,448,391	4.1
1	公債費	1,463,799,940	1,406,351,549	57,448,391	4.1
13	予備費	0	0	0	-
1	予備費	0	0	0	-
合計		17,986,000,909	19,738,457,731	-1,752,456,822	-8.9

歳出（性質別）

（単位：千円）

	令和3年度 支出済額	令和2年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
人件費	3,158,835	3,101,788	57,047	1.8
扶助費	2,754,988	1,826,218	928,770	50.9
公債費	1,463,800	1,406,352	57,448	4.1
物件費	2,305,621	2,192,112	113,509	5.2
維持補修費	713,906	521,533	192,373	36.9
補助費等	4,127,702	6,919,500	-2,791,798	-40.3
うち一部事務組合に対するもの	939,439	889,034	50,405	5.7
繰出金	1,307,773	1,294,971	12,802	1.0
積立金	330,178	187,986	142,192	75.6
投資・出資・貸付金	756,824	995,715	-238,891	-24.0
投資的経費	1,066,374	1,292,283	-225,909	-17.5
普通建設事業費	1,031,978	1,238,292	-206,314	-16.7
補助事業費	348,490	459,540	-111,050	-24.2
単独事業費	683,488	778,752	-95,264	-12.2
災害復旧費	34,396	53,991	-19,595	-36.3
合計	17,986,001	19,738,458	-1,752,457	-8.9

一 般 会 計 決 算 比 較

歳入

(単位：円)

款	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1 市税	4,118,584,560	4,093,909,917	4,295,610,376	4,269,694,505
2 地方譲与税	207,717,000	204,772,000	193,708,018	183,597,000
3 利子割交付金	2,056,000	2,562,000	2,697,000	5,832,000
4 配当割交付金	15,893,000	11,288,000	11,881,000	9,915,000
5 株式等譲渡所得割交付金	17,041,000	13,010,000	6,838,000	8,323,000
6 法人事業税交付金	63,231,000	31,093,000	0	0
7 地方消費税交付金	707,408,000	657,676,000	542,071,000	572,259,000
8 ゴルフ場利用税交付金	1,710,450	1,431,500	1,494,850	1,564,850
9 環境性能割交付金	13,466,000	12,474,000	0	0
自動車取得税交付金	0	0	31,962,000	43,604,000
10 地方特例交付金	113,200,000	23,222,000	71,646,000	11,473,000
11 地方交付税	6,492,235,000	5,981,632,000	5,758,150,000	5,751,605,000
12 交通安全対策特別交付金	3,178,000	3,415,000	3,345,000	3,664,000
13 分担金及び負担金	58,012,953	55,010,249	61,007,492	58,790,310
14 使用料及び手数料	264,885,715	271,139,180	310,371,442	361,117,995
15 国庫支出金	2,348,884,209	4,602,366,030	1,568,464,902	1,202,468,675
16 県支出金	1,029,765,789	937,626,521	887,357,304	849,645,757
17 財産収入	29,721,710	29,260,955	40,686,196	22,880,962
18 寄附金	130,790,852	128,804,538	38,796,224	32,443,672
19 繰入金	356,076,000	632,135,000	491,140,000	1,026,195,000
20 繰越金	780,316,130	637,459,853	800,051,348	520,130,440
21 諸収入	1,417,302,126	1,385,131,118	1,259,271,684	1,078,099,842
22 市債	809,572,000	803,355,000	1,295,517,000	1,228,248,000
合計	18,981,047,494	20,518,773,861	17,672,066,836	17,241,552,008

歳出（目的別）

(単位：円)

款	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1 議会費	144,987,038	145,013,640	146,943,679	151,114,003
2 総務費	2,799,629,377	5,179,016,917	2,756,343,995	3,022,934,810
3 民生費	4,887,630,441	4,287,566,088	4,480,914,850	4,267,854,903
4 衛生費	2,426,974,091	2,486,228,493	2,138,595,334	2,560,559,244
5 労働費	125,631,441	126,020,904	134,125,602	136,354,502
6 農林水産業費	679,737,180	614,768,662	589,686,051	573,847,171
7 商工費	1,715,473,963	1,826,078,452	871,301,866	843,500,705
8 土木費	1,815,349,799	1,639,155,722	1,806,682,529	1,599,031,215
9 消防費	565,753,957	551,224,815	589,073,159	557,243,292
10 教育費	1,326,838,592	1,422,587,189	2,121,541,743	1,297,530,529
11 災害復旧費	34,195,090	54,445,300	48,708,800	91,923,034
12 公債費	1,463,799,940	1,406,351,549	1,350,689,375	1,339,607,252
13 予備費	0	0	0	0
合計	17,986,000,909	19,738,457,731	17,034,606,983	16,441,500,660

歳出（性質別）

(単位：千円)

人件費	3,158,835	3,101,788	2,797,541	2,983,989
扶助費	2,754,988	1,826,218	1,907,200	1,829,044
公債費	1,463,800	1,406,352	1,350,689	1,339,607
物件費	2,305,621	2,192,112	2,498,744	2,305,084
維持補修費	713,906	521,533	383,675	471,490
補助費等	4,127,702	6,919,500	3,516,689	3,846,113
繰出金	1,307,773	1,294,971	1,280,244	1,275,307
積立金	330,178	187,986	258,865	557,719
投資・出資・貸付金	756,824	995,715	666,485	505,910
投資の経費	1,066,374	1,292,283	2,374,475	1,327,238
合計	17,986,001	19,738,458	17,034,607	16,441,501

他会計等への繰出金・負担金前年比較

(単位：円、%)

繰出金	令和3年度	令和2年度	差引	伸び率
国民健康保険特別会計	242,477,108	241,484,044	993,064	0.4
事業勘定	213,322,108	213,124,044	198,064	0.1
八坂診療所直診勘定	24,287,000	21,687,000	2,600,000	12.0
美麻診療所直診勘定	4,868,000	6,673,000	-1,805,000	-27.0
後期高齢者医療特別会計	95,975,562	93,610,194	2,365,368	2.5
公営簡易水道事業特別会計	125,501,000	113,373,000	12,128,000	10.7
水道事業会計	12,775,000	7,245,300	5,529,700	76.3
温泉引湯事業会計	1,782,000	0	1,782,000	皆増
公共下水道事業会計	598,314,000	619,474,000	-21,160,000	-3.4
農業集落排水事業会計	87,721,000	92,899,000	-5,178,000	-5.6
病院事業会計	883,430,000	925,238,106	-41,808,106	-4.5
合計	2,047,975,670	2,093,323,644	-45,347,974	-2.2

※水道事業は、消火栓新設及び維持経費を含む 病院事業は、経営健全化協力金を含む

北アルプス広域連合負担金	1,385,226,000	1,320,250,552	64,975,448	4.9
介護保険事業費	463,472,000	445,783,000	17,689,000	4.0
広域ごみ処理施設関係	423,541,000	375,625,000	47,916,000	12.8
常備消防費	394,189,000	387,140,000	7,049,000	1.8
広域経常費（人件費等）	41,037,000	41,638,000	-601,000	-1.4
その他の負担金	62,987,000	70,064,552	-7,077,552	-10.1

地方消費税交付金社会保障財源分の充当先一覧

社会保障財源分決算額 378,041千円

(単位：千円)

区分	決算額	特定財源		一般財源		
		国県支出金	その他	社会保障財源分	その他	
社会福祉	社会福祉総務費	472,338	376,275	1,548	28,408	66,107
	障害者福祉費	712,610	498,274	10,105	42,858	161,373
	高齢者福祉費	115,662	808	15,899	6,956	91,999
	福祉医療給付費	231,453	64,579	10,903	13,920	142,051
	地域支援事業費	129,480	1,229	116,461	7,787	4,003
	児童福祉費	1,769,463	1,022,471	62,804	106,419	577,769
	生活保護費	267,550	176,527	150	16,091	74,782
	小計	3,698,556	2,140,163	217,870	222,439	1,118,084
社会保険	国民健康保険	242,479	115,631	12,000	14,583	100,265
	後期高齢者医療	485,551	70,802	0	29,202	385,547
	介護保険	463,472	0	0	27,874	435,598
	小計	1,191,502	186,433	12,000	71,659	921,410
保健衛生	保健総務費	1,091,702	15,288	18,281	65,657	992,476
	予防費	253,387	110,570	418	15,239	127,160
	母子保健費	30,719	5,834	4,203	1,848	18,834
	保健事業費	19,929	1,866	1,507	1,199	15,357
	小計	1,395,737	133,558	24,409	83,943	1,153,827
合計	6,285,795	2,460,154	254,279	378,041	3,193,321	

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	69 71
担当課	総務部	庶務課	職員係
事務事業名	職員研修事業		款 2
			項 1
			目 1
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち		前期計画登載頁
施策目標	市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築		前年度評価 方向性
施策項目	職員の資質向上と育成		
個別計画	大町市人材育成基本方針		
			総務費
			総務管理費
			一般管理費
			99
			継続

事業の目的	対象	時代の変化とニーズに柔軟に対応し、自ら考え行動できる職員の育成を進める。	意図	職員個々の知恵と能力を結集し、高度化、多様化する行政課題に柔軟に対応でき、市民に信頼される組織を目指す。
-------	----	--------------------------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修（庁内研修、派遣研修、特別研修、連携自立圏統一テーマ合同研修ほか） 人事評価制度（全職員） 人財育成基本方針の改定、人財育成推進計画の策定
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		10,418,078	7,449,648	9,986,696	2,537,048	34.1%
	財源内訳	特定財源		103,000	156,000	53,000	51.5%
		一般財源	10,418,078	7,346,648	9,830,696	2,484,048	33.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,109,000	-2,256,000			10,853,000	9,986,696	
不用額	特定財源	細節名	統一テーマ合同職員研修事業補助金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
866,304	内訳	金額	44,000	112,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

1 職員研修

- (1) 一般研修
19講座、784人
- (2) 派遣研修
38箇所、98人
- (3) 特別研修
9講座、16人
- (4) 自主研修助成
2講座、2人

◆ 事業の成果

一般研修については、動画配信やオンライン研修も活用し、コロナ禍ではあったが令和2年度より多くの研修が実施でき、参加者も大幅に増加した。
人事評価制度の手引きを作成した上で、職員に人事評価制度を周知し、適正に人事評価を実施する基盤づくりを行った。
大町市人財育成基本方針の改定、大町市人財育成推進計画の策定を行い、人財育成を一層推進する体制を整備した。

◆ 前年からの改善点等

あり

大町市人財育成基本方針の改定、大町市人財育成推進計画の策定を実施し、令和4年4月から新たな人財育成がスタートできるよう推進体制も整備した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	71
----	------	------	----

担当課	総務部	まちづくり交流課	男女共同参画・人権政策担当	款	2	総務費
事務事業名	人権政策費			項	1	総務管理費
				目	1	一般管理費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち			前期計画登載頁	95	
施策目標	多様性に満ちた共生社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	人権教育・啓発の推進					
個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針					

事業の目的	対象	市民一人ひとりが人権を身近な問題として捉え、人権について正しく理解し、人権意識を高めていく。	意図	「人権を尊重し差別のない明るい大町市づくり」の実現を目指す。
-------	----	--	----	--------------------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員と連携した人権啓発（街頭啓発、幼稚園、保育園での啓発など） ・人権を考える市民の集い開催（教育委員会（人権教育担当）と共催） ・人権擁護委員の推薦
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		298,507	276,285	254,758	-21,527	-7.8%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	298,507	276,285	254,758	-21,527	-7.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
309,000				309,000	254,758	
不用額	特定財源	細節名				
54,242	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 新型コロナウイルスに係る差別、誹謗中傷の防止
 - ・市長メッセージなどホームページへ掲載、チラシの配布
 - ・シトラスリボンプロジェクトの取組み
趣旨に賛同した市民団体から、イベント開催時に配布
 - 人権啓発活動
 - ・大町市文化祭会場において、人権擁護委員とともに啓発実施
 - 商業施設、幼稚園、保育園での啓発活動
 - ・新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止
 - 部落解放研究集会（オンライン）参加

◆ 事業の成果
 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い誹謗中傷や差別が全国的な広がりを見せている。そのため、あらゆる機会を通じて差別のない明るう大町市を目指し、市民への啓発を行った。

◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	総務部	情報交通課	広聴広報係	款	2	総務費	
事務事業名	広聴広報事業				項	1	総務管理費
					目	2	文書広報費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち				前期計画登載頁	93	
施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	市民参画と協働によるまちづくりの推進						
個別計画							

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・広聴活動では「市長への手紙・メール」などにより、市民等から市政への意見・提言をいただく。 ・広報活動では「広報おおまち」などにより、市民等へ行政情報等の提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広聴活動では、市民参加による「市民により身近な市政のまちづくり」をめざす。 ・広報活動では、市民と行政が情報を共有し、お互いの信頼と協調のもと、協働による市政の運営を図り、市民により身近な市政とまちづくりをめざす。
-------	--	---

事業の内容	(広聴活動) ・市長への手紙・メールの受領・返信 ・まちづくり行政懇談会の受付・開催 (広報活動) ・広報の発行(月1回) ・声の広報の提供: 市広報及び議会報をテープに録音して届ける ・行政情報をメールマガジン登録者へ送信(毎週金曜日配信)	・無料法律相談の受付 ・報道機関への情報提供 ・行政情報の有線放送告知
-------	---	---

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		8,598,192	10,429,707	9,274,291	-1,155,416	-11.1%
	財源内訳	特定財源	175,780	112,610	85,510	-27,100	-24.1%
		一般財源	8,422,412	10,317,097	9,188,781	-1,128,316	-10.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
11,978,000	-3,000,000		370,590	9,348,590	9,274,291	
不用額	特定財源	細節名	複写機等使用料	広告掲載料		
74,299	内訳	金額	45,510	40,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ① 市長への手紙・メール
「3年度実績」市長への手紙61件、メール72件、合計133件
- ② 広報おおまちの発行
年12回(毎月)発行・・・行政に関する各種お知らせから、新型コロナウイルス感染症関連情報や北アルプス国際芸術祭などを掲載

【4年2月号 表紙】

◆ 事業の成果

積極的に情報発信することで、市の情報に触れ共有することにより、市政をより身近に感じただき少しでも市政に関心を持っていただけた。
さらに広聴広報活動を行い、信頼と協調を深めることにより、市政への参加を促し、参画と協働によるまちづくりの推進に取り組んでいく。



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	73
----	------	------	----

担当課	総務部	企画財政課	企画調整係	款	2	総務費	
事務事業名	アルプス囲碁村推進事業				項	1	総務管理費
					目	3	企画費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画登載頁	42	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進						
個別計画	アルプス囲碁村計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から高齢者までの幅広い年齢層 ・囲碁を通じ、様々な人と人との関りを大切にする「ひとの和づくり」をコンセプトとした魅力あるまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然の中で、ゆっくりと囲碁を楽しんでいただけるような囲碁村づくりを推進する。 ・囲碁を活用した滞在型観光など観光産業との連携 ・日本の伝統文化である囲碁の愛好者の拡大を図り、囲碁を通じた人格形成と人材育成を図る。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保育園、小中学校への囲碁普及員の派遣 ・囲碁十段戦第3局歓迎レセプション及び大盤解説会開催 ・アルプス囲碁ボンヌキ大会（市内幼保育園年長児） ・各種大会、イベント共催協力等 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルプス囲碁村十段戦の開催 ・アルプス囲碁村まつり（指導碁、囲碁大会など） ・保育園囲碁交流会

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	2,816,000	999,438	1,214,836	215,398	21.6%
	財源内訳	特定財源			0	-
	一般財源	2,816,000	999,438	1,214,836	215,398	21.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,816,000	-1,601,000			1,215,000	1,214,836	
不用額	特定財源	細節名				
164	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

◇ 囲碁普及員の派遣

令和3年5月～令和4年3月（市内幼保育園、小学校、囲碁村会館）

- ・普及員10名
- ・派遣施設17施設
- ・指導時間232.25時間

（子ども囲碁教室は、4月～3月を予定しているが、コロナ感染状況により、8・9・1月は回数を減らし、また、2・3月は中止とした）

◇ 子ども囲碁教室「囲碁大会」

- ・第1回大会 令和3年 7月3日 参加者27名
- ・第2回大会 令和3年11月6日 参加者24名



◇ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止とした事業

- ・アルプス囲碁村まつり
- ・アルプス囲碁村十段戦
- ・子ども囲碁教室受講生へのプロ棋士指導碁
- ・第59期囲碁十段戦歓迎レセプション（大盤解説会のみ実施）
- ・保育園囲碁交流会（ボンヌキ大会は実施）
- ・各種共催協力事業
- ・学校囲碁指導員講習会

◆ 事業の成果

コロナ禍により、イベント等の中止や縮小、子ども囲碁教室の短縮など影響を受けたものの、普及活動を通じ「囲碁を学ぶ」のではなく、「囲碁に学ぶ、囲碁で学ぶ」という基本的な考え方を基に、現代社会における人との関係や、優しさ、思いやりなどを育むことで、「囲碁によるまちづくり」、「囲碁によるひとづくり」が推進された。さらに囲碁の普及と底辺の拡大、生きがいに満ちた生涯学習の推進に取り組んでいく。

◆ 前年からの改善点等

あり

手指消毒液や検温、事前予約制にすることで参加者の連絡先を把握するなど、新型コロナウイルス対策を徹底しながら、可能な範囲でイベント等を実施してきた。引き続き、安心して安全に囲碁を楽しめる環境づくりに努める。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	73 75
----	------	------	----------

担当課	総務部 まちづくり交流課	定住促進係	款	2	総務費	
事務事業名	定住促進事業			項	1	総務管理費
				目	3	企画費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	59	
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化			前年度評価 方向性	拡大	
施策項目	定住促進ビジョンの推進					
個別計画	第2期定住促進ビジョン					

事業の目的	○市民：シビックプライドの醸成により定住を促す。(転出抑制) ○市外在住者：地域の魅力発信により、移住意欲を誘引し、移住を促す。	意図 令和2年人口26,000人以上を維持する。誰もが住みたくなる、住み続けたくなる、さらには住んで良かったと思えるまちを目指す。
-------	---	--

事業の内容	①定住奨励事業の実施 (マイホーム取得助成事業、空き家改修事業、商品券交付事業(U・Iターン、新婚)、有料道路負担軽減事業) ②移住相談窓口の充実 ③都市部向け移住セミナー・魅力ツアーの実施 ④移住者交流事業 ⑤結婚支援事業 ⑥空き家バンク・物件情報の提供 ⑦連携自立圏移住交流・若者交流事業
-------	--

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費(決算額)	53,160,464	59,112,294	57,261,267	-1,851,027	-3.1%	
	財源内訳	特定財源	14,834,289	11,851,841	14,777,300	2,925,459	24.7%
	一般財源	38,326,175	47,260,453	42,483,967	-4,776,486	-10.1%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
59,305,000	3,500,000	0	0	62,805,000	57,261,267	0
不用額	特定財源	細節名	若者交流・移住交流事業	北アルプス連携自立圏事業負担金	移住支援金補助金・少子化対策重点推進交付金	有料道路利用者負担軽減回数券販売金ほか
5,543,733	内訳	金額	6,492,000	4,272,050	1,385,000	2,628,250

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

1 移住セミナー・移住相談会の開催(17回)
 コロナ禍の影響により、ほぼ全てをオンライン開催とした。



▲オンライン移住セミナーの様子

2 定住促進情報発信

(1) 移住スカウトサービスSMOUTの活用

地方に興味をもつユーザーに情報提供をし、当市に興味をもった人をスカウトできるサービスを活用。

(2) 移住促進動画の制作

市民有志が移住者インタビューと撮影をし、プロが編集。「YouTube」再生回数3万回(R4.3月末現在)

(3) 雑誌やWEB、SNS等を活用した情報発信

◇Twitterフォロワー数：1,134人(R4.3月末時点) ◇YouTube動画：18本、チャンネル登録者数：79人

3 大町の魅力体験ツアー

移住希望者に大町の環境や先輩移住者の暮らしぶりを見学・体験する機会を提供し、移住のきっかけづくりや移住実現につなげる。オンライン魅力体験ツアーは、個々の希望に合わせたメニューを提供した。



▲夏を楽しむ暮らし体験ツアー
 7/17~18 参加者：6組11人



▲信濃大町移住見学会
 10/30~31 参加者：6組10人



▲オンライン魅力体験ツアー
 実施件数：延べ8組

4 結婚支援事業

- (1) 信濃大町アウトドアフォトウエディングの開催 (3回)
 - ・ 応募者数：夏13組、秋7組、冬5組
- (2) 異業種交流による出会いの場創出事業
 - 市内事業所の若手職員同士の交流会の開催。
 - ①8/1「青木湖SUP体験交流会」参加者7人
 - ②10/3「MTB体験交流会」参加者7人
 - ③2/11「スキー体験交流会」(コロナ禍により中止)
- (3) 北アルプス連携自立圏 若者交流事業
 - ①10/30「気軽に大北謎解き散歩2021」参加者22人
 - ②1/29「山麓カンジキNIGHT」(コロナ禍により中止)



▲アウトドアフォトウエディング(夏)
結婚後も大町で暮らす魅力の発信につなげる

5 移住者交流会

- (1) 移住者交流会「おしゃべりTIME」
 - ①6/19「ボルダリングに挑戦」参加者9人
 - ②9/23「鷹狩山ハイキング&ヨガ」参加者6人
 - ③12/11「そば打ちに挑戦」参加者8人
- (2) 移住者向け雪道路上講習「信濃大町雪国デビュー」
 - ◇1/7参加者5人、1/13コロナ禍により中止



▲移住者交流会の様子

6 関係人口創出事業

- (1) しなののおまちワーケーション
 - 都市圏のテレワーカーが市内でテレワークをこなす傍ら、余暇を利用して市内周遊やアウトドアを楽しみ、大町でのテレワークの可能性や大自然の魅力を体感する。参加者の多くが、移住をより具体的に検討していたことから、移住推進としても効果の高い事業となった。
 - ◇ 第3期(10/16~12/12) 参加者：6組8人
 - ◇ 第1期(8/28~9/2)、第2期(9/18~9/23)、第4期(1/14~2/20)はコロナ禍により中止。
- (2) しなののおまちワーキングホリデー
 - 都市圏等の若者を地域に受け入れ、労働力不足を補填するとともに、地域住民との交流から、地域への愛情を育て、将来の移住につなげる事業。
 - ◇ 受け入れ事業者：4社
 - ◇ 参加申込み：14件(実施は1件のみ)、問い合わせ：32件



▲繁忙期の農家で受け入れ

◆ 事業の成果

1 令和3年4月1日現在人口：25,709人(第2期定住促進ビジョン令和2年における人口目標：26,000人)

2 定住奨励事業の実施(主な定住奨励事業の状況)

- ・ マイホーム取得助成 20万円(市内業者、50歳未満、子供各5万、三世代同居・近居1万円上乗せ、ケーブルテレビ工事費補助上限4万円) 最大40万円
- 交付実績：新築53件、購入27件 計80件 計 22,599千円
- ・ 商品券事業(きらり商品券3万円分)
- 交付実績：Uターン25件、Iターン66件、新婚生活応援45件 計 4,080千円
- ・ 移住推進空き家改修事業補助金 対象経費の1/2、上限30万円
- 交付実績：11件 計 3,055千円
- ・ 空き家流通促進事業補助金 対象経費の1/3、上限30万(改修)・8万(片付け)
- 交付実績：1件 計 75千円
- ・ 有料道路利用者負担軽減事業
- 交付実績：白馬長野82人、169冊。(市負担162千円) 計 812千円
- ・ 就業者移住支援金
- 交付実績：1件 計 1,000千円

3 移住相談窓口の充実

- ・ 市の移住相談窓口を通じた移住実績 51世帯 92人
- ・ 移住相談件数(移住相談会・窓口・メール・電話等) 456件

4 都市向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施

- ・ 移住セミナーの開催 17回開催
- ・ 魅力体験ツアーの開催(オンライン含む) 10回開催 参加者：20組33人

- 5 移住者との交流事業(移住者交流会等) 年4回開催 参加者：28人
- 6 結婚支援事業(婚活イベント、異業種交流) 4回開催 男女計53人参加(カップル成立2組)
- 7 結婚新生活支援事業補助金
 交付実績：5件 計 1,271千円
- 8 空き家バンク・物件情報の提供 (空き家バンク利用状況)
 物件登録件数9件、成約件数13件、利用登録者数34人
- 9 連携自立圏移住交流・若者交流事業
- ・ 移住相談窓口事業、移住セミナー開催事業、魅力体験ツアー事業の開催
 - ・ 若者交流イベントの開催

◆ 前年からの改善点等 あり

◇関係人口創出拡大事業への新たな取組み

- ・ 総務省ふるさとワーキングホリデー事業を活用した「しなのおおまちワーキングホリデー事業」や地域活性化センター助成事業を活用した「しなのおおまちワーケーション事業」に取組み、本市とのつながり人口を創出した。

◇空き家バンク制度の要綱改正

- ・ 空き家バンク制度の規定の整理及び空き家改修事業について所有者側と購入者側の両面から見直し、流通促進を図る。

◇若い世代への結婚支援

- ・ 新婚世帯を経済的に支援し、少子化対策に資することを目的として、住居費及び引越費用へ補助を行う結婚新生活支援事業補助金を新設した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	75
担当課	総務部	企画財政課	企画調整係	款	2
事務事業名	ふるさと応援団事業			項	1
				目	3
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち			前期計画登載頁	98
施策目標	市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築			前年度評価 方向性	やり方改 善
施策項目	健全で持続可能な財政運営				
個別計画					

事業の目的	対象	意図
	寄附者において、生まれた故郷や応援したい自治体への寄附を行うことにより、当該地域への貢献が可能となる。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部と地方の税収の格差解消に一定の役割を果たすとともに、寄附金を事業の財源として充当、活用が可能となり、自主財源の確保が図られる。 ・寄附特典として地域特産品等を返礼品としており、地域産業の活性化へと繋がる。

事業の内容	12項目の寄附金使用メニューを設け、寄附者の意向に沿った事業へと充当、活用している。 ①協働のまちづくり ②自然環境保全 ③未来を担う子ども達 ④高齢者の生きがい ⑤山岳観光都市の振興 ⑥山村留学事業推進 ⑦芸術文化振興 ⑧起業創業支援 ⑨移住定住促進 ⑩市立大町病院の支援 ⑪市長におまかせ ⑫その他 令和3年度充当事業（R2寄附分）：寄附者指定の用途に従い、ひとが輝くまちづくり事業や環境保全事業など32事業
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	48,513,473	177,145,586	190,194,743	13,049,157	7.4%	
	財源内訳	特定財源	32,225,248	118,726,187	126,909,081	8,182,894	6.9%
	一般財源	16,288,225	58,419,399	63,285,662	4,866,263	8.3%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
55,734,000	138,660,000		0	194,394,000	190,194,743	
不用額	特定財源	細節名	ふるさと寄附金	ふるさと応援基金利子収入		
4,199,257	内訳	金額	126,844,000	65,081		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 市ホームページやポータルサイト等による情報発信
 - 前年度寄附分を寄附者指定の用途に従い32事業に充当
 - 寄附件数：3,948件
 - 寄附金額：126,844,000円
 - 寄附充当額：118,699,500円（R02寄附額）
- ◆ 事業の成果

ふるさとや地方自治体の様々な取組みを応援する納税者の気持ちを橋渡しし、支え合う仕組みであるとともに地方自治体自らが財源を確保し、様々な施策を実現するために有効な手段である。一方、これまでの自治体間の過熱する返礼品競争や返礼割合が高い返礼品の送付により制度運用に課題が多いことから、令和元年度より「ふるさと納税指定制度」が創設された。これは総務大臣が、①寄附金の募集を適正に実施する自治体、②返礼品を送付する場合「ア 返礼品に返礼割合を3割以下とすること」、「イ 返礼品を地場産品とすること」の基準に適合した地方自治体をふるさと納税（特別控除）の対象として指定する制度である。

当市では、これまでに基準を満たすための見直しを随時進めてきており、令和元年度に最初の指定を受けたところである。（以降継続して指定）

今後も引き続き制度本来の趣旨に沿った健全運営を行うとともに、より多くのふるさと納税の確保に努め、得られた財源を有効に活用しながら、地域産業の活性化に繋げられるよう取組を進めていく。

平成20年度～令和3年度ふるさと納税額：1,195,777,744円
- ◆ 前年からの改善点等 あり

令和2年度の寄附額はコロナ禍による巣籠もり需要や国のGOTOトラベル事業が影響し、前年度と比較し大幅な増加となった。令和3年度では高級フルーツ「シャインマスカット」を返礼品に追加したところ大変好評となり、令和3年度も寄附額の伸びは好調であった。また、これまで2社のポータルサイトにより受付を行ってきたが、鉄道事業者の運営する窓口の拡大を図ったところであり、首都圏を中心に多くの会員数を有していることから、今後の寄附額増加に期待するところである。

担当課	民生部 市民課	消費生活・交通安全係	款	2	総務費
事務事業名	交通安全対策費			項	1
			目	6	市民生活支援費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	77
施策目標	市民生活の安全の確保			前年度評価 方向性	継続
施策項目	交通安全対策の推進				
個別計画					

事業の目的	対象	市民の安全で快適な生活の実現に寄与する。	意図	交通ルールを守り、交通事故にあわない・おこなさいという市民の交通安全意識を高め、交通事故防止を図る。
-------	----	----------------------	----	--

事業の内容	交通事故の防止に向けて各関係団体と連携し、市民の交通安全意識の高揚を図るための啓発活動を実施する。 ・交通安全に係る広報、街頭指導の実施 ・交通安全教室の開催、交通安全推進市民大会の開催 ・長野県県民交通災害共済加入促進 他
-------	---

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費(決算額)	4,921,970	5,141,480	5,350,844	209,364	4.1%	
	財源内訳	特定財源	1,397,600	1,668,100	1,347,840	-320,260	-19.2%
	一般財源	3,524,370	3,473,380	4,003,004	529,624	15.2%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,731,000	0	0	0	6,731,000	5,350,844	
不用額	特定財源内訳	細節名	県民交通災害共済交付金			
1,380,156	内訳	金額	1,347,840			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 交通安全教室の開催 7回
こどもの交通安全教室 幼稚園1 小学校6
- 交通安全街頭指導等 15回
交通安全の日・季別交通安全運動 13回 交通安全運動人波作戦 2回
- 交通安全ランドセルカバー配布(市内6小学校) 184枚
- 人身事故発生件数 51件(前年度57件)
- 県民交通災害共済組合 (前年度)
加入者数 18,013人 (18,250人)
加入率 69.4% (69.3%)
共済掛金 6,395,800円 (6,457,900円)
見舞金請求件数 50件 (52件)
見舞金支払金額 2,770,000円 (2,317,500円)
- 運転免許自主返納支援事業申請件数 121件(市民バス回数券14件 タクシー回数券107件)
前年度対比24件の増

◆ 前年からの改善点等 あり
 運転免許自主返納支援事業において、申請者の希望により市民バス回数券又はタクシー回数券のどちらかを選択できるよう支援内容の充実を図った。



(西小での交通安全教室)



(交差点での啓発活動)

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	81
----	------	------	----

担当課	民生部 市民課	消費生活・交通安全係	款	2	総務費	
事務事業名	消費生活センター運営事業			項	1	総務管理費
			目	6	市民生活支援費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	77	
施策目標	市民生活の安全の確保			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	消費生活運営事業					
個別計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談窓口の設置により、消費者トラブルの解消及び正しい消費者知識の普及、消費者意識の啓発を行うことで、消費者の被害防止及び保護を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発・広報活動及び消費者教育を通して、悪質商法などによる消費者被害や契約トラブルなどを未然に防ぎ、安心安全な消費生活の確保を図る。
-------	--	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談窓口の設置、運営 正しい消費者知識の普及と消費者トラブルに対する消費者意識の啓発
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	4,248,920	3,443,865	3,447,740	3,875	0.1%	
	財源内訳	特定財源	3,544,320	3,015,425	3,109,673	94,248	3.1%
	一般財源	704,600	428,440	338,067	-90,373	-21.1%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
3,565,000	0	0	0	3,565,000	3,447,740	
不用額	特定財源	細節名	消費者行政活性化事業補助金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
117,260	内訳	金額	642,000	2,467,673		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 消費生活相談件数
- 市町村別相談件数

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
大町市	122件	148件	171件	174件	107件	109件
池田町	8件	21件	32件	33件	34件	21件
松川村	14件	15件	32件	32件	29件	21件
白馬村	12件	18件	29件	27件	33件	28件
小谷村	2件	3件	8件	10件	11件	12件
圏外	3件	2件	3件	1件	4件	1件
計	161件	207件	275件	277件	218件	192件

相談内容別相談件数

	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
通信販売	56件	95件	69件	80件	72件	86件
電話勧誘	32件	42件	47件	34件	37件	20件
訪問販売	19件	20件	39件	36件	15件	15件
店舗購入	10件	15件	24件	30件	29件	30件
訪問購入	4件	4件	1件	3件	3件	1件
その他	40件	31件	95件	94件	62件	40件
計	161件	207件	275件	277件	218件	192件

※新型コロナウイルス感染症により令和2年度から相談件数が減少している。特に訪問販売に関する相談件数の減少が大きい。

- パネル展示の実施 市役所ホール 1回
- 家庭用品品質表示法等の法改正に伴う立入検査の実施 1回

◆ 前年からの改善点等

あり

新型コロナウイルス感染防止や相談者の負担軽減のため、電話相談で解決できるものは来庁相談を控えていただいた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	総務部	情報交通課	交通政策係	款	2	決算書頁	81
事務事業名	市民バス運行事業					項	1
						目	6
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁	83
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備					前年度評価 方向性	やり方改善
施策項目	移動しやすい公共交通網の整備						
個別計画	大町市地域公共交通総合連携計画						

事業の目的	対象	意図
	対象は主に大町市民。(市民でなくても乗車可。) 通院・通学・買物等、市民の暮らしを支える移動手段。特に高齢者や障がい者等、交通弱者の移動を支える。	将来的には更に少子高齢化が進行し、公共交通の重要性は増すことが推測される。公共交通の整備を図り、誰もが安心・安全に主要な場所へ出掛けることができる。

事業の内容	市民バス「ふれあい号」の運行。(市内9コース、11路線) 運行は、市内の3事業者へ業務委託。 ・(株)関電アメニックス … 5コース 6路線〔青木、源汲、高瀬入、常盤西、美麻(川手線・境の宮線)〕 ・(有)やまびこ … 3コース 4路線〔循環線(北・南)、社、八坂)〕 ・アルピコタクシー(株) … 1コース〔常盤東:デマンド〕
-------	---

決算数値(単位:円)						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)	95,355,866	93,479,702	95,555,128	2,075,426	2.2%
	財源内訳	特定財源			0	-
	一般財源	95,355,866	93,479,702	95,555,128	2,075,426	2.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
99,389,000	-3,500,000			95,889,000	95,555,128	
不用額	特定財源	細節名				
333,872	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

【広報活動】

- ▶ 広報おおまち3/1号での市民バス「ふれあい号」時刻表の全戸配布、市ホームページへの掲載。
- ▶ 民生児童委員協議会やシニアクラブ大会でのPR、また、福祉関係者へのPR活動を実施。
- ▶ デマンド運行(常盤東コース)啓発用DVD作成。
CATVで放送するほか、市ホームページ及びYouTubeで視聴が可能。

【R4年度に向けた市民バス運行の見直し】

- ▶ 大町市地域公共交通会議(市民バスに係る案件) 2回(ダイヤ改正、停留所新設)

◆ 事業の成果

【市民バス運行実績】

- ▶ 運行ルート: 9コース(11路線) ▶ 運行日数: 243日(土・日・祝、年末年始を除き毎日運行)
- ▶ 利用人数(延べ): 65,585人/年(前年比 +1,147人 1.8%増)
《コース別利用人数》
 青木コース: 9,256人(前年比 Δ275人 2.8%減) 源汲コース: 4,406人(前年比 +221人 5.2%増)
 高瀬入コース: 5,365人(前年比 Δ402人 6.9%減) 循環線: 4,917人(前年比 +79人 1.6%増)
 常盤西コース: 4,632人(前年比 Δ922人 16.6%減) 常盤東コース: 452人(前年比 +147人 48.1%増)
 美麻コース: 16,414人(前年比 +821人 5.2%増) 社コース: 3,357人(前年比 Δ113人 3.2%減)
 八坂コース: 16,786人(前年比 +1,591人 10.4%増)

- 全体の利用者数は、前年度に比べ1,147人増加。(+1.8%)
- 常盤東コース(デマンド)においては、PRの成果として登録者、利用人数とも前年度より増加。
・登録者68名(前年比 +16人 30.8%増) ・利用者452名(前年比 +147名 48.1%増)
- 日常的に移動手段を必要とする者にとっては、安価で主要な場所へ出掛けることができる交通手段として、日常生活を支える重要な事業となっている。

◆ 前年からの改善点等

あり

常盤東コース(デマンド)について、利用可能地域の拡大、バス停の増設及び運行時間について利用しやすい時間帯へ変更する等、ダイヤ見直しを実施。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	81
担当課	総務部	情報交通課	交通政策係	款	2
事務事業名	公共交通対策事業			項	1
				目	6
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	83
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備			前年度評価 方向性	継続
施策項目	移動しやすい公共交通網の整備				
個別計画	大町市地域公共交通総合連携計画				

事業の目的	対象は地域住民、来訪者など全ての方。公共交通における利便性の向上、輸送力強化への対応について、期成同盟会や協議会を組織し地域交通の充実を図る。	意図	地域と都市間を結ぶ公共交通の利便性向上を図り、地域住民の移動手段として、また、観光誘客の促進など地域の活性化を推進する。
-------	---	----	--

事業の内容	<p>○大町・長野間特急バス利用促進協議会〔事務局〕 特急バス長野大町線の通年運行確保に向けた取組。冬期運行に関する事業者との調整等。</p> <p>○大系線利用促進輸送強化期成同盟会〔事務局〕 大系線の利用促進や利用者の利便性向上のため、利用促進事業の取組及びJRへの要望行動を実施。</p> <p>○その他、JR大系線（南小谷～糸魚川区間）の活性化を図るための大系線活性化協議会や、中央東線の高速化及び利便性向上を図るための中央東線高速化広域期成同盟会等へ参画。</p>
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	3,680,140	3,640,800	3,643,020	2,220	0.1%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	3,680,140	3,640,800	3,643,020	2,220	0.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
3,804,000				3,804,000	3,643,020	
不用額	特定財源	細節名				
160,980	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動、事業の成果
 - 【大系線利用促進輸送強化期成同盟会】
 - ▶ 利用促進事業
 - ・市民タイムス市町村特集 広告掲載
「大系線の旅」と題し、沿線の観光スポットを紹介。
 - ・テレビ特別番組協賛事業
「この秋おすすめ！信州・北陸・奥飛騨めぐり」の番組を、長野県を含む5県で放送。
 - ・長野県JR連絡調整会議（10/29）
JR西日本・東日本・東海への要望及び意見交換（利便性の向上等について）
 - ▶ JRに対する要望行動
 - ・JR西日本金沢支社に対する要望行動（10/12）
 - ・JR東日本長野支社へ要望書提出（1/5）
輸送強化及び利便性向上、輸送の安全確保、利用促進対策の連携等について
 - ▶ 振興部会設置
令和4年1月18日期成同盟会規約改正。
 - 【大町・長野間特急バス利用促進協議会】
 - ▶ 冬期間（12～3月）の運行業務
 - ・アルピコタクシー（株）へ冬期の運行依頼を行い、通年運行が可能となっている。
 - ・大町-長野間 1日3往復 乗車人員 1,039人（前年比 +60人 6.1%増）
- ◆ 前年からの改善点等 あり
期成同盟会内に振興部会を設置。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	83
----	------	------	----

担当課	総務部	まちづくり交流課	市民活動支援係	款	2	総務費
事務事業名	市民活動促進事業			項	1	総務管理費
				目	8	市民参加協働推進費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち			前期計画登載頁	92	
施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	市民参画と協働によるまちづくりの推進					
個別計画	市民参加と協働のまちづくり推進基本指針					

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や市民活動団体の自主的なまちづくり活動が、より活発にスムーズに行えるよう支援環境を整える。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画と協働のまちづくりの推進を図る。
-------	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市連合自治会、大町地区連合自治会事務局 地縁団体登録、証明 まちづくりセミナーの開催 まちづくりフォーラムの開催
-------	---

決算数値（単位：円）

事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）			37,250,574	21,424,000	25,674,000	4,250,000
財源内訳	特定財源		19,600,000	5,000,000	8,900,000	3,900,000	78.0%
	一般財源		17,650,574	16,424,000	16,774,000	350,000	2.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
17,505,000	8,800,000			26,305,000	25,674,000	

不用額	特定財源	細節名	自治総合センターコミュニティ助成	県市町村振興協会コミュニティ助成	金額
631,000	内訳	金額	6,400,000	2,500,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 避難所開設・運営訓練

市自主防災会連絡会専門部会員（防災士）が講師となり訓練を実施

令和3年5月26日（水）35名参加

5月28日（金）37名参加

○ まちづくりセミナーの開催

「Zoom体験講座」令和3年6月15日（火）13名参加

6月19日（土）10名参加

「Zoom主催者講座」令和4年3月17日（水）8名参加

○ 「ぼくらの市民活動フォーラム」開催（実行委員会との共催）

令和3年12月4日（土）150名参加

- 団体の発表

- 講演会 「市民の主体的な活動が元気なまちをつくる」 講師 呉 哲煥氏



◆ 事業の成果

連合自治会の研修を防災に関するものとし、自治会長、自主防災会長から継続して開催するよう要望を出されるなど、関心を高めることができた。

Zoom体験講座の受講がきっかけとなり、Zoomを活用した活動を再開する団体への支援が行えた。

◆ 前年からの改善点等

あり

避難所開設・運営訓練では、参加者からの要望により、実際の避難場所を想定した訓練内容とした。コロナ禍において団体の活動が継続できるよう講座や活動発表の機会を設けた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	83 85
----	------	------	----------

担当課	総務部 まちづくり交流課	市民活動支援係	款 2	総務費
事務事業名	ひとが輝くまちづくり事業		項 1	総務管理費
			目 8	市民参加協働推進費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち		前期計画掲載頁	92
施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進		前年度評価 方向性	継続
施策項目	市民参画と協働によるまちづくりの推進			
個別計画				

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 自主的かつ主体的な活動で公益性のあるまちづくり事業を行う市民活動団体への支援 自治会等における花づくりを通じた地域コミュニティの促進 	意図	市民活動団体の育成及び市民参画と協働によるまちづくりの推進を図る。
-------	---	----	-----------------------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとが輝くまちづくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承事業 ・まちづくり事業（はじめようまちづくり活動、ひろげようまちづくり活動、地域創生活動） ・活動継続支援事業 ○花づくり活動事業
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		11,962,965	9,848,775	7,827,877	-2,020,898	-20.5%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	11,962,965	9,848,775	7,827,877	-2,020,898	-20.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
14,167,000	-6,244,000			7,923,000	7,827,877	
不用額	特定財源	細節名				
95,123	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 公開審査会
 - （当初） 4月17日（土） ひろげようまちづくり活動 1団体
 - 地域創生活動 2団体
 - （追加募集） 7月30日（金） 地域創生活動 2団体
- 補助団体数
 - はじめようまちづくり活動 13団体
 - 活動継続支援事業 1団体
 - ひろげようまちづくり活動 1団体
 - 地域創生活動 4団体
- 花づくり活動団体 24団体
 - ・ 7月下旬から8月上旬に中間調査実施
- 最終報告会 令和4年3月5日（土）
 - ・ 各団体の1年間の活動報告



◆ 事業の成果

・ひとが輝くまちづくり事業補助金では、コロナ禍ではあるが、はじめようまちづくり活動や地域創生活動などに、新規の申請が多くありこうした団体への支援により市民参画と協働によるまちづくりの推進が図ることができた。

◆ 前年からの改善点等

あり

新型コロナウイルス感染拡大の影響から応募団体が少なく、追加募集を行った。



担当課	総務部	情報交通課	情報化推進係	款	2	総務費	
事務事業名	電子自治体構築事業				項	1	総務管理費
					目	9	情報化推進費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	90	
施策目標	快適な生活環境の形成				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	高度情報化社会への対応						
個別計画	大田市地域情報化基本計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術を活用した市民等への情報提供の充実 ・行政手続のオンライン化や証明書のコンビニ交付など、行政サービスの充実による市民の利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報端末機器や共同利用を含めた各種システムの整備等により、行政事務の効率化及び情報提供の充実など電子自治体の構築を図る。 ・行政手続のオンライン化を推進するとともに、情報セキュリティ対策の強化を図る。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信機器整備事業：情報系サーバー及び各種システム、情報系端末、プリンター等のリース ・ネットワーク利用事業：総合行政ネットワークシステム利用料、県高速ネットワーク運営負担金、県セキュリティクラウド運営負担金、自治体中間サーバープラットフォーム利用負担金 ・システム運用事業：電子申請・届出システム運営負担金、公共施設予約システム利用料、コンビニ交付運営負担金、統合型校務支援システム負担金、学校徴収金管理システム負担金 	

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	48,158,379	63,766,592	50,137,299	-13,629,293	-21.4%	
	財源内訳	特定財源	8,599,547	18,106,198	4,007,922	-14,098,276	-77.9%
	一般財源	39,558,832	45,660,394	46,129,377	468,983	1.0%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
55,052,000	-2,563,000		-1,179,776	51,309,224	50,137,299	
不用額	特定財源	細節名	情報化推進等負担金	社会保障・税番号活用推進費補助金	LGWAN機器広域設置負担金	北アルプス連携自立圏事業負担金ほか
1,171,925	内訳	金額	1,347,978	1,064,000	822,944	773,000

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - スマートシティの推進
 - ・会議録作成システム導入
 - ・行政事務効率化推進事業（広域連携自立圏事業）の実施
 - 情報発信の手段の拡充
 - ・LINE公式アカウントツールを取得（県域共同調達）し、緊急情報のLINE配信を開始
 - ・緊急メール配信システムのサポート終了に伴い、利用者に応じたクラウド型配信システムを構築
- ◆ 事業の成果
 - ・R2年度に実施した会議録作成システムの検証から、行政事務の効率化効果が実証（全庁で927時間、約50%短縮）されたため、AIを活用した会議録作成システムを導入し、業務効率化を図っている。
 - ・大北5市町村共同で軽自動車税の一括廃車処理に係るRPAの検証を実施した。共同実施により、検証コストの削減に加え、RPAの活用により5市町村全体で1ヶ月当たり約25時間を要していた作業が約3時間（88%）に短縮され、業務の効率化に繋がることが実証された。
 - ・市民生活に広く普及しているSNSを活用し、市民ニーズに合わせた情報発信手段の拡充が図れた。
 - ・新システムでは、市民や保護者、消防団など利用者に応じた配信システムとすることで、利用者の利便性を向上（6月1日運用開始）
 - 市民向け・・・メールに加え、Webサイト、ツイッター、LINE、CATV連携による情報配信
 - 保護者向け・・・専用アプリによる配信に加え、欠席連絡やアンケートなど双方向通信に対応
 - 消防団向け・・・消防指令台と連携し、火災発生時には迅速に地図リンク付きメールを配信
- ◆ 前年からの改善点等 あり

情報通信技術の急速な進展やデジタル化の加速が予想される中、情報システム等の整備に当たっては重複投資を避ける必要があることから、既存システムの見直しを実施している。

担当課	総務部	情報交通課	情報化推進係	款	2	総務費	
事務事業名	電算処理委託事業				項	1	総務管理費
					目	9	情報化推進費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	90	
施策目標	快適な生活環境の形成				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	高度情報化社会への対応						
個別計画	大町市地域情報化基本計画						

事業の目的	対象	基幹系業務の電算化により、事務処理の適正化・迅速化・効率化を図り、市民サービスの向上を図る。	意図	住民記録・税・国保・福祉等の基幹系業務の電算化により、事務処理の適正化・迅速化・効率化を図る。
-------	----	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業務のデータ処理 ・各種制度改正に伴うシステム適用 ・機器保守等の委託業務及びシステム機器のリース
-------	--

決算数値 (単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費 (決算額)	97,574,561	106,067,438	97,090,078	-8,977,360	-8.5%	
	財源内訳	特定財源	7,618,517	15,440,728	7,270,552	-8,170,176	-52.9%
	一般財源	89,956,044	90,626,710	89,819,526	-807,184	-0.9%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
102,650,000	-1,115,000		20,664	101,555,664	97,090,078	3,575,000
不用額	特定財源	内訳	金額	情報化推進等負担金		
890,586	内訳	金額	7,270,552			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 業務のデータ処理関係
 - 電算処理業務・・・住民記録、税、年金、国保、福祉等基幹業務のデータ処理及びシステム保守申告受付データe-Tax連携・・・確定申告システムからe-Taxへの情報連携
 - システム改修
 - ・健（検）診情報連携システム整備事業に伴う健康管理システム改修
 - ・新型インフルエンザ予防接種情報管理に伴う健康管理システム改修
 - ・制度改正に伴う児童手当システム改修
 - OSサポート期限終了に伴う対応
 - ・基幹系端末機器等更新
- ◆ 事業の成果

基幹業務のデータ処理及びシステム保守を行うとともに、制度改正に伴うシステム改修により、事務処理の適正化、効率化が図られ、住民サービスの向上に寄与している。
- ◆ 前年からの改善点等 あり

基幹系ファイルサーバーの更新について、保守の関係上5年毎に更新が必要となることから、経費の平準化を図るためリース調達に変更することとした。

担当課	総務部	情報交通課	情報化推進係	款	2	総務費	
事務事業名	大町総合情報センター管理運営費				項	1	総務管理費
					目	9	情報化推進費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	90	
施策目標	快適な生活環境の形成				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	高度情報化社会への対応						
個別計画	大町市地域情報化基本計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等への情報通信に関する知識の普及 ・地域イントラネットの活用による行政事務の効率化 ・広域圏域のシステム及びデータ管理 	意図	地域イントラネット等の情報通信基盤や市の情報通信システム及び地域情報化の拠点施設として、大町市総合情報センターの適正な管理運営を行う。
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報化の推進に関すること ・情報通信に関する知識の普及に関すること ・地域イントラネットの管理及び運営に関すること ・広域共同化サーバー等の管理及び運営に関すること
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	52,345,053	56,290,279	50,466,661	-5,823,618	-10.3%	
	財源内訳	特定財源	5,397,101	10,123,622	8,088,117	-2,035,505	-20.1%
	一般財源	46,947,952	46,166,657	42,378,544	-3,788,113	-8.2%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
49,178,000			2,272,659	51,450,659	50,466,661	
不用額	特定財源	細節名	電算業務機器広域設置負担金	物品貸付収入	物件移転等補償料	地域情報交流施設使用料ほか
983,998	内訳	金額	4,016,000	2,145,934	1,150,336	775,847

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 大町市ICT学習活動推進協議会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、プログラミング講座等は中止となったが、教育委員会と連携し、希望する市内小学校へプログラミングロボットを貸し出し、プログラミング教育に活用した。
 - 行政内部事務システムの見直し

IEのサポート期限終了に対応するため、情報系サーバー更新に合わせてグループウェアなど行政内部事務システムを広域共同利用システムへ移行した。
- ◆ 事業の成果
 - ・ 小学校2校から希望があり、プログラミング学習に活用いただいた。
 - ・ グループウェアなど行政内部事務システムについては、市が単独調達を行ってきたが、広域共同利用システムに移行することで、次期広域共同調達に参加でき、調達コストの削減が図れる。また、グループウェアと文書管理システム及び簡易電子決裁システムとの連携が可能となり、行政内部事務の効率化を図っていく。
- ◆ 前年からの改善点等 あり

感染防止対策に加え、小学校でのプログラミング授業も進んでいることから、希望する小学校へプログラミングロボットの貸し出しを実施した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	89
----	------	------	----

担当課	総務部	情報交通課	ケーブルテレビ係	款	2	総務費
事務事業名	ケーブルテレビ運営事業			項	1	総務管理費
				目	9	情報化推進費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち			前期計画登載頁	97	
施策目標	市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築			前年度評価 方向性	やり方改 善	
施策項目	情報インフラを有効活用した地域情報の発信					
個別計画	大田市地域情報化推進計画					

事業の目的	対象	地域住民、及び番組コンテンツ交換を実施している県内ケーブルテレビ各局視聴者	意図	安定した地上デジタル放送・BSデジタル・CSデジタル（多チャンネル）のテレビ放送の再送信とともに、自主放送番組の充実を図り地域に密着した情報発信により、地域に一体感地元愛の醸成を図るとともに、コンテンツ提供による県内外への大田市の情報発信を行う。
-------	----	---------------------------------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ テレビ放送の再送信 ○ 自主放送番組による情報発信 週刊情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニング・キッズ30本、きらり特番70本、議会生中継（本会議、一般質問）の生中継ほか ○ 放送設備等の維持管理
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	115,114,745	87,739,064	81,097,495	-6,641,569	-7.6%	
	財源内訳	特定財源	115,114,745	87,739,064	81,097,495	-6,641,569	-7.6%
	一般財源				0	-	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
95,519,000	-10,000,000			85,519,000	81,097,495	
不用額	特定財源	細節名	ケーブルテレビ引込工事負担金	ケーブルテレビ使用料	NHK受信料団体納付手数料ほか	
4,421,505	内訳	金額	900,600	62,887,920	17,308,975	

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 自主放送番組による情報発信
 - ・ 週刊情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニング・キッズ30本、きらり特番70本、議会生中継（本会議、一般質問）
 - 市内小中学校・高校の入学式・卒業式の特別番組
 - 高校野球大会特別番組・コロナ禍による休校中の学習支援番組
 - 県内他局への番組配信
 - ・ 週刊情報番組「きらり☆ステーション」の一部は、県内のCATV局で放送されている「まるご信州情報ネット」で毎週放送されており、県内CATV局で大田市の情報発信が行われている。
 - ・ 白馬村・小谷村での「きらり☆ステーション」の放映
 - CATV網のセンター管理による安定した視聴環境の確保
- ◆ 事業の成果

コロナ禍による、参加者を集めない行事（入学式、卒業式、音楽会等）の収録、放映等視聴者からの好評をいただくとともに、身近で重要なニュースの提供が行えた。

生中継行事が皆減するなか、自宅にて楽しめる幼児番組や家庭内運動番組等、新たなコンテンツの展開に着手できた。
- ◆ 前年からの改善点等 あり

市民アンケートを実施し、潜在的なニーズや不満な点、新たに期待するサービスの掘り起こしを行い、番組の企画立案を行った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	89
----	------	------	----

担当課	総務部	まちづくり交流課	男女共同参画・人権政策担当	款	2	総務費
事務事業名	男女共同参画推進費			項	1	総務管理費
				目	10	男女共同参画費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち			前期計画登載頁	95	
施策目標	多様性に満ちた共生社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	人権教育・啓発の推進					
個別計画	大町市第3次男女共同参画計画					

事業の目的	対象	・幼児から高齢者まで幅広い世代に対し、身近で関心の高い分野を取り入れながら男女共同参画社会について学習の機会をつくる。	意図	・誰もが個性を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。
-------	----	---	----	------------------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画フォーラムの開催 男女共同参画学習会の開催（市内6地区） 女性団体連絡協議会、男女共同参画推進団体「きらり会」への支援 女性相談・男性相談
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		692,453	335,903	446,948	111,045	33.1%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	692,453	335,903	446,948	111,045	33.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,012,000				1,012,000	446,948	
不用額	特定財源	細節名				
565,052	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 男女共同参画フォーラム
令和3年5月15日（土）開催予定 中止
- 男女共同参画学習会の開催
令和3年11月3日～令和3年11月14日（各地区公民館）
 - ・常盤地区 講演会・啓発パネル展示 参加者26人
 - ・社・八坂・美麻地区 啓発パネル展示
- 大町市女性団体連絡協議会の活動支援
 - ・全国女性会議（オンライン）への参加
 - ・長野県男女共同参画推進県民大会（オンライン）への参加
- 女性相談・男性相談の実施
毎月第2, 4木曜日
相談件数 延べ26件



◆ 事業の成果

女性相談・男性相談では、コロナ禍における家族間のトラブル（収入減少や離婚、育児の問題）など多岐にわたる相談を受けている。相談内容により関係機関や弁護士を紹介し、解決に繋げている。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	91 93
担当課	総務部	八坂支所	課	総務係	款 2
事務事業名	八坂地域振興事業			項 1	総務管理費
				目 11	八坂支所費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち			前期計画掲載頁	93
施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進			前年度評価 方向性	継続
施策項目	過疎地域での地域づくりの推進				
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画				

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自主的、主体的な地域づくり活動への支援 八坂地区で生活する住民及び、八坂地区に活動拠点のある団体 	<ul style="list-style-type: none"> 定住人口が減少し、少子高齢化が急速に進むなか、住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域活力の持続性を高め、活気と魅力あふれる地域づくりを推進する。
-------	--	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地域内の振興策や諸問題への対応を検討する。 地域振興バスを運行し、ふれあいバス路線区域外の交通弱者の足の確保を図る。また、診療所の送迎診療バス、たけのこ保育園の通園バスを運行し、施設利用者の利便性の向上と交通弱者の足の確保を図る。 地域づくり協議会、八坂音頭保存会等へ補助金を交付し、地域振興と特色ある地域活動団体の支援を行う。
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	12,896,212	9,834,517	10,585,131	750,614	7.6%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	12,896,212	9,834,517	10,585,131	750,614	7.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,390,000	-2,000,000			11,390,000	10,585,131	
不用額	特定財源	細節名				
804,869	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 地域振興バスの運行状況
 - ・ 運行日数 242日
 - ・ 利用者数 1,047人
- 道路愛護事業（年4回）
 - ・ 作業実施延長（1回：約74km）
 - ・ 参加者数 1,028人

- 診療所送迎バスの運行状況
 - ・ 運行日数 71日
 - ・ 利用者数 342人

■ 補助金

- ・ 地域づくり事業 1,200千円
- ・ 公共土木施設愛護会事業 788千円
- ・ 地域間交流事業（八坂秋まつり）600千円
- ・ 八坂音頭保存会事業 150千円



八坂秋まつり(10月23日開催)



道路愛護事業(側溝清掃作業)

◎老人スポーツ大会事業は前年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
また、八坂青竜太鼓保存会は感染防止のため、活動を休止したので補助金の交付はなかった。

◆ 前年からの改善点等

あり

地域の実情や課題、必要とする地域振興策を調査するため、地域づくり委員会において八坂地区在住の16歳以上のすべての人を対象とした「住民意識アンケート」を実施した。アンケート結果を精査し、提言書として取りまとめたものを市へ提出し、大町市過疎地域持続的発展計画に盛り込むことができた。

担当課	総務部	八坂支所	課	総務・産業建設係	款	2	総務費	
事務事業名	八坂定住促進事業					項	1	総務管理費
						目	11	八坂支所費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁	60	
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	過疎地域における移住・定住促進							
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画							

事業の目的	対象	定住人口が減少し、少子高齢化が急激に進む中、拠点集落にI・Uターン者等の定住を促進させるための定住促進住宅の整備を行う。また、地域に点在する空き家を有効活用し、移住希望者に紹介するとともに、入居した世帯に奨励金を交付する。	意図	地域に密着した定住促進対策を進め、地域活力の維持と継続を図る。
-------	----	---	----	---------------------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度 住宅建設3棟(切久保2・矢下1) 平成27年度 住宅建設2棟(野平) 平成28年度 住宅建設2棟(野平) 平成29年度 住宅建設2棟(矢下) 令和2年度 住宅建設2棟(栢沢) 移住者との交流会、過疎地域定住促進奨励金・過疎地域住宅新築資金等利子補給金・過疎地域就職促進奨励金等の交付
-------	---

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		11,301,812	47,846,000	200,000	-47,646,000	-99.6%
	財源内訳	特定財源	8,000,000	35,600,000		-35,600,000	皆減
		一般財源	3,301,812	12,246,000	200,000	-12,046,000	-98.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,000,000				1,000,000	200,000	
不用額	特定財源	内訳	金額			
800,000						

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 入居者募集

- ・ 明野集合団地(3戸)の募集をHP等を通じて行ったが入居に至らなかった。

◆ 事業の成果

○ 八坂地区定住促進住宅

- ・ 総戸数 27戸(内、4戸は明野集合団地分)
- ・ 入居者 24世帯 78名

○ 奨励金の交付

- ・ 過疎地域定住促進奨励金 1件(200,000円)

○ 空き家バンクへの登録

- ・ 八坂地区内の空き家 3戸



移住者との交流会(R3.7.3開催)

◆ 前年からの改善点等

あり

地域づくり協議会の協力をいただき、定住促進住宅や空き家に入居した1年未満の方を対象とした移住者との交流会を開催し、4世帯12名の参加があった。コロナ禍であったが感染対策を十分講じた上で、野平地区のラベンダー園で摘み取り体験や、地元住民が講師となりラベンダースティックづくりを体験し、地域住民との交流を深めた。

また、新規就農者技術習得管理施設の利用がなく空き家となっていたことから、定住促進住宅に転換することとし条例改正を行った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	93
担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設係	款 2
事務事業名	明日香荘管理運営費			項 1	総務管理費
				目 11	八坂支所費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	56
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進			前年度評価 方向性	継続
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進				
個別計画					

事業の目的	対象	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康増進に資するための保養施設及び、観光施設として、地域間交流の促進、観光の振興を行う。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 地元の郷土食であるそば、おやきの製造販売をとおした郷土文化の維持を図り、地域の活性化に結びつけたい。 地域の拠り所として、地域住民にあいされる施設管理を推進する。
-------	----	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備等の修繕については、公共施設総合管理計画に基づき、指定管理と協議をしながら計画的に行うとともに、施設の適正な管理運営を行う。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		15,003,280	12,427,954	17,172,300	4,744,346	38.2%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	15,003,280	12,427,954	17,172,300	4,744,346	38.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
16,038,000			1,136,337	17,174,337	17,172,300	
不用額	特定財源	細節名				
2,037	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動
<p>イベント数：4回（前年度：4回） 利用者数：2,333人（前年度：2,844人 増減：-511人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入浴と食事のセット 毎月開催 利用者：554人 ○ 風呂の日限定おやき 毎月開催 利用者：630人 ○ 新そば祭り 10～11月開催 利用者：1,089人 ○ おせち料理販売 12月開催 利用者：60人 <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点よりビアガーデン・日本酒まつり等のイベント開催を断念した。</p>
◆ 事業の成果
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、宴会客等の団体客受け入れが困難であり、また、企画していたイベントは、感染レベルが高かったことから開催できないものもあった。そのような状況下で、宿泊を中心に県や市の支援策を有効に活用し、家族を中心とした県内誘客を進めることができた。
◆ 前年からの改善点等
<ul style="list-style-type: none"> あり ・指定管理者が行う業務仕様書に基づく保守管理業務等の実施状況を職員が出向き直接確認した。

担当課	総務部	美麻支所	課	総務・産業建設	係	款	2	総務費	
事務事業名	美麻地域振興事業						項	1	総務管理費
							目	12	美麻支所費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち						前期計画登載頁	93	
施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	過疎地域での地域づくりの推進								
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画								

事業の目的	対象	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と行政が共に取り組む協働のまちづくり ・幼児から高齢者まで幅広い年齢層、地域住民や企業及び団体等全て 	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決 ・地域住民の自主的、主体的な取り組みを推進するため、「小さな拠点」の設置と地域運営組織の形成 ・地域振興及び地域環境整備 ・関係人口の創出による地域活性化
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美麻地域づくり委員会の開催 ・美麻地区防犯灯の更新 ・美麻診療所患者輸送業務 ・美麻地区公共施設周辺維持管理業務 ・美麻地域づくり会議活動の地域住民協働での事業推進及び運営支援 ・しなののおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」の実施【新規事業】 			

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		8,006,251	9,924,367	10,305,511	381,144	3.8%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	8,006,251	9,924,367	10,305,511	381,144	3.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
12,052,000	-700,000		-554,680	10,797,320	10,305,511	
不用額	特定財源	細節名				
491,809	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 美麻地域づくり委員会の開催（5回開催）
 - 美麻地区防犯灯の更新（20カ所）
 - 美麻診療所患者輸送業務（運行日数140日、運行回数248回、利用者数509人）
 - 美麻地域づくり会議事業及び運営支援
 - 過疎地域起業家育成支援事業補助金・地域芸能文化振興事業補助金の交付（各1件）
 - 地域振興支援員の配置（1名）
 - 地域の道路環境維持支援として道路愛護事業補助金の交付（美麻地区連合自治会）整備延長86.31km
 - 美麻地区公共施設周辺維持管理業務、有害鳥獣対策緩衝帯整備業務
 - 【新規事業】しなののおまちワーキングホリデー事業「むらの暮らしコース」の実施（参加申込16者の内受入れ4者）

- ◆ 事業の成果
 - 新型コロナウイルスの影響で中止となった事業等があったが、コロナ禍の中でも対策を講じ内容を見直し工夫することで、事業や会議等が実施できたことは地域課題解決や地域づくり活動のためにも有意義であった。

- ◆ 前年からの改善点等 あり
 - 新規事業で実施した、しなののおまちワーキングホリデー「むらの暮らしコース」の参加者は地域づくりに関心が高いため、受入れの際は、単なる就労ではなく、地域づくり活動や地域課題解決となるメニューを多く取り入れることで、地域との関わりが増え、地域活力の再生に繋げたい。



令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	95 97
担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設・総務係	款 2
事務事業名	美麻定住促進事業			項 1	総務管理費
				目 12	美麻支所費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	60
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化			前年度評価 方向性	継続
施策項目	過疎地域における移住・定住促進				
個別計画	大町市過疎地域持続的発展計画				

事業の目的	対象	美麻地区住民、美麻地区への移住・定住希望者	意図	過疎化が進む美麻地区において、地域の人口増加を図るため、希望者の移住定住が円滑に進むよう、定住促進住宅をはじめとした居住への支援、また、定住促進奨励金などの施策を講じる。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・二重地区定住促進住宅 3区画住宅建設 ・定住促進奨励金、住宅新築資金利子補給金、就職支援促進奨励金の交付 			

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		86,677	14,953,806	79,716,292	64,762,486	433.1%
	財源内訳	特定財源		9,600,000	59,100,000	49,500,000	515.6%
		一般財源	86,677	5,353,806	20,616,292	15,262,486	285.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
77,865,000			1,975,937	79,840,937	79,716,292	
不用額	特定財源	細節名	美麻定住促進住宅建設事業債			
124,645	内訳	金額	59,100,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 定住促進住宅建設等

二重団地：令和元年度 用地選定

令和2年度 土地造成工事（3区画）、建築設計

令和3年度 住宅建設工事（3棟）



◆ 事業の成果

○ 美麻地区定住促進住宅

総戸数 20戸（内、令和3年度募集6戸）

入居者 19戸64名

○ 過疎地域定住促進奨励金（4件）

○ 過疎地域住宅新築資金等利子補給金（2件）

◆ 前年からの改善点等

あり

○ 新過疎計画の策定に伴い、定住促進に係る補助制度について見直しを進めた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 97

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	款	2	総務費	
事務事業名	ぽかぽかランド美麻管理運営費						項	1	総務管理費
							目	12	美麻支所費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁	56	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画								

事業の目的	対象	地域間交流の促進、観光事業の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的とした施設。道の駅として、幅広い年齢層の市民や観光客等が対象。	意図	市内唯一の道の駅であり、また美麻地区の地域交流・観光等の拠点施設であるので、良好なサービス提供のため計画的な維持修繕を行うとともに、指定管理者による各種イベント等により利用の促進を図っていきたい。
-------	----	--	----	--

事業の内容	○指定管理施設の維持管理 ・ぽかぽかランド美遊指定管理料（2,706千円） ・宴会場前男子トイレ、レストラントイレ等自動水栓化、客室クロス張替え、真空式ボイラー緊急応急復旧ほか修繕
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		10,119,170	7,661,781	7,932,761	270,980	3.5%
	財源内訳	特定財源	53,807	69,398	1,976,257	1,906,859	2747.7%
		一般財源	10,065,363	7,592,383	5,956,504	-1,635,879	-21.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,578,000	1,931,000	0	-559,231	7,949,769	7,932,761	0
不用額	特定財源	細節名	ぽかぽかランド美麻EV充電器課金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		
17,008	内訳	金額	46,257	1,930,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 指定管理施設の維持管理
 - ・宴会場前男子トイレ、レストラントイレ等自動水栓化、客室クロスほか修繕費（3,872千円）
 - ・防火設備定期検査手数料等（88千円）
 - ・美遊指定管理料（2,706千円）
 - ・美遊土地賃借料（403千円）

- ◆ 事業の成果
 - ・施設利用者数 53,998人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4,597	4,904	1,942	4,485	5,163	3,115	6,239	4,955	4,772	5,547	4,766	3,513

- ・年度別利用者数
 - 令和元年度 73,136人
 - 令和2年度 38,988人
 - 令和3年度 53,998人

- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	97
----	------	------	----

担当課	総務部 まちづくり交流課	芸術文化振興・国際芸術祭推進係	款	2	総務費
事務事業名	芸術文化振興事業		項	1	総務管理費
			目	13	文化振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち		前期計画登載頁	46	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進		前年度評価 方向性	継続	
施策項目	地域の芸術文化の創造				
個別計画	文化資源活用ビジョン				

事業の目的	対象	アーティスト・イン・レジデンス事業 ①市民は、市内文化芸術活動と滞在アーティストの連携、交流 ②滞在アーティストは、大町市の魅力を感じアートにより広く発信 国際芸術祭事業 ①国内外の多くの人々への、大町市への来訪や魅力の発信 ②市民へ向けた、市が持つ魅力の再発見と来訪者との交流の場を提供 ③来訪者による消費活動の受入れと知名度アップを活かした新たなビジネスチャンスの創出 ④芸術祭を媒介とした強い情報発信と大町のブランド力向上	意図	アーティスト・イン・レジデンス事業 ①市内芸術文化活動とアーティストの連携による芸術文化の振興 ②大町市の新たな魅力を創造し芸術文化都市を広く発信 ③交流人口、関係人口の増による定住促進 国際芸術祭事業 ①観光誘客による交流人口、関係人口の増 ②市民参加による地域づくりへの足掛かり ③芸術が持つ力を利用した市の魅力発信によるブランディング ④地域の消費拡大
-------	----	---	----	---

事業の内容
 アーティスト・イン・レジデンス事業は、旧教員住宅を活用した「あざひAIR」を滞在施設として、毎年国内外から作家を招聘し、滞在制作の支援を行い芸術文化振興を図るとともに、市民と作家の交流を深めながら芸術文化都市としてのブランディングの土台としていく。北アルプス国際芸術祭は、3年に一度のトリエンナーレとして開催。国内外からの作家招聘による質の高いアート作品の展開と、来訪者に生活文化である地域の食を提供する。幅広い分野の一流の人々の協力を得ながら、芸術文化活動が持つ強い情報発信力を最大限に活用することにより、新しい人の流れによる交流・移住人口や定住人口の増加に資することを旨とする。

決算数値 (単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		82,709,545	41,852,367	129,112,939	87,260,572	208.5%
	財源内訳	特定財源	36,705,796	4,759,000	116,121,000	111,362,000	2340.0%
		一般財源	46,003,749	37,093,367	12,991,939	-24,101,428	-65.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
143,068,000	-13,174,000	0	0	129,894,000	129,112,939	0
不用額	特定財源	細節名	文化資源活用推進事業補助金	芸術文化振興基金繰入金	新型コロナ地方創生臨時交付金	過疎地域自立促進事業債ほか
781,061	内訳	金額	32,384,000	41,600,000	19,000,000	23,137,000

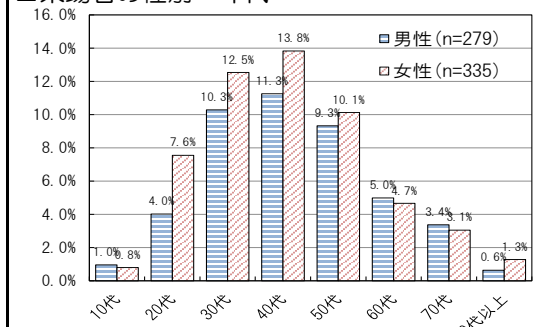
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動、事業の成果

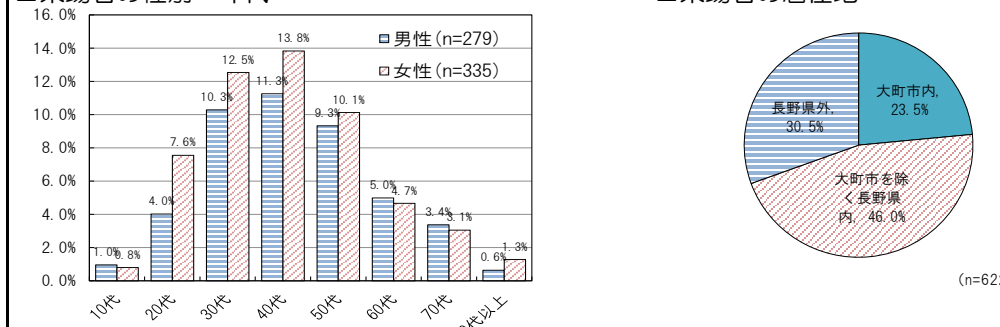
○北アルプス国際芸術祭2020-2021

- 会期 パフォーマンス会期：2021年8月21日(土)～10月3日(日)
アート会期：2021年10月2日(土)～11月21日(日)【51日間】
- 参加アーティスト 36組(11の国と地域から)・・・新型コロナウイルス感染症の影響で5組キャンセル
- 来場者数 33,892人 ※延べ人数 146,304人(22サイトで受付した人数)
- 販売関係実績
 パスポート等 32,841,614円
 公式グッズ 15,933,120円
 ガイドブック 1,570,000円
- 情報発信 広報実績 各メディア等 計1,464本 広告換算額 約3億9千万円

■来場者の性別・年代



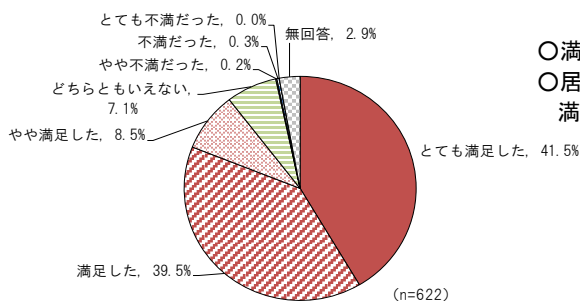
■来場者の居住地



■来場者の動向 来訪者の31%が宿泊旅行、うち市内宿泊が76%、来訪者の99%がツアー以外の個人客

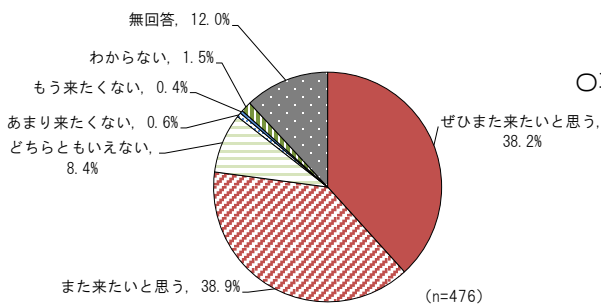
■来訪者の満足度

○芸術祭の満足度



○満足に関する回答が約90%と非常に高かった。
○居住地別の満足度では、県内、県外からの来場者の満足度が高い

○芸術祭への再訪意向度



○再訪意向について、77%の方が前向きであった。

■ボランティアサポーター 登録者数 870人 活動参加延べ数 2,776人

■食 地彩レストラン「おこひる公堂」ほか

■二次交通 市内交通事業者による周遊バス等の運行ほか

■連携事業 パートナーシップ事業 19事業

■美術館連携 15館

■資金調達 協賛金については、対前回比約165%、国補助金については文化庁等へ要請

■経済効果の分析（一般財団法人長野経済研究所による調査分析結果）

○長野県内における経済波及効果額 4.0億円

○大町市における観光消費総額 2.1億円

○日帰り客一人当たり消費額 4,489円

○宿泊客一人当たり消費額 28,452円

○信濃大町アーティスト・イン・レジデンス

■新型コロナウイルス感染症の影響で事業未実施

・あさひAIRの施設整備

・以前のAIR事業の招聘作家の中から芸術祭参加作家が生まれた

◆ 前年からの改善点等

あり

○北アルプス国際芸術祭

■実行委員会内に新型コロナウイルス感染症対策特別部会の設置

■県内向けに広報・PRの強化

■来場者の健康チェック、感染対策の徹底、アートサイトの定員設定など

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 107

担当課	民生部 福祉課	庶務係	款 3	民生費
事務事業名	総合福祉センター管理事業			項 1 社会福祉費 目 1 社会福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁 68
施策目標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進			前年度評価 方向性 継続
施策項目	地域福祉の推進			
個別計画	大町市地域福祉計画			

事業の目的	対象	子どもから高齢者、障がいのある人もない人も、誰もが安心して利用できる施設の運営。	意図	民間のノウハウと発想を活用した運営、3つの総合福祉センターの連携強化、市民ニーズを的確にとらえた弾力的なサービス提供により、効果的・効率的な施設の運営を図る。
-------	----	--	----	---

事業の内容	民間活力導入のための指定管理者制度の導入 大町市総合福祉センター（平成14年10月開設） 平成18年度から導入 八坂総合福祉センター（平成9年4月開設） 平成18年度から導入 美麻総合福祉センター（平成11年9月開設） 平成24年度から導入
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	43,669,846	43,415,186	59,965,603	16,550,417	38.1%
	財源内訳	特定財源 37,000		17,765,000	17,765,000	皆増
	一般財源	43,632,846	43,415,186	42,200,603	-1,214,583	-2.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
61,528,000				61,528,000	59,965,603	
不用額	特定財源	内訳	金額	17,765,000		
1,562,397						

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○各施設の利用状況

施設名	項目	開設日数	利用実績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	313日	延べ25,318人（80.9人/日）
	会議室等貸館	295日	延べ1,472団体（5.0団体/日） 延べ8,474人（28.7人/日）
八坂総合福祉センター	デイサービス	257日	延べ4,218人（16.4人/日）
美麻総合福祉センター	デイサービス	258日	延べ5,293人（20.5人/日）
	会議室等貸館	227日	延べ111団体（0.5団体/日） 延べ1,542人（6.8人/日）

○年末年始公衆浴場臨時営業（10：00～17：00 1/3のみ13：00～17：00）

・12月29日 80人 ・12月30日 64人 ・1月3日 48人

※例年実施していた1月3日のお汁粉の振舞いは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

○公衆浴場無料開放デー

※例年、子どもの日・敬老の日に実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	107 109
----	------	------	------------

担当課	民生部 福祉課	庶務係	款	3	民生費	
事務事業名	市社会福祉協議会助成事業			項	1	社会福祉費
			目	1	社会福祉総務費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	68	
施策目標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	地域福祉の推進					
個別計画	大町市地域福祉計画					

事業の目的	対象	社会福祉法人 大町市社会福祉協議会	意図	社会福祉協議会の組織体制の充実と事業運営の強化を図る。
-------	----	-------------------	----	-----------------------------

事業の内容	大町市における社会福祉事業の遂行を総合的に担う社会福祉協議会へ補助金を交付し、大町市地域福祉活動計画の実施に向けた援助・支援を行う。 対象：法人運営事業・ふれあい福祉センター運営事業・ボランティアセンター運営事業・心配ごと相談事業
-------	--

決算数値（単位：円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
事業費	総事業費（決算額）	21,649,000	21,649,000	21,808,000	159,000	0.7%
	財源内訳				0	-
	一般財源	21,649,000	21,649,000	21,808,000	159,000	0.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
21,808,000				21,808,000	21,808,000	
不用額	特定財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 第4次地域福祉活動計画の策定
計画年度 令和4年度～8年度
 - ボランティア活動状況
登録ボランティア団体 107団体 6,121人
小地域福祉ネットワーク数 46団体
 - ◆ボランティア研修会の開催
ボランティアリーダー研修会 3/11
大北ボランティア地域活動フォーラム 10/4
 - ◆ボランティア講座の開催
保育サポーター講座 5/26 7/1
サマーチャレンジボランティア 7/30～8/17（8日間）
 - ◆小地域福祉ネットワーク研修会の開催
「みなさんの活動の感染予防対策を一緒に考えます」 8/6
 - 心配ごと相談
毎月2回開設
相談件数 54件
- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 111

担当課	民生部 福祉課	福祉係	款 3	民生費
事務事業名	その他障害者福祉サービス事業			項 1 社会福祉費 目 2 障害者福祉費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画掲載頁 23
施策目標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進			前年度評価 方向性 継続
施策項目	障がい者福祉の推進			
個別計画				

事業の目的	対象	障がい者（児）の福祉に関わる法に基づき、障害種別に関わらず日常生活や社会生活を営むために必要な福祉サービス等を受けることが出来る。	意図	障がい者が住み慣れた地域、または住みたい場所で生活を続けることができ、必要な支援等が円滑に受けられる。地域において役割をもったり担い手となったり、また見守りあえたりする。意思が尊重され自己決定ができ、権利が擁護される。出来るだけ自立した生活を可能とする。
-------	----	---	----	---

事業の内容 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する為に定められた地域生活支援事業及び市単独事業等。地域生活支援事業の主な内容は、障がい者（児）の個々のニーズに合った相談支援体制確保のため、平成28年度より北アルプス連携自立圏事業として大北圏域障害者総合支援センター（スクラムネット）の相談支援業務の委託事業、地域活動支援センター利用事業、日常生活用具給付事業、日中一時支援支援事業等。市単独事業としては福祉タクシー券交付事業

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	55,413,687	59,423,529	60,111,005	687,476	1.2%
	財源内訳					
	特定財源	23,297,843	25,489,000	24,531,000	-958,000	-3.8%
	一般財源	32,115,844	33,934,529	35,580,005	1,645,476	4.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
60,164,000	1,890,000			62,054,000	60,111,005	
不用額	特定財源	細節名	地域生活支援事業補助金（国庫）	地域生活支援事業補助金（県費）	北アルプス連携自立圏町村負担金	地域福祉総合助成金
1,942,995	内訳	金額	11,127,000	5,563,000	7,141,000	700,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 障害者総合支援法による地域生活支援事業
 - ・ 相談支援事業 大北圏域障害者総合支援センターを、北アルプス連携自立圏事業で事業委託。相談支援件数 551件（大町市分）。自立支援協議会事務局も運営し、圏域内の課題解決や改善に向け取り組んでいる。 委託料 12,665,000円
 - ・ 意思疎通支援事業 情報保障のための手話通訳、要約筆記者の派遣を実施。要約筆記者派遣 延回数 11回 81,111円
 - ・ 成年後見制度利用支援事業 後見人報酬 1名 233,000円、申立費用扶助 1名 14,840円
 - ・ 日常生活用具給付事業 在宅生活を継続するうえで必要な用具等を給付している。給付件数 829件 8,057,111円
 - ・ 地域活動支援センター 日中の場、社会適応訓練、入浴介助等を実施。市内事業所 2か所。延利用人数 558人 20,395,424円
 - ・ 移動支援事業 外出先での支援が必要な方に対し実施。延384時間 1,243,389円
 - ・ 訪問入浴サービス 延19回 233,750円
 - ・ 日中一時支援事業 介護者の負担軽減 延利用人数 2,655人 10,209,560円
 - ・ 点字・声の広報等発行事業 50,000円

○ その他事業

- ・タイムケア事業 延1,297時間 625,640円
- ・介護者慰労金 22人 2,200,000円
- ・福祉タクシー券配布 利用枚数3,131枚 2,584,100円
- ・介護用品券 延78件 233,897円
- ・支援員派遣 3件 86,166円
- ・自動車改造 1件 100,000円

◆ 事業の成果

・各種事業の実施により、障がいのある方が安心して外出し、一定の役割を担い、作業をしたりすることができ、生きがいをもって生活することを可能としている。また支援サービスの利用が介護者の負担軽減につながっている。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	111 113
----	------	------	------------

担当課	民生部 福祉課	高年齢者・介護保険係	款	3	民生費	
事務事業名	高齢者福祉一般経費			項	1	社会福祉費
				目	3	高齢者福祉費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画掲載頁	65	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築					
個別計画	第8期高齢者福祉計画					

事業の目的	対象	高年齢者・児童及び地域住民を対象	意図	高齢者福祉、放課後児童健全育成事業及び三世交代事業を通じて、まちづくりに貢献する。
-------	----	------------------	----	---

事業の内容
ふれあいプラザの管理について、JAが指定管理者として平成18年度より管理を行う。入浴事業、貸館業務のほか市が委託する高齢者総合窓口としての地域包括支援センターや介護保険事業者として訪問介護事業を運営を行っている。また、南小児童クラブの活動の場所となっている。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		7,646,083	7,027,947	7,247,297	219,350	3.1%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	7,646,083	7,027,947	7,247,297	219,350	3.1%

令和3年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,535,000				7,535,000	7,247,297	
不用額	特定 財源	細節名				
287,703	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 多くの利用者が利用できるよう土日祝日も開館し、年間359日の開館に取り組んでいる。
- 市が委託する南部地域包括支援センターや指定管理者独自事業として、訪問介護事業所を置き地域に密着したサービスを提供している。
- 施設の有効活用として、自主事業の開催を実施
- 施設利用者へのアンケートを実施し、利用者の要望や意見を聞いている。

◆ 事業の成果

- 新型コロナウイルス感染症の心配があったが、利用者数は5,292人あり、432名109%の増加となり、地域に密着した施設としての役割を担っている。
- 施設利用は、感染予防のため利用制限を行い、前年比約35%278人の減少となってしまった。
- 自主事業としてシルバーフェスティバルを開催するなど、施設を有効活用した事業の開催にも取り組んでいる。
- 利用者アンケートからいただいた意見等について、早期改善の対応を実施した。

◆ 前年からの改善点等

なし

担当課	民生部 福祉課	高年齢者・介護保険係	款	3	民生費	
事務事業名	高齢者施設入所費			項	1	社会福祉費
				目	3	高齢者福祉費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築					
個別計画	第8期高齢者福祉計画					

事業の目的	身体的、精神的、環境的及び経済的理由により家庭で生活することが困難な方が入所している養護老人ホームに対し入所費を扶助する	意図	養護老人ホーム入所費扶助
-------	--	----	--------------

事業の内容	養護老人ホーム鹿島荘ほか施設入所費の扶助
-------	----------------------

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	72,698,713	78,778,113	79,023,259	245,146	0.3%	
	財源内訳	特定財源	11,037,321	12,568,660	13,770,746	1,202,086	9.6%
	一般財源	61,661,392	66,209,453	65,252,513	-956,940	-1.4%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
86,731,000	0	0	1,005,796	87,736,796	79,023,259	0
不用額	特定財源	内訳	金額	老人措置費負担金		
8,713,537	内訳	金額	13,770,746			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
令和3年3月末現在入所者数
鹿島荘 30人
安曇寮 1人
松風園 1人

- ◆ 事業の成果
経済的理由等による養護老人ホーム入所者へその費用を扶助することにより、自立した請託を送り、社会復帰に向けた支援を実施している。

- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

		会計	一般会計	決算書頁	113 115
担当課	民生部	福祉課	高齢者・介護保険係	款	3
事務事業名	高齢者福祉事業費			項	1
				目	3
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期高齢者福祉計画				

事業の目的	対象	高高齢者の社会参加や在宅生活支援	意図	高高齢者の生活の充実と在宅を継続できる支援を行う
-------	----	------------------	----	--------------------------

事業の内容	高齢者の在宅生活支援 ・敬老祝金や介護者慰労金の支給 ・陶芸の家の開設 ・地区敬老会、シルバー人材センター、寝たきり高齢者等移送サービス支援、住宅改良助成、シニアクラブへの補助金 助成 ・福祉タクシー券、介護用品券、短期宿泊支援等
-------	--

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		33,839,026	64,076,623	52,468,296	-11,608,327	-18.1%
	財源内訳	特定財源	3,182,168	10,845,572	1,461,550	-9,384,022	-86.5%
		一般財源	30,656,858	53,231,051	50,694,724	-2,536,327	-4.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
62,321,000	0	0	-1,883,524	60,437,476	52,468,296	
不用額	特定財源	内訳	金額	高齢者地域支え合い支援事業補助金	生活管理短期宿泊利用者負担金	陶芸の家利用者実費徴収金
7,969,180	内訳	金額	766,000	614,550	81,000	

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - ・敬老祝い金の贈呈(88歳10,000円、99歳20,000円、100歳以上10,000円)
 - ・陶芸の家の開設
 - ・高齢者にやさしい住宅改良補助金の交付;介護認定を受けた高齢者の住宅改修への助成
 - ・シニアクラブへの活動支援
 - ・福祉タクシー券の交付;要支援から要介護2までの認定を受けた高齢者で、前年度所得税非課税世帯に対しタクシー券を交付して移動支援を行う。
 - ・介護用品引換券交付事業;在宅で介護が必要な人及びその介護者におむつ券の交付を行う。
- ◆ 事業の成果
 - ・敬老祝金(88歳10,000円 228人、99歳20,000円 37人、100歳以上10,000円 50人)
 - ・陶芸の家受講者:27人参加 親子陶芸教室:8/7 20人参加、8/8 28人参加 陶芸教室:10/23 11人参加
 - ・高齢者にやさしい住宅改良補助金件数:2件
 - ・シニアクラブ活動助成:連合会1団体、単位クラブ22団体・1,036人
 - ・山雅健康運動教室:全10回 参加者数65人 延べ316人
ノルディックウォーキング教室全16回 参加者数39人 延べ351人
 - ・福祉タクシー券交付:交付数162人
 - ・介護用品引換券交付事業:交付者数267人
- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	115 117
----	------	------	------------

担当課	民生部 福祉課	社会就労センター 係	款	3	民生費	
事務事業名	社会就労センター運営管理費			項	1	社会福祉費
				目	4	授産所費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画掲載頁	69	
施策目標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	障がい者福祉の推進					
個別計画	第4次大町市地域福祉計画					

事業の目的	知的・精神・身体等の障がいにより一般就労が困難な者や、世帯の事情等により就業能力の限られている者、生活困窮者。	意図	就労の場を提供し、技術を習得することにより、利用者の自立助長及び生活の安定を図る。
-------	---	----	---

事業の内容	施設授産（定員30名）と家庭授産（定員10名：現在0名）で、障がい者のほか要保護者等生活困窮者が利用している。受託作業の主なものは、電気部品の組み立て、機械部品の一部加工、食品やお土産及び洗髪剤の包装袋詰め、ギフト化粧箱の作成及びパンフレット組み込み等である。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		31,753,661	27,542,749	26,136,322	-1,406,427	-5.1%
	財源内訳	特定財源	31,218,169	26,967,862	24,727,603	-2,240,259	-8.3%
		一般財源	535,492	574,887	1,408,719	833,832	145.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
33,399,000	-4,000,000			29,399,000	26,136,322	869,000
不用額	特定財源	細節名	社会就労センター受託事業収入	授産所施設費負担金		
2,393,678	内訳	金額	7,370,263	17,357,340		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 令和3年度就労センター利用状況（重複あり）

利用指標	数値
・令和3年度実利用者数	25人
・令和3年度月別実人数（最大）	23人
・うち障がい者利用者年間実人数	13人
・うち生活保護法による年間利用者実人数	17人
・開設日数	234日
・利用延日数	4,129日
・作業受託費合計	7,370,263円
・年間一人当たり受託費（最大利用者実人数）	320,000円



◆ 事業の成果

* コロナウイルス感染拡大等による受託量の減が続く中ではあったが、新規2社の受注契約ができた。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計 一般会計 決算書頁 117

担当課	民生部 福祉課	美麻福祉企業センター 係	款	3	民生費
事務事業名	美麻福祉企業センター運営管理費			項	1
			目	4	授産所費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	69
施策目標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進			前年度評価 方向性	継続
施策項目	生活困窮者への支援の推進				
個別計画	第4次大町市地域福祉計画				

事業の目的	対象	身体及び知的等の障がいにより一般就労が困難な人、また、就業機会や就業能力に限りがある被・要保護者	意図	就労の場所を提供し、技術を習得することにより、利用者の自立の助長及び生活の安定を図る。 また、過疎地における数少ない就業の場所を確保する。
-------	----	--	----	--

事業の内容	○施設授産（定員30名）で、障がい者及び生活保護法上の被・要保護者等生活困窮者が利用している。 ○主な受託作業 ・段ボール、プラスチック段ボールの組立加工 1社 ・金属磨き、罫書加工 1社 ・化粧箱組立加工 3社 ・ICF切断加工 1社 ・ハーネス、ケーブルの切断、端末処理 1社 ・ICチップ検査 1社				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		35,028,171	34,483,689	35,804,951	1,321,262	3.8%
	財源内訳	特定財源	30,632,089	28,930,071	29,772,561	842,490	2.9%
一般財源		4,396,082	5,553,618	6,032,390	478,772	8.6%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
34,488,000	2,100,000			36,588,000	35,804,951	
不用額	特定財源	細節名	授産所施設費負担金	福祉企業センター受託事業収入		
783,049	内訳	金額	12,019,280	17,753,281		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○美麻福祉企業センター

利用指標	数値
・令和3年度延べ実利用者数	23人
・令和3年度利用者数実人数（最大）①	22人
・利用延べ日数 ②	4,192日
・年間利用者平均利用日数 ②/①	190日
・作業受託費合計 ③	17,753,281円
・年間一人当たり受託費 ③/①	806,967円

◆ 事業の成果

○受託作業収入では、令和2年度に引き続き取引事業者への新規作業の受注を働きかけた結果、コロナウイルスの感染が拡大する中で、前年度に比較し、約1か月分1,340千円余の増収となった。

◆ 前年からの改善点等

あり

○旧美麻村の特殊事情から利用者の送迎を行ってきた経過があるが、令和3年度中に関係者との調整を行った結果、令和4年4月から利用者送迎を取りやめ、市営バスや自家用車の利用による通所に切り替えることに決した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部 市民課	国保年金係	款 3	民生費
事務事業名	福祉医療給付一般経費			項 1 社会福祉費
			目 6	福祉医療給付費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁 65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価方向性 継続
施策項目	安心して受けられる医療の確保			
個別計画				

事業の目的	対象	子ども、障がい者、母子・父子家庭の福祉医療受給者を対象に医療費を給付する。	意図	福祉医療受給者の医療費の負担軽減を行うことにより、安心して医療を受けられる環境を確保する。
-------	----	---------------------------------------	----	---

事業の内容
 医療機関に受診した後、約3か月後に保険診療分の窓口自己負担相当額を給付する。給付時には1レシート当たり500円を自己負担として差し引く。対象区分によって、県の2分の1補助制度がある。それ以外は市の単独事業として実施。高校卒業までの子ども医療費は現物給付方式より、保険医療機関等の窓口で月500円のみを支払い受診できる。

決算数値 (単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費 (決算額)		223,252,969	205,035,178	214,338,143	9,302,965	4.5%
	財源内訳	特定財源	76,262,267	67,219,008	83,359,136	16,140,128	24.0%
		一般財源	146,990,702	137,816,170	130,979,007	-6,837,163	-5.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額	
228,867,000	-10,489,000	0	0	218,378,000	214,338,143		
不用額	特定財源	内訳	金額	乳幼児医療費補助金ほか	福祉医療費資金貸付金元金	過年度分福祉医療費特別給付金返還金	ふるさと応援基金繰入金
4,039,857	内訳	金額	70,624,880	5,383,930	2,330,326	5,020,000	

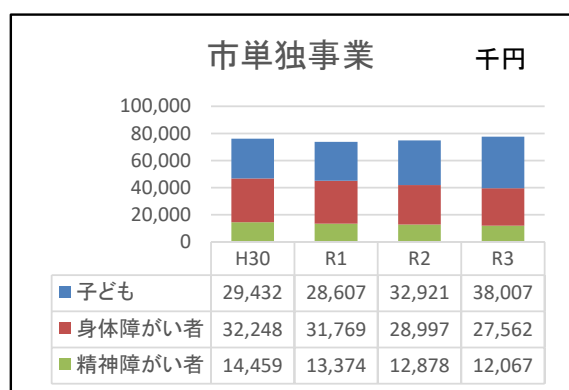
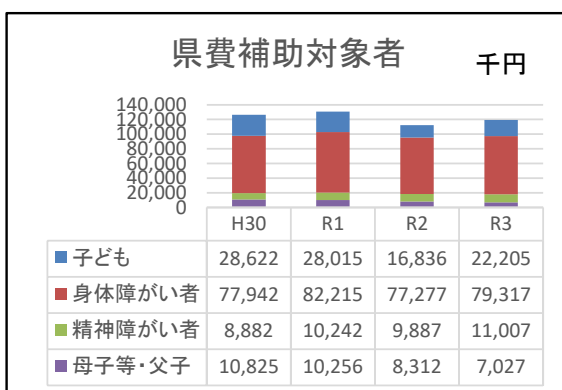
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○受給者証交付者数 (年度末現在)

区分/年度	H29	H30	R1	R2	R3	
県補助対象者	4,473	4,377	4,377	4,113	3,999	
内訳	子ども	(2,810)	(2,706)	(2,610)	(2,533)	(2,476)
	重度心身障害者医療	(1,206)	(1,236)	(1,223)	(1,226)	(1,193)
	母子等	(430)	(415)	(396)	(337)	(312)
	父子等	(27)	(20)	(21)	(17)	(18)
市単独事業分	669	678	558	1,293	1,155	
計	5,142	5,055	4,935	5,406	5,154	

◆ 事業の成果



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	119 121
----	------	------	------------

担当課	民生部 福祉課	地域包括支援センター係	款	3	民生費	
事務事業名	介護予防包括的支援事業			項	1	社会福祉費
				目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築					
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画					

事業の目的	高齢者及びその家族 ・元気高齢者 ・基本チェックリスト該当者（事業対象者含む） ・要支援認定者 ・介護者家族等	意 図 高齢者の心身の健康の保持、介護予防の取組及び生活の安定のために、権限な援助を行うとともに、高齢者の権利を守り、居宅において自立した日常生活を営むことができるよう自立支援する。
-------	---	---

事業の内容
 市内に3つの地域包括支援センターを設置し、それぞれ3職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）を中心とし、高齢者の保健・医療・福祉・介護の多様な面から生活を支える総合支援窓口として活動（直営1ヶ所、委託2ヶ所）。
 ・地域包括支援センター運営を市内の2法人に業務委託（総合相談、介護予防支援、権利擁護業務等）
 ・直営の行う介護予防支援業務（ケアプラン作成）について、一部を居宅介護支援事業所へ業務委託

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	42,287,036	39,503,210	39,482,880	-20,330	-0.1%
	財源内訳					
	特定財源	42,287,036	39,503,210	39,482,880	-20,330	-0.1%
	一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
45,172,000	-5,688,000	0	0	39,484,000	39,482,880	0
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	予防計画費収入		
1,120	内訳	金額	33,533,010	5,949,870		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○総合相談支援業務

家族介護者への相談支援数

大町市地域包括支援センター	279
北部地域包括支援センター	337
南部地域包括支援センター	113

○包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

実践力向上等研修会・法定外研修の開催	実践	法定
成年後見制度実務者基礎研修（7/13）	21	0
介護予防ケアマネジメント新規事業所研修会（8/11）	8	5
地域ケア会議兼法定外研修（3/28）	14	2

○地域ケア会議の開催

地域ケア会議の類型	回数	参加者数（延べ）
自立支援型（個別）	3	58
対話型（個別・推進）	3	50
ネットワーク型	2	11

○権利擁護業務

高齢者虐待対応件数（重複あり）

身体的虐待	1
放棄的虐待	0
心理的虐待	1
性的虐待	0
経済的虐待	1
虐待事実なし	6

○介護予防ケアマネジメント・介護予防支援委託する際のセンターの関与数（延べ）

大町市地域包括支援センター	854
北部地域包括支援センター	458
南部地域包括支援センター	462

◆ 事業の成果 「地域・介護保険・サービス及び一人ひとりの地域生活の持続可能性の高まり」

○人口当たり新規認定率（1号被保険者） 単位：（%）

	北部	直営	南部	市全域
令和2年3月	1.8	1.9	1.8	1.9
令和3年3月	1.7	1.8	2.8	2.2
令和4年3月	1.8	1.9	1.7	1.9

○1号被保険者 要介護認定率

	市	県	全国
令和元年度	17.0	17.2	18.5
令和2年度	17.1	17.2	18.6
令和3年度	16.8	-	-

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・地域包括支援センターの機能強化の視点、
- ・地域包括ケアシステムの目指すビジョン目標、指標

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部 福祉課	地域包括支援センター 係	款	3	民生費
事務事業名	通所型介護予防事業			項	1
			目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	やり方改 善
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期大町市高齢者計画				

事業の目的	対象 要支援認定者 事業対象者 介護予防が必要な高齢者	意図 高齢者の認知、運動機能維持改善を目的に通所型の介護 予防事業を行う。
-------	--------------------------------------	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 通所型サービスC（短期集中事業） 複合体操教室（自治会単位） 一般介護体操予防教室 自主活動団体育成補助事業
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		6,835,389	5,037,376	7,056,478	2,019,102	40.1%
	財源内訳	特定財源	6,835,389	5,037,376	7,056,478	2,019,102	40.1%
		一般財源				0	-

令和3年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,476,000	-6,266,000	0	0	7,210,000	7,056,478	0
不用額	特定 財源	細節名	地域支援事業費 受託金	筋力トレーニング 利用者実費徴収金		
153,522	内訳	金額	6,728,478	328,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 通所型サービスC（短期集中事業）
 - 実施期間3か月（1回/週、連続12回）、実人員16人、延べ156人、
 - 委託事業所 市立大町総合病院、リセット（大町病院は予防接種のため施設利用できず実施なし）
 - 複合体操教室（自治会単位）
 - 実施自治会 14か所（新規4か所）、実人員276人、延べ1816人、
 - 委託事業所 NPO法人健學塾、リセット、株）フライクス
 - 一般介護体操予防教室
 - 実施回数 1コース20回 2コース実施（まん延防止法適応中休止のため、4年6月に2コース目終了）
 - 実人員39人、延べ513人（1コース定員20人）、委託事業所 NPO法人健學塾
 - 自主活動団体育成補助事業
 - 補助金交付団体数28団体（内新規4団体）
 - 実人員373人、延べ6966人、実施回数703回
 - 内容 体操、ダンス、趣味活動、トレッキング、ものづくり、外出
- ◆ 事業の成果

まん延防止法適用中の事業中断はあったが、感染防止の為に工夫を凝らした事業が活発に展開されたことにより通所型介護予防事業が介護保険サービスの利用抑制に効果的であったと考えられる。

介護保険統計次ページ
- ◆ 前年からの改善点等 あり

広報で、複合体操教室および自主活動団体の紹介記事を掲載し新たな申請があった。

複合体操教室は人気が高いものの、代表者不在の自治会では実施困難のため、地区を限定しない一般介護予防体操教室を開始した。

事業の実績・成果

・通所型サービスC（短期集中事業）短期評価

事業参加前後体力測定 握力平均1kg向上、歩幅7cm向上（立ち上がり、片足立ちテスト不変）

握力は全身の筋肉量を、歩幅は柔軟性や体幹バランスを反映する。

事業終了後の状況 参加実数16人

改善 10人（4年度フォロー事業参加3人、リハビリ特化型デイサービス利用1人、自費利用3人）

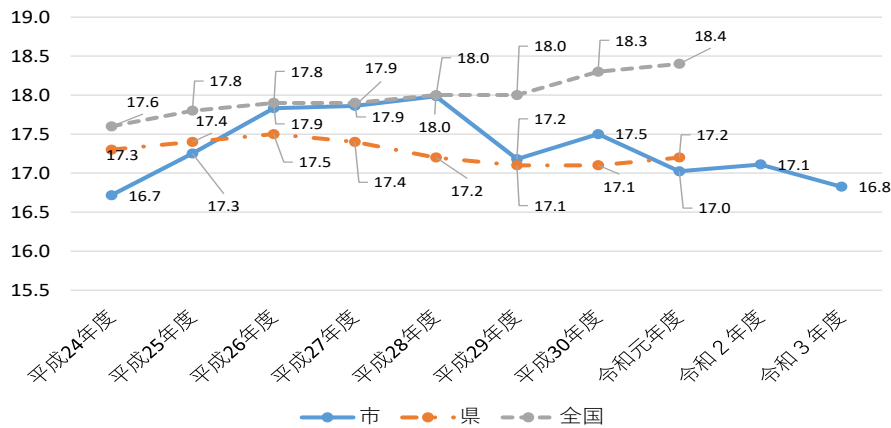
不変 2人（リハビリ特化型デイサービス利用1人、サービス調整中1人）

悪化 1人（要介護Ⅰ認定）

利用中断 3人

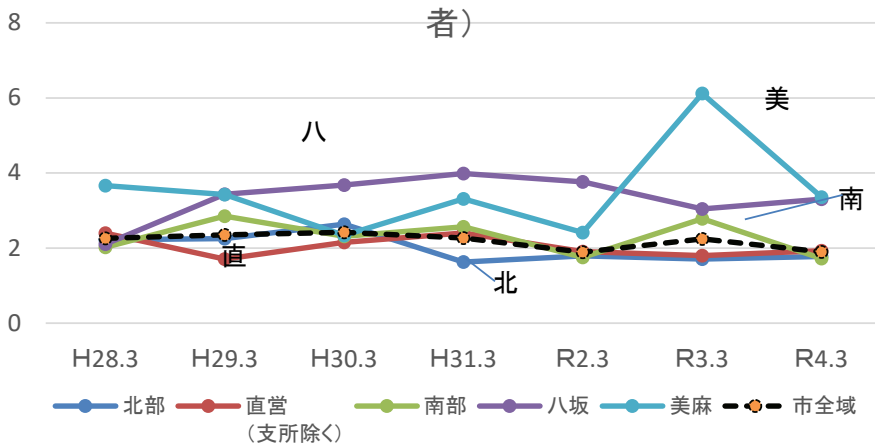
・中期評価 要介護認定状況

1号被保険者 年度別要介護認定率推移



1号被保険者の要介護認定率は、低下傾向。

包括別 人口当たり新規認定率(%) (1号被保険者)



包括別の新規認定率は、担当包括毎に増減はあるが、市全域（点線）は低下傾向。

年度別新規認定者数

	北部	直営 (支所除く)	南部	八坂	美麻	市全域
平成28年度	75	70	62	6	13	226
平成29年度	77	50	88	10	12	237
平成30年度	91	63	72	11	8	245
平成31年度	56	71	80	12	11	230
令和元年度	62	56	55	11	8	192
令和2年度	59	53	88	9	20	229
令和3年度	61	57	54	10	11	193

担当課	民生部 福祉課	地域包括支援センター 係	款	3	民生費
事務事業名	訪問型介護予防事業			項	1
			目	7	社会福祉費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期大町市高齢者計画				

事業の目的	対象 要支援認定者 要支援、要介護認定を受けない虚弱高齢者	意図 継続的な定期訪問により保健指導、介護者支援をおこない、重度化予防を図る。
-------	-------------------------------------	--

事業の内容	看護師および管理栄養士による個別訪問指導。
-------	-----------------------

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		3,678,589	1,804,233	1,763,419	-40,814	-2.3%
	財源内訳	特定財源	3,678,589	1,804,233	1,763,419	-40,814	-2.3%
		一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,223,000	-3,426,000	0	0	1,797,000	1,763,419	0
不用額	特定財源内訳	金額	地域支援事業費受託金			
33,581			1,763,419			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

看護師訪問指導		(訪問対象者45人)												
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	実	23	21	21	26	14	19	29	22	31	5	7	21	239
	のべ	31	23	26	29	14	21	31	26	33	6	9	26	275
電話	実	5	5	3	4	7	1	2	0	2	17	10	0	23
	のべ	5	5	3	4	7	1	2	0	2	18	10	0	57
栄養士訪問指導		(対象者実数26人)												
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	実	7	6	7	7	6	2	1	2	3	0	1	1	43
	のべ	8	21	10	10	8	2	3	4	6	0	1	1	74

◆ 事業の成果

制度の狭間にある虚弱高齢者を定期訪問し、栄養改善、服薬指導、バイタルチェック、生活相談をおこない、自立期間の延伸に寄与している。特に、孤独感から妄想性障害を生じ在宅生活が危ぶまれる者との信頼関係を築き、医療機関、薬局との連携支援により自立期間を延伸している。

看護師訪問指導の3年度終了者11人の平均実施期間60.7月（約5年半）。終了理由は、介護保険サービス開始7人、逝去3人、居宅療養管理にひきつぎ1人。

◆ 前年からの改善点等

あり

管理栄養士の配属に伴い、個別栄養相談が可能となった。高齢者支援の他、ケアマネジャー等の専門職支援も進んでいる。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	121
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター 係	款	3
事務事業名	介護予防普及啓発事業			項	1
				目	7
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	やり方改 善
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画				

事業の目的	対象	通いの場（自主活動団体）参加者	意図	減塩・薬物治療により循環器疾患の発症と重症化を予防し、介護・療養費を抑制すると共に、健康寿命を延伸する。
-------	----	-----------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 保健センターと連携実施。当所はポピュレーションアプローチを担当し、通いの場1箇所につき2回巡回し、塩分摂取量測定等を行い血圧管理を自ら出来るよう啓発を行う。
-------	---

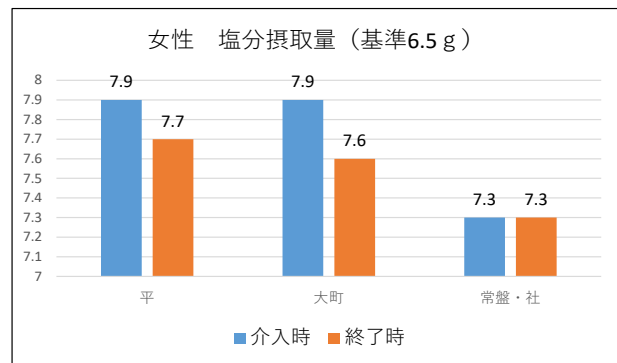
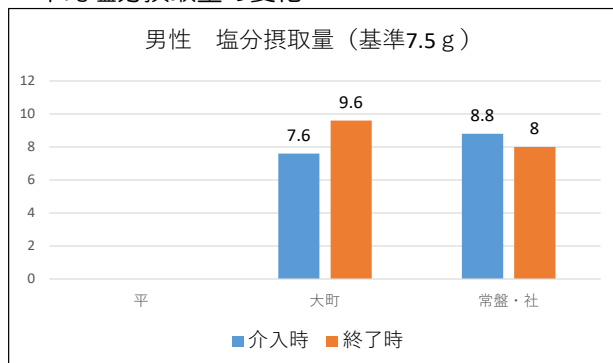
決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		292,579	181,318	333,353	152,035	83.8%
	財源内訳	特定財源	292,579	181,318	333,353	152,035	83.8%
		一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
387,000	-75,000	0	92,100	404,100	333,353	
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金			
70,747	内訳	金額	333,353			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
地区巡回による尿中塩分量測定、減塩学習会を実施。
参加実人数264人、延べ人数498人、尿中塩分量測定実施数 介入時214人 終了時216人

- ◆ 事業の成果
平均塩分摂取量の変化



冬期間は概して塩分摂取量が増加しがちであるが、介入時の減塩学習を受けそれぞれが改善を図り、特に女性では塩分摂取量が減少した。

- ◆ 前年からの改善点等 あり
健康自認状況把握の為に、後期高齢者の質問票を全数実施し、フレイルリスクの高い者への個別支援実施した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部 福祉課	地域包括支援センター 係	款	3	民生費
事務事業名	家族介護支援事業			項	1
			目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画				

事業の目的	対象	在宅で要介護者等を介護している人 全市民（認知症の普及啓発）	意図	(1) 介護者の心身の疲れを癒し元気の回復を図る。 (2) 認知症の理解を進め、共に住み慣れた地域で済み続けられる環境づくりをする。
-------	----	-----------------------------------	----	---

事業の内容	(1) 家族介護支援事業（在宅介護者リフレッシュ事業） (2) 認知症の啓発活動（認知症サポーター養成講座）
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		276,209	312,500	389,580	77,080	24.7%
	財源内訳	特定財源	276,209	312,500	389,580	77,080	24.7%
		一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,002,000	-602,000	0	0	400,000	389,580	0
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金			
10,420	内訳	金額	389,580			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - (1) 家族介護支援事業
 - 在宅介護者リフレッシュ事業（開催4回、延べ参加数57人）
 - 北部・南部包括：各々1回。コンサート、食事会、芸術祭アートサイト勸奨、紅葉狩りなど。
 - 市直営包括：2回 市内小旅行、フラワーアレンジメント、食事会など。
 - 認知症サポーター養成講座（開催1回、参加数42人）
 - 対象：大町北小学校3年生42人

- ◆ 事業の成果
 - 在宅介護者リフレッシュ事業は、いずれも、コロナ禍にあり感染防止対策を十分に行い開催した。参加者アンケートでは、十分なリフレッシュができ良い時を過ごすことができたという感想が多く、ケアマネジャーの協力により介護者が安心して参加できる環境づくりもあり、介護者支援が図られた。
 - 認知症サポーター養成講座は小学生への実施となり「お年寄りには笑顔で接したい、困っているお年寄りには声をかけたい。正面から声をかけたい。」など高齢者の困り感を理解した感想が多く寄せられ、地域で認知症の方を支える環境づくりの一環として有効であった。

- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	121 123
----	------	------	------------

担当課	民生部 福祉課	地域包括支援センター 係	款	3	民生費	
事務事業名	成年後見制度支援事業			項	1	社会福祉費
			目	7	地域支援事業費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築					
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画					

事業の目的	対象	認知症や知的・精神障がい等によって、物事を判断する能力が十分ではない人及びその親族	意図	成年後見制度等の権利擁護を目的とする制度の利用により、本人の尊厳を保持し、その人らしく自立した生活が継続できる。
-------	----	---	----	--

事業の内容	①成年後見支援の運営業務（広域連携自立圏事業として大町市社会福祉協議会へ業務委託） ・成年後見制度に関する相談、支援、普及啓発 ・法人としての成年後見受任、後見支援員の育成 ②金銭管理や契約行為に支援が必要な人に対する日常生活自立支援 ③成年後見制度の申立てを行う親族がいない場合の市長申立て ④成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		5,597,000	5,635,000	7,468,290	1,833,290	32.5%
	財源内訳	特定財源	4,367,500	4,399,000	4,590,000	191,000	4.3%
一般財源		1,229,500	1,236,000	2,878,290	1,642,290	132.9%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,755,000	-1,286,000	0	0	7,469,000	7,468,290	0
不用額	特定財源	細節名	広域連携推進事業交付金	北アルプス連携自立圏事業負担金	地域支援事業費受託金	
710	内訳	金額	1,229,000	3,177,000	184,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 成年後見制度の普及・啓発
 - 普及啓発研修会の開催 2月25日「やさしくわかる成年後見制度」（25名参加）
 - 広報紙、パンフレット、ホームページによる制度の説明、相談会等の広報を実施
- 成年後見制度に関する相談・支援 103件
 - 常設相談員による相談・支援（83件） 無料相談会（毎月開催）への相談（20件）
 - 認知症高齢者（41件） 知的障がい者（6件） 精神障がい者（16件） その他（20件）
- 法人としての成年後見受任（年度末） 16件（後見12件、保佐4件）
 - 小委員会（法人後見受任適否）の開催 3回
- 金銭管理や契約行為に支援が必要な人の日常生活自立支援 年度末契約者36件
 - 年度末契約者36件（内訳：認知症高齢者 10件 知的障がい者 12件 精神障がい者 14件）
- 成年後見制度の申立てを行う親族等がいない場合の市長申立て
 - 市長申立てに向けた親族調査・意向確認（4件）
- 成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用扶助
 - 成年後見制度利用支援事業実施要綱に基づく助成（1件）

◆ 事業の成果

- コロナ禍で先行不透明な時期にあり、研修会の回数は増やせなかったものの、参加者は増加し、広報や無料相談会での普及・啓発の取り組みを強化し、一般市民の方にも制度の理解が広がった。
- 実務担当者基礎研修及び実践力強化研修を開催したことで、人材育成の強化が図れ、介護サービス事業所からの参加もあり、多くの人に知識を深めていただいたことで、制度の利用促進につながった。
- 後見報酬の助成制度があることで、報酬を支払うことが困難な人にも後見人が選任されている。

◆ 前年からの改善点等 あり

北アルプス圏域における権利擁護の地域連携ネットワーク構築に向け、各種会議や視察研修等を通して、関係者間の連携強化を図るとともに、北アルプス連携自立圏福祉専門部会では、中核機関の機能強化について、次年度以降段階的に整備していく方針を確立した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部 福祉課	地域包括支援センター 係	款	3	民生費
事務事業名	地域自立生活支援事業			項	1
			目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画				

事業の目的	①ひとり暮らし高齢者または高齢者世帯。 ②閉じこもりがちな高齢者等、地域での見守りが必要な高齢者。	意図	福祉サービス等の活用により、高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる支援を行う。 地域での見守りや、地域活動への参加により、社会との交流機会を維持する。
-------	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 配食サービス：栄養バランスの取れた食事の配達と安否確認。 緊急通報システム：本人や家族の希望により機器を設置し、24時間体制で安否確認、緊急時対応を行う。 生活支援員派遣事業：介護保険制度で行う家事援助以外の軽易な家事支援。（通院介助、雪かき支援等） 生活支援体制整備推進事業：生活支援コーディネーター（SC：地域支え合い推進員）の配置。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	18,793,030	30,131,046	31,574,320	1,443,274	4.8%	
	財源内訳	特定財源	13,964,650	26,512,446	28,685,000	2,172,554	8.2%
	一般財源	4,828,380	3,618,600	2,889,320	-729,280	-20.2%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
28,685,000	0		2,889,320	31,574,320	31,574,320	0
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	保険者機能強化推進事業受託金	配食サービス利用者実費徴収金	緊急通報システム利用者実費徴収金（ほか）
0	内訳	金額	17,150,000	6,211,000	4,295,000	1,029,000

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 配食サービス
 - ・委託先：特定非営利活動法人キッズウィル
 - ・利用者数45人
 - ・配食数10,475食
 - 緊急通報システム
 - ・委託先：立山化学（株）
 - ・利用登録者数：76人
 - 生活支援員派遣事業
 - ・委託先：大町市社会福祉協議会
 - ・利用者数158人
 - 生活支援体制整備推進事業
 - ・第2層協議体数：3（中部、北部、南部地区）
 - 会議：各5回程度
 - ・生活支援コーディネーター：5人（中部、北部、南部、美麻、八坂地区）
- ◆ 事業の成果
 - 配食サービス

高齢者が住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう、食生活の改善と見守り対策として有効である。
 - 緊急通報システム

24時間体制で安否確認、緊急時対応が可能であり、在宅生活において本人、家族の安心に繋がっている。
 - 生活支援員派遣事業

親族や近所の方から協力を得られない高齢者宅の玄関から道路までの雪かきの支援のため有効である。
 - 生活支援体制整備推進事業
 - ・中部：サロンでの綿づくりを通じた地域のつながりや見守り体制の構築。
 - ・北部：有線放送によるラジオ体操。コロナ禍、脳トレゲームの作成送付による介護予防とつながりの維持。
 - ・南部：そば切り音頭を軸とした介護予防の普及啓発。リフレッシュジャズコンサートの開催。
 - ・八坂：民間企業と連携し、通いの場「いどばた八坂」活動。
 - ・美麻：ジャンボタクシーによる「お出かけ乗り合い号」の運行
- ◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 123

担当課	民生部 福祉課	地域包括支援センター係	款	3	民生費
事務事業名	地域包括ケア実践事業			項	1 社会福祉費
			目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節 だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画				

事業の目的	対象	65歳以上の高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるための街づくりを行う	意図	高齢者が住み慣れた地域で、人生の最後まで安心して暮らし続けられるよう、地域の関係機関等が連携し、高齢者自身も含めた地域全体で支えられる体制づくりを行う
-------	----	---	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療介護連携の推進（広域連携自立圏事業：北アルプス在宅医療・介護連携支援センターの設置） 地域ケア会議の推進 生活支援体制整備事業
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		719,794	3,585,381	1,777,132	-1,808,249	-50.4%
	財源内訳	特定財源	719,794	3,585,381	1,777,132	-1,808,249	-50.4%
		一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,391,000	-6,519,000	0	-92,100	1,779,900	1,777,132	0
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
2,768	内訳	金額	1,411,132	366,000		

事業の実績・成果

<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>□在宅医療介護連携支援事業における連携推進体制の基盤整備 北アルプス在宅医療・介護連携支援センター設置に向けた協議</p> <p>▶会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大北地域の主任介護支援専門員部会 5回 ・連携自立圏事業福祉専門部会 3回 <p>▶センターの委託に向けた関係機関との協議・調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町病院等との協議・調整 ・大北医師会長との面談 ・大北医師会理事会への出席、説明 <p>▶研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス提供に係る新型コロナウイルス感染症対策等研修会（9月） <p>□介護予防・生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物サポート事業（登録者数65人、利用回数延べ135回） ・高齢者外出支援事業（利用回数R3年度12回、参加人数175人） <p>□生活支援体制整備事業</p> <p>▶協議体（会議・活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地区 Cottonの会（39回）、北部地区 支え合い友の会（28回）、南部地区（8回） <p>▶生活支援コーディネーター（1・2層）の活動件数（会議・活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部SC（94件）、北部SC（109件）、南部SC（68件）、八坂SC（12件）、美麻SC（28件）

▶その他（(株)フジクラとのサービス創出に向けた取り組み）

・いどばた大町 36回（1～3月は休止）、いどばた八坂 11回（10月から開始）

◆ 事業の成果

▶日常生活を送るうえで便利なサービス等の創出

単位：件

地区 サービス	協議体				生活支援コーディネーター			
	R2年度		R3年度		R2年度		R3年度	
中部地区	2	綿づくり等	4	新綿講師等	協議体と一体的に実施		協議体と一体的に実施	
北部地区	4	ラジオ体操等	5	新蕎麦づくり	3	マシニング等	4	新ゆへふる体操教室
南部地区	0		2	新集いinやしろ	2	そば切り、骨コツ体操	3	新ジャズコンサート
美麻地区	0		0		1	おでかけ乗り合い号	1	おでかけ乗り合い号
八坂地区	0		0		0		1	新しいどばた八坂

◆ 前年からの改善点等

あり

▶在宅医療介護連携支援センターの運営委託

・令和4年4月から市立大町総合病院に委託し、センター運営及びコーディネーターを配置

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	123
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター 係	款	3
事務事業名	認知症総合支援事業			項	1
				目	7
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築				
個別計画	第8期大町市高齢者福祉計画				

事業の目的	対象	認知症（認知症が疑われる人）本人及び家族。	意図	認知症になっても本人の尊厳を守り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域をつくる。
-------	----	-----------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援（認知症地域支援推進員配置） 認知症に関する相談支援、普及啓発 認知症初期集中支援推進事業（広域連携自立圏事業：認知症初期集中支援チーム設置） 認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	6,098,140	5,940,382	5,951,059	10,677	0.2%	
	財源内訳	特定財源	6,098,140	5,940,382	5,951,059	10,677	0.2%
	一般財源				0	-	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,935,000	-1,983,000	0	0	5,952,000	5,951,059	0
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	北アルプス連携自立圏事業負担金		
941	内訳	金額	2,005,059	3,946,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 認知症地域支援
認知症地域支援推進員：3名配置（各包括に1名）
（相談支援業務、普及啓発業務、認知症カフェ運営、認知症初期集中支援チームとの連携）
 - 認知症初期集中支援チーム
チーム員：2名配置
認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の整備。初期段階から関わり、適切な医療や介護サービスにつなげるために、訪問等を通じて集中的に支援を行う。
- ◆ 事業の成果
 - 認知症初期集中支援チーム
相談件数（延べ）118件、新規相談件数 37件、うち医療・介護へつながった件数18件
チーム員会議は未開催であるが、ケース会議やサポート医との連携により、医療または介護サービスに繋ぐことができている。各市町村に由来からある相談支援体制の中で解決する事案が多い。
 - 普及啓発
 - ・ パネル展示開催。テーマ「認知症を正しく理解しよう」
大町市（大町・美麻・八坂）、大北地域の全町村など計9カ所で開催。3月に開催したジャズコンサートの際には、解除入り口に設置し、多くの来場者に対し啓発することができた。
 - ・ 認知症啓発映画観賞会
池田町：「毎日がアルツハイマー」2回上映 来場者84名
松川村：「毎日がアルツハイマー」3回上映 来場者65名
白馬村：「ケアニン～あなたでよかった～」上映 来場者 69名
小谷村：「ケアニン～あなたでよかった～」上映 来場者 26名
 - ・ 認知症サポーター養成講座 大町北小学校 3年生 42名
- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	款	3	民生費	
事務事業名	子育て応援事業				項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	73	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実						
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画						

事業の目的	対象	育児家庭	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産祝金、育児家庭応援事業→出生数の増加 ・ こんにちは赤ちゃん訪問事業→子育てに対する負担感や不安感の解消と子育て支援に関する情報提供
-------	----	------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産祝金・・・第1子 50,000円、第2子 80,000円、第3子 100,000円 ・ 育児家庭応援事業・・・3歳児を対象に30,000円分の商品券支給 ・ こんにちは赤ちゃん訪問事業・・・概ね生後4か月の乳児がいる家庭を、主任児童委員、民生児童委員が訪問し、支援の必要な家庭の早期発見、子育ての孤立化を防ぐための相談、情報提供による子育て支援を行う。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		15,166,029	13,693,640	13,348,310	-345,330	-2.5%
	財源内訳	特定財源	1,130,000	117,000	150,000	33,000	28.2%
		一般財源	14,036,029	13,576,640	13,348,310	-228,330	-1.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,078,000	0	0	0	15,078,000	13,348,310	
不用額	特定財源	内訳	子ども・子育て支援交付金			
1,729,690	内訳	金額	150,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 出産祝金

第1子	52人	×	50,000円	=	2,600,000円
第2子	51人	×	80,000円	=	4,080,000円
第3子以降	26人	×	100,000円	=	2,600,000円
	129人				9,280,000円
- 育児家庭応援 きらり商品券 30,000円 × 137人 = 4,110,000円（内未使用分 44,000円）
・ 実使用分 4,066,000円
- こんにちは赤ちゃん事業 スタイセット 112人 × 1,300円 × 税 = 160,160円
生後4か月児を対象に地域の主任児童委員、民生児童委員が家庭を訪問する。
プレゼントを持参し、子育て支援についての情報を提供する。

◆ 事業の成果

- ・ 経済的な負担を抱える子育て世代に対し、経済的な支援を行い、安心して子育てができる環境の促進に寄与した。
- ・ 子育て支援のための情報や相談窓口情報などを提供し、不安や悩み相談に応じ、家庭と地域を繋ぐきっかけとなっている。

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	125
----	------	------	-----

担当課	民生部	子育て支援課	児童係	款	3	民生費	
事務事業名	幼稚園・認定こども園運営支援事業（繰越明許費を含む。）				項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	74	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実						
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画						

事業の目的	対象	・地域の幼児期の教育、保育ニーズに対応する認定こども園に対する財政支援	意図	・国の基準に基づき財政支援を行うことで、安定した施設運営、市民ニーズに応じた受け皿及び保育の質の確保を図る。
-------	----	-------------------------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内3認定こども園に対し、国が示す公定価格に基づき、各施設の規模及び利用児数に応じ施設型給付を支給し施設の運営支援を行う。 国からの交付金を受け、新型コロナウイルス対策に係る経費や保育士等処遇改善の経費について支援を行う。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		417,905,394	332,029,748	296,943,449	-35,086,299	-10.6%
	財源内訳	特定財源	287,779,624	243,199,777	209,034,492	-34,165,285	-14.0%
		一般財源	130,125,770	88,829,971	87,908,957	-921,014	-1.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額	
323,337,000	-22,903,000	1,900,000	0	302,334,000	296,943,449	0	
不用額	特定財源	内訳	金額	(国・県)施設型給付費負担金等	(国)保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例交付金	(国・県)子ども子育て支援交付金	(県)多子世帯支援事業補助金など
5,390,551	内訳	金額	203,941,392	1,133,100	2,048,000	1,912,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 認定こども園利用児数

施設名	認定区分	年度				
		H29	H30	R1	R2	R3
幼保連携型認定こども園 大町幼稚園	1号	36	38	28	26	23
	2号	10	11	17	23	23
	3号	1	3	5	5	2
認定こども園 こまくさ幼稚園	1号	48	41	41	43	42
	2号	16	19	20	20	17
	3号	6	6	4	7	5
幼保連携型認定こども園 りんどう幼稚園	1号	67	61	58	45	50
	2号	0	0	9	16	13
	3号	0	0	4	11	2
計		184	179	186	196	177

○ 一時預かり（認定こども園利用児の時間外預かり）事業 実績
利用児数 延べ2,464人（1日約10人が利用）

◆ 事業の成果

認定こども園の施設老朽化対策については、市内3園の内2園について、補助金を交付し改築工事が終了した。

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	款	3	民生費	
事務事業名	児童福祉扶助費				項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	73	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実						
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当給付事業⇒ひとり親家庭 障害児通所支援事業⇒障がい児及び発達特性を持つ児 重度心身障害児童福祉手当⇒重度心身障がい児童の保護者 	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親世帯等の生活の安定と自立を助け、子どもの福祉の増進を図る。 障がいのある児童等に療育を行い、集団生活への適応を図る。 障がい児を抱える家庭への経済的支援による生活の安定と自立の促進。
-------	---	---

事業の内容
 ・児童扶養手当の支給
 ・障がい児童通所利用相談→通所支援事業体験参加→相談支援→仮プラン作成→利用申請・支給決定・通所受給者証発行→支給決定会議→モニタリングの一連の流れを利用者ごとに行う。(H28に福祉課から子育て支援課へ事業が移管)
 ・重度心身障害児童福祉手当は、精神又は身体に障がいのある満20歳未満の児童を監護する父若しくは母又は養育者に支給

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		184,450,531	169,240,114	188,450,162	19,210,048	11.4%
	財源内訳	特定財源	90,994,005	93,951,938	105,056,777	11,104,839	11.8%
		一般財源	93,456,526	75,288,176	83,393,385	8,105,209	10.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
195,369,000	-6,866,000		182,000	188,685,000	188,450,162	
不用額	特定財源	細節名	障がい者自立支援給付費負担金	児童扶養手当負担金	子ども・子育て支援交付金	
234,838	内訳	金額	81,669,071	23,317,706	70,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 児童扶養手当 支給者延べ 1,791人 (年度未受給者 140人 支給停止者 21人)
 - ・手当の支払い月 5月、7月、9月、11月、1月、3月(各月とも11日)
- 重度心身障害児童福祉手当 支給者延べ 300人 (支給対象者 178人)
- 障害児通所事業 利用者延べ 1,504人 (実人数 163人)
 - ・障がいのある児童や発達に心配のある児童に対し、生活能力の向上や集団生活の適応、社会との交流促進などの療育を提供する。

年度		R1	R2	R3
児童発達支援	実人数	66	79	93
	延べ人数	555	583	562
放課後等デイサービス	実人数	82	83	104
	延べ人数	866	839	896
保育所等訪問支援	実人数	2	1	7
	延べ人数	2	1	47

◆ 事業の成果

- 児童扶養手当の支給により、ひとり親世帯の経済的支援を図れた。
- 重度心身障害児童福祉手当の支給により、重度の障害児を抱える世帯の経済的支援を図れた。
- 障害児通所支援事業の実施により、生活能力の向上や集団生活への適用が図れた。

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	127
担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	款3	民生費
事務事業名	母子等福祉費			項2	児童福祉費
				目1	児童福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	73
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実			前年度評価 方向性	継続
施策項目	子育て支援の充実				
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画				

事業の目的	対象	女性・男性及びひとり親家庭	意図	<ul style="list-style-type: none"> 主に女性の生涯を通じた心身の健康づくり、女性に対するあらゆる暴力の排除 ひとり親家庭の自立の促進と生活の安定を図る。
-------	----	---------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 女性・男性相談：DV、離婚等、女性が抱える様々な問題や悩みに対し、事情にあわせた支援を実施 ひとり親家庭の各種相談：職業紹介等の就労支援や養育費等の相談に対する支援を実施 高等技能訓練促進費の給付：ひとり親の安定就労につながる資格の取得を促進するため、養成機関で修業するひとり親に対し、修業に係る費用を給付する。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		4,191,675	6,639,871	4,121,433	-2,518,438	-37.9%
	財源内訳	特定財源	1,822,000	3,870,000	1,680,000	-2,190,000	-56.6%
		一般財源	2,369,675	2,769,871	2,441,433	-328,438	-11.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,679,000	218,000		245,289	6,142,289	4,121,433	
不用額	特定財源	細節名	母子家庭等対策総合支援事業費補助金	女性相談員活動強化事業補助金		
2,020,856	内訳	金額	597,000	1,083,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 高等技能訓練促進費の給付
 - 修了支援給付金 1人 50,000円
- 女性男性相談員 2人 相談件数 297件
- 母子父子自立支援員 1人 相談件数 118件
- 女性等法律相談 相談件数 42件

※ 相談実績については、次ページを参照

事業の実績・成果

母子・父子相談状況

区分	年度 件数	H30 件数	R元 件数	R2 件数	R3 件数
生活一般	住宅	3	0	8	8
	医療	1	0	6	4
	家庭紛争	6	10	43	53
	就職	8	3	8	7
	結婚	2	0	2	1
	養育費	-	9	9	4
	その他	12	4	4	6
児童	養育	5	1	0	7
	教育	0	0	3	0
	非行	0	0	0	0
	就職	3	0	0	0
	その他	0	0	0	2
生活援護	母子福祉資金	3	19	4	6
	寡婦福祉資金	0	2	0	2
	児童扶養手当	0	1	4	6
	生活援護	3	3	8	12
	公的年金	0	0	1	0
その他	税	0	0	0	0
	その他	3	1	0	0
計		49	53	100	118

男性・女性相談状況

区分	年度 件数	H30 相談件数		R元 相談件数		R2 相談件数		R3 相談件数	
		面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話
婦人保護施設入所等		1	1	0	0	0	0	0	0
暴力の迫害相談		27	13	23	5	12	2	61	6
生活困難		32	3	37	4	19	0	11	4
離婚相談		49	16	78	34	87	28	61	22
養育困難		6	3	0	0	3	0	7	0
ストーカー被害		5	3	1	2	2	0	5	0
家庭不和		14	1	8	2	10	2	33	5
求職		30	3	25	2	7	2	4	0
雇用主等との交渉		0	0	0	0	0	0	0	0
医療相談		32	9	44	11	24	3	35	14
妊娠出産		7	1	0	0	8	4	0	0
住居相談		7	1	17	1	16	1	1	0
帰郷帰宅		0	0	0	0	0	0	0	0
ヒモ・暴力団関係		0	0	0	0	0	0	0	0
その他		21	11	36	18	31	11	24	4
計		231	65	269	79	219	53	242	55

◆ 事業の成果

相談の実施により、相談者の支援が図れている。

◆ 前年からの改善点等

あり

オンラインでに対応するための機器を整備した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	127
----	------	------	-----

担当課	民生部 子育て支援課	子育て支援係	款3	民生費
事務事業名	子ども家庭総合支援拠点事業			項2 児童福祉費
				目1 児童福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁 73
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実			前年度評価方向性 継続
施策項目	子育て支援の充実			
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画			

事業の目的	対象 児童及び保護者	意図 児童虐待の未然防止など子ども達の誰もが子どもとしての権利を擁護される状態にし、次世代を担う児童すべての健全育成が図られる状態とする
-------	------------	--

事業の内容 家庭児童相談員がトラブルや悩みを抱えた相談者からの相談を受けるとともに、状況に応じて関係機関に繋ぎながらケース会議を行い、家庭環境等の改善を図る。
 子育て中の保護者を対象に、養育に関する悩み等の相談支援や、家庭での子どもの情緒・行動面をフォローする。児童養育に関係する機関の情報共有・連携を担い、虐待を未然に防いだり、児童の健全育成を手助ける。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		4,092,597	4,103,511	10,830,822	6,727,311	163.9%
	財源内訳	特定財源			2,000,000	2,000,000	皆増
		一般財源	4,092,597	4,103,511	8,830,822	4,727,311	115.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
10,903,000			2,000	10,905,000	10,830,822	
不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付金			
74,178	内訳	金額	2,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ・家庭児童相談員 2人
- ・相談件数 1,147件

項目 年度	心身障害	環境福祉	学校生活等	(発達障がい等)	家族関係	非行	性格・生活習慣等	その他	計
	元	2	3	元	2	3	元	2	3
元	107	253	112	353	148	82	41	24	1,120
2	139	412	74	203	122	12	44	103	1,109
3	101	317	154	413	77	0	41	44	1,147

◆ 事業の成果

- ・虐待予防や早期発見により適切な保護が図られている。
- ・相談支援により、悩みを抱える親子の健全育成が図られている。

◆ 前年からの改善点等

あり

相談内容を関係機関で情報共有するためのシステムの導入した。

担当課	民生部 子育て支援課	子育て支援係	款	3	民生費
事務事業名	療育事業			項	2
				目	1
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	73
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実			前年度評価 方向性	継続
施策項目	子育て支援の充実				
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画				

事業の目的	対象 児童及び保護者	意図 ・発達特性の早期発見、早期支援により発達障がい の二次的障がい防ぎ、児童の社会的適応性を向上させる。 ・社会参加に困難を有する子ども・若者の社会参加を支援する。
-------	---------------	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児発達相談…年中児童及び保護者を対象とした発達相談の機会を設け、個々の保育環境と就学に向けた準備を行う。 ・巡回相談…発達心理専門相談員等による保育園等の未就学児を対象とした巡回相談を実施。 ・小学校等への巡回相談を実施（NPO法人キッズウィル委託、大町総合病院線出） ・SST（生活技能訓練）教室（児童発達支援事業者への委託により実施） ・子ども若者社会参加支援（社会福祉系通所事業所への委託による居場所支援） ・ひきこもり講演会、発達障がい講演会、不登校・ひきこもり講演会の開催
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		8,204,091	11,406,393	9,800,424	-1,605,969	-14.1%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	8,204,091	11,406,393	9,800,424	-1,605,969	-14.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,327,000	-2,940,000			10,387,000	9,800,424	
不用額	特定財源	細節名				
586,576	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 5歳児発達相談（年中児童及び保護者を対象とした発達相談）
 - ・対象者 142人（平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ）
 - ・実施人数 129人（実施率 90.8%）
 - ・要支援児 45人（支援必要率 34.9%）
 - ※要支援児とは、相談の結果、支援を必要とする児
- 児童発達支援巡回相談（児童心理発達専門相談員による保育園等の巡回相談を実施）
 - ・発達障がいの早期発見、早期対応のための指導助言を保育園、幼稚園、学校等において実施
 - ・実施回数 274回 ・相談件数 857件
- SST（社会生活技能訓練）教室 利用者延べ 37人（実人数 5人）
「社会の中で適切に行動する技能（技術）」「人とうまくつきあうための技能（技術）」を学ぶための教室を開催（児童発達支援事業所への委託による居場所支援）
- 若者ひきこもり就労・生活支援（市内社会福祉系通所事業所への委託による居場所支援）
 - ・利用者数 6人 ・利用回数 172回

◆ 事業の成果

巡回相談の実施により、児童の発達支援が図れた。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	子育て支援課	児童係	款	3	民生費	
事務事業名	病児・病後児保育事業				項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	74	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実						
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画						

事業の目的	・保護者が大北圏域に住所がある又は大北圏域に勤務先がある、若しくは、大北圏域の保育所、認定子ども園、認可外保育施設に通所している満1歳から就学前の6歳の児童で、病状の急変が認められない又は回復期にあり、保護者の勤務等により家庭で保育を行うことが困難な児童	・病状の急変が認められない又は回復期にあり、保護者の勤務等により家庭で保育を行うことが困難な児童の保育を行い、安心して子育てと就労ができることを目的として、市内1施設の管理運営を行う。
-------	---	--

事業の内容	・満1歳から就学前の6歳の児童で、病状の急変が認められない又は回復期にあり、保護者の勤務等により家庭で保育を行うことが困難な児童に対する保育の実施 ・市内1施設の管理、運営
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）			9,712,869	9,888,473	175,604	1.8%
	財源内訳	特定財源		8,286,000	8,450,000	164,000	2.0%
		一般財源		1,426,869	1,438,473	11,604	0.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
10,000,000	0	0	0	10,000,000	9,888,473	0
不用額	特定財源	内訳	金額	(国) 子ども・子育て支援交付金	(県) 子ども・子育て支援交付金	町村負担金
111,527	内訳	金額	3,296,000	3,296,000	1,858,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 利用延べ人数（3/31現在）

	R2	R3
大町市	22	51
池田町	0	2
松川村	18	13
白馬村	0	9
小谷村	0	0
その他	0	6
計	40	81

◆ 事業の成果

○ 関係町村や大町病院と連携し施設運営を行うことができた。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	131 133
----	------	------	------------

担当課	民生部	子育て支援課	子育て支援係	款	3	民生費
事務事業名	子育て支援センター事業			項	2	児童福祉費
				目	2	児童施設費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	72	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実					
個別計画	大町市子ども子育て支援事業計画					

事業の目的	対象	子育て家庭に対して、育児の相談や各種講座、各種教室、子育て支援サークルへの支援の充実を図る。	意図	子育てをしている家庭が、安心・安全で、楽しんで育児ができるようになる。
-------	----	--	----	-------------------------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する情報の提供 ・子育てセミナー&ファミリーコンサート ・子育て講座 ・サークルの支援 ・子育ての相談窓口 ・療育事業 年齢に応じた3つの親子ひろばを実施し、切れ目のない支援をする。保護者が子どもの発達の様子を知り、子どもとの遊び方や関わり方を学ぶ場の提供(保育士、家庭相談員、心理士、保健師などが情報の共有をして子どもの成長のフォローアップをしていく) ・子育ての悩みを解消し、楽しく子育てができるよう、親同士が支えあう場を提供 ・児童センター内の子育て支援ルームにおいて、子育て家庭の育児の悩みの相談を受けたり、話を聞いたりしながら育児のストレス軽減を図り、楽しい育児ができるようにサポートする。
-------	---

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費(決算額)	6,546,867	7,175,693	8,243,099	1,067,406	14.9%	
	財源内訳	特定財源	4,106,000	4,973,000	6,576,000	1,603,000	32.2%
	一般財源	2,440,867	2,202,693	1,667,099	-535,594	-24.3%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
10,423,000	330,000		92,543	10,845,543	8,243,099	
不用額	特定財源	細節名	子ども・子育て支援交付金			
2,602,444	内訳	金額	6,576,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 子育て支援ルームの開放

- ・新型コロナウイルス感染症対策を十分にを行い利用者が安心・安全に楽しく遊べる環境づくりに努めると共に、日頃の会話を通してコミュニケーションをとり、利用しやすい環境に努めている。
- ・簡単な製作活動などを行うことで育児ストレス軽減を図る。

○ 未就園児親子対象の各種講座・教室の開催

- ・1歳児運動遊び教室【参加者87人】(5/25、6/15、10/12、11/12)講師太田陽子先生(太陽教室)
- ・2歳児運動遊び教室【参加者59人】(6/22、10/5、11/9)講師甘利先生他1名(ジムネット体操教室)
- ・芋掘りハイキング【参加者50人】(10/15)社NPO法人仁科の里の畑
- ・リンゴ狩り【参加者50人】宮田農園
- ・入園に向けての相談会【参加者2人】(11/4)講師中條薫巡回指導員(子育て支援課児童係)
- ・リフレッシュタイム【参加者30人】(12/10)講師太田陽子先生(太陽教室)
- ・じいちゃんばあちゃん教室【参加者15人】(12/12)講師竹内円先生(竹内ピアノ教室)中島恵里子利用者支援相談員(子育て支援課支援係)
- ・リトミック教室【参加者15人】(12/12)講師竹内円(竹内ピアノ教室)

○ 小学生向け講座・教室の開催

- ・山岳博物館出前教室【参加者26人】(8/4)
- ・バトミントン教室【参加者4人】5/29
- ・走り方教室【参加者24人】(5/15)

◆ 事業の成果

- ・授乳室や0歳児優先ルームを設置することで乳児を育てている家庭も気軽に来所できる環境づくりをすることで低年齢の来場者が増え、孤独な子育て解消につながっている。
- ・育児セミナーを開催し育児のヒントを聞いてもらうことで、育児のストレス軽減につながった。
- ・感染対策を徹底しながら開所することで利用者の安心感につながっている(コロナ禍でも急激な利用者の減少をしていない)
- ・収穫体験で利用者が地域の人とかかわったことで、その後の交流につながった。

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・さらに気軽に相談できる環境づくりをすすめるため、支援ルームで職員が利用者とは話を増やしたことで、育児の様々な悩みを話してくれる人が増えた。(相談してきた内容に応じて、保健センターや子育て支援係と連携しながら対応している)

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	133
----	------	------	-----

担当課	民生部 子育て支援課	子育て支援係	款	3	民生費	
事務事業名	母子通園施設費			項	2	児童福祉費
				目	2	児童施設費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	72	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実					
個別計画	大町市子ども子育て支援事業計画					

事業の目的	対象	心身の発達に支援を必要とする乳幼児と保護者	意図	少人数の集団療育に参加することにより、基本的な生活技能の向上を図り、小集団の活動で、やりとりをする力や、集団生活への力を育てつつ、生活リズムを整え、身の回りのことができるように目指す。
-------	----	-----------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団参加への意欲を育くむために、個々の発達段階に応じた療育を、週4.5日実施 ・ 運動発達がゆっくりな児を対象に運動あそび教室を週3日実施
-------	--

決算数値 (単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費 (決算額)		2,809,941	4,137,407	4,247,379	109,972	2.7%
	財源内訳	特定財源	1,393,600	1,680,100	638,400	-1,041,700	-62.0%
		一般財源	1,416,341	2,457,307	3,608,979	1,151,672	46.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,943,000	31,000			4,974,000	4,247,379	
不用額	特定財源	細節名	母子通園施設他町村使用料			
726,621	内訳	金額	638,400			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ・ 開所日：月・火・水・金曜日（木曜日隔週）の午前9時00分～午前11時30分
- ・ 職員体制：保育士 4～5名配置（通常 一日3名体制＋託児1名）
- ・ 他機関との連携：臨床発達心理士、理学療法士、作業療法士による発達支援及び相談(月2～3回)

利用者数

	R元年度	R2年度	R3年度
大町市内	21	54	76
大町市外	14	15	10
計	35	69	86

延べ利用者数

	R元年度	R2年度	R3年度
大町市内	586	1,008	1,418
大町市外	268	317	135
計	854	1,325	1,553

・ 乳幼児健診や親子教室などの子どもの様子や保護者の困り感などからあそびの部屋やあゆみ園を紹介し利用に結びつける。また、必要があれば保護者と相談し、発達検査や医療受診を勧奨する。

◆ 事業の成果

母子通園施設（あゆみ園）を利用することで、児の発達の向上が図れている。

◆ 前年からの改善点等

あり

運動あそびクラスの開催を週1回から2回に増やして開催
※週2回（9時～10時と14時～15時30分）

担当課	民生部 子育て支援課	子育て支援係	款	3	民生費	
事務事業名	児童クラブ運営事業			項	2	児童福祉費
				目	2	児童施設費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	73	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実			前年度評価方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実					
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画					

事業の目的	対象	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等によって不在となる家庭及び適切な保護に欠ける児童	意図	・放課後における児童の健全育成 ・保護者が労働等に専念できる環境の整備
-------	----	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大町市立大町東小学校通学区 東小児童クラブ ・大町市立大町南小学校通学区 南小児童クラブ ・大町市立八坂小学校通学区 八坂小児童クラブ ・大町市立大町西小学校通学区 西小児童クラブ ・大町市立大町北小学校通学区 北小児童クラブ ・大町市立美麻中小学校通学区 美麻小児童クラブ
決算数値(単位:円)	学校区ごとに設置する児童クラブ(上記6か所)による放課後児童健全育成事業の実施

事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)			20,097,857	22,195,409	22,122,898	-72,511
財源内訳	特定財源		13,790,000	17,080,000	15,794,000	-1,286,000	-7.5%
	一般財源		6,307,857	5,115,409	6,328,898	1,213,489	23.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
25,314,000	78,000		-119,832	25,272,168	22,122,898	
不用額	特定財源内訳	細節名	児童クラブ登録料	子ども・子育て支援交付金		
3,149,270		金額	309,000	15,485,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 児童クラブの運営

- ・年間開所日数 289日
- ・開所時間 平日 午後1時から6時まで 土曜日及び長期休暇 午前8時から午後6時まで
- ・各クラブ登録者数 309人

東小	52人	西小	76人	南小	53人	北小	85人	八坂小	12人	美麻小	31人
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----

- ・年間平均利用者数 18人

東小	18人	西小	19人	南小	17人	北小	34人	八坂小	7人	美麻小	12人
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	----	-----	-----

- ・支援員配置人数 27人(月額支援員5人、時給支援員8人、代替支援員12人、代替補助員2人)

東小	2人	西小	2人	南小	2人	北小	3人	八坂小	2人	美麻小	2人
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----

放課後において、児童の居場所を提供し子育てと仕事の両立を図れるよう支援。
安定的な事業運営のために必要な支援員の確保に取り組む。



◆ 事業の成果

放課後における児童の健全育成及び保護者が労働等に専念できる環境の整備が図られている。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	133 135
----	------	------	------------

担当課	民生部	子育て支援課	児童係	款	3	民生費	
事務事業名	保育所管理運営事業（繰越明許費を含む。）				項	2	児童福祉費
					目	3	保育所費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	74	
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	子育て支援の充実						
個別計画	大町市子ども・子育て支援事業計画						

事業の目的	対象	・満3歳以上及び満3歳未満の保育を必要とする子ども	意図	・保育に欠ける子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図ることを目的として、市内7保育所の管理運営を行う。
-------	----	---------------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に基づき、保育に欠ける子どもに対する保育の実施 ・市内7保育施設の管理、運営
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		230,015,482	249,540,370	264,246,476	14,706,106	5.9%
	財源内訳	特定財源	68,168,727	59,480,490	62,017,081	2,536,591	4.3%
		一般財源	161,846,755	190,059,880	202,229,395	12,169,515	6.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
262,575,000	10,361,000	7,100,000	6,068,500	286,104,500	264,246,476	0
不用額	特定財源	細節名	保育所使用料	(国) 子ども・子育て支援交付金	(県) 子ども・子育て支援交付金	一時保育負担金ほか
21,858,024	内訳	金額	24,431,779	5,707,000	5,707,000	26,171,302

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 公立7保育園の園児数（4/1現在）

	定員	H30		R1		R2		R3		入所率
		園児	うち未満	園児	うち未満	園児	うち未満	園児	うち未満	
かえて保育園	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-
はなのき保育園	150	129	39	120	31	124	38	113	34	75.3
あすなろ保育園	180	126	31	134	30	134	31	119	30	66.1
しらかば保育園	60	28	6	17	9	25	12	23	11	38.3
どんぐり保育園	60	37	11	36	9	36	13	29	10	48.3
たけのこ保育園	45	24	6	19	6	15	1	17	6	37.8
みあさ保育園	45	15	3	14	3	9	0	8	1	17.8
くるみ保育園	110	66	21	75	27	69	22	65	20	59.1
全園児数計		425	117	415	115	412	117	374	112	-

○ 一時保育利用者数 1,066 人

◆ 事業の成果

○ 保育士確保が難しい状況の中、年間を通じ待機児童が生じることなく施設運営を行うことができた。

◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	総務部	企画財政課	財政係	款	4	衛生費		
事務事業名	病院事業運営費					項	1	保健衛生費
						目	1	保健総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁	63	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現					前年度評価 方向性	やり方改善	
施策項目	市立大町総合病院新改革プランに基づく経営改善							
個別計画								

事業の目的	対象	病院事業会計の経営安定	意図	必要かつ適正な資金を時限的に集中投入することにより、大町総合病院の経営安定化を図る。
-------	----	-------------	----	--

事業の内容
 病院事業会計に対する繰出しを行う。公営企業に対する繰出金は、地方公営企業繰出基準に基づき、地方交付税措置及び収益に見込みに応じて算定するが、29年度からは新公立病院改革プランに基づき繰出金の額を定めるとしているため、令和7年度まで8億円台が続く見込みである。
 なお、病院事業会計は、平成29年度決算において資金不足比率が20%を超えたため、経営健全化計画を策定し早期解消に向け経営健全化に努めたところ、令和2年度決算において資金不足は解消している。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		1,079,000,000	1,160,000,000	880,000,000	-280,000,000	-24.1%
	財源内訳	特定財源	159,000,000	261,245,000	5,680,000	-255,565,000	-97.8%
		一般財源	920,000,000	898,755,000	874,320,000	-24,435,000	-2.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
880,000,000				880,000,000	880,000,000	
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
0	内訳	金額	5,680,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

病院事業会計の一時借入金抑制のため、一般会計で資金繰りのうえ優先的に支出

28年度は年度当初(4/1)に全額繰り出し、29年度以降は、4・6・9・11月の4期で繰り出し（普通交付税の入金後）

(単位：千円)

	収益勘定繰出金		資本勘定繰出金		病院事業繰出金計		繰出金財源内訳	
	医業収益分	医業外収益分	出資分	負担金分	うち基準外繰出金	交付税措置額	一般財源等	
H24	113,791	504,588	0	230,967	849,346	0	465,534	383,812
H25	73,482	495,589	0	225,222	794,293	9,141	470,468	323,825
H26	71,947	442,728	0	282,880	797,555	14,113	495,037	302,518
H27	78,460	502,404	0	248,884	829,748	346,272	480,805	348,943
H28	90,467	280,254	222,817	356,211	949,749	257,657	468,696	481,053
H29	92,805	210,541	253,326	393,328	950,000	286,398	455,681	494,319
H30	102,140	450,643	0	382,039	934,822	45,923	437,666	497,156
R1	106,588	471,404	0	345,192	923,184	44,354	425,461	497,723
R2	101,271	464,717	0	359,250	925,238	59,924	471,569	453,669
R3	112,125	417,609	0	352,696	882,430	35,044	468,352	414,078

※ 比較・分析のため、繰出金から貸付金を除いている。H27(320百万)、R1(159百万)、R2(238百万) 経営健全化協力金含む

経営効率化等のための病床数削減により、病院事業の収益が安定する一方で、普通交付税額は病床数を基礎数値としているため減額となっている。（激変緩和措置中）このため、病院事業繰出金が減少しても、普通交付税の減額が予想されることから、一般会計の負担増となる。なお、R2より特別交付税の不採算地区病院の条件が見直され、算定されるようになった。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部 市民課	会計	一般会計	決算書頁	139
事務事業名	上原の湯管理費	消費生活・交通安全係	款 4	衛生費	
			項 1	保健衛生費	
			目 1	保健総務費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち		前期計画登載頁	65	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現		前年度評価 方向性	継続	
施策項目	健康づくりの推進				
個別計画					

事業の目的	対象	市民の健康保持増進の拠点として、コミュニティセンター「上原の湯」を管理、運営する。	意図	<ul style="list-style-type: none"> 市民同士のふれあいを深めつつ、コミュニティの振興を図る。 市民の健康保持増進
-------	----	---	----	---

事業の内容
 指定管理者制度により、コミュニティセンター「上原の湯」の管理、運営を指定管理者に委任する。指定管理者を指導及び監督し、効果的、効率的な施設の管理、運営を行う。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		8,564,794	9,570,847	10,848,849	1,278,002	13.4%
	財源内訳	特定財源			1,421,000	1,421,000	皆増
		一般財源	8,564,794	9,570,847	9,427,849	-142,998	-1.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,478,000	2,530,000		960,080	10,968,080	10,848,849	
不用額	特定財源	細節名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			
119,231	内訳	金額	1,421,000			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 開館日 341日
 - 利用者数計 57,471人
 - 一般 5,778人
 - 一般外 44,848人
 - その他 6,845人
 - 利用料計 14,787,760円
 - 一般 2,860,000円
 - 一般外 10,765,250円
 - その他 1,162,510円
 - 自主イベント
 - ・近隣農家の農産物販売
 - ・ヨガ教室
 - ・シニア健康体操
 - ・バランスボール教室
 - ・整体マッサージ
 - ・七夕飾りなど季節ごとのイベント 等
 - 利用者アンケートの実施
 - ・指定管理者が実施した利用者アンケートでは、新型コロナウイルスの感染防止のため入浴後すぐに帰られる方が多く、また、常連の利用者は以前に回答しているなどの理由により、回答数が18名と多くの回答を得ることができなかった。
 - ・アンケート結果
 施設を利用されての満足度について、「満足」又は「やや満足」と回答された方が100%で、職員の対応や清掃状況に高評価をいただいた。
 経年による設備の劣化やシャワーの水圧が強いといったご意見があった。
 利用者から寄せられた意見については、指定管理者とともに改善に努めていく。



(七夕飾り)



(上原遺跡等の散策)

◆ 前年からの改善点等 あり

- ・手洗いの自動水栓化等、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として施設整備を行った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	141 143
----	------	------	------------

担当課	民生部 市民課	国保年金係	款	4	衛生費
事務事業名	後期高齢者健診事業			項	1 保健衛生費
			目	1 保健総務費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	64
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続
施策項目	健康づくりの推進				
個別計画					

事業の目的	後期高齢者医療加入者を対象に、 ・健康診査を自己負担無料で実施する。 ・人間ドックの費用の一部を助成する。 ・生活習慣病の予防や介護予防など、福祉課と保健センターが連携し一体的に実施する。	意図	生活習慣病の重症化予防、介護予防を図り、高齢期における健康維持増進及び自立した生活を送るための支援を行う。
事業の内容	後期高齢者医療加入者に健康診査（血圧測定、身体測定、血液検査、検尿、診察）を自己負担無料で実施する。また、人間ドックを受診した場合、費用の一部（日帰り10,000円、1泊2日20,000円・追加脳ドック10,000円・単独脳ドック18,000円）を助成する。ポピュレーションアプローチとして、高齢者の通いの場などでの、血圧測定、尿中塩分量測定等を実施し生活改善指導等を実施する。また、ハイリスクアプローチとして、健診情報を分析し基準に該当した者を対象に保健指導を実施する。		

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		10,838,659	10,158,006	10,737,387	579,381	5.7%
	財源内訳	特定財源	7,988,696	7,229,310	10,737,387	3,508,077	48.5%
		一般財源	2,849,963	2,928,696		-2,928,696	皆減

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
16,176,000	-3,926,000	0	0	12,250,000	10,737,387	
不用額	特定財源	細節名	後期高齢者健診事業徴収金	後期高齢者高域連合補助金	後期高齢者広域連合委託料	
1,512,613	内訳	金額	167,000	6,693,573	3,876,814	

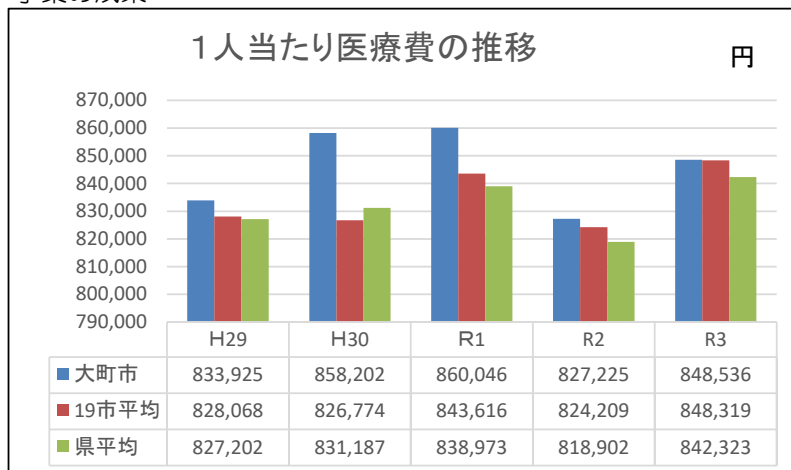
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○健康診査及び人間ドック受診者数 (人)

種類	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
健康診査	758	747	724	659	659
人間ドック（日帰り）	158	234	239	223	201
人間ドック（1泊）	24	25	17	17	16

◆ 事業の成果



○ ポピュレーションアプローチ

実施した通いの場 20カ所 496人
 尿中塩分測定 参加者の86.7%
 野菜接種量調査 参加者の100%
 質問票回答者 参加者の100%

○ ハイリスクアプローチ

・糖尿病性腎症重症化予防
 支援実施者7人 実施率53%

HbA1c7.0以上の対象者について個別訪問を行い指導する。

*R3年度HbA1c7.0以上の対象者の内、未治療者はなし。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	143
----	------	------	-----

担当課	民生部 市民課	保健予防係	款	4	衛生費	
事務事業名	予防接種費			項	1	保健衛生費
				目	2	予防費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	64	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	健康づくりの推進					
個別計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防接種法施行令に定める対象者 ・ インフルエンザの任意接種については、中学3年生及び高校3年生相当の者 	意図	伝染病のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の増進に寄与する。
-------	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ A類疾病（ジフテリア、結核、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、水痘、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、B型肝炎、ロタウイルス）の予防接種 ・ B類疾病（インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌）の予防接種 ・ インフルエンザ任意予防接種 ・ 風しんの追加的対策に係る抗体検査等
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		58,271,173	76,406,419	60,523,160	-15,883,259	-20.8%
	財源内訳	特定財源	1,474,000	3,206,000	2,596,000	-610,000	-19.0%
		一般財源	56,797,173	73,200,419	57,927,160	-15,273,259	-20.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
77,472,000	-3,219,000	0	-1,000,800	73,252,200	60,523,160	0
不用額	特定財源	細節名	疾病予防対策事業費等補助金	新型コロナ地方創生臨時交付金	公衆衛生寄付金	
12,729,040	内訳	金額	1,778,000	400,000	418,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

A類疾病予防接種実施状況 R4.3末

予防接種の種類	BCG	ポリオ	四種混合	三種混合	二種混合	MR 1期	MR 2期	日本脳炎	水痘	ヒブ	小児肺炎球菌	子宮頸がん	B型肝炎	ロタ	
														1価	5価
R3年度対象者数	122		538		183	128	162	809	256	488	488	252	366	(実人数) 120	
全接種者(延べ人数)	113	0	464	0	132	120	134	484	243	457	459	55	348	212	17
内訳	定期接種者	102	0	414	0	132	110	478	224	401	403	55	302	178	17
	相互乗り入れ	11	0	49	0	0	10	6	19	54	54	0	44	32	0
	契約外医療機関	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0

B類疾病予防接種実施状況

予防接種の種類	高齢者肺炎球菌	高齢者インフルエンザ	
R3年度対象者数	1,293	10,190	
全接種者(延べ人数)	343	6,164	
内訳	定期接種者	336	6,035
	相互乗り入れ	7	127
	契約外医療機関	0	2
	他市依頼接種者	0	0
全接種率	26.5%	60.5%	

風しんの追加的対策に係る抗体検査及び予防接種の実施状況

対象者	抗体検査	予防接種	
R3年度対象者数	869	62	
実施者	268	60	
内訳	大北管内	239	59
	集合規約	29	1
実施率	30.8%	96.8%	

新型コロナウイルス感染症検査費用助成金 51件

◆ 事業の成果

おおまち子育て応援アプリの活用や医療機関との連携強化により、接種間隔の誤りによる予防接種事故は1件。高齢者インフルエンザ及び肺炎球菌接種者数は、徐々に増加傾向にあったが、コロナ禍の影響により減少となった。

◆ 前年からの改善点等

あり

新型コロナウイルス感染症検査に係る費用を助成

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	145 147
----	------	------	------------

担当課	民生部	市民課	健康推進係	款	4	衛生費
事務事業名	母子保健事業			項	1	保健衛生費
				目	3	母子保健費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	64,73
施策目標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性	継続
施策項目	健康づくりの推進					
個別計画	・健康増進計画（中間評価・見直し） ・第3次食育推進計画					

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対する妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援により、育児の悩みや不安の軽減を図るとともに、子どもの育つ力を支える育児力の向上を支援する。 小児期からの生活習慣病予防の取組みにより、生活習慣病を予防する。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 育児の悩みや不安の軽減 育児力の向上 早期からの生活習慣病予防
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付・妊産婦相談・両親学級・新生児訪問・育児相談・2か月児相談・離乳食教室 10か月児相談・心理相談・不妊治療助成事業・小児期からの生活習慣病予防事業 妊娠出産育児の切れ目ない支援事業・母乳相談等助成事業・産後ケア事業・育児支援ヘルパー派遣事業・育児支援カウンセリング相談事業・妊産婦通院支援事業（妊婦・乳幼児健診事業） 		

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	8,869,341	11,288,762	10,785,437	-503,325	-4.5%
	財源内訳	特定財源	4,031,900	5,809,900	1,778,000	44.1%
	一般財源	6,396,341	7,256,862	4,975,537	-2,281,325	-31.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額	
14,637,000	-1,764,000	0	0	12,873,000	10,785,437	0	
不用額	特定財源内訳	細節名	金額				
2,087,563	内訳	妊娠・出産包括支援事業補助金	1,798,000	離乳食教室教材費実費徴収	11,900	ふるさと応援基金繰入金	4,000,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

【妊産婦～出産後への支援】

- 母子健康手帳交付 110件
- 両親学級 2回×2コース実施 参加者延べ 妊婦 32人 家族 26人
- 産前産後サポート ・母乳相談等助成事業 利用実件数 49件 延べ62件
 - ・産後ケア事業 通所5人（12日） ・育児支援ヘルパー派遣事業 8件 延べ80回
 - 宿泊4人（33日） ・産後健康診査 実人数130人 延べ240人
 - ・通院支援事業 19人 52枚利用（妊婦・乳幼児健診事業）

【乳幼児・育児期の親への支援】

- 相談事業、教室関係
 - ・フリースペース 11回 延べ46組
- 個別相談
 - ・育児相談

	2か月児相談	離乳食教室（ごっくん）	離乳食教室（もぐもぐ）	10か月児相談
受診者(人)	108	45	49	120
参加率(%)	87.8	35.2	36.3	93.8

	乳児(1歳未満)	幼児(1歳以上)	計
実人数	111	133	244
延べ人数	232	251	483

- ・心理相談 実人数 17人（延べ件数20件）
- ・新生児訪問 119件

【不妊治療助成事業】

	R1	R2	R3
助成件数	22	15	22
助成額(円)	1,086,695	3,016,573	4,222,603

R1までは上限5万円
R2より上限30万円

◆ 事業の成果

産後ケアの拡充・通院支援事業の開始・フリースペースの開催等母子を支える事業を拡充したことで、より安心・安全な出産・育児につながっている。

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・通院支援事業の開始、フリースペースの開催等母子を支える事業を拡充した。
- ・子育て世代包括支援センターを中心として、関係機関との連携強化が図れている。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	147
担当課	民生部	市民課	健康推進係	款	4
事務事業名	子育て世代包括支援センター事業			項	1
				目	3
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	64
施策目標	結婚・出産・子育て支援の充実			前年度評価 方向性	継続
施策項目	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援				
個別計画					

事業の目的	対象	妊産婦に対し、母子保健施策と子育て施策との一体的な提供を通じ、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行う。	意図	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築する。また、支援により悩みを抱える妊産婦等を早期に発見し、相談支援に繋げ、児童虐待の予防や早期発見に資する。
-------	----	--	----	---

事業の内容	①妊産婦及び乳幼児等の実情把握 ②妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導 ③支援プランの策定 ④保健医療又福祉の関係機関との連絡調整
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,262,618	2,470,786	2,245,174	-225,612	-9.1%
	財源内訳	特定財源	1,488,000	1,454,000	1,884,000	430,000	29.6%
		一般財源	774,618	1,016,786	361,174	-655,612	-64.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,266,000	0	0	0	2,266,000	2,245,174	0
不用額	特定財源内訳	細節名	(国)子ども子育て支援交付金	(県)子ども子育て支援交付金		
		金額	1,510,000	374,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

● 利用状況

	電話相談	来所相談	訪問等	合計	
令和3年度	46	46	90	182	重複あり
令和2年度	50	165	82	297	重複あり

● 支援プラン作成

	件数
令和3年度	14
令和2年度	16

● 相談内容

	身体発育	食事	育児	保育園等入所	その他	合計	
令和3年度	38	16	64	46	57	221	重複あり
令和2年度	55	45	108	59	109	376	重複あり

◆ 事業の成果

・子育て支援課と連携をとりながら、個別性にあった支援の検討と実施につながっている。

・妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供することを可能としている。

・相談をしたい方にとって、相談窓口が明確化されている。



◆ 前年からの改善点等

あり

・コロナにより、直接会う機会が少ない分、積極的な関係機関との連携（施設訪問、定例会議等）により情報共有を図り、各機関が一体的に支援策を実施。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	147
----	------	------	-----

担当課	民生部 市民課	健康推進係	款	4	衛生費	
事務事業名	健康増進事業			項	1	保健衛生費
			目	4	保健事業費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	64,65	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	健康づくりの推進					
個別計画						

事業の目的	対象	市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及及び啓発を図る。	意図	市民の健康保持及び増進を図る。
-------	----	--------------------------------	----	-----------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談、健康教育 訪問指導 健康増進法健診 健康手帳の配布 健康増進法健診 歯周病検診 先取り健診 骨粗鬆症検診
-------	--

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		6,463,712	4,904,008	5,683,301	779,293	15.9%
	財源内訳	特定財源	2,347,000	2,082,300	2,017,000	-65,300	-3.1%
		一般財源	4,116,712	2,821,708	3,666,301	844,593	29.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,267,000	-1,400,000	0	0	6,867,000	5,683,301	0
不用額	特定財源	細節名	健康増進事業費補助金	健診事業徴収金	北アルプス連携自立圏事業負担金	骨髄バンクドナー助成事業補助金ほか
1,183,699	内訳	金額	1,590,000	169,000	122,000	136,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○健康教育の開催数

年度	H30	R1	R2	R3
開催数(回)	105	85	4	6
参加者数(人)	1,571	1,127	71	56

○健康相談の開催数

年度	H30	R1	R2	R3
開催数(回)	31	21	4	2
参加者数(人)	332	212	71	23

○健康増進法健診(人数)

年度	R2	R3
集団健診	2	2
個別健診	1	1

○先取健診(18~39歳)

年度	R2	R3
集団健診	61	53
個別健診	74	74

○歯周病検診(30・40・50・60・70歳)

年度	R2	R3
受診者数(人)	124	132

○骨粗鬆症検診(女性限定) (40歳から70歳までの5歳刻み)

年度	R2	R3
受診者数(人)	183	171

○肝炎ウイルス検診 (40歳以上で1度も受けたことのない人)

年度	R2	R3
集団検診	20	31
個別検診	44	42

○特定年齢肝炎ウイルス検診 (無料検診) (40歳から70歳までの5歳刻み)

年度	R2	R3
集団検診	54	55
個別検診	219	141

◆ 事業の成果

コロナ禍の影響もあり、各地区で行われていた健康相談が中止となり、健康教育や健康相談の機会が減っている。また各種検診についても同様の傾向にある。今後は感染症の状況を見ながら、検診等の情報提供を行い、受診勧奨等を行っていく。健診結果から高血圧教室を開催し、生活習慣の振り返りの機会となっている。

◆ 前年からの改善点等

あり

肝炎ウイルス検診は一度行えば良いことから、ドックの結果も入力し、対象者から外し通知を削減した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	147 149
----	------	------	------------

担当課	民生部	市民課	健康推進係	款	4	衛生費
事務事業名	がん検診事業			項	1	保健衛生費
				目	4	保健事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	64	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	健康づくりの推進					
個別計画	第2次健康増進計画中間評価・見直し					

事業の目的	対象	市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及および啓発を行う。	意図	市民の健康保持増進を図る。
-------	----	---------------------------------	----	---------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種がん検診 胃がん検診（バリウム・カメラ）、大腸がん検診、肺がん検診（レントゲン、CT） 乳がん検診（超音波・マンモグラフィ）、子宮頸がん検診、前立腺がん検診
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		14,580,543	13,593,284	13,922,334	329,050	2.4%
	財源内訳	特定財源	1,394,000	1,156,500	1,198,200	41,700	3.6%
		一般財源	13,186,543	12,436,784	12,724,134	287,350	2.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
16,531,000	-1,000,000	0	0	15,531,000	13,922,334	0
不用額	特定財源	細節名	疾病予防対策事業費等補助金	検診事業徴収金		
1,608,666	内訳	金額	66,000	1,132,200		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

● 検診受診者の推移（人間ドック含まず。）

検診種別	対象者	受診者数(人)					
		H29	H30	R1	R2	R3	
胃がん	バリウム	35歳以上	424	350	339	234	281
	カメラ	41歳以上(隔年)	385	292	249	253	252
大腸がん		35歳以上	1,668	1,420	1,416	1,298	1,288
		無料クーポン(再掲)	42	28	29	36	24
乳がん	超音波	30歳以上	530	485	436	337	395
	マンモグラフィ	40~74歳(隔年)	200	171	178	176	153
		無料クーポン(再掲)	51	35	32	31	30
子宮がん		20歳以上(隔年)	356	311	288	263	280
		集団検診(再掲)	36	40	39	46	52
		無料クーポン(再掲)	29	31	23	30	22
肺がん	胸部レントゲン	40歳以上	2,297	2,177	2,204	1,792	1,978
	肺CT	41~75歳(隔年)	71	96	86	68	72
前立腺がん		50歳以上	560	518	534	461	510

● 検診受診率の推移

	算出年齢	R1		R2		R3		市の目標	国の目標
			ドック含む		ドック含む		ドック含む		
胃がん(カメラ・バリウム)	40~69	15.2%	28.1%	13.5%	16.0%	12.0%	22.0%	30.0%	50.0%
大腸がん	40~69	15.9%	24.8%	15.3%	22.4%	14.9%	22.0%		
肺がん(肺がん・CT)	40~69	19.0%	28.4%	15.2%	20.4%	15.9%	23.4%		
子宮頸がん	20~69	19.1%	21.9%	17.4%	20.4%	17.4%	19.7%		
乳がん(視触診・マンモ)	40~69	31.4%	32.7%	27.2%	30.2%	24.3%	26.5%		

事業の実績・成果

● 検診申込者の受診率の推移（人間ドック含まず。）

	R 1			R 2			R 3		
	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率	申込者	受診者	受診率
胃がん(カメラ・バリウム)	1,096	588	53.6%	1,063	487	45.8%	985	533	54.1%
大腸がん	2,112	1,416	67.0%	2,116	1,298	61.3%	1,975	1,288	65.2%
子宮頸がん	503	288	57.3%	470	263	56.0%	483	280	58.0%
乳がん(視触診・マンモ)	1,100	614	55.8%	1,052	513	48.8%	1,024	548	53.5%

	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
乳がんクーポン	135	32	23.7%	132	31	23.5%	118	30	25.4%
子宮がんクーポン	189	23	12.2%	223	30	13.5%	179	22	12.3%
大腸がんクーポン	281	29	10.3%	262	36	13.7%	249	24	9.6%

※ 申込者及び対象者は年度末の状況

● 受診勧奨

・ 勧奨通知作成及び発送

子宮頸がん	20代から30代 未申込者	515人	9月発送
無料クーポン検診	未受診者		10月発送
	・子宮頸がん 20歳	108人	30歳 83人
	・乳がん 40歳	112人	
	・大腸がん 40歳	250人	
胃がん(バリウム)	申込済で未受診者(35歳から69歳)	168人	10月発送
胃がん(胃カメラ)	申込済で未受診者	366人	12月発送
大腸がん	申込済で未受診者(35歳から69歳)	534人	2月発送
乳がん	申込済で未受診者(30代から50代)	380人	2月発送

・ ホームページによる勧奨

- ・ 小中学校保護者用勧奨チラシ作成、配布
- ・ 乳幼児健診時に勧奨チラシ配布
- ・ 包括連携協定を締結した生命保険会社に、事業所訪問時にパンフレット等での啓発を依頼

◆ 事業の成果

がん検診の受診率については、国の目標値である50%を達成していない状況である。受けやすい体制づくりや受診勧奨を行っているが、受診率の大幅な増加に繋げることが難しい。また、市の検診を受診していなくても人間ドックや職場健診、医療機関等で受診している場合も多いと考えられるが、その把握は難しい。国保人間ドック受診者のがん検診受診状況について確認すると、胃・大腸・肺がんは受診率にして10%程度、乳房・子宮頸がんは2%程度である。

がんの予防には早期発見が不可欠であることから、引き続き受診勧奨及び意識啓発に努める。

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・ R2年度はコロナによる医療機関の感染対策等により減少していた人間ドックの受診が、R3年度は回復してきている。がん検診の普及啓発と共に、国保人間ドックにおけるがん検診の受診状況を引き続き把握していく。
- ・ 若い年代の受診者が多かった子宮頸がん集団検診を継続実施していく。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	149
----	------	------	-----

担当課	民生部 市民課	健康推進係	款	4	衛生費	
事務事業名	精神保健事業			項	1	保健衛生費
				目	4	保健事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	65	
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	健康づくりの推進					
個別計画	第2次大町市健康増進計画（中間評価・見直し）、大町市いのちを守る推進計画					

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対し、精神保健に関する知識を広く普及・啓発する。 ・様々な関係機関が連携し、生きることの包括的支援を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの心の健康について関心を持ち、心の健康を維持するための取組みにつなげる。 ・関係機関と連携し、生きるための阻害要因を減らし、生きるための促進要因を増やすことにより、自殺対策につなげる。
-------	--	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談指導及び訪問指導 ・健康教育 ・ゲートキーパー養成講座の開催 ・「SOSの出し方教育」の実施 ・こころ・法律・仕事の「なんでも相談会」開催（北アルプス連携自立圏事業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・いのちを守る推進計画策定 ・有線放送等を活用した啓発活動 ・メンタルチェックシステム「こころの体温計」事業
-------	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	246,277	307,124	323,415	16,291	5.3%
	財源内訳					
	特定財源	122,000	200,000	158,000	-42,000	-21.0%
	一般財源	124,277	107,124	165,415	58,291	54.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
438,000	0	0	0	438,000	323,415	0

不用額	特定財源	内訳	地域自殺対策強化事業補助金	なんでも相談会開催事業補助金	北アルプス連携自立圏事業負担金	
114,585	内訳	金額	41,000	33,000	84,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動	● 相談指導及び訪問指導事業	相談			訪問			
		実人数	延べ人数	一人に関わった回数	実人数	延べ人数	一人に関わった回数	
		R3年度	36	80	2.2	82	183	2.2
		R2年度	32	69	2.2	50	207	4.1
		R1年度	32	86	2.7	177	370	2.1
		H30年度	25	79	3.2	82	279	3.4

● こころの体温計	本人モード	家族モード	妊婦・ママモード	ストレスAI	アルコールチェック	合計①	大町市以外②	合計①+②	
	R3年度	2,915	610	141	669	452	4,787	1,593	6,380
	R2年度	3,396	870	183	943	624	6,016	2,416	8,432
	R1年度	2,593	639	182	666	460	4,540	2,262	6,802
	H30年度	3,542	875	274	923	643	6,257	3,785	10,042

*R4年3月末日現在

- なんでも相談会 10月6日(水) 会場：サン・アルプス大町 16組参加
- SOSの出し方に関する教育
 - ・八坂中（1学年教室）講義 5人
 - ・美麻小中（7年生教室）講義 8人
 - ・一中（校内放送、資料はTVで視聴）199人
 - ・仁科台中（校内放送、資料はTVで視聴）280人

◆ 事業の成果
保健師が心に悩みや不安を持つ方に寄り添い、主治医と連携しながら支援を実施。

◆ 前年からの改善点等 あり
保健所が主催していた「なんでも相談会」については、令和2年度から北アルプス連携自立圏事業として実施。
・対処療法ではなく、重症化前の予防施策として、SOSの出し方教育を実施

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	151 153
----	------	------	------------

担当課	民生部 生活環境課	環境衛生係	款 4	衛生費
事務事業名	不法投棄対策事業			項 2 清掃費
			目 1	清掃総務費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁 88
施策目標	快適な生活環境の形成			前年度評価 方向性
施策項目	廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進			
個別計画				

事業の目的	対象	ごみの不法投棄に対して、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で清潔で快適な生活環境を守るため取組む。	意図	ごみの不法投棄の防止を進め、不法投棄ごみ発見時の迅速な回収・処理に努めることにより、清潔で快適な生活環境を守り、住みよい地域の形成を進める。
-------	----	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民啓発、不法投棄防止啓発用看板の常習箇所への設置及び希望者への配布により、ごみの不法投棄を防止する。 不法投棄ごみを発見した場合、速やかに回収・処理し清潔で快適な生活環境及び景観の保全を維持する。 環境保全推進員により集められた不法投棄ごみの回収や防止パトロール実施。 地域や団体等との連携による不法投棄ごみの発見や早期回収の実施。 広域連合、長野県等との連携による広域的な不法投棄対策の推進。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	財源内訳	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
		総事業費（決算額）	2,022,397	2,650,259	2,402,676	-247,583	-9.3%
	財源内訳	特定財源	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	-
		一般財源	22,397	650,259	402,676	-247,583	-38.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,847,000				2,847,000	2,402,676	
不用額	特定財源	内訳	金額	ふるさと応援基金繰入金		
444,324	内訳	金額	2,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 市民啓発、不法投棄防止啓発用看板の常習箇所への設置
- 不法投棄ごみの速やかな回収と適正な処分
- 環境保全推進員により集められた不法投棄ごみの回収や防止パトロール実施
- 地域や団体等との連携による不法投棄ごみの早期回収の実施
- 広域連合・長野県等との連携による広域的な不法投棄対策の推進

不法投棄の状況

◆ 事業の成果

- 不法投棄ごみの回収量 15,450 kg
 - ・不燃性粗大（混合）の回収量 9,060kg
 - ・可燃ごみの回収量 6,100kg
 - ・不燃ごみの回収量 290kg
 - ・タイヤ回収本数 163本
 - ・特定家電回収台数 テレビ16台、冷蔵庫4台
- 不法投棄ごみ回収回数
 - ・個人、自治会、事業者による回収数 12回（一斉清掃除く）
 - ・行政による回収数 80回



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計 一般会計 決算書頁 153

担当課	建設水道部	上下水道課	下水道施設係	款	4	衛生費
事務事業名	合併処理浄化槽設置推進事業			項	2	清掃費
				目	1	清掃総務費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	89	
施策目標	快適な生活環境の形成			前年度評価方向性	継続	
施策項目	下水道の整備と水洗化の促進					
個別計画	大田市生活排水処理基本計画(第2期)					

事業の目的	<p>快適で暮らしやすい市民生活の提供や、公共用水域の環境保全を図るため、下水道個別処理区域における合併処理浄化槽の設置や、適正な維持管理を推進することを目的とする。</p>	意図	<p>快適な生活と住みよい地域を形成するため、個別処理区域内における合併処理浄化槽設置の普及率の向上を推進する。</p>
-------	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽法に基づく届け出等事務取扱 ・浄化槽の適正管理の指導及び啓発 ・浄化槽設置補助金交付業務 ・浄化槽管理補助金交付業務
-------	---

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費(決算額)	62,723,540	61,716,751	63,541,501	1,824,750	3.0%	
	財源内訳	特定財源	11,104,000	7,023,000	9,633,000	2,610,000	37.2%
	一般財源	51,619,540	54,693,751	53,908,501	-785,250	-1.4%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
68,698,000	-5,156,499	0	0	63,541,501	63,541,501	0

不用額	特定財源内訳	金額	循環型社会形成推進交付金	浄化槽設置補助金	浄化槽組合負担金	過年度設置補助金返還分
0		3,425,000	4,843,000	1,248,000	117,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○健全な下水道事業の推進施策
浄化槽設置・管理基数

	H29	H30	H31	R2	R3
浄化槽設置事業	38基	52基	33基	32基	36基
浄化槽管理事業	1607基	1623基	1655基	1676基	1694基

浄化槽法定検査受験基数

	H29	H30	H31	R2	R3
法定検査受験数	863基	2602基	2589基	2618基	2664基
法定検査受験率	30%	90%	89%	89%	90%

○水洗化の促進施策
浄化槽整備率

	H29	H30	H31	R2	R3
計画人口	6966人	6906人	6833人	6731人	6633人
供用開始人口	5183人	5241人	5298人	5290人	5255人
整備率	74.40%	75.89%	77.54%	78.59%	79.23%

◆ 事業の成果

・浄化槽設置補助事業

H30の消費増税の駆け込み需要を例外として30~40基程度で推移。転入者や新築での需要が向上している。

・浄化槽管理基数

新築分は今後も増加し続ける見込み。

・浄化槽の法定検査受験率向上

H29年度以前は3割の受験率であったが、県や県浄化槽協会が検査体制を強化したことから、約8割の受験率を確保し、県平均を上回った。今後も適正な指導・啓発活動を通じ、更なる受験率の向上に努める。

○汲取り転換例(5人槽)



○事務所設置例(20人槽)



◆ 前年からの改善点等

あり

・浄化槽組合と協力して、浄化槽展など広報イベントを開催し、補助制度など広報を展開、市民にPR。

担当課	民生部 生活環境課	クリーンプラント係	款	4	衛生費	
事務事業名	し尿処理事業			項	2	清掃費
				目	3	し尿処理費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	88	
施策目標	快適な生活環境の形成			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進					
個別計画						

事業の目的	対象	快適で衛生的な生活環境を維持する観点から安定したし尿等の処理を行う	意図	公衆衛生の向上と環境保全を図る
-------	----	-----------------------------------	----	-----------------

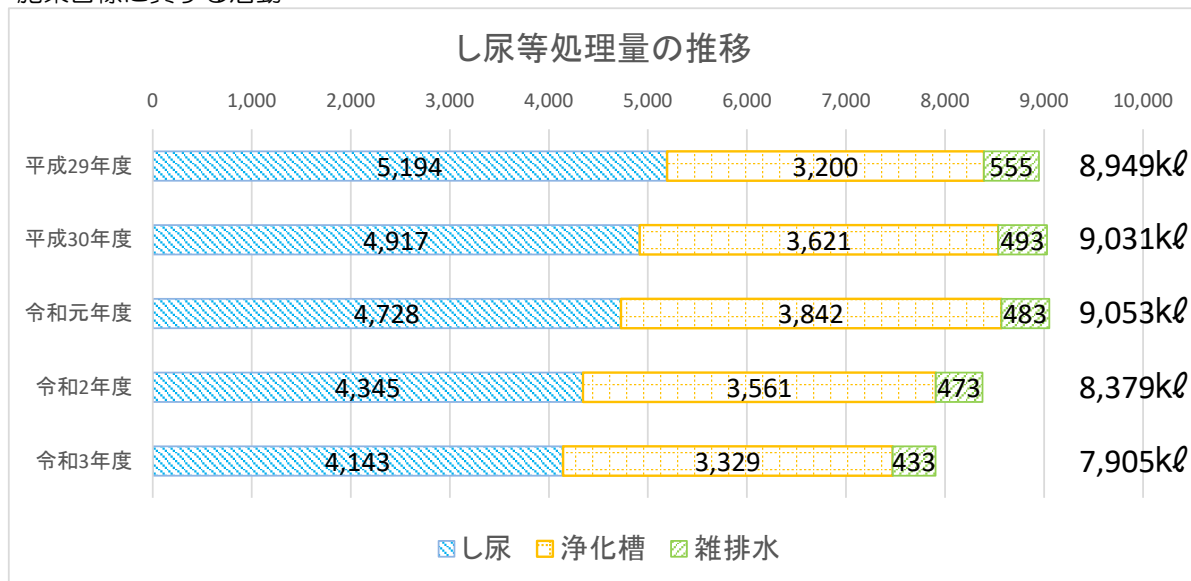
事業の内容	し尿処理施設の安全で安定した運営管理
-------	--------------------

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	107,377,785	108,281,423	75,145,652	-33,135,771	-30.6%	
	財源内訳	特定財源	5,439,240	5,454,670	5,146,830	-307,840	-5.6%
	一般財源	101,938,545	102,826,753	69,998,822	-32,827,931	-31.9%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
96,726,000	-21,536,000	0	0	75,190,000	75,145,652	0
不用額	特定財源内訳	細節名	金額			
44,348		し尿処理手数料	5,146,830			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動



◆ 事業の成果

下水道の普及と人口減少によりし尿や雑排水槽の汚泥については減少傾向にあり、浄化槽汚泥(含む農業集落排水処理施設汚泥)についても新型コロナウイルス感染症の影響により減少しているが、安定した処理を実施した。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 157

担当課	民生部 生活環境課	環境衛生係	款 4	衛生費
事務事業名	生ごみ等資源化推進事業			項 2 清掃費
				目 4 リサイクル推進費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁 87
施策目標	快適な生活環境の形成			前年度評価 方向性 継続
施策項目	廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進			
個別計画				

事業の目的	ごみの排出者自らが、生ごみの減量化と再資源化を行うことで、ごみの減量化、再資源化に対する市民意識の高揚を図る。	意図	ごみの減量化や再資源化を図り、循環型社会の形成を進め、快適な生活環境の基盤形成を図る。
-------	---	----	---

事業の内容
 ・堆肥センターは平成26年2月から指定管理者による運営管理を開始し、市内小中学校及び保育園、宿泊施設、協力自治会、福祉施設、市内飲食店等から排出される生ごみを堆肥化している。生産された堆肥は学校での花づくりや野菜づくりに活用されている。
 ・生ごみ堆肥化等処理容器を購入した市民に、購入費の1/2（限度額あり）を補助する。電気式：上限30,000円、100ℓ以上の容器：上限3,000円、100ℓ未満の容器：上限2,000円

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		12,170,809	18,003,710	19,454,461	1,450,751	8.1%
	財源内訳	特定財源	498,000	606,000	559,000	-47,000	-7.8%
		一般財源	11,672,809	17,397,710	18,895,461	1,497,751	8.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,725,000				20,725,000	19,454,461	
不用額	特定財源	細節名	堆肥販売金			
1,270,539	内訳	金額	559,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 生ごみの分別収集及び堆肥化
- 生ごみ堆肥配布
- 生ごみ堆肥化等処理容器購入費補助
- 牛ふん堆肥販売

牛ふん堆肥販売風景



◆ 事業の成果

- 生ごみ収集量
 - ・令和3年度：160 t（前年比8%増）
- 生ごみ収集箇所（令和4年3月末現在）
 - ・61箇所：自治会 1件、保育園 2園、小中学校 6校、福祉施設 7施設、宿泊施設 9施設 工場 1施設、飲食店 33軒、行政施設 2施設
- 生ごみ堆肥配布
 - ・小中学校への配布（北小、東小、西小）
 - ・文化祭来場者への無料配布 配布数150袋
- 生ごみ堆肥化等処理容器設置補助金
 - ・電気式生ごみ処理機 10台 補助金額 163,630円（前年比 台数 3増 金額16,848円増）
 - ・コンポスター 36台 補助金額 81,347円（前年比 台数11増 金額24,855円増）
- 牛ふん堆肥販売
 - ・春の販売 令和3年4月 3日（土）実施 軽トラ148台、2 t車9台 販売額 363,500円
 - ・秋の販売 令和3年9月25日（土）実施 軽トラ 64台、2 t車9台 販売額 195,500円

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	157 159
----	------	------	------------

担当課	民生部	生活環境課	環境保全係	款	4	衛生費
事務事業名	環境調査事業			項	3	環境保全費
				目	1	環境保全費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	79
施策目標	自然と共生した環境の創造				前年度評価 方向性	継続
施策項目	自然環境の保全と共生					
個別計画						

事業の目的	環境に悪影響を及ぼす恐れのある事業所等の調査を行い、改善、解決に向けた指導、助言を行う。生活環境の保全を目的とした環境調査（河川水質、自動車交通騒音、ダイオキシン類）を実施する。	意図	当市の貴重な財産である良質な水や良好な大気の環境等を適切に保全して快適な環境を未来へ引き継ぐ。
-------	---	----	---

事業の内容	下記環境調査の実施。定期的調査の他苦情等が発生した場合は随時実施する。 ○河川、湖沼の水質調査 ○地下水連続観測 ○ダイオキシン類：大気、土壌 ○低周波音：食品製造施設 ○臭気：堆肥製造施設、食品製造施設、畜産関係 ○特定悪臭物質：堆肥製造施設、畜産関係 ○自動車交通騒音常時監視
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		11,887,736	11,324,597	11,714,418	389,821	3.4%
	財源内訳	特定財源	4,520,000		5,000,000	5,000,000	皆増
		一般財源	7,367,736	11,324,597	6,714,418	-4,610,179	-40.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
12,977,000	-1,181,000			11,796,000	11,714,418	0
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
81,582	内訳	金額	5,000,000			

事業の実績・成果						
◆ 施策目標に資する活動						
○水質検査（52箇所 149検体）						
・町川、平河川（17箇所）		・常盤、社河川（18箇所）		・八坂、美麻河川（4箇所）		
・仁科三湖（6箇所）		・木崎湖流入河川（4箇所）		・昭和電工関係（3箇所）		
○地下水連続観測（4箇所）						
常盤2号井戸 市立大町病院井戸 グリーンパーク井戸 常盤事業所井戸						
○ダイオキシン類測定（大気2回、土壌1回）						
・図書館付近（大町）、丹生子付近（社）、雇用促進住宅付近（社）、旧社駐在所付近						
○低周波音測定（食品製造施設 敷地境界3箇所、近隣屋内2箇所）						
○臭気測定 畜産関係12検体						
その他91検体		堆肥製造施設 70検体		食品製造施設 21検体		
○自動車交通騒音常時監視 県道長野大町線（新行、千見）						

◆ 事業の成果

○水質検査

河川、湖沼の水質については、概ね環境基準をクリアしている。
水温については、若干上昇傾向にある。
また、市ホームページにおいて測定結果を公開している。（年1回更新）

○地下水位観測（4箇所）

平成28年度より水位観測をしている。各井戸ともに降水に係る変動はあるが、長期的には大きな変化は観測されていない。
また、アルプス地域地下水保全対策協議会へデータを提供し、他市町村分の結果と合わせオープンデータとして公開している。

○ダイオキシン類測定

大気、土壌ともに環境基準を大幅に下回っている。
また、市ホームページにおいて測定結果等を公表している。（年1回更新）

○低周波音測定（食品製造施設）

測定結果は、過去の測定数値と比べて大きな変化は見られない。
地元自治会からの要望により、近隣の民家で行った宅内での測定結果については、環境省から示されている心身の苦情に関する参照値と比較しても問題となる状況ではない。
地元自治会に測定結果を報告している。（年1回報告会）

○臭気測定

・畜産関係

月1回の臭気測定結果は、数年前と比較して、規制基準値を超過する回数は減少しているが10月以降ほぼ基準を超える状況となった。市民からの苦情はない。事業者と地域の方々が情報を共有し、改善に向け取り組んでいくという方向性である。市も監視を継続し改善を指導している。
また、地元自治会に臭気測定の結果を報告している。

・堆肥製造施設

臭気指数は、脱臭装置のメンテナンスと薬液量の調整により数値的には一時改善が見られたが、近隣の方々の実感としては以前とあまり変わらない状況である。
市民からの苦情は、メンテナンス等の効果もあり、16件と昨年度の37件から減少している。
県及び地元の公害対策委員会と連携し、臭気対策のため施設の改修等について監視している。
また、地元の公害対策委員会の定例会において、測定結果の報告をしている。（年4回）

・食品製造施設

気体排出口の臭気指数が規制基準値を超過しているが、市民からの苦情は寄せられていない。臭気指数の改善を図るよう指導し、事業者は11月に新たな脱臭装置を設置して数値は改善傾向にある。
また、地元自治会に測定結果を報告している。

○自動車交通騒音常時監視

調査した2か所ともに環境基準（幹線交通を担う道路に近接する空間の特例 昼間70db、夜間65db）を満たしている。また、測定結果について、環境省及び長野県にデータ提供している。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	民生部	生活環境課	環境保全係	款	4	衛生費	
事務事業名	環境保全事業				項	3	環境保全費
					目	1	環境保全費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	79	
施策目標	自然と共生した環境の創造				前年度評価 方向性	やり方改 善	
施策項目	自然環境の保全と共生						
個別計画							

事業の目的	対象	市民、事業者、行政がそれぞれの立場で自然、生活環境、生態系の保全に取り組む。	意図	当市の貴重な財産である環境を適切に保全して快適な生活環境や自然環境を維持する。
-------	----	--	----	---

事業の内容
 環境保全推進員50名を委嘱し、パトロールによるごみの不法投棄の防止や不法投棄ごみの回収、外来植物の駆除など良好な生活環境の確保に努めている。
 外来植物の駆除については、委託による駆除作業のほか、自治会、地域振興局、建設事務所と協力して駆除作業を実施した。
 環境保全に関する条例に基づく井戸設置の届出制（令和3年度施行）を導入し、地下水利用状況の把握を始めた。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		3,956,954	4,082,805	3,975,441	-107,364	-2.6%
	財源内訳	特定財源	3,000,000	3,000,000	3,000,000	0	-
		一般財源	956,954	1,082,805	975,441	-107,364	-9.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,186,000				4,186,000	3,975,441	
不用額	特定財源内訳	細節名	金額			
210,559		ふるさと応援基金繰入金	3,000,000			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 外来植物除去量

令和元年度	令和2年度	令和3年度
6,590kg	8,040kg	7,690kg
 - 事業用井戸の届出
事業用井戸の届出38件、設置井戸数64本
- ◆ 事業の成果
 - 外来植物除去
委託による除去の他に自治会が主体となって、地域振興局、建設事務所、市が協働で除去作業を実施した。
 - 環境保全員の活動
環境保全推進員による地域の巡回は例年同様に実施されている。
環境保全推進員からの通報による市職員の不法投棄物の回収：13回 690kg
- ◆ 前年からの改善点等 あり
 - 地球温暖化防止に関する事務の記載を自然エネルギー活用推進事業に変更した。
 - 不法投棄に関する事務の記載を環境保全推進員に係る部分を除いて不法投棄対策事業に変更した。
 - 外来植物の駆除について予算を増額した。（令和4年度予算）

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	159
----	------	------	-----

担当課	民生部 生活環境課	環境保全係	款	4	衛生費	
事務事業名	自然エネルギー活用推進事業			項	3	環境保全費
				目	1	環境保全費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	79	
施策目標	自然と共生した環境の創造			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	自然環境の保全と共生					
個別計画						

事業の目的	地球温暖化に起因する気候変動は自然影響や生活環境に影響を及ぼす懸念があり、良好な環境を維持するため、温室効果ガスの削減を進めると共に自然エネルギー（水力）を活用した町川発電所の安定的な運転及び再生可能エネルギーの普及を促進する。	意図	温室効果ガスの排出削減と地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進により、2050年までにゼロカーボンシティを目指す。
-------	--	----	--

事業の内容	町川発電所の管理、公共施設への再生可能エネルギー普及促進 太陽光発電設備の設置管理に関する要綱に基づき、事業者が実施する太陽光発電事業の発電設備の設置、管理、撤去等が適切に行われるよう指導 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定 地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の進捗管理
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	1,865,573	13,824,774	9,589,246	-4,235,528	-30.6%
	財源内訳	特定財源		9,589,246	9,589,246	皆増
	一般財源	1,865,573	13,824,774		-13,824,774	皆減

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
9,300,000	292,000			9,592,000	9,589,246	
不用額	特定財源	細節名	小水力発電施設売電収入			
2,754	内訳	金額	9,589,246			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○町川発電所の管理業務

臨時職員：施設点検業務 週3日

職員：除塵機清掃 週1回（秋期は週2回）

○自然エネルギーの活用

令和3年度太陽光発電事業事前相談件数 18件（2,751kw）

令和3年度太陽光発電事業運転開始件数 12件（1,026kw）

◆ 事業の成果

○町川発電所発電量 1,085,896 kwh

○町川発電所売電料 9,592,929 円

○クリーンプラント効果額 7,812,552 円

○ゼロカーボンシティ宣言

○地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定

○地球温暖化防止対策基金積立額 7,462,000 円

◆ 前年からの改善点等

あり

○地球温暖化防止対策に関する事業の財源に充てることを目的に地球温暖化防止対策基金の創設

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	161
----	------	------	-----

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	款	5	労働費
事務事業名	創業支援事業			項	1	労働諸費
				目	1	労政費
				前期計画登載頁		49
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化				前年度評価 方向性	
施策項目	中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化					
個別計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 新規卒者、Uターン希望者等に対する就職機会の提供 創業・起業希望者に対する創業・起業支援 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業への就業による定住・移住の推進 創業・起業の実現による定住・移住の推進と地域経済の活性化
-------	---	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援アドバイザーによる創業・起業相談、経営指導等 企業説明会(就職面接会)の開催 関係機関(大町職業安定協会、大北高等職業訓練校等)への助成 創業支援協議会との連携協力による各種事業の実施 創業セミナー・塾の開催、相談窓口の開設、コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進等
-------	--

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費(決算額)	14,700,294	13,860,975	14,188,531	327,556	2.4%	
	財源内訳	特定財源	178,000	380,000	2,109,000	1,729,000	455.0%
	一般財源	14,522,294	13,480,975	12,079,531	-1,401,444	-10.4%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,487,000				15,487,000	14,188,531	

不用額	特定財源	内訳	金額	新規卒者等就職支援事業	176,000	北アルプス連携自立圏事業	456,000	ふるさと応援基金繰入金	1,477,000
1,298,469	内訳	金額							

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 創業支援アドバイザーによる支援
創業・起業相談、経営指導等の実施による事業具現化の後押し。
- 企業説明会の開催
関係機関との連携により、北アルプス連携自立圏事業として大北地域内企業による説明会を開催
- 創業支援協議会との連携による創業支援
(1) セミナー・塾の開催、相談窓口の開設
(2) コワーキングスペースの運営、テレワーク事業の推進
- 各種助成制度による創業・起業支援
起業支援補助金や融資制度等の活用による創業・起業を支援



◆ 事業の成果

- 市創業支援アドバイザーによる支援
創業・起業相談、経営指導、協議会主催セミナー・塾開催時の相談・フォローアップ等の実施 16回
- 企業説明会の開催
・開催日: 令和3年5月6日(アプロード)
・参加者: 110名(大学・短大・専修・既卒者 11名、大北管内高等学校 99名)、大北管内企業 24社
- 創業支援協議会との連携による創業支援
・セミナー: 全3回・延べ33名、塾: 全5回・延べ121名、相談者/創業者数: 26名/12名
・コワーキングスペース: 感染症の影響で共用スペースは閉鎖、各種相談・ワークショップ等に活用
・テレワーク事業: 実働者2名(登録ワーカー16名)
テレワーク需要の把握と子育て世代の就労に関するアンケート調査実施(令和3年8月)
市内保育園・幼稚園保護者対象(回答237/559名 回答率42.4%)



主な調査項目	就労状況	就労	186名(78.5%)	未就労	51名(21.5%)
	就労希望	ある	118名(49.8%)	ない	113名(47.7%)
	テレワーク認知度	ある	45名(19.0%)	ない	192名(81.0%)
	テレワークへの興味	ある	85名(35.9%)	ない	147名(62.0%)
	テレワーク募集時の応募	する	66名(27.9%)	しない	171名(72.1%)

- 各種助成制度による創業・起業支援
・起業支援補助金交付者数/額: 4人/4,000千円
・融資制度利用状況(創業関連資金): 市2件、県14件

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	163
----	------	------	-----

担当課	教育委員会	生涯学習	課	女性未来館ピュア	係	款	5	労働費
事務事業名	女性未来館ピュア運営事業					項	1	労働諸費
						目	2	労働施設費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁	42	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進							
個別計画								

事業の目的	新規就業者、中途採用者希望者を含む女性労働者及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行う。	意図	女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。
事業の内容	女性のための各種講座や講演会及びサークルなどが円滑に活動できる管理体制を図る。託児ボランティア活動団体の人材育成実施。		

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	4,137,754	3,795,170	3,238,005	-557,165	-14.7%
	財源内訳	特定財源			0	-
	一般財源	4,137,754	3,795,170	3,238,005	-557,165	-14.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,644,000	△ 1,192,000			3,452,000	3,238,005	
不用額	特定財源内訳	細節名				
213,995	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

トールペイント講座全5回 親子でクリスマスケーキ秋のトレッキング 伝説の地巡り 全4回



クラフトバンド講座全5回

生まれ絵本の世界へ 全5回



◆ 事業の成果

平公民館・女性未来館ピュア事業の成果発表の場(11月開催) ピュアフェスタ開催



◆ 前年からの改善点等

あり

利用者の高齢化が進む中、ピュアフェスタに向けた成果発表の場があることは利用者各自のサークルの取り組みに生きがいをもたらし、頭を使い、身体を動かし、人と交わることで健康増進につながる。また昨年と同様、コロナ禍の中で開催するフェスタはかえって今まで同様に開催してきたサークル活動の見直しと利用者の会の親睦を深め変化をもたらすことになった。フェスタ開催期間中とは別にミニコンサートを開催するなど窮屈な環境の中で新しい形式の楽しみを提供できたことは意義のあることであったと思う。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	165 167
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	款	6	農林水産業費
事務事業名	農業農村交流事業			項	1	農業費
				目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	60
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化				前年度評価 方向性	継続
施策項目	都市との交流の促進					
個別計画						

事業の目的	対象	中綱湖へら鮒釣り大会、国営公園を拠点とした農家民宿事業により、都市住民と地域住民の交流を図る。	意図	グリーンツーリズム事業を推進して地域の活性化を図る。
-------	----	---	----	----------------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 中綱湖へら鮒釣り大会開催（毎年6月第3日曜日） 中綱湖へら鮒放流事業（毎年11月3日） 安曇野市、松川村と共同で農家業体験の修学旅行の受入
-------	---

決算数値（単位：円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
事業費	総事業費（決算額）	706,263	318,746	307,678	-11,068	-3.5%
	財源内訳				0	-
	一般財源	706,263	318,746	307,678	-11,068	-3.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
846,000				846,000	307,678	
不用額	特定財源	細節名				
538,322	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 第20回中綱湖へら鮒釣り大会 ⇒ コロナ禍のため開催延期
- 農家民泊 受入予定校8校 ⇒ コロナ禍のため受入中止
- 中綱湖へら鮒放流事業 11月3日実施
放流実績 0.69 t（15～25cm） 2,293匹程度



◆ 事業の成果

農家民宿事業は、民泊前後に約半数の学校が大北地域に宿泊するため、一定の経済効果がある。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	167
担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	款6	農林水産業費
事務事業名	農業振興事業			項1	農業費
				目3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	52,53
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興			前年度評価 方向性	継続
施策項目	農地施策の推進				
個別計画	大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画				

事業の目的	対象	①新規就農者 ②有機農産物生産者 ③農業者	意図	①担い手を育成し安定的な農業経営を図る。 ②慣行栽培との差別化を進め、価値の高い農産物の栽培を推奨する。 ③「人・農地プラン」の作成及び実質化により、地域の担い手と農地の課題解決及び地域活性化に向けた事業の推進
-------	----	-----------------------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青年等就農計画を認定された新規就農者が、農業経営を開始するにあたり毎年150万円を5年間交付。 ・化学肥料や化学合成農薬を原則5割以上低減する取組みと併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援。 ・「人・農地プラン」の作成及び実質化 ・市内全小中学校による学童農園への取組み。
-------	--

決算数値 (単位：円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費 (決算額)		29,909,935	15,636,210	18,466,432	2,830,222	18.1%
	財源内訳	特定財源	24,146,724	12,990,693	15,564,590	2,573,897	19.8%
		一般財源	5,763,211	2,645,517	2,901,842	256,325	9.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,457,000	-1,097,000			19,360,000	18,466,432	
不用額	特定財源	細節名	農業次世代人材投資資金	農業次世代人材投資推進事業費	環境保全型農業直接支援対策補助金	
	内訳	金額	14,265,520	37,000	1,262,070	

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 農業次世代人材投資事業 (経営開始型)
 - ・継続7人 交付額 9,765,520円
 - ・新規3人 交付額 4,500,000円



就農状況確認と営農指導

- 環境保全型農業直接支払事業
 - ・5組織 交付額 1,682,760円
 - ・補助率 (県3/4 市1/4) 面積 2,264a

- 「人・農地プラン」の見直し地区等
 - ・市内の実質化されたプラン数 全14地区
 - ・上記プランのうち2地区見直し (常盤地区、大原地区)



有機農業 (ニンジン)

- ◆ 事業の成果

農業次世代人材投資事業は、経営、技術担当、営農資金担当、農地担当からなるサポートチームにより、当初立てた計画どおり農業経営が進んでいるか、年2回の面談及び現場確認等によりきめ細やかな指導が行なわれるため、将来の担い手育成の場として大変有益である。

有機農業は、生物多様性保全や地球温暖化防止に高い効果を示すとともに、有機農業により生産される農産物等は国内市場が拡大していることから、引き続き支援していく。

- ◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	農業振興事業				項	1	農業費
					目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	52,53	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	生産と販売の推進						
個別計画							

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の関心を高め、生産者が生産への誇りを保ちつつ、収益の確保を図る。 地域外の消費者に大町の農産物を知ってもらう。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 大町で生産された農産物を大町で消費する地産地消を進める。 農産物の宣伝販売活動を展開し、今後の消費につなげることを目的とする。
-------	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> そばスタンプラリーの開催 JA大北の協力による学校給食での地元農産物の利用促進。 イベントにおける季節の食材の販売。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		1,777,200	610,000	760,000	150,000	24.6%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	1,777,200	610,000	760,000	150,000	24.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,360,000				1,360,000	760,000	
不用額	特定財源内訳	細節名				
600,000		金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 主要な農産物である大町のそばをより知っていただくため、その手段としてそばスタンプラリーを通じてPRする。

地産地消推進イベント 400,000円
 - 学校給食への地元農産物の出荷手数料を負担し、地産地消の取組みを支援する。

2,000円/日×180日=360,000円
- 事業の成果
 - 新型コロナウイルス感染症の影響があったが、リピーターになり得る市内・近隣の方に多く応募いただいた。
 - 給食を通じて、大町の農産物を小中学校で味わい、地産地消や食の大切さを学んでいる。
- ◆ 前年からの改善点等 あり
 - 地産地消として美麻小中学校において大町産有機米の給食提供を実施した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	産業観光部	農林水産課	庶務係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	農業マーケティング事業				項	1	農業費
					目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	52	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	生産と販売の推進						
個別計画							

事業の目的	対象	・輸出を志向する農産物及び農産物を主原料にした加工品の生産者	意図	新たな輸出促進のための取り組みを支援し、多様な販売システムを確立するとともに、農産物及び地域のブランド力の向上を図り、当市の経済の活性化を目指す。
-------	----	--------------------------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物等における輸出研究会の開催 ・大田市農産物等輸出協議会の設立 ・輸出事業者と事業者とのマッチングによる特産品の輸出
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		231,164		282,722	282,722	皆増
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	231,164		282,722	282,722	皆増

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,650,000	1,200,000			2,850,000	282,722	
不用額	特定財源	細節名				
2,567,278	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 農産物等の輸出セミナー
令和3年7月7日（水）大田市役所2階西会議室
・講演
「輸出の情勢とブランドづくり」
参加者：18人



- 農産物等の海外PRの実施
令和4年1月15日～17日までの3日間
実施場所：香港
内容：米、りんご、トマト、りんごジュース、ジャム類の販売によるPRの実施



◆ 事業の成果

- 輸出に取り組んだ事業者数：6事業者
- 輸出事業者と市内事業者の新たなマッチング数：1事業者
※本事業による取組数

◆ 前年からの改善点等

あり

- 大田市農産物等輸出協議会において、長野県地域発元気づくり支援金を活用して事業を実施した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	167 169
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	農業経営基盤強化推進事業				項	1	農業費
					目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	53	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	農地施策の推進						
個別計画							

事業の目的	対象	認定農業者の運転資金等の借入利子の負担軽減及び農業経営の改善	意図	認定農業者へ農地を集積し、農地流動化を図るとともに、農地の有効利用と担い手農家を育成し効率的・安定的な農業経営を目指していく。
-------	----	--------------------------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業経営基盤強化資金（スーパーL）と農業近代化資金の融資残高に対し、一定の率を乗じて補助金を交付。 新規に農地の利用権設定を受けた認定農業者に、面積に応じた奨励金を交付。（10aあたり6,000円、10aに満たない場合、10aあたり8,000円）
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		1,507,053	1,243,027	631,513	-611,514	-49.2%
	財源内訳	特定財源	84,901	42,098	26,313	-15,785	-37.5%
		一般財源	1,422,152	1,200,929	605,200	-595,729	-49.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,614,000				1,614,000	631,513	
不用額	特定財源	細節名	農業経営基盤強化促進対策事業補助金			
982,487	内訳	金額	26,313			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○農業経営基盤強化資金利子助成件数	4件	補助金額	52,629円
令和2年度実績	5件	補助金額	83,217円
令和元年度実績	6件	補助金額	164,022円
○農地流動化担い手育成奨励金交付件数	14件	補助金額	559,884円
令和2年度実績	14件	補助金額	752,038円
令和元年度実績	17件	補助金額	839,152円
○認定農業者への流動化面積			868a
令和2年度実績			1,113a
令和元年度実績			1,345a

◆ 事業の成果

- 農業経営基盤強化資金利子助成及び農業近代化資金融資利子補給により、認定農業者等の経営改善に寄与している。
- 農地流動化担い手育成奨励金により、農地の有効利用、認定農業者等の経営改善及び当該者への農地集積に寄与している。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 169

担当課	産業観光部 農林水産課 農業振興係	款	6	農林水産業費
事務事業名	中山間地域等直接支払事業	項	1	農業費
		目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	前期計画登載頁	53	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興	前年度評価 方向性	継続	
施策項目	農地施策の推進			
個別計画	大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画			

事業の目的	対象 中山間地域における農地保全、水源涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進	意図 耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続可能な農業生産活動の維持を目指す。
-------	---	---

事業の内容	中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持管理していくための活動に対し、面積に応じた額を交付 第5期対策期間 急傾斜地 田1/20以上 畑15°以上 10aあたり(田21,000円 畑11,500円) 緩傾斜地 田1/100~1/20 畑8°~15° 10aあたり(田8,000円 畑3,500円)
-------	--

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費(決算額)	13,090,387	12,132,551	12,120,814	-11,737	-0.1%	
	財源内訳	特定財源	9,359,485	8,625,002	8,625,002	0	-
	一般財源	3,730,902	3,507,549	3,495,812	-11,737	-0.3%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
12,263,000				12,263,000	12,120,814	
不用額	特定財源	内訳	金額	中山間地域等農業直接支払事業補助金	中山間地域等農業直接支払推進事業補助金	
142,186	内訳	金額	8,596,002	29,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
○実施団体数 11集落(R3)・14集落(R2)・16集落(R元)
大町地区 3集落 320,234㎡ 5,399,083円
八坂地区 7集落 251,247㎡ 4,852,099円
美麻地区 1集落 92,549㎡ 1,810,071円



草刈作業(宮本集落)



水仙の植付作業(宮本集落)

- ◆ 事業の成果
中山間農地の遊休荒廃化を防ぐうえで、重要な役割を担っている。
第4期対策期間終了(令和元年)と同時に、2集落(大町1、八坂1)が構成員の高齢化等により活動を終了している。
美麻地区において、集落の役員不足の解消のため、広域化について検討し、令和3年度より美麻4地区が広域化された。
大塩南沖集落、高根集落、梨の沢集落、丸切集落 ⇒ 美麻広域集落
- ◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	産業観光部 農林水産課 農業振興係	款	6	農林水産業費
事務事業名	多面的機能支払事業	項	1	農業費
		目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	前期計画登載頁	53	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興	前年度評価 方向性	継続	
施策項目	農地施策の推進			
個別計画	大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画			

事業の目的	対象	農業者等が共同で取り組む地域活動や地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動に対して支援する。	意図	農地の多面的機能の維持増進を図る。
-------	----	--	----	-------------------

事業の内容	各組織の農用地の維持管理、地域住民との共同活動（植栽等）、水路及び農道等の施設の老朽化等に対する補修及び更新に対して、面積に応じた額を交付している。			
	○基本単価	農地維持支払	田3,000円	畑2,000円（10aあたり）
		資源向上支払（共同活動・5年未経過等）	田2,400円	畑1,440円（10aあたり）
		資源向上支払（共同活動・5年未経過等）	田1,800円	畑1,080円（10aあたり）

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	122,263,374	112,329,255	109,654,184	-2,675,071	-2.4%	
	財源内訳	特定財源	92,026,765	84,385,434	82,384,303	-2,001,131	-2.4%
	一般財源	30,236,609	27,943,821	27,269,881	-673,940	-2.4%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
123,258,000	-13,533,000			109,725,000	109,654,184	
不用額	特定財源	細節名	多面的機能支払事業補助金	多面的機能支払推進交付金	多面的機能支払生坂村負担分	
70,816	内訳	金額	80,798,178	1,580,000	6,125	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○実施団体数 30組織

農地維持支払	取組面積	1,521ha	交付額	44,611,000円
資源向上支払（共同）	取組面積	1,340ha	交付額	23,303,840円
資源向上支払（長寿命化）	取組面積	1,295ha	交付額	39,816,064円



草刈作業（須沼多面的地域保全の会）

◆ 事業の成果

農地の維持管理等に大きく寄与しており、共同活動の取組により地域住民との交流の機会が増えている。事務の煩雑化や役員不足等により、令和元年度終了時に八坂地区の3組織が活動を終了している。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計 一般会計 決算書頁 169

担当課	産業観光部 農林水産課	農業推進支援係	款 6	農林水産業費
事務事業名	農業推進支援センター事業			項 1 農業費 目 3 農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁 52、53
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興			前年度評価 方向性 継続
施策項目	生産と販売の推進			
個別計画				

事業の目的	担い手となる認定農業者や農業法人にはその規模に合った国の支援を活用できるよう支援し、小規模農家や高齢者農家には、市独自の支援策を講じる。	意図	・大町市地域農業再生協議会の事務局として、水田農業政策の推進を図り、適正生産の目安値を達成する。 ・担い手への農地集積、農作業の受委託促進により農地の有効活用と遊休荒廃地とならないよう維持保全を図る。
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・米の需給調整の実施を行い、米政策における経営所得安定対策の推進や、地域の特性に応じた水田農業の仕組みづくりに取り組んでいる。 ・農地中間管理機構を通じて、農産物を産地化できるような農地を集約し、効率的な農業の推進に取り組んでいる。 ・遊休荒廃農地を増やさないよう、担い手農家に一部農作業受託をしていただき、農地の維持保全を補助事業として取り組んでいる。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		25,918,932	28,672,481	43,709,539	15,037,058	52.4%
	財源内訳	特定財源	10,417,000	15,196,000	29,782,600	14,586,600	96.0%
		一般財源	15,501,932	13,476,481	13,926,939	450,458	3.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
144,019,000	-7,756,000			136,263,000	43,709,539	91,828,000
不用額	特定財源	内訳	金額	機構集積協力金	強い農業担い手づくり総合支援事業補助金	経営所得安定対策等推進事業
725,461	内訳	金額	8,300,600	16,634,000	4,848,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 米の生産調整に関すること

農業者や農業者団体が主体となり、最大限の生産目標数量が確保され、当初の目標を達成することができた。

大町市の生産確定数量8,723トン（大町市の基準単収615キロ/10a）

- ・農作業維持体制構築事業 8,886,000円
- ・経営所得安定対策等推進事業 4,848,000円
- ・機構集積協力金 8,300,600円

◆ 事業の成果

○ 農地中間管理事業に関すること

農地中間管理機構が農地を借り受け、地域の担い手へ集積・集約化を進めている。

農地の出し手20者 合計約74.1ヘクタールの集積

○ 農作業の受委託の促進に関すること

農作業の受委託を促進し、地域の農地の有効活用と維持保全に努めている。

受託者35者 受託面積335.6ヘクタール、防除面積1610.2ヘクタール

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	産業観光部	農林水産課	農業振興係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	遊休農地荒廃防止事業				項	1	農業費
					目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	53	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	農地施策の推進						
個別計画							

事業の目的	対象	遊休農地の荒廃地化を防止	意図	景観形成作物等の作付けにより農地の有効利用転換を図る。
-------	----	--------------	----	-----------------------------

事業の内容	生産団体や農業コミュニティー組織が遊休農地の解消及び維持管理を行うための経費に対して3/4以内（7万円/10aあたり上限）の補助金を交付
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		1,180,000	0	0	0	-
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	1,180,000	0	0	0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,200,000			-1,200,000	0	0	
不用額	特定財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 取組予定組織等 1 組織
 - ・三原地区遊休農地対策組織

R3年度に実施予定であったが、構成員の都合により事業が中止となった。

◆ 事業の成果

- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	169 171
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	農林水産課	農業推進支援係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	園芸振興事業				項	1	農業費
					目	3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	52	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	生産と販売の推進						
個別計画							

事業の目的	対象	販売目的で園芸作物の生産拡大に取り組む農業者や団体に対して支援を図る。	意図	園芸作物の生産振興と、生産拡大を図る。
-------	----	-------------------------------------	----	---------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹改新植事業 ・地域特産加工事業 ・園芸生産施設整備事業
-------	--

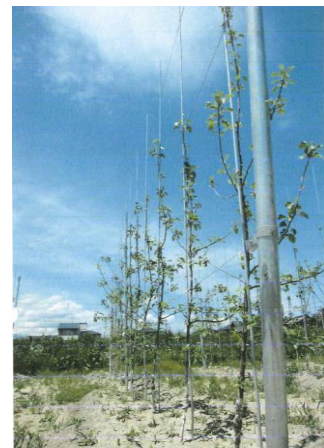
決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	8,106,665	3,028,583	4,484,773	1,456,190	48.1%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	8,106,665	3,028,583	4,484,773	1,456,190	48.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,493,000	-2,742,000			4,751,000	4,484,773	
不用額	特定財源内訳	細節名				
266,227	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 果樹改新植事業
 - ・りんご苗木 1者 126本 63,000 円
 - ・ワイン用ぶどう苗木 1者 373本 170,121 円
 - ・支柱 2者 15.9a 160,212 円
- ぶどう生産振興事業
 - ・土壌診断 2者 4,812 円
- 園芸生産施設整備事業
 - ・ビニールハウス 1者 700,000 円
- 地域特産加工事業
 - ・りんご加工施設ボイラーほか 2者 2,364,560 円
- 農作物被害防止事業
 - ・りんご腐乱病及び黒星病防除 2者 180,000 円
- 農作物等災害緊急対策事業
 - ・凍霜害予防応急対策 1者 198,386 円



りんご新しい化高密度植

◆ 事業の成果

- 園芸生産施設整備事業
 - ・ミニトマト栽培用としてビニールハウスを設置し園芸作物の推進、産地化の取組みが前進した。

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・園芸生産施設整備事業としてビニールハウス設置に対する補助を拡充した。
- ・JA大北や生産者と連携し、園芸作物重点品目を中心に、高収益作物への転換を行い農業所得向上策の一つとして生産拡大を図る。

担当課	産業観光部 農林水産課	庶務係	款 6	農林水産業費
事務事業名	有害鳥獣対策事業			項 1 農業費
			目 3	農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁 53
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興			前年度評価方向性 継続
施策項目	生産と販売の推進			
個別計画	大町市鳥獣被害防止計画			

事業の目的	対象 農業者等	意図	サル、シカ、イノシシ、クマ、カラス等の野生鳥獣による農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。
-------	---------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵設置、緩衝帯の整備等による対策強化 ○県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数調整 ○モンキードッグの育成 ○猟友会員など鳥獣被害対策者の育成
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	19,543,329	20,430,372	20,341,942	-88,430	-0.4%	
	財源内訳	特定財源	929,274	2,984,344	2,765,900	-218,444	-7.3%
	一般財源	18,614,055	17,446,028	17,576,042	130,014	0.7%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
24,358,000	-2,740,000			21,618,000	20,341,942	
不用額	特定財源	細節名	野生鳥獣総合管理対策事業補助金			
1,276,058	内訳	金額	2,765,900			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 有害鳥獣駆除

- ニホンザル：283頭（300頭）
- ニホンジカ：51頭（32頭）
- イノシシ：16頭（17頭）
- タヌキ・キツネ・ハクビシン：15頭（タヌキ、ハクビシン、アナグマ：9頭）
- 鳥類：310羽（229羽）
- 合計：675（587）

○ 侵入防止柵設置補助（市単独事業）

- 設置数：20件（41件）
- 設置距離：3,658m（8,065m）

※（ ）内の数字はR2年度実績



◆ 事業の成果

国庫補助による侵入防止柵の設置や協力員やモンキードッグ等での追い払い、猟友会による捕獲、市単独の補助事業による個々のほ場への侵入防止柵の設置などを総合的に実施し、農業被害額は減少傾向にある。一方、侵入防止柵等の対策が十分でない地域での被害やニホンジカ、イノシシによる被害も報告されていることから、さらに取り組みを進めていく。



◆ 前年からの改善点等

あり

ニホンジカやイノシシの被害については猟友会とさらに連携を強化し、わな等による捕獲に努めている。

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 171

担当課	産業観光部 農林水産課	庶務係	款6	農林水産業費
事務事業名	有害鳥獣対策強化事業			項1 農業費 目3 農業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁 53
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興			前年度評価 方向性 継続
施策項目	農地施策の推進			
個別計画	大町市鳥獣被害防止計画			

事業の目的	対象 農業者等	意図	サルによる農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。
-------	---------	----	--

事業の内容	○サルの追い払い、捕獲強化 ○県特定鳥獣管理計画等に基づく個体数調整
-------	---------------------------------------

決算数値 (単位:円)						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		6,738,619	3,318,471	-3,420,148	-50.8%
	財源内訳	特定財源	1,980,000		-1,980,000	皆減
	一般財源	4,758,619	3,318,471	-1,440,148	-30.3%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,996,000	-1,621,000			3,375,000	3,318,471	
不用額	特定財源内訳	細節名				
56,529	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 有害鳥獣駆除
ニホンザル：283頭（300頭）

※（ ）内はR2年度実績



◆ 事業の成果

各地区の猟友会に協力いただき、サルの位置情報をGPSで把握しながら遠隔操作で捕獲可能な大型捕獲檻を設置するなど効率的な捕獲に取り組むとともに、銃や小型檻での捕獲も実施し計画数に近い数のサルを捕獲することができ農作物への被害が減少傾向にある。また、餌については農家から提供いただくなど市民のみなさんに協力いただきながら事業を推進している。

◆ 前年からの改善点等 あり

GPSとテレメトリーを効果的に活用し、サルの動向を把握しながら檻の設置場所を検討するなど効率的な捕獲ができるよう工夫しながら取り組みを進めた。

担当課	産業観光部 農林水産課 農業振興係	款	6	農林水産業費
事務事業名	たかね市民農園管理費	項	1	農業費
		目	5	市民農園費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	前期計画登載頁	53	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興	前年度評価 方向性	継続	
施策項目	農地施策の推進			
個別計画				

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 農地を希望者に貸付 農業未経験者等に対し、野菜づくり教室を開催 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 潤いのある農園づくりを目指す。 野菜づくりにより、農業を楽しんでもらい、就農へのきっかけづくり、生きがいつくりにつなげていく。
-------	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 借り受けた農地を希望者に貸し付け（83区画4,269㎡） 教育ファーム事業農地を活用した「たのしい野菜づくり教室」を開催（14回）
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	422,756	494,991	421,111	-73,880	-14.9%	
	財源内訳	特定財源	229,120	224,720	226,320	1,600	0.7%
	一般財源	193,636	270,271	194,791	-75,480	-27.9%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
439,000				439,000	421,111	
不用額	特定財源	細節名	たかね市民農園使用料			
17,889	内訳	金額	226,320			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○たかね市民農園利用状況（79区画※）

R3貸付実績 57区画

R2貸付実績 56区画

R元貸付実績 55区画

※全83区画中、野菜づくり教室で4区画使用

○野菜づくり教室開催 14回

○野菜づくり教室参加者 31世帯



第1回教室（4月3日）



第14回教室（10月30日）

◆ 事業の成果

野菜づくりにより、就農へのきっかけづくり、生きがいつくりへとつながっている。

◆ 前年からの改善点等

あり

R3年度より、「農」ある暮らしに興味を持ち、市民農園の利用を希望する移住定住者に対し、空き区画を1年間無償で貸付する。

移住定住貸付区画 R3実績 （7区画中1区画）

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	173
担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設係	款 6
事務事業名	ふたえ市民農園管理費			項 1	農業費
				目 5	市民農園費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	60
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化			前年度評価 方向性	継続
施策項目	都市との交流の促進				
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画				

事業の目的	対象	地域資源（遊休荒廃農地）を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。 市外在住者対象	意図	体験用施設を活用するなどして新規利用者を獲得し、利用を通じて移住・定住促進に繋がるよう施設を管理運営していく。
-------	----	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○交流促進センター及び休憩施設付農園49区画の管理 ・センター・休憩施設の管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内（農地を除く）の草刈り・除雪業務委託 ・休憩施設屋根塗装修繕 3棟
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		22,391,542	19,441,344	18,570,798	-870,546	-4.5%
	財源内訳	特定財源	17,703,765	16,033,431	15,887,033	-146,398	-0.9%
		一般財源	4,687,777	3,407,913	2,683,765	-724,148	-21.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
21,849,000	-1,157,000	0	349,893	21,041,893	18,570,798	
不用額	特定財源	細節名	交流促進センター使用料	ふたえ市民農園使用料		
2,471,095	内訳	金額	630,240	15,256,793		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

ふたえ市民農園休憩施設 49棟
内、お試し体験用 5棟

ラウベ屋根塗装ほか修繕（2,344千円）
ふたえ市民農園運營業務ほか委託料（5,123千円）
寝具等使用料及び土地賃借料（2,591千円）



◆ 事業の成果

休憩施設契約数 35棟
空き区画 9棟
契約率 80%

◆ 前年からの改善点等

あり

・土地賃借料について、実状に合った見直しを行い、令和3年度から改定。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	173 175
----	------	------	------------

担当課	総務部	美麻支所	課	産業建設	係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	おおしお市民農園管理費						項	1	農業費
							目	5	市民農園費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画掲載頁	60	
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	都市との交流の促進								
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画								

事業の目的	地域資源（遊休荒廃農地）を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。 市外在住者対象	意図	体験施設を活用するなどして新規利用者を獲得し、利用を通じて移住・定住促進に繋がるよう施設を管理運営していく。
-------	--	----	--

事業の内容	○管理棟及び休憩施設付農園36区画の管理 ・管理棟・休憩施設の管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内（農地を除く）の草刈り・除雪業務委託
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		6,633,663	6,542,752	5,383,662	-1,159,090	-17.7%
	財源内訳	特定財源	6,633,663	6,542,752	5,383,662	-1,159,090	-17.7%
		一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,820,000	0	0	-349,893	6,470,107	5,383,662	0

不用額	特定財源	細節名	おおしお市民農園使用料			
1,086,445	内訳	金額	5,383,662			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

おおしお市民農園休憩施設 36棟
内、お試し体験用 1棟

おおしお市民農園管理業務ほか委託料（3,010千円）
寝具等使用料及び土地賃借料（1,263千円）



◆ 事業の成果

休憩施設契約数 19棟
空き区画 16棟
契約率 54%

◆ 前年からの改善点等

あり

・土地賃借料について、実状に合った見直しを行い、令和3年度から改定。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	175 177
----	------	------	------------

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	款	6	農林水産業費
事務事業名	農業用施設管理事業			項	2	耕地整備事業費
				目	1	農地費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	79	
施策目標	自然と共生した環境の創造			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	自然環境の保全と共生					
個別計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に整備された農地においては、ほ場整備以降30年以上が経過しており、農業施設、用排水路施設や暗渠排水機能など老朽化が進み、維持管理に苦慮している。水路やほ場などの改修、整備を行い、農業の再編を図る。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化等により老朽化する農業用施設等を、県営事業や交付金事業等を活用し水路等の改修や再ほ場整備を行い、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る。
-------	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設工事 4箇所 ・緊急修繕工事 14箇所 ・県営ため池耐震化事業（居谷里1号・2号ため池）・・・負担金事業（全体事業費7,500万円 負担割合国55%、県34%、市11%） ・県営二重地区ほ場整備事業・・・負担金事業（全体事業費4億円 負担割合：国55%、県27.5%、市10%、地元7.5%）
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		49,559,399	68,167,907	129,946,145	61,778,238	90.6%
	財源内訳	特定財源	22,250,000	14,276,853	93,570,589	79,293,736	555.4%
		一般財源	27,309,399	53,891,054	36,375,556	-17,515,498	-32.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
125,968,000		36,700,000		162,668,000	129,946,145	
不用額	特定財源	細節名	土地改良事業負担金	農業水路等長寿命化・防災	水路使用料	
32,721,855	内訳	金額	53,287,843	39,251,900	1,030,846	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○農業用施設修繕工事・

第5次総合計画の中の、環境に配慮した工業用水や農業用水等の確保・支援として、自治会、農家組合、土地改良区などの要望及び降雨等の自然災害の影響により被害を受けた農業施設の、越荒沢堰他3箇所
の改修工事を実施。

<着工前>・



<しゅん工>・



◆ 事業の成果

○第5次総合計画 農地・施設の機能保全及び基盤整備事業の促進として、県営事業により、居谷里1号・2号ため池の耐震対策工事や美麻地区でのほ場田再編事業に取り組んでいる。

美麻ほ場に関しては、一部耕作も始っており、掛け口に自動給水栓が設置され、運用が始まっている。

○緊急修繕工事、農業用施設改修工事に関しては、老朽化した農業用水路網の効率的な維持保全として、老朽化水路の改修要望、自然災害に伴う緊急対応など18箇所実施した。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	177 179
----	------	------	------------

担当課	産業観光 部	農林水産 課	森林振興 係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	林業振興一般経費				項	3	林業費
					目	1	林業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あられる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画掲載頁	55	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化						
個別計画							

事業の目的	対象 市内の森林 市民	意図	みどりのふれあい促進、みどり教育の推進、薪ストーブ等に対する助成による木質バイオマスエネルギー推進と間伐の促進による健全な森林を育成する。
-------	-------------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○みどりの少年団活動など森林体験事業（植樹祭、育樹祭等）を通じた森林や緑とのふれあい促進支援 ○「木のぬくもりプレゼント」として県産材つみきを幼児に贈り木育を推進 ○薪ストーブ等の導入補助（1台10万円を限度） ○森林所有者等が行う間伐等に要する経費の負担軽減を図るため補助金の嵩上補助（査定事業費等の5%以内）
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,540,408	5,328,930	3,293,294	-2,035,636	-38.2%
	財源内訳	特定財源		1,735,600	761,000	-974,600	-56.2%
		一般財源	2,540,408	3,593,330	2,532,294	-1,061,036	-29.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,278,000	-1,069,000			5,209,000	3,293,294	

不用額	特定財源	細節名	みんなで支える里山整備事業補助金	観光地等魅力向上森林景観整備事業補助金	森林づくり推進支援交付金	
1,915,706	内訳	金額	135,000	176,000	450,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 森のエネルギー推進事業補助金 900,000円
薪ストーブ等への補助金交付
木質バイオマスエネルギー推進のため、薪ストーブの購入に対し補助金を交付している。
薪ストーブ：9台
- 木のぬくもりプレゼント 496,650円
木育を推進するため県産材のつみきを製作し、1歳6か月検診時の幼児に積み木を配布している。
配布人数：126人
- 間伐事業等補助金 788,950円
間伐の実施に対し5%の嵩上げ補助を行い健全な森林を育成する。
嵩上げ対象間伐実施面積：18.92ha



◆ 事業の成果

1歳6か月検診時の幼児への県産材を使用した積み木を配布することにより、木に触れていただく機会を増やすことができた。また、薪ストーブの導入補助により木質バイオマスの促進されるとともに、間伐の嵩上げ補助により、林業事業者等による森林整備が促進されている。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	179
----	------	------	-----

担当課	産業観光部 農林水産課 森林振興係	款	6	農林水産業費
事務事業名	松林健全化推進事業	項	3	林業費
		目	1	林業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	前期計画登載頁	56	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興	前年度評価 方向性	継続	
施策項目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化			
個別計画				

事業の目的	対象	松枯れの被害木について、被害拡大を防ぐための伐倒くん蒸処理等を行う。	意図	健全な森林の維持と多面的・公益的な機能の保持のため、森林における松くい虫による被害拡大を防ぎ、地域の財産である森林資源を保全する。
-------	----	------------------------------------	----	---

事業の内容	被害木を早期発見し、伐倒くん蒸処理等により適正処理を行い被害拡大を防ぐ。
-------	--------------------------------------

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	20,793,956	16,263,209	17,602,750	1,339,541	8.2%	
	財源内訳	特定財源	13,760,600	10,329,300	11,412,100	1,082,800	10.5%
	一般財源	7,033,356	5,933,909	6,190,650	256,741	4.3%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
17,640,000				17,640,000	17,602,750	
不用額	特定財源	細節名	森林づくり推進支援交付金	松林健全化推進事業補助金		
37,250	内訳	金額	1,051,000	10,361,100		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 松くい虫伐倒くん蒸処理 11,392,148円
伐倒くん蒸等処理量 R3実績：576㎡
R2実績：556㎡
R元実績：689㎡

- 松くい虫被害木特殊伐倒チップ化処理 5,403,200円
チップ化処理量：97㎡

- 特別防除 643,500円
空中散布（八坂上箒）：3ha



◆ 事業の成果

枯死した松の樹体にいるカミキリムシを伐倒くん蒸により駆除し、被害の拡大を防いでいる。駆除を実施しているが被害木は毎年発生している状況にある。多くの森林を有する本市において、松くい虫被害の対策を実施することは、森林自体の保護のほか当地域の財産である北アルプスと緑の森林の景観を守ることにもつながっている。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	179
----	------	------	-----

担当課	産業観光部	農林水産課	森林振興係	款	6	農林水産業費	
事務事業名	森林環境譲与税事業				項	3	林業費
					目	1	林業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	54	
施策目標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化						
個別計画							

事業の目的	対象	地域の森林等	意図	森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材利用の促進その他森林の整備の促進に関する施策に活用し、森林整備を進める。
-------	----	--------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○森林環境譲与税基金への積み立て ○森林経営管理制度実施方針に基づいた森林整備 ○松くい虫防除自衛支援のための薬剤補助
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		11,926,000	28,818,474	35,978,974	7,160,500	24.8%
	財源内訳	特定財源	11,926,000	28,818,474	35,978,974	7,160,500	24.8%
		一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
28,730,000	8,058,000			36,788,000	35,978,974	
不用額	特定財源	細節名	森林環境譲与税	森林環境譲与税基金繰入金	北アルプス連携自立圏事業負担金	
809,026	内訳	金額	25,534,974	10,337,000	107,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 森林整備業務 5,503,839円
水源涵養林の森林整備 居谷里水源北部 1.71ha
- 森林経営管理制度のパンフレット作成
25,000部 印刷製本費 203,500円
(うち大町市分 11,800部 96,052円)



◆ 事業の成果

林務行政経験のある森林経営管理支援員の配置により、森林環境譲与税を活用した森林整備をモデル的に実施した。また、松くい虫防除自衛支援事業として、樹幹注入剤の補助を実施。

◆ 前年からの改善点等

あり

森林環境譲与税の活用について検討し、基金積立だけでなくモデル的に森林整備や森林経営管理制度周知用パンフレットの作成などの事業を実施した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	181 183 187
----	------	------	-------------------

担当課	産業観光部 商工労政課	商業労政係	款	7	商工費	
事務事業名	中小企業支援事業(繰越明許費を含む。)			項	1	商工費
				目	1	商業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	49	
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化					
個別計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所事業への支援 ・中小企業者向け制度融資資金の運用、融資実行時の信用保証料補助及び利子補助 ・関係事業者等支援 	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所専門支援員による経営指導、健全な経営環境の維持と事業継続の実現 ・中小企業者の資金繰り支援、借入時の負担軽減による経営の健全化 ・各種支援策による事業活動の継続を後押し
-------	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所による経営相談業務等への支援 ・制度融資資金の斡旋及び相談等 ・制度融資資金信用保証料補助及び利子補助事務(新型コロナウイルス感染症対策特別資金、不況対策資金ほか) ・関係事業者に対する独自支援策の実施(テイクアウトフェア、キラリ商品券、感染症対策店舗等支援金などの支援金の支給)
-------	---

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
		総事業費(決算額)	423,302,535	851,869,224	756,648,733	-95,220,491	-11.2%
	財源内訳	特定財源	401,214,784	696,681,835	704,426,000	7,744,165	1.1%
		一般財源	22,087,751	155,187,389	52,222,733	-102,964,656	-66.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
818,205,000	12,300,000			830,505,000	756,648,733	
不用額	特定財源	細節名	市制度資金融資預託金元金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	中小企業振興基金繰入金	制度資金保証料保証料補給金返還金ほか
73,856,267	内訳	金額	650,000,000	32,306,000	20,000,000	2,120,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 1 制度融資資金の斡旋及び融資等の相談
融資制度拡充による市内事業者に対する資金繰り支援
- 2 商工会議所専門支援員による市内中小企業者への経営指導等
小規模事業者向け経営改善普及事業、巡回指導、窓口相談、講習会等の開催
- 3 地域商品券発行事業
地域経済の活性化、子育て支援等、定住促進に向けた信濃大町キラリ商品券の発行
- 4 制度融資資金信用保証料補助及び利子補助
借入時の保証協会信用保証料補助、不況対策資金・緊急経済対策枠、30+特別資金への利子補助(借入後3年間)
- 5 関係事業者支援事業の実施
テイクアウトフェア、プレミアム付商品券事業、対策店舗等支援金、特別応援金、第6波対応支援金



◆ 事業の成果

- 1 制度融資資金の融資実績
132件・659,770千円(うち コロナ対策特別資金:108件・561,300千円)
- 2 商工会議所専門支援員による市内中小企業者への経営指導の状況
巡回・窓口1,364回、創業49回、IOT関連18回、働き方改革25回、講習会88回
- 3 地域商品券「信濃大町キラリ商品券」発行実績
13,671千円(育児家庭4,073千円、入学祝5,528千円、1Uター2,683千円、新婚生活1,338千円、消防団49千円)
- 4 制度融資資金信用保証料・利子補助実績
信用保証料補助:161件・27,740千円
利子補給:378件・27,303千円(不況対策:18件・1,684千円、コロナ特別:360件・25,619千円)
- 5 関係事業者支援事業開催実績
テイクアウトフェア:4回、306品・5,991個、売上額4,367千円
がんばろう!大町応援券2021:換金率99.72%(229,473千円/230,120千円)
対策店舗等支援金:74店・5,845千円
特別応援金:64件・9,939千円
第6波支援金:14件・1,900千円



◆ 前年からの改善点等

あり

- ・制度融資資金「新型コロナウイルス感染症対策特別資金」運用期間の延長による継続支援
- ・コロナ禍における経済対策の実施(テイクアウトフェア、各種支援金の支給)

担当課	産業観光部	商工労政課	特産品振興担当	款	7	商工費
事務事業名	特産品振興事業（ブランド振興事業）			項	1	商工費
				目	1	商業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	60	
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	信濃大町ブランドの戦略的展開					
個別計画	信濃大町ブランド戦略					

事業の目的	対象	市内、国内、国外の全てを対象として	意図	地域資源の付加価値を高め、他の地域と差別化を図ることにより、市場において情報発信力や競争力で優位性を持ち、地域住民が誇りを持つだけでなく、観光客や消費者等に共感・愛着・満足度を与え、「訪れたい」・「住みたい」などの気持ちを誘引する。
	上	1 信濃大町ブランド戦略に基づくブランド力の向上		
中		2 信濃大町水ブランド戦略の推進		
下		3 地域資源、特産品のブランド化		

事業の内容	(1) 信濃大町ブランド戦略の推進	(4) おおまびよんの活用
	(2) アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営、活用 ・信濃大町の食を通じた魅力発信	・各種イベントへの参加、SNS等での情報の拡散
	(3) 特産品販路拡大 ・物産展へ参加し特産品のPR、販売、えんポーター、信濃大町サポーターの派遣	(5) 黒部ダムカレーの推進 ・大町市のソウルフードとして定着を図る
		(6) 大町ふるさと応援便事業
		(7) 特産品消費拡大事業

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		17,685,388	14,053,606	17,578,777	3,525,171	25.1%
	財源内訳	特定財源	523,162	229,620	427,388	197,768	86.1%
		一般財源	17,162,226	13,823,986	17,151,389	3,327,403	24.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,843,000	-102,000			20,741,000	17,578,777	
不用額	特定財源	細節名	信濃大町ブランド認知度向上商品販売			
3,162,223	内訳	金額	427,388			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動及び成果

(1) 信濃大町ブランド戦略の推進

- ◎信濃大町ブランド公式ホームページ維持管理業務 「水と人 しなのおおまちの宝」記事3本追加
- ◎信濃大町水ブランド啓発事業 水巡りクリアボトル500個作成
- ◎信濃大町水ブランドの統一的な啓発のため、ブランドロゴマークを活用
(名刺台紙販売、コースターの活用及び配布、水巡りクリアボトル制作など)

◎水ブランド啓発用グッズ



<啓発用コースター>



<名刺台紙>



<水巡りクリアボトル>

(2) アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営

信濃大町の食を通じた魅力発信 売上総額13,236千円 前年比1.6%UP
イベント出展業務 6件、店内イベント 26件

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
全体	9,719	7,445	7,927	8,653	7,026	9,029	10,997	12,252	13,018	13,236
大町市分	9,546	7,160	7,619	8,148	6,632	5,936	6,450	6,723	7,933	8,457
立川市分ほか	173	285	308	505	394	407	418	885	543	522
店内製造品						2,686	4,129	4,644	4,542	4,257
委託料	5,280	5,280	6,500	6,750	6,000	4,320	5,568	5,731	5,700	5,700

(3) 特産品販路拡大

◎積極的な物産展等への参加

いーずら大町特産館物産展出展事業 8件

アンテナショップイベント出展業務 6件

◎信濃大町サポーター事業 登録者数 40名

首都圏在住市出身者などが、現地開催のイベントや物産展で、物販や観光PR をアシスト。

◎信濃大町えんポーター事業 登録者 15団体

市の特産品の生産者・製造者が県外の特産品販売を目的としたイベントにおいて、自身の商品の販売を通じ、市場調査や販路拡大とともに、大町市の認知度向上を図る。

◎信濃大町食材プロモーション事業

地元シェフと大町にゆかりのあるシェフが生産者を訪ね素材を厳選、大町市の食材でコースメニューを作成し、市内ホテルで提供するまでを記事にして(株)ONESTORYによるWebを活用した地域の食材や魅力を発信した。

(4) おおまびよん活用

出動回数 38回

◎啓発用グッズ等



<マスキングテープ>



<スケジュールシール>



<ファスナーポーチ>



<ラッピングバス>

(5) 黒部ダムカレーの推進

◎ファミリーマートでのダムカレー販売(4月6日~5月24)

◎大町ふるさと応援便事業への協力…黒部ダムカレーレトルトパックを提供 121人分

◎北アルプス国際芸術祭イベント支援 黒部ダムスコッププレゼント企画 協力店13店舗

◎黒部ダムカレー食べ歩きマップパンフレット更新 10,000部

(6) 大町ふるさと応援便事業 121名に贈呈

◎緊急事態宣言等の対象地域に住む帰省自粛中の大町市出身の学生・生徒に向けて、大町市産のお米や特産品を詰め合わせた「大町ふるさと応援パック」を送付。申請いただいた学生に「信濃大町学生サポーター」に登録いただき、市の情報をメルマガで発信した。

(7) 特産品消費拡大事業 実績 600円×5,000本

◎販売量が大きく落ち込んだ市の特産品である日本酒の蔵元及び小売店を支援するため、観光課が行う宿泊キャンペーンに合わせ、宿泊した人に地酒を贈呈。

◆ 前年からの改善点等

あり

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントが中止となる中で、感染症の状況に応じたイベント出展やWebイベントへの参加などを通じて、特産品振興と市のPRに努めた。

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	款	7	商工費	
事務事業名	中心市街地多目的ホール管理事業				項	1	商工費
					目	1	商業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	49・50	
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	中心市街地の活性化						
個別計画							

事業の目的	対象	中心市街地多目的ホールの管理業務を指定管理者へ委託	意図	効率的な施設運営を行い、市民の福祉向上と中心市街地の振興を図る。
-------	----	---------------------------	----	----------------------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用受付許可事務 利用料の収受 事務及び施設、設備等の維持管理
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,756,000	2,801,000	2,791,000	-10,000	-0.4%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	2,756,000	2,801,000	2,791,000	-10,000	-0.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,901,000				2,901,000	2,791,000	
不用額	特定財源	細節名				
110,000	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 中心市街地多目的ホール指定管理委託
利用受付許可、使用料の収受、ホール・公衆トイレの維持管理等
- ◆ 事業の成果
 - ホール利用状況
件数96回（△16回）、時間280.5H（△49.0H）、人数846人（△358人）
利用料48,120円（△2,880円）
 - 公衆トイレ管理状況等
利用者への周知により良好
- ◆ 前年からの改善点等 あり
 - 感染症の感染防止対策の徹底
3密回避のための施設内利用制限、予約方法の見直し、利用者名簿の作成、出入口付近への手指消毒剤の設置等

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	183 185 187
----	------	------	-------------------

担当課	産業観光部	商工労政課	商業労政係	款	7	商工費	
事務事業名	中心市街地活性化事業（繰越明許費を含む。）				項	1	商工費
					目	1	商業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	50	
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化					前年度評価 方向性	継続
施策項目	中心市街地の活性化						
個別計画	中心市街地活性化基本計画（第4次）						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画に基づく施策事業の推進 中心市街地振興条例に基づく集客施設への助成 中小企業振興振興条例に基づく指定施設への助成 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 実施主体の関係団体との連携により、各種施策を実行し活性化を目指す。 民間の投資意欲を促し、集客施設等の集約による都市機能の充実、賑わいを創出する。 既存店舗の継続、空き店舗活用による活性化の促進
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化基本計画（第4次）に基づく具体的施策の推進 関係団体との連携による各種事業の実施（やまびこまつり、ゆかたまつり、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市等） 中心市街地振興条例に基づく事業者支援（建築費・固定資産税等助成） 中小企業振興条例に基づく事業者支援（空き店舗活用事業、商店街消費者交流事業等） 店舗改修事業補助金による既存店舗等の事業継続支援
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	19,089,258	6,730,691	10,810,879	4,080,188	60.6%
	財源内訳	特定財源	285,600		0	-
	一般財源	18,803,658	6,730,691	10,810,879	4,080,188	60.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
11,865,000				11,865,000	10,810,879	
不用額	特定財源	内訳	金額			
1,054,121						

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進
関係団体との連携による施策・事業の実施
- 関連条例や要綱に基づく空き店舗活用、店舗改修事業
補助制度の有効活用による空き店舗の解消、事業継続を支援する。
- 商店街消費者交流事業等への支援
商店街等が実施する独自事業を通じ、消費者との交流を促し中心市街地の活性化を図る。
- 中心市街地振興条例に基づく集客施設の立地促進
中心市街地内へ集客施設等を集約し、都市機能を充実させるとともに、賑わいの創出を図る。

◆ 事業の成果

- 中心市街地活性化基本計画（第4次）の推進
駅前拠点施設運営、荷ぐるま市開催（まちづくり協議会）、あめ市（商店街連合会）
- 関連条例や要綱に基づく空き店舗活用、店舗改修事業
 - ・空き店舗改修・家賃補助：5件・3,245千円
 - ・店舗改修補助：5件・2,345千円
- 商店街消費者交流事業等への支援
商店街連合会イベント補助（えびす溝、あめ市）：1,200千円
- 中心市街地振興条例に基づく助成事業
固定資産税助成金：2件：756千円

◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	産業観光部 商工労政課	商業労政係	款	7	商工費
事務事業名	がんばろう！大町応援券事業			項	1
				目	1
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	49
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化			前年度評価方向性	R3 新規事業
施策項目	中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化				
個別計画					

事業の目的	対象	市民対象にプレミアム付地域商品券「がんばろう！大町応援券2021」を発行	意図	コロナ禍における市民生活を支援するとともに、市内の消費喚起を促し、市内経済の回復を図る。
-------	----	--------------------------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・購入引換券の発行（住民基本台帳登録者全員） ・販売・換金等業務委託（大町商工会議所）
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		145,068,267	122,359,029	-22,709,238	-15.7%
	財源内訳	特定財源	138,117,000	117,024,000	-21,093,000	-15.3%
	一般財源		6,951,267	5,335,029	-1,616,238	-23.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
143,190,000	-20,579,000			122,611,000	122,359,029	
不用額	特定財源	細節名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	特別警報Ⅱ発出市町村等事業者支援金		
251,971	内訳	金額	81,624,000	35,400,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ・販売価格 5,000円/冊（1,000円×10枚）
- ・プレミアム率 100%（5,000円/冊）
- ・発行数/額 27,000冊/135,000,000円（額面270,000,000円）
- ・販売期間/利用期間 3.11.15～3.12.28



※商工会議所とともに両支所にて販売（商工会議所にて休日対応）

◆ 事業の成果

- ・販売実績 23,012冊、115,060,000円（引換率86.8% 23,012冊/26,489冊）
- ・換金実績 229,473,000円/230,120,000円（99.7%）

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・取扱店舗登録手数料を無料とした。



担当課	産業観光部 商工労政課	商業労政係	款	7	商工費
事務事業名	官民連携まちなか再生推進事業			項	1
			目	1	商業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	50
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化			前年度評価 方向性	継続
施策項目	中心市街地の活性化				
個別計画	中心市街地活性化基本計画（第4次）				

事業の目的	中心市街地の活性化が持続的に発展するための将来像を官民が共有し、まちづくりは人づくりとして、これを実現するための取組みを進めていく。	意図	・公・民・学連携のプラットフォームを構築し、新たなまちづくりを進める人材を発掘・育成する。 ・世代を超えて地域に思いをもつ人々が、継続的なまちづくりに取り組むネットワークの形成を目指す。
-------	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・100人衆準備会の設置 ・100人衆会議の開催 ・高校生と地域人による協働と連携のまちづくり活動の実践 ・社会実証実験の実施 ・HP、SNS等による情報発信、取組みの周知
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）			1,529,000	3,626,000	2,097,000	137.1%
	財源内訳	特定財源		1,076,000	3,500,000	2,424,000	225.3%
		一般財源		453,000	126,000	-327,000	-72.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,560,000	-3,339,000			4,221,000	3,626,000	
不用額	特定財源	内訳	金額	官民連携都市再生推進事業補助金	3,500,000	
595,000						

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 1 100人衆準備会の設置
- 2 100人衆会議の開催
- 3 高校生と地域人による協働と連携のまちづくり活動の実践
- 4 社会実証実験の実施

◆ 事業の成果

- 1 100人衆準備会の設置
準備会による意見交換・ワークショップ等(7回)
- 2 100人衆会議の開催
第1回会議 まちなかの未来を考えるワークショップ
- 3 高校生と地域人による協働と連携のまちづくり活動の実践
大町岳陽高等学校地域探究プロジェクト(19回)
100人衆インタビューの実施、ブックレット作成(1,000部)
- 4 社会実証実験の実施（10/22～24）
芸術祭会期に合わせ、様々なイベントや催しを通じて未来の大町を感じられる3日間を提案、歩いて楽しい市街地空間を演出した。
 - ・まち歩きマップ作製
 - ・まち歩きラリー開催（各種イベントの回遊性向上）
 - ・滞留実態調査・シールアンケート調査
オープンスペース等へアーバンファニチャーを設置、定時の情報とシール調査により来訪者の滞留行動を把握
 - ・アンケート・まちなかストリート評価
来訪者に対するインターネット及び回答用紙による大町のまちなかに関するアンケートを実施
 - ・通行量調査
市・建設事務所の交通量調査による市街地通行量の把握（本通り沿い8箇所）

○今後の取組み

- ・まちづくりの目的や思いを共有できる人や団体が連携するプラットフォームの枠組みを構築する。
- ・地域の特性や課題を抽出、様々なニーズを踏まえ、市民が共有できる目標と目標実現に向けた方針を設定するとともに、その手法や体制、具体的な取組み内容を未来ビジョンとしてまとめていく。

◆ 前年からの改善点等 あり

- ・100人衆会議準備会の設置



担当課	産業観光部 商工労政課	特産品振興担当	款	7	商工費
事務事業名	大町ふるさと応援便事業		項	1	商工費
			目	1	商業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	前期計画登載頁	60		
施策目標	移住・定住促進策等の充実強化	前年度評価方向性	R3 新規事業		
施策項目	信濃大町ブランドの戦略的展開				
個別計画					

事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により大町市への帰省を自粛している緊急事態宣言等の対象地域に住む大町市出身の学生を支援し、故郷の誇りや愛着を醸成するため市の特産品等を詰め合わせた「ふるさと応援パック」を届ける。	意図	大町市出身の学生の経済的支援
-------	--	----	----------------

事業の内容	広報、申請受付業務（期間R3.8.1～8.31） 大町市産米5kg、信濃大町湧水（2ℓ）、レトルトカレー、その他特産品の発送業務
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）				633,985	633,985	皆増
	財源内訳	特定財源			550,000	550,000	皆増
		一般財源			83,985	83,985	皆増

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
0	1,050,000			1,050,000	633,985	
不用額	特定財源	細節名	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金			
416,015	内訳	金額	550,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

全国的な感染症の再拡大に伴い大町市への帰省を自粛している大町市出身の学生等を応援し故郷の誇りや愛着を醸成するため、市の特産品等を詰合せたふるさと応援便を届ける。

送付件数 121件

地域	人数
北海道	1
東北	2
関東甲信越	42
東京都	57
北陸	2
東海	5
関西	10
中国	1
九州	1
合計	121



(周知用チラシ)



(ふるさと応援便)

◆ 事業の成果

大町市出身の学生等の経済的支援、故郷への愛着等の醸成を図ることができた。応援便を贈った121名のうち20名に信濃大町学生サポーターに登録していただき、市の情報や企業情報を送っている。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	産業観光部 産業立地戦略室	産業立地戦略室 係	款	7	商工費
事務事業名	工業振興・企業誘致事業	項	1	商工費	
		目	2	工業振興費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	50
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化				前年度評価 方向性
施策項目	企業誘致の推進				
個別計画	大町市企業誘致戦略				

事業の目的	市民や定住希望者に「安定した働く場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。	働く場を確保し、市民及びUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。
-------	---	---

事業の内容	・既存企業の育成、支援 市内製造業景況調査などの実施。情報をもとに各種支援策につなげる。 ・企業誘致の推進 拠点整備に関する企業情報を収集し、地域特性を活かした戦略的な企業誘致の展開。また、その情報に基づくトップセールスの実施。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		489,531	893,204	870,655	-22,549	-2.5%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	489,531	893,204	870,655	-22,549	-2.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,085,000				2,085,000	870,655	
不用額	特定財源	細節名				
1,214,345	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○企業相談業務 41件/年 相談件数推移 (単位：件)

	R1年度	R2年度	R3年度
企業相談	26	35	41

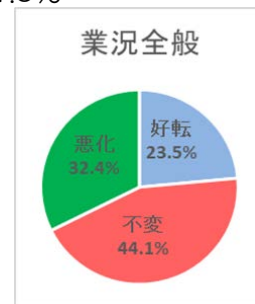
- 立地意向調査 調査対象200社のうち、甲信越地方に移設・新增設の予定がある2社に状況を聴取
- 市内製造業等景況調査 2回/年

令和3年10月、市内製造業の42社に調査票を送付 → 回答率81.0%

【業況】令和3年3月末と比較した令和3年9月末の状況
 景況感D I (好転企業割合 - 悪化企業割合) △8.9%

比較 R3上期 11.7ポイント下降
 対前年同時期 38.3ポイント上昇

前回2.8%からマイナスに転じる。新型コロナウイルスの感染拡大に伴いマイナスの影響があったとした企業や、原油、原材



◆ 事業の成果

- 新設企業件数 1社 (株式会社みすずコーポレーション)

◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	産業観光部 産業立地戦略室	産業立地戦略室 係	款	7	商工費	
事務事業名	工場等誘致振興助成事業			項	1	商工費
				目	2	工業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	50	
施策目標	商工業の振興による地域経済の活性化			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	企業誘致の推進					
個別計画	大町市企業誘致戦略					

事業の目的	<p>市民や移住希望者に「安定した働く場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。</p>	<p>働く場を確保し、市民及びUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。</p>
-------	--	--

事業の内容	<p>・大町市工場等誘致振興条例に基づく助成 雇用を伴う設備投資（新設・移設・増設）に対して助成金を支給。</p>
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		8,364,000	6,026,800	316,543,300	310,516,500	5152.3%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	8,364,000	6,026,800	316,543,300	310,516,500	5152.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
358,794,000	-40,000,000			318,794,000	316,543,300	
不用額	特定財源	細節名				
2,250,700	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 大町市工場等誘致振興審議会開催 3回/年
審議案件：助成事業の指定に関する事項1件（増設1件）
：助成事業の確定に関する事項2件（新設1件、増設1件）

- 大町市工場等誘致振興条例に基づく助成金
投下固定資産分の助成 新設1社、増設1社
固定資産税相当額の助成 2社

◆ 事業の成果

- 新設(移設・増設)企業数 2社
- 新規常用雇用者数 11人

- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	189 199
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	観光課	観光振興担当	款	7	商工費
事務事業名	観光誘客宣伝事業（繰越明許費を含む。）			項	1	商工費
				目	3	観光振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	56～58	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画	大田市観光振興計画					

事業の目的	国内外の誘客キャンペーンやホームページ等からの情報発信を通じて観光誘客の促進を行うとともに、イベント開催支援によって魅力ある観光地づくりを進め、当市の主要産業の一つである観光振興を図る。	意図	リピーターの獲得などによる国内外からの外貨の獲得、おもてなしの心で観光客を迎える魅力ある観光地づくりを進める。
-------	---	----	---

事業の内容	例年、他団体など官・民が連携した誘客キャンペーンや商談会等への参加や、黒部ダムイベント等のイベント開催支援を実施。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、観光客が激減するなかで、宿泊施設や飲食店などの観光産業への支援策を講じた。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	38,673,832	216,580,172	179,239,394	-37,340,778	-17.2%	
	財源内訳	特定財源	4,863,900	186,432,000	155,352,690	-31,079,310	-16.7%
	一般財源	33,809,932	30,148,172	23,886,704	-6,261,468	-20.8%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
31,760,000	99,333,000	61,484,690	-111,080	192,466,610	179,239,394	
不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	第6波対応事業者支援交付金	ふるさと応援基金繰入金	観光地域づくり重点支援事業ほか
13,227,216	内訳	金額	145,145,690	5,000,000	3,237,000	1,970,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 市プロモーション委員会負担金
 - ・ 発信・宣伝事業（メディアタイアップ、SNS・WEBプロモーションなど）
 - ・ 黒部ダムイベント（関電トンネル破砕帯見学ツアー、川床トレッキングツアー、立山黒部アルペンルート全線開業50周年事業、おもてなし武将隊演舞パフォーマンスなど）
 - ・ インバウンド オンライン商談会（シンガポール、香港など）、フリーペーパー掲載など
 - ・ 宿泊キャンペーン（第3弾：令和3年4月14日～8月31日、第4弾：令和3年10月1日～令和4年2月28日）
- 冬の宣伝協議会負担金
 - ・ 広告・宣伝（フリーペーパー、SNS・テレビ、新聞等）、無料シャトルバス（長野駅及び松本駅）、市内スキー場の新型コロナウイルス感染症対策支援、市民リフト券割引キャンペーン
- 市貸切バスツアー支援事業補助金 3事業所

◆ 事業の成果

- ・ 第3弾及び第4弾 宿泊キャンペーン
 宿泊助成126,130,000円 宿泊35,429人
 （4,000円×27,536名・2,000円×7,793名）
- ・ 市内リフト券割引キャンペーン（市内2スキー場）
 通常リフト料金から大人2,000円、小人1,000円
 リフト助成2,533,400円 大人682名、小人453名



◆ 前年からの改善点等

あり

コロナ禍で観光客は激減し、観光産業への支援として、宿泊キャンペーン及び市貸切バスツアー支援事業補助金を実施

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	189
----	------	------	-----

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	款	7	商工費	
事務事業名	観光資源活用事業				項	1	商工費
					目	3	観光振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	56~58	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進						
個別計画	大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画						

事業の目的	対象	市民や観光客が利用する観光課所管の公共施設の適切な維持管理や恵まれた温泉資源の環境整備などの支援	意図	観光課所管の公共施設を適切に管理するため、管理業務の委託や清掃業務委託などにより環境美化等に努める。また、各温泉事業を実施する団体への支援を行う。
-------	----	--	----	---

事業の内容	観光施設の維持管理、修繕等 ○観光課管理の公衆便所の維持管理（光熱水費、修繕、汲取り、清掃業務委託、浄化槽点検業務委託等） ○流鏝馬会館管理運営業務委託 ○爺ガ岳スキー場公衆トイレ改修工事 温泉事業団体への活動支援（負担金） ○大町市温泉地連絡協議会事業への支援 ○大北温泉協会事業への支援
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		15,331,761	53,015,557	31,770,490	-21,245,067	-40.1%
	財源内訳	特定財源	410,155	34,533,000	3,926,000	-30,607,000	-88.6%
		一般財源	14,921,606	18,482,557	27,844,490	9,361,933	50.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
22,293,000	27,321,000	20,171,000	-77,172	69,707,828	31,770,490	20,171,000
不用額	特定財源	細節名	合併特例交付金	賃地料	観光施設光熱水使用料	
17,766,338	内訳	金額	3,500,000	306,000	120,000	

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- 流鏝馬会館
 営業期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日
 ※令和3年9月3日から9月12日、令和4年1月13日から3月6日まで
 新型コロナウイルス感染症の拡大防止より臨時休業の実施
 入場者人数 1,813人（令和2年度1,253人、対前年比144.7%）
- 委託業務
 市内観光施設点検清掃業務（公衆便所5カ所、駐車場3カ所）
 （公衆便所：七倉ダム下、七倉登山補導所横、餓鬼岳登山道入口、高瀬ダム天端、木崎湖キャンプ場）
 （駐車場：扇沢市営駐車場、七倉ダム下駐車場、七倉広場市営駐車場）
 観光施設浄化槽保守点検業務（大町温泉郷森林劇場、扇沢総合案内センター、七倉登山補導所）
 市営駐車場等誘導整理業務（扇沢市営駐車場、七倉市営駐車場）
- 爺ガ岳スキー場公衆トイレ改修工事
 水洗型自動洗浄便器更新（6箇所）、小便秘器用・洗面器用自動洗浄設備（8箇所）、内壁塗装等
- 温泉郷公衆トイレ敷地購入 426.95㎡
 借地であった土地を、温泉郷公衆トイレ用地として購入
- ◆ 事業の成果
 観光施設の美化清掃及び、適切な維持管理等に努めることができた。
- ◆ 前年からの改善点等 あり
 観光施設（トイレ等）の整備・修繕については、優先順位をつけ実施している。
 令和3年度に爺ガ岳スキー場公衆トイレ改修工事を実施し、令和4年度には海ノロキャンプ場公衆トイレ建設工事を予定

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	191 199
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	款	7	商工費
事務事業名	2次交通対策事業（線越明許費を含む。）			項	1	商工費
				目	3	観光振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	56～58	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画	大町市観光振興計画					

事業の目的	国内外の観光客が、市内に点在する観光拠点へ移動するための手段として2次交通の整備など充実を図る。	意図	市内の観光拠点をはじめ、広域的な観光周遊を行える手段として2次交通を充実させ、観光消費額の増大による地域振興と活性化を目指す。
-------	--	----	---

事業の内容	滞在型周遊型の観光誘客に取組むことで観光入込数を増やし観光消費額増加につなげる。 周遊バス「信濃大町ぐるりん号の運行」、信濃大町プレミアム付き観光タクシーチケット販売、三市村2次交通事業（アルペンライナー及び北陸新幹線対策シャトルバス）運行支援、松本空港シャトル便運行支援
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	14,584,934	17,479,358	21,941,408	4,462,050	25.5%
	財源内訳	特定財源	2,770,000	3,258,000	488,000	17.6%
	一般財源	14,584,934	14,709,358	18,683,408	3,974,050	27.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	線越事業費線越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度線越額
16,827,000	3,620,000	1,949,744	554,264	22,951,008	21,941,408	
不用額	特定財源	内訳	新型コロナウイルス地方創生臨時交付金			
1,009,600	内訳	金額	3,258,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」運行

令和2年度までは、周遊バス「信濃大町ぐるりん号」の運行は、東・南の2コースであったが、令和3年度は南の1コースとした。

運行期間	令和3年4月29日～5月5日・8月1日～11月21日（99日間 1日7便運行） GW・8月・10月～11月21日は毎日運行。9月は土日祝日運行。 芸術祭期間中（10/2～11/21）は、作品展示会場の一部を回るコースに変更 ボンネットバス 32日間使用
利用運賃	【大人（中学生以上）】1回/200円、一日券/500円、あづみの周遊バス共通券/1,000円 【小人】1回/100円、一日券/200円、あづみの周遊バス共通券/500円

○ 信濃大町プレミアム付き観光タクシーチケット販売業務

2次交通手段が乏しい観光地のアクセス向上を目的として、プレミアム付き（3,000円で5,000円分）のタクシーチケットを販売

○ 新型コロナウイルス感染症対策 バス事業者支援金

新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的損失を受けた市内バス事業者5社に支援金を支給

◆ 事業の成果

・ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号」利用実績

令和元年度	令和2年度	令和3年度
2,330名	813名	698名

・ 信濃大町プレミアム付き観光タクシーチケット販売業務実績

令和3年度 2,038冊（1冊5,000円分） 販売人数1,407人

◆ 前年からの改善点等

あり

令和3年度から周遊バス「信濃大町ぐるりん号」に、ボンネットバスを利用した。また、フォトコンテスト開催や市内小中学生全員にパンフレットを配るなどの周知を図り、利用増に努めた。



令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	191 193
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	款	7	商工費
事務事業名	仁科三湖振興事業			項	1	商工費
				目	3	観光振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	56~58
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				前年度評価 方向性	継続
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画	大町市観光振興計画					

事業の目的	対象	観光課が所管する仁科三湖周辺の観光施設の維持管理及び観光振興を図る。	意図	観光施設の適切な維持管理のために、施設改修・更新を計画的に実施する。特に大町市アミューズメントハウスについては、指定管理者制度を導入して経費の削減を図ると共に、民間による創意工夫に基づいた利用者の拡大に努める。
-------	----	------------------------------------	----	---

事業の内容	観光施設及び温泉管の維持管理、修繕等 指定管理：大町市アミューズメントハウス 修繕：大町市アミューズメントハウス プールR部・螺旋階段塗装、男子シャワートイレ、機械室排水ポンプ 委託：海ノロキャンプ場公衆トイレ建設工事実施設計業務 工事：海ノロキャンプ場公衆トイレ特設配水管布設工事
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		38,944,405	38,235,228	52,221,721	13,986,493	36.6%
	財源内訳	特定財源	169,480	163,000	10,167,797	10,004,797	6137.9%
		一般財源	38,774,925	38,072,228	42,053,924	3,981,696	10.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
58,774,000	-4,700,000		-255,305	53,818,695	52,221,721	
不用額	特定財源	細節名	北アルプス山麓仁科の里整備	地元負担金		
1,596,974	内訳	金額	10,000,000	167,797		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 大町市アミューズメントハウス
指定管理業務（施設管理、施設運営、緊急時対応、自主事業）
入場者人数 31,200人（対前年比116.5%）
※令和3年9月3日～9月12日、令和4年2月4日～3月6日にコロナウイルス感染症の拡大防止対策として臨時休館を実施
※平成8年4月開館から令和3年11月24日で、プール利用者100万人となった。
施設修繕 プールR部・螺旋階段塗装修繕、プール男子シャワートイレ修繕、機械室排水ポンプ修繕
- 海ノロキャンプ場公衆トイレ設置
令和4年度に海ノロキャンプ場公衆トイレ建設工事を予定しており、令和3年度に配水管布設工事及び建設工事実施設計書作成業務を行った。
- 負担金
仁科三湖を美しくする会（7自治会、2漁協が美化清掃活動等を実施）
- 補助金
木崎湖花火大会補助金
木崎湖灯籠流しと花火大会 コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、規模を縮小し開催



アミューズメントハウスのプールR部塗装

◆ 施策目標に資する活動

大町市アミューズメントハウス利用数	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	32,701名	26,786名	31,200名

◆ 前年からの改善点等

あり

大町市アミューズメントハウス等の施設の修繕、令和4年度実施の海ノロキャンプ場トイレ設置工事については、計画的な実施に努めた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	193 195
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	観光課	観光振興・庶務管理担当	款	7	商工費
事務事業名	広域観光推進事業			項	1	商工費
				目	3	観光振興費
まちのテーマ	第2節.活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	56~58	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画	大田市観光振興計画、大田市東山周辺地域観光整備計画					

事業の目的	対象	団体等が実施するプロモーション事業、情報発信事業、受入体制事業、二次交通事業などに対する支援を行う。	意図	誘客キャンペーンやパンフレット等の作成による情報発信、旅行商品造成促進による誘客や広域観光拠点をつなぐ二次交通の整備など、広域観光の推進に取り組む。
-------	----	--	----	--

事業の内容	<p>○各団体が計画、実施する広域的な観光事業への支援 【負担金】 大系線ゆう浪漫委員会負担金、信州まつもと空港地元利用促進協議会負担金、（一社）長野県観光機構年会費、HAKUBABAVALLY TOURISM会費、三市村観光連絡会負担金、長野県国際観光推進協議会負担金 など</p> <p>○仁科神明宮Wi-Fi設置及び仁科神明宮多言語案内（QRコード、コンテンツ作成等）</p> <p>○北アルプス自立圏地域間産業連関表基礎調査</p>
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		9,039,400	5,292,000	16,337,448	11,045,448	208.7%
	財源内訳	特定財源	957,000	404,000	2,281,000	1,877,000	464.6%
		一般財源		4,888,000	14,056,448	9,168,448	187.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額	
14,756,000	2,740,000		-139,585	17,356,415	16,337,448		
不用額	特定財源	細節名	金額				
1,018,967	内訳	観光による経済波及状況調査	109,000	北アルプス連携自立圏事業	282,000	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1,890,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 仁科神明宮Wi-Fi設置工事及び仁科神明宮多言語案内業務委託
仁科神明宮の本殿前境内周辺にWi-Fi環境工事を実施し、QRコードによる解説コンテンツを設置（4箇所）することで、インターネット通信環境が制限される訪日外国人旅行者の利便性の向上と、多国籍言語での案内（対応言語：英語・韓国語・繁体字・簡体字・日本語）により国宝である仁科神明宮の魅力をより多くの人に伝え、訪日外国人旅行者の満足度の向上を図った。

○ 北アルプス自立圏地域間産業連関表基礎調査

令和4年度に実施予定の地域間連結産業連関表及び経済波及効果分析ツール等の作成に向け、平成27年版長野県産業連関表等をもとに、北アルプス圏域市町村別の産業連関表の試作や地域間交易係数の試算・検証等の基礎調査を実施した。

○ 負担金

- 大系線ゆう浪漫委員会（メディア等情報発信連携事業、広告宣伝事業等、「リゾートビューふるさと」でのおもてなし等）、HAKUBA BAVALLY TOURISM（八景選定、共通バス停看板統一、キャッシュレス環境整備等）、信州まつもと空港地元利用促進協議会負担金など

◆ 事業の成果

仁科神明宮において、Wi-Fi設置及びQRコードを利用した多言語案内業務委託を行ったことにより、5カ国での施設等の案内が可能になり、インバウンド回復時に向け外国観光客の利便性の向上が図れた。



看板を4箇所設置

◆ 前年からの改善点等

あり

インバウンド回復時に向けて、仁科神明宮に多言語案内が行えるQRコード及び看板を設置することができた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	195 199
----	------	------	------------

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	款	7	商工費	
事務事業名	山岳観光推進事業（繰越明許費を含む。）				項	1	商工費
					目	3	観光振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	56～58	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進						
個別計画	大町市観光振興計画						

事業の目的	登山道改修への支援、高瀬渓谷の誘客促進、大町市扇沢総合案内センター開設業務、東山エリアの観光整備など山岳観光の振興を図る。	意図	山岳関係者と協議し、登山道の重点整備箇所を選定し整備・改修を行うとともに、安全で良好な登山道の維持管理に努める。立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口にある扇沢総合案内センターの運営。
-------	---	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○登山道整備 ○扇沢総合案内センターの運営 ○新型コロナウイルス感染症対策山小屋支援金 ○二次交通（タクシー）整備
-------	--

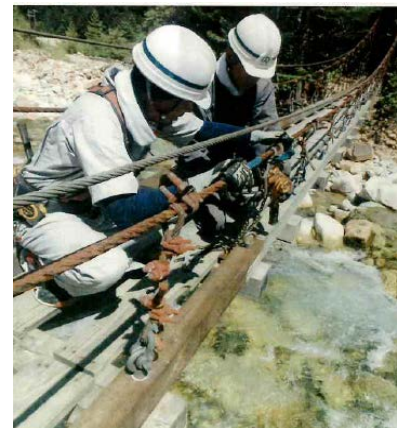
決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		35,654,525	8,055,102	15,326,475	7,271,373	90.3%
	財源内訳	特定財源	27,637,146	7,718,000	10,162,000	2,444,000	31.7%
		一般財源	8,017,379	337,102	5,164,475	4,827,373	1432.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
10,325,000	2,600,000	3,630,000	69,122	16,624,122	15,326,475	
不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	ふるさと信州寄付金等活用山岳観光保全事業補助員	新高瀬川発電所管理用道路	仁科の里整備基金、電話使用料等
1,297,647	内訳	金額	3,240,000	3,000,000	110,000	3,812,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 扇沢総合案内センター トロバス展示、トロバス記念館、トイレ・ドアクローザー等修繕
- 登山道整備
 - ・ 三俣山荘周辺登山道整備（水切り設置、丸太ステップ設置、ロープ柵撤去・設置、倒木撤去ほか）
 - ・ ブナ立尾根登山道整備（土留め補修、階段補修、ロープ設置・補修、倒木撤去、危険箇所塗装ほか）
 - ・ 白沢登山道整備（倒木撤去、草刈り、落葉等除去ほか）
 - ・ 柏原新道（木杭の設置、草刈りほか）
 - ・ 竹村新道整備（晴嵐荘前河川の巨石設置等）
 - ・ 水俣川吊橋修繕
- 登山道標柱設置（布引山山頂）
- 高瀬ダム、餓鬼岳登山道ほか簡易トイレ設置
- 負担金 不動沢吊橋補修負担金、北アルプス登山案内人組合連合会負担金、大町アルパイン連絡協議会負担金ほか
- 高瀬渓谷乗合タクシー運行事業補助金
- 新型コロナウイルス感染症対策山小屋支援金（12事業所）
登山道の維持・補修や登山相談など公益的な活動及びコロナ感染防止対策を行っている山小屋に対して、県で実施の「山小屋 公益的機能維持支援金」に上乗せして市から支援金（1施設30万円）を支給



水俣川吊橋修繕

◆ 事業の成果

山小屋利用者（宿泊・日帰り）

令和元年度	令和2年度	令和3年度
94,590名	20,820名	33,665名

扇沢総合案内センター利用者

令和元年度	令和2年度	令和3年度
12,442名	7,181名	9,808名

◆ 前年からの改善点等

あり

山小屋経営者及び登山組合等の関係者との連絡会議を複数に渡り開催し、連携の強化を図った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	197
----	------	------	-----

担当課	産業観光部	観光課	観光振興担当・庶務管理係	款	7	商工費	
事務事業名	着地観光充実事業				項	1	商工費
					目	3	観光振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁	56~58	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進						
個別計画	大田市観光振興計画						

事業の目的	市観光協会など観光関係者と連携し、観光客の増加等の観光振興を図るとともに、滞在型（着地型）観光の推進を図る。	意図	窓口やHP、SNSなどによる観光案内や観光情報の発信、観光や楽しめる体験などの観光素材を組み合わせた滞在型（着地型）観光を提供・発信できる仕組みづくりを図る。
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 本市の魅力ある観光資源の情報を積極的に国内外に発信するため、観光パンフレット等の印刷物や観光公式サイト「信濃大町なび」からの情報発信などの観光案内 宣伝等の充実や観光関係団体などが行う事業との連携など行う、法人化となった市観光協会への支援事業 観光に精通した企業からの人材や情報等を活用し、温泉郷未来検討会議の発足や国補助金等の獲得に向けた調整等
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	財源内訳	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
		総事業費（決算額）	35,002,337	44,489,815	36,172,790	-8,317,025	-18.7%
		特定財源	1,114,214	9,980,000	2,435,710	-7,544,290	-75.6%
		一般財源	33,888,123	34,509,815	33,737,080	-772,735	-2.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
32,870,000	3,560,000		98,000	36,528,000	36,172,790	
不用額	特定財源	内訳	ふるさと応援基金繰入金	観光案内所利用負担金		
355,210	内訳	金額	2,000,000	435,710		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 市観光協会支援（負担金） 法人化となった市観光協会の継続した支援
観光案内業務、各種メディア情報発信（ラジオ、新聞など）、市公式観光サイト「信濃大町なび」の運用e-bikeレンタサイクル受付・管理業務、観光ガイド手配、受託事業（五日町バス専用駐車場管理受託、とくとくタクシーチケット販売）、七倉観光案内所の開設、パンフレット・ポスター等制作、インフルエンサー招聘事業、信州の安心なお店の登録支援、新型コロナ軽症感染者輸送車両運行、各種誘致イベント開催など
 - 地域活性化企業人派遣事業負担金 観光に精通した企業からの人材派遣（1名） 週1回程度
 - おおまち雪まつり事業補助金 雪を活用したイベントの開催
- ◆ 事業の成果
 - 観光案内業務（市観光協会負担金）
 - ・ 国内 窓口11,240件(前年度10,002件) 電話9,222件(前年度7,897件) メール294件(239件)
 - ・ インバウンド 窓口8件(前年度19件) 電話0件(前年度5件) メール0件(前年度1件)
 - ・ 宿泊案内 777件(前年度656件) ・ 登山案内 489件(前年度374件)
 - ・ 信濃大町なび（HP）からの情報発信 HP閲覧数1,316,855PV（前年度1,132,482PV）
 - ・ SNSによる情報発信 twitter974件(前年度1,206件) Facebook448件(前年度396件)
 - ・ e-bikeレンタサイクル（JR信濃大町駅、木崎湖） レンタル総数353台（前年度225台）
 - ・ 北アルプス国際芸術祭 ツアーへのガイド手配（旅行社ツアー4回、市連合自治会ツアーなど）
 - ・ イベント事業
5/5塩の道湖畔ウォーク&フォトコンテスト166名、6/20木崎湖湖水開き地引網と水上トレッキング 中止、10/30秋の塩の道湖畔ウォーク&フォトコンテスト121名、11/3 OMACHIロゲイニング 84名など
- ◆ 前年からの改善点等 あり
観光協会の体制強化をはじめ協会のあり方や役割分担等の検討を進めた。また、着地型観光に向けたコンテンツの提供や発信方法（HP）等について改善を進めている。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	199 201
----	------	------	------------

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	款	7	商工費	
事務事業名	温泉供給事業（繰越明許費を含む。）				項	1	商工費
					目	4	温泉管理費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	80	
施策目標	自然と共生した環境の創造				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	安定した温泉の供給						
個別計画							

事業の目的	対象	市の観光振興と市民福祉の向上を図る為。	意図	市の貴重な観光資源として、温泉の有効活用をする。
-------	----	---------------------	----	--------------------------

事業の内容
 利用者に安定して温泉を供給するため、日常点検を通じて施設を適切に管理し、老朽化の著しい施設は計画的に更新を行う。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		59,611,061	35,967,778	38,634,481	2,666,703	7.4%
	財源内訳	特定財源	52,651,061	27,557,778	36,912,600	9,354,822	33.9%
		一般財源	6,960,000	8,410,000	1,721,881	-6,688,119	-79.5%

令和3年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
61,491,000	-12,000,000	23,440,000	0	72,931,000	38,634,481	27,000,000
不用額	特定財源	細節名	引湯管等貸付収入	北アルプス山麓仁科 の里整備基金繰入金	温泉利用料	
7,296,519	内訳	金額	2,903,000	15,000,000	19,009,600	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

利用者に安定して温泉を供給するため、施設の日常点検を通じて施設の状況を把握し、必要に応じて修繕を実施するとともに、施設の計画的な更新に努めた。

① 施設の維持管理

- 施設の日常点検 年間 242日
- 電気計装設備点検 年1回

② 温泉供給の安定化

- 温泉郷配湯管の更新 L=121m
- 空気弁マンホール蓋修繕工事 1件
- 高瀬分譲地温泉流量計修繕工事 5件



配湯管布設替工事



◆ 事業の成果

施設の適切な維持管理と計画的な更新によって温泉の安定供給を確保し、観光振興、市民福祉の向上に寄与している。

- 上原地区温泉供給量 契約者数 30□中29□ 43.5ℓ/分
- 高瀬分譲地温泉供給量 契約者数 140□中106□ 156ℓ/分
- 温泉郷配湯管更新率 70.4%

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	203 205
----	------	------	------------

担当課	建設水道部	建設課	建設係	款	8	土木費	
事務事業名	道路維持管理事業（繰越明許費を含む。）				項	2	道路橋梁費
					目	2	道路維持費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	85	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	安全で快適な道路整備・維持管理						
個別計画	「舗装長寿命化修繕計画」「橋梁長寿命化修繕計画」「トンネル長寿命化修繕計画」						

事業の目的	対象	幹線道路及び生活道路（総延長約866km）の舗装及び道路施設（橋梁、トンネル、側溝等）	意図	道路利用者の安全で快適な移動の確保及び道路環境の保全
-------	----	---	----	----------------------------

事業の内容
幹線道路については、「舗装長寿命化修繕計画」に基づき計画的に修繕を実施。また、比較的交通量の少ない生活道路については、日常的点検や地域要望を踏まえ、道路施設（側溝等）を含め緊急度に応じ修繕を実施。橋梁やトンネル等の重要構造物については、「橋梁・トンネル等長寿命化修繕計画」に基づき計画的に予防修繕を実施するとともに、5年サイクルの全箇所点検（橋梁332・トンネル6）を実施。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		187,971,575	183,901,102	197,618,770	13,717,668	7.5%
	財源内訳	特定財源	68,269,808	85,647,902	116,731,875	31,083,973	36.3%
		一般財源	119,701,767	98,253,200	80,886,895	-17,366,305	-17.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
219,810,000	0	80,900,000	0	300,710,000	197,618,770	76,800,000
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	過疎対策事業債道路維持事業	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金	道路使用料ほか
26,291,230	内訳	金額	45,626,000	20,000,000	30,000,000	21,105,875

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 舗装修繕工事
 - 沓掛柿ノ木線（上一） W=3.5m L=69m
 - 木崎野口泉線（西原1工区） W=6.3m L=260m
 - 神栄町三日町線（三日町） W=5.7m L=240m
 - ・ 令和2年度からの繰越路線
 - 木崎野口泉線（泉） W=7.0m L=145m
 - ・ 令和4年度への繰越路線
 - 木崎野口泉線（西原2工区） W=6.3m L=460m
 - 木崎野口泉線（泉・野口） W=7.0m L=150m
- 現道舗装工事
 - 上原9号線（上原） W=4.0m L=50m
 - 野口33号線（野口） W=4.0m L=45m
- 道路施設修繕
 - N=83箇所
- ◆ 事業の成果
 - 舗装修繕（木崎野口泉線）
 - 道路側溝工事
 - 道路側溝工事
 - ・ 令和2年度からの繰越路線
 - 大笹線（三日町） VS側溝300 L=91m
 - 橋梁修繕事業
 - JR青木跨線橋他7橋 定期点検業務 1式
 - ・ 令和2年度からの繰越路線
 - H-13-2他5橋 修繕実施設計業務 1式
 - L-30-3他4橋 修繕工事 1式
 - ・ 令和4年度への繰越路線
 - 万中2号橋他3橋 修繕工事 1式
 - トンネル修繕事業
 - 佐野坂トンネル 断面修復工事 1式
 - ・ 令和2年度からの繰越路線
 - 佐野坂トンネル 舗装修繕工事 1式
 - 橋梁修繕（L-30-3橋）



◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	建設水道部 建設課	建設係	款	8	土木費
事務事業名	交通安全施設整備事業			項	2
			目	2	道路維持費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	85
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備			前年度評価 方向性	継続
施策項目	安全で快適な道路整備・維持管理				
個別計画	「大町市通学路交通安全プログラム」				

事業の目的	対象	幹線道路及び生活道路における歩行者空間	意図	安心・安全な歩行者空間の整備
-------	----	---------------------	----	----------------

事業の内容
 通学路については、大町市通学路安全推進会議（教育委員会、市内小学校、警察、道路管理者）による合同点検、及び同点検結果に基づく交通安全プログラムの見直し（年1回）を踏まえ、計画的な歩道整備及びグリーンベルト等の交通安全施設整備を実施。その他の路線については、日常点検や地域要望等を踏まえ、危険度及び緊急度に応じ計画的な歩道整備及びガードポスト、外側線の引き直し等の交通安全施設整備を実施。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		98,551,245	109,003,033	43,040,988	-65,962,045	-60.5%
	財源内訳	特定財源	33,380,000	61,427,000	25,000,000	-36,427,000	-59.3%
		一般財源	65,171,245	47,576,033	18,040,988	-29,535,045	-62.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
63,584,000	-6,300,000	0	0	57,284,000	43,040,988	10,000,000
不用額	特定財源	細節名				
4,243,012	内訳	金額	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金	25,000,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 歩道整備工事
 - 春午子柿ノ木線（上一） 歩道整備 W=2.0m L=37m
 - 道路視距改良工事
 - 大町鹿島線（中原町） 視距改良工事 W=5.0m L=54m
 - 交通安全施設整備
 - 市内一円 区画線更新 L=7,543m
 - 高根北原線他（高根町他） グリーンベルト整備 L=688m
 - 若宮駅前線他3路線（桜田町他） 交差点カラー化等 1式
 - 大町鹿島線（幸町） 歩道待場拡幅他 1式
 - 下一穂波線他2路線（須沼他） 防護柵（Gr）設置工事 L=271m
 - 交通安全施設修繕
 - N=20箇所

◆ 事業の成果 歩道整備（春午子柿ノ木線）



ガードレール設置（下一穂波線）



◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	207
----	------	------	-----

担当課	建設水道部	建設課	建設係	款	8	土木費	
事務事業名	道路新設改良事業				項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画掲載頁	85	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	安全で快適な道路整備・維持管理						
個別計画	大町市狭あい道路拡幅整備促進計画						

事業の目的	対象	幹線道路及び生活道路	意図	道路利用者の安全で快適な移動の確保と円滑な道路ネットワークの構築
-------	----	------------	----	----------------------------------

事業の内容
 日常点検及び地域要望を踏まえ、整備効果や緊急度を精査し、計画的に道路改良事業を実施。

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		219,537,669	96,084,508	36,572,902	-59,511,606	-61.9%
	財源内訳	特定財源	119,986,000	70,820,000	29,300,000	-41,520,000	-58.6%
		一般財源	99,551,669	25,264,508	7,272,902	-17,991,606	-71.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
80,475,000	-6,500,000	0	0	73,975,000	36,572,902	21,000,000
不用額	特定財源	内訳	金額	過疎対策事業債道路整備事業	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金	
16,402,098	内訳	金額	9,300,000	20,000,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 道路改良工事

- 野口15号線(野口) W=6.0m L=95m ※今年度完了
- 相川四辻線(相川) W=5.0m L=160m
- 旭町上橋線(旭町) 路肩拡幅 L=60m
- 松崎15号線(松崎) 路肩拡幅 L=15m

・ 令和4年度への繰越路線

- 源汲1号線(源汲) W=5.0m L≒168m
- 二ツ屋野口線(二ツ屋) W=5.0m L≒97m

◆ 事業の成果

道路改良(野口15号線)



道路改良(相川四辻線)



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	207
----	------	------	-----

担当課	建設水道部	建設課	維持管理係	款	8	土木費	
事務事業名	雪害対策事業				項	2	道路橋梁費
					目	4	雪害対策費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	85	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	安全で快適な道路整備・維持管理						
個別計画							

事業の目的	対象	市道（幹線道路、歩道を含む生活道路）の除排雪及び凍結防止剤散布	意図	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪及び凍結防止剤散布による安全・安心な交通確保 除雪機械の計画的な整備・更新による業者の経営負担減 流雪溝機能の維持により、沿線住民との連携した除雪体制の確保
-------	----	---------------------------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市道867kmの内除雪延長423.7km（大町地区325.6km 美麻地区48.0km 八坂地区50.1km） 市道・国道の歩道除雪延長46.6km（大町地区42.9km 美麻地区3.7km） 除雪委託業者70者（業者45社 自治会25者） 業者等への貸与する除雪機械の購入 流雪溝延長1.9kmの維持管理
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	168,107,600	265,157,423	506,475,833	241,318,410	91.0%
	財源内訳					
	特定財源	37,614,000	30,336,000	34,399,000	4,063,000	13.4%
	一般財源	130,493,600	234,821,423	472,076,833	237,255,410	101.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
165,800,000	340,675,833			506,475,833	506,475,833	
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金			
0	内訳	金額	34,399,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

除排雪及び凍結防止剤散布委託料等調

項目	地区	R01	R02	R03
業者数	大町	60	56	57
	美麻	9	9	9
	八坂	4	4	4
	計	73	69	70
	前年対比		-5.48%	1.45%
除雪延長(km)	大町	366.9	368.5	368.5
	美麻	52.6	51.7	51.7
	八坂	51.3	50.1	50.1
	計	470.8	470.3	470.3
	前年対比		-0.11%	0.00%
委託料(千円)	大町	93,890	186,042	364,571
	美麻	17,792	42,970	92,904
	八坂	4,042	5,783	10,851
	計	115,724	234,796	468,326
	前年対比		202.89%	199.46%

・令和3年度に整備した除雪機械



(除雪ドーザ11t級)



(除雪ドーザ5t級)

除雪機貸与台数（事業者・自治会）

除雪ドーザ（大）	除雪ドーザ（小）	ロータリ除雪車（大）	ロータリ除雪車（小）	ハンドガイド式ロータリ除雪車	凍結防止剤散布車
23	1	2	2	31	2

◆ 前年からの改善点等

あり

- 除雪機械の増強：
 - 除雪ドーザ11t級1台増（社会資本整備総合交付金事業）
 - 除雪ドーザ5t級1台・3t級1台増（市町村合併特例交付金事業）

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	209
----	------	------	-----

担当課	建設水道部	建設課	農地整備係	款	8	土木費	
事務事業名	水路維持改良事業				項	3	河川費
					目	1	水路費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	77	
施策目標	市民生活の安全の確保				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	災害に強いまちづくりの推進						
個別計画							

事業の目的	対象	・日常点検や地域要望に基づき、老朽化した水路等の更新や改修を行う。	意図	・老朽化した用水路に起因する漏水、溢水被害を防止し、宅地や農地を守る。
-------	----	-----------------------------------	----	-------------------------------------

事業の内容	・市が管理する河川および市街地における水路の改修・修繕工事を実施。 水路改良工事 14箇所 水路修繕工事 21箇所
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		41,118,619	21,574,625	20,209,614	-1,365,011	-6.3%
	財源内訳	特定財源	19,000,000	10,000,000	4,000,000	-6,000,000	-60.0%
		一般財源	22,118,619	11,574,625	16,209,614	4,634,989	40.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
22,756,000				22,756,000	20,209,614	
不用額	特定財源	細節名	北アルプス山麗仁科の里整備基金繰入金			
2,546,386	内訳	金額	4,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 水路改良工事実施 〈高根町 高根中堰支流〉 児童通学路安全対策、冬季水路詰まり解消・〈着工前〉・〈しゅん工〉・



◆ 事業の成果

- 水路改良工事（14箇所実施）・
第5次総合計画 災害に強いまちづくりの推進及び生活道路の整備や安全の確保として、道路に付随する側溝の更新を実施し、浸水被害の低減・解消を図った。

- ◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	建設水道部 建設課	計画係	款	8	土木費	
事務事業名	おたんじょ桜事業			項	4	都市計画費
				目	1	都市計画総務費
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	83	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備			前年度評価方向性	継続	
施策項目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進					
個別計画						

事業の目的	対象	・市民を挙げて次代を担う児童の出生を祝い、これを記念して桜の植樹を進める。	意図	・さくらの里づくりを目指し、桜の名所の形成を図り児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備を図る。
-------	----	---------------------------------------	----	--

事業の内容	○記念植樹会（毎年10月下旬～11月上旬 実行委員会主催） ・各小学校へ入学した市内の小学1年生児童を対象（植樹1本/1クラス）・樹種：オオヤマザクラ・本数：9～10本/年 ○桜維持管理業務（※国営公園を除く植樹箇所） ・草刈り、施肥、灌水、害虫駆除、生育調査他
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		1,226,023	1,263,075	1,234,316	-28,759	-2.3%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	1,226,023	1,263,075	1,234,316	-28,759	-2.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,810,000				1,810,000	1,234,316	
不用額	特定財源	内訳	金額			
575,684						

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 第1回実行委員会 総会・役員会
令和3年9月16日 市役所
 - ・役員改選、記念植樹会実施計画について
 - ・実行委員14名出席（26名）（市議会、小学校、PTA、自治会、育成会他）
- 役員会 植樹会開催方法 4名出席（6名）（育成会）
- 第2回実行委員会 総会
令和3年10月14日 市役所
 - ・植樹会開催（案）について
 - ・実行委員14名出席（26名）（市議会、小学校、PTA、自治会、育成会他）
- 記念植樹会開催
令和3年11月6日 国営アルプスあづみの公園
 - ・オオヤマザクラの記念植樹 9本
 - ・市内6小学校、9クラス
 - ・参加者 児童及び保護者等約138人



実行委員会総会



実行委員会総会



記念植樹会

◆ 事業の成果

- ・第1回の記念植樹会から22年間で、都市公園をはじめとする8か所の公共用地の中に392本の桜を植樹し、それぞれの場所においてまとまった桜の形成が図られている。

◆ 前年からの改善点等

あり

市内の都市公園や市道沿線等における公共用地に植樹を行ってきたが、植樹場所の選定が課題となる。昨年度より、国営公園内での植樹が、昨年度で満了となった為、高瀬溪谷緑地公園での開催とした。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	211	
担当課	建設水道部	建設	課	計画	係	
				款	8	
				項	4	
				目	2	
事務事業名	街路整備事業				土木費	
				都市計画費		
				都市計画事業費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	84	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性	継続
施策項目	都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進					
個別計画	大田市都市計画マスタープラン					

事業の目的	対象	主要幹線道路を補完して地域間の流動を担う、比較的交通量が多い道路について、安全な歩行空間の確保の向上を図る目的で街路事業にて改良工事が進められている。	意図	市民生活に必要な走行性、安全性を確保した道路整備を進める。
-------	----	---	----	-------------------------------

事業の内容	○(街)中央通り線(主)長野大町線)北大町工区 整備区間:大町文化会館入口交差点南~若一王子神社入口 事業規模:L=約450m・W=16m 全体事業費:C=1,000,000千円(うち市負担金10%から15%)
	○(街)館ノ内借馬線(主)大町明科線)松崎工区 整備区間:旭町交差点(旭橋)~社会就労センター南 事業規模:L=約280m・歩道設置(片2.5m) 全体事業費:C=200,000千円(うち市負担金10%から15%)

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		22,045,627	24,366,356	13,039,052	-11,327,304	-46.5%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	22,045,627	24,366,356	13,039,052	-11,327,304	-46.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,000,000				20,000,000	13,039,052	
不用額	特定財源	細節名				
6,960,948	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 交付金・県単事業要望活動
令和3年9月7日 長野県(大町建設事務所)
・事業要望調書の提出
(街路事業4路線)



◆ 事業の成果

- (街)中央通り線((主)長野大町線)北大町工区口
整備区間:大町文化会館入口交差点南~若一王子神社入口
拡幅工事:土工附带工事一式 舗装工事:表層工一式
- (街)館ノ内借馬線(主)大町明科線)松崎工区
整備区間:旭町交差点(旭橋)~社会就労センターi 補償、工事繰り越し

- ◆ 前年からの改善点等 なし

担当課	建設水道部 建設課	計画係	款	8	土木費	
事務事業名	コンパクトシティ形成事業			項	4	都市計画費
			目	2	都市計画事業費	
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	83	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進					
個別計画	都市計画マスタープラン					

事業の目的	急速な人口減少による市街地や集落の人口密度の低下から、中心市街地や既存集落の生活拠点を活かした、まとまりをもった、コンパクトな集約型都市を目指す。	意図	信濃大町駅周辺の中心的拠点への緩やかな人口誘導と、周辺の既存集落を中心とした地域を生活拠点として位置付け、これらの拠点間を幹線道路や公共交通によりつながりを持った都市構造とする。
-------	---	----	---

事業の内容	立地適正化計画作成及び緑の基本計画作成業務の運営・計画の公表 ①将来像と基本方針の設定 ②誘導区域の設定 ③防災指針の設定 ④施策と目標指標の設定 について作成。 ○計画作成のプロセス ・庁内検討委員会・外部検討委員会を各6回開催・都市計画審議会に2回報告・市議会全協4回報告 ・地区懇談会を6地区で8月・10月に全12回開催 12月にパブリックコメントの実施・令和4年4月公表 都市計画マスタープラン改定業務の運営（課題の整理、見直しの方向性、現行計画の評価検証）
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）			9,167,422	13,678,000	4,510,578	49.2%
	財源内訳	特定財源		5,500,000	2,600,000	-2,900,000	-52.7%
		一般財源		3,667,422	11,078,000	7,410,578	202.1%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
14,604,000				14,604,000	13,678,000	
不用額	特定財源	細節名	集約都市形成支援事業補助金			
926,000	内訳	金額	2,600,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

急速な少子高齢化が進行する中、一定の人口密度に支えられてきた医療・福祉・商業などの生活サービスの提供が困難となりかねない状況下、これらを解決する為、より具体的な施策を進めるべく「立地適正化計画」及び「緑の基本計画」を策定した。

また、両計画の策定にあたっては、地域特性を把握するとともに市民ニーズを計画に反映させるため、住民意向アンケートの実施や地区別懇談会を延べ12回実施、原案については、パブリックコメントにより意見聴取を行った。

都市計画マスタープラン改定作業に着手



検討委員会



庁内検討委員会

◆ 事業の成果

- ・将来像と基本方針の設定
- ・立地の都市機能誘導区域及び居住誘導区域の設定
- ・防災指針の策定
- ・緑地重点地区の設定
- ・施策と目標指標の設定

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	建設水道部	建設課	維持管理係	款	8	土木費	
事務事業名	公園管理事業				項	4	都市計画費
					目	3	公園費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	85	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	潤いのある公園・緑地の整備推進						
個別計画							

事業の目的	対象	公園利用者に利便や快適性を提供し、安全に公園を利用していただくための適切な維持管理	意図	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理を適切に行うことにより、市民が安心して使用ができ、やすらぎと潤い（憩い）を提供する 公園施設の維持と有効活用に向けたひとづくりにより地域の連携
-------	----	---	----	---

事業の内容	都市公園6箇所：大町公園、西公園、高瀬渓谷緑地公園、大町文化公園、駅前広場公園、やしろ公園 その他公園6箇所：八日町PP、五日町PP、山下PP、青島公園、木崎湖園地、市民の森 <ul style="list-style-type: none"> 遊具、建物、植栽帯等の施設の維持管理 市民ボランティア団体との協働による美化活動等の推進 公園施設長寿命化計画の策定、台帳整備
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
		総事業費（決算額）	28,952,361	27,438,958	27,818,768	379,810	1.4%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	28,952,361	27,438,958	27,818,768	379,810	1.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
29,086,000				29,086,000	27,818,768	
不用額	特定財源	細節名				
1,267,232	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 公園遊具、建物等の施設の維持修繕
 - ・公園遊具3箇所、建物等の施設10箇所の修繕
 - 公園遊具の定期点検
 - ・年1回：有資格者による点検の実施、月1回：職員による点検の実施
 - 公園植栽帯の管理
 - ・4月から11月まで8公園について、造園業者に植栽帯の管理委託
 - ・他の公園については、職員の作業又は手数料等により対応

- ◆ 事業の成果
 - 公園使用料の改定により、駅前広場公園の催しやキッチンカー等の利用が増え、市民が公園に足を運び利用する機会が多くなった。
 - ・令和3年度駅前広場公園の催し等利用日数
催し他 25日
キッチンカー(4事業者) 98日



- ◆ 前年からの改善点等 あり

遊具の定期点検について、年1回の有資格者による点検時期を早期に発注することにより、点検結果に伴う修繕を早期に発注することができ、利用者の安全を確保できた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	211 213
----	------	------	------------

担当課	建設水道部	建設課	建設係	款	8	土木費	
事務事業名	仁科三湖周辺整備事業（繰越明許費を含む。）				項	4	都市計画費
					目	3	公園費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	85	
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進						
個別計画							

事業の目的	対象	木崎湖周遊ルートの一部（市道東西海ノ口下線）	意図	木崎湖周遊ルート整備構想及び地域要望に基づき、木崎湖北端の農地内の市道改良と休憩スポット整備により、観光的利活用の推進とともに営農及び生活道路の安全性の向上を図る。
-------	----	------------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 道路改良事業 W=3.0m(待避所4.0m) L=516m 休憩スポット整備事業 1箇所 A=900㎡
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		11,494,720	931,200	8,315,680	7,384,480	793.0%
	財源内訳	特定財源	9,000,000			0	-
		一般財源	2,494,720	931,200	8,315,680	7,384,480	793.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,000,000	0	10,000,000	0	11,000,000	8,315,680	0
不用額	特定財源内訳	細節名				
2,684,320	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 道路改良工事

- 令和2年度からの繰越路線
東西海の口下線（海ノ口） W=3.0m（待避所4.0m） L=72m

◆ 事業の成果

道路改良（東西海ノ口下線）



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	213
----	------	------	-----

担当課	建設水道部	建設課	計画係	款	8	土木費	
事務事業名	まちなかの緑地整備事業				項	4	都市計画費
					目	3	公園費
					前期計画登載頁	85	
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち						
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	潤いのある公園・緑地の整備推進						
個別計画	都市計画マスタープラン						

事業の目的	<p>中心市街地の空き地等を公園的な空間へと整備する支援や、ポケットパークなどの公共用地の緑地整備等により、中心市街地への賑わい創出や回遊による歩きたくなるまち、また、ユニバーサルデザインによる住みたくなるまちの都市環境の形成を図る。</p>	<p>中心市街地の低未利用地の利活用により、緑化や公園的な施設整備や、既存の公共用地やポケットパークの整備を推進し、観光客をまち歩きへと導き、中心市街地の賑わいを創出する。</p>
-------	---	--

事業の内容	<p>公共用地 ポケットパーク等 11か所の維持管理・緑地の整備・案内看板の設置 ◎5月 植栽イベントPPマリーゴールド5160株 ◎5月 WSバラの植付 座学・8月WS夏管理と夏剪定・1月WS コロナにより中止・3月WS 座学 バラの接木実習 ◎案内看板の設置、八日町ポケットパークに水場の設置 ◎フラワーコンテナの設置120基980株（小中学校と連携し、中央通りの回遊性を創出）</p>
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）			2,839,492	2,555,115	-284,377	-10.0%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源		2,839,492	2,555,115	-284,377	-10.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
3,000,000				3,000,000	2,555,115	
不用額	特定財源	細節名				
444,885	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ポケットパークなど、公共用地をフィールドに市民と緑化活動を行った。

- ・ R3.5月 植栽イベントPP マリーゴールド5160株植栽
- ・ R3.5月 WS バラ入門 実習：バラの植付、土づくり、座学
- ・ R3.8月 WS バラ入門 実習：夏管理・夏剪定
- ・ R4.1月 WS バラ入門 コロナにより中止
- ・ R4.3月 WS バラ入門 実習：バラの接木・
- ・ 八日町ポケットパークに案内看板の設置・
- ・ 八日町ポケットパークに水場の設置（女水 水飲み場）
- ・ 公共的に活用している民有地において、協働により水飲み場を製作
- ・ 市内各小中学校によるフラワーコンテナの花苗植付・栽培と市街地中央通り（駅前～大黒町）へのコンテナの設置
- ・ 市民団体と協働によるポケットパークの植栽管理



市民参加のバラ入門講座



◆ 事業の成果

- ・ 市民で構成される緑化団体によるポケットパークの植栽、植生の管理等、活用の実現
- ・ 市街地中央通り商店の方々の花育への意識向上と低未利用地の活用による緑化の推進
- ・ 八日町、下仲町ポケットパークを中心とした回遊性の創出



公園の花苗植栽

◆ 前年からの改善点等

なし



小中学校との共同作業

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	款	8	土木費	
事務事業名	住宅・建築物耐震化推進事業				項	4	都市計画費
					目	4	建築費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	77	
施策目標	市民生活の安全の確保				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	災害に強いまちづくりの推進						
個別計画	大田市耐震改修促進計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年以前に建設された住宅・建築物の耐震診断 ・所有者が行う耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化することにより、市民の生命及び財産を守る。 ・耐震化することにより、震災による被害を最小限にする。
-------	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅耐震診断 昭和56年以前に建設した木造在来工法の住宅の耐震診断 所有者負担なし 診断件数 20件 ・住宅耐震改修 診断の結果、耐震改修が必要と判断された住宅の耐震補強工事等への補助 改修3件 建替3件
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	8,155,000	5,024,000	7,300,000	2,276,000	45.3%	
	財源内訳	特定財源	6,115,750	3,767,250	5,475,000	1,707,750	45.3%
	一般財源	2,039,250	1,256,750	1,825,000	568,250	45.2%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,954,000	-1,597,000		-52,815	7,304,185	7,300,000	
不用額	特定財源	細節名	住宅・建築物耐震改修等事業補助金	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金		
4,185	内訳	金額	3,650,000	1,825,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 市ホームページ、広報誌（4月1日号）による事業案内
 - 耐震事業制度案内チラシ 令和3年9月回覧組込（1,200枚）
 - 耐震事業制度案内通知 固定資産税納入通知書に同封（10,000件）

◆ 事業の成果（住宅の状況）

項目 \ 年度	H16~23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	合計
住宅耐震診断	166	10	11	17	15	6	9	20	18	17	20	309
住宅耐震改修	22	2	6	3	3	2	2	5	7	4	6	62

- ・ 令和3年3月に、計画期間を令和7年度まで5年間延長し「大田市耐震改修促進計画」を改定した。令和2年度時点の住宅総数9,900戸、耐震化率75.9%と推計する。

◆ 事業の成果（緊急避難場所の状況）

地域防災計画で指定している指定緊急避難場所	97か所
民間又は地縁団体等が所有する集会所等	92か所
耐震性を満たすもの（S57年以降建設）	62か所
耐震性を満たさないもの（S56年以前建設）	30か所
耐震診断を実施したもの	27か所
診断の結果、耐震性を満たすもの	0か所
診断の結果、耐震性を満たさないもの	27か所
耐震診断未実施のもの	3か所

民間又は地縁団体等が所有する集会所等で、耐震性が劣っている施設が30か所存する。危機管理課とも連携を図りながら、所有者等と耐震改修に向けた協議、意向確認をしていく。

- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	款	8	土木費	
事務事業名	安心・安全住宅リフォーム支援事業				項	4	都市計画費
					目	4	建築費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	89	
施策目標	快適な生活環境の形成				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	住宅環境の向上						
個別計画							

事業の目的	対象	市民が施工業者に依頼して行う住宅リフォーム工事に要する費用に対し、補助金を交付する。	意図	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、良質な住宅ストックの形成、定住促進を図る。 住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、市内経済の活性化に寄与する。
-------	----	--	----	---

事業の内容	<p>○事業概要 住み慣れた住宅の性能や機能の向上を図る住宅リフォーム工事（省エネルギー型、環境負荷低減型、防災型）、住宅リフォーム工事と合わせて行う外構等性能向上工事を、市内の施工業者に依頼して行う場合、その経費の一部を補助する。</p> <p>○補助金額 ・住宅性能向上工事を含む住宅リフォーム工事（補助率：20%、限度額：200千円） ・防災減災型外構工事（補助率：20%、限度額：100千円）</p>
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）			28,629,000	24,770,000	-3,859,000	-13.5%
	財源内訳	特定財源		3,800,000		-3,800,000	皆減
		一般財源		24,829,000	24,770,000	-59,000	-0.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
25,000,000				25,000,000	24,770,000	
不用額	特定財源	細節名				
230,000	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 市ホームページ、広報誌（4月1日号）による事業案内
- ◆ 事業の成果
 - 安心・安全住宅リフォーム支援事業実施経過

年度	交付件数	交付額累計	平均交付額	補助対象額累計	平均対象額	効果倍率	受付終了日
R2	167件	28,629千円	171,431円	198,391,301円	1,187,971円	6.93倍	通年
R3	137件	24,770千円	180,802円	176,685,087円	1,289,672円	7.13倍	通年
計	304件	53,399千円	175,654円	375,076,388円	1,233,803円	7.02倍	

○ 安心・安全住宅リフォーム支援事業(R2~R4)類型別状況

種別	主たる工事内容	R2	R3	合計	割合(%)	
省エネ型	断熱材の敷設・葺替え・塗装による断熱化・窓・ガラスの断熱化	67	49	116	38.2	85.6
	高効率給湯器・高断熱浴槽の設置	51	46	97	31.9	
	節水型洋式トイレ・まきストーブ、ソーラー発電、暖房ボイラーの設置	28	19	47	15.5	
防災型	壁・柱・基礎等の補強工事		1	1	0.3	1.6
	屋根の葺き替え（防災瓦・軽量化）	2	2	4	1.3	
環境負荷低減型	下水道接続及び下水道接続に伴う設備改修工事	15	14	29	9.5	11.8
	合併浄化槽設置に伴う水洗化及び機械設備改修工事	2	5	7	2.3	
防災減災外構工事		2	1 (1)	3 (1)	1.0	1.0
計		167	137	304	100.0	100.0

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	213 215
----	------	------	------------

担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	款	8	土木費	
事務事業名	宅地耐震化推進事業				項	4	都市計画費
					目	4	建築費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	77	
施策目標	市民生活の安全の確保				前年度評価 方向性	R3 新規事業	
施策項目	災害に強いまちづくりの推進						
個別計画							

事業の目的	対象	・大規模盛土造成地について、地震等による被害を未然に防ぐため、造成地の安全性確認調査を実施する。	意図	安全確認の結果、危険性が明らかになった盛土造成地については、対策工事にむけて取り組みを進めるとともに、調査結果を踏まえ、住民等も参画する盛土造成地の観測体制の構築を加速化させる。
-------	----	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の大地震で多くの宅地被害が大規模盛土造成地で発生したことから、令和元年度に国が実施した第一次スクリーニング調査(大規模盛土造成地マップの作成)の結果を元に第二次スクリーニング(安定性確認の調査)を優先的に実施するための計画を策定する。 ○大規模盛土造成地変動予測調査業務 大規模盛土造成地における変動予測調査 ・調査箇所数7か所 ・基礎資料整理、現地踏査、優先度評価
-------	---

決算数値(単位:円)							
事業費	財源内訳	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
		総事業費(決算額)			2,618,000	2,618,000	皆増
		特定財源			1,309,000	1,309,000	皆増
		一般財源			1,309,000	1,309,000	皆増

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,213,000	-1,595,000			2,618,000	2,618,000	
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金			
0	内訳	金額	1,309,000			

事業の実績・成果

◆ 事業の経過

- 大規模盛土造成地 — 谷や沢を埋め立てた造成宅地で、盛土の面積が3,000平方メートル以上のもの
- 令和元年度 ・ 大規模盛土造成地調査業務(国土交通省で施行)
近年の大地震で多くの宅地被害が大規模盛土造成地で発生したことから、新旧地形図の重ね合わせによる盛土の抽出調査を実施(第一次スクリーニング)。
大町市内の大規模盛土造成地 13か所 126,700㎡
・ 大規模盛土造成地造公表(令和2年3月23日 市ホームページ)
- 令和2年度 ・ 大規模盛土造成地造成年代調査(直営)
- 令和3年度 ・ 大規模盛土造成地変動予測調査業務
調査箇所 7か所(大規模盛土造成地13か所から県有施設等が立地する6か所を除いた箇所)
業務内容 基礎資料整理、現地踏査、優先度評価 委託料 2,618千円

◆ 事業の成果

- 大規模盛土造成地変動予測調査結果
 - ・ 大規模盛土造成地変動予測調査結果から危険性、緊急性は低いと考えられるが、引き続き経過観察をしていく。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	215
担当課	建設水道部	建設課	建築住宅係	款	8
事務事業名	住宅管理費			項	5
				目	1
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	89
施策目標	快適な生活環境の形成			前年度評価 方向性	継続
施策項目	住宅環境の向上				
個別計画	大町市営住宅等整備計画				

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅 住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸する。 ・雇用促進住宅 勤労者に住宅を賃貸する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 ・勤労者の生活及び就業の安定を図る。 ・適切な維持管理を行う。 ・市営住宅等整備計画に基づく住宅の整理統合、施設改修等を計画的に実施する。
-------	---	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用途廃止団地（大原2号、借馬団地）における入居者移転事務 ・借馬団地改修工事（12棟 31戸における設備改修） ・新設団地用地選定事務 ・譲渡予定住戸（西平、中村、本村団地）における不動産鑑定評価意見書作成業務
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	82,036,059	34,505,812	100,559,915	66,054,103	191.4%	
	財源内訳	特定財源	82,036,059	34,505,812	100,559,915	66,054,103	191.4%
	一般財源				0	-	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
106,798,000	-5,400,000		-72,750	101,325,250	100,559,915	
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	公営住宅整備事業債	雇用促進住宅（駐車場）使用料	
765,335	内訳	金額	26,500,000	42,800,000	31,259,915	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 用途廃止に向けての入居者移転等状況

団地名	管理戸数	廃止戸数	用途廃止期限	移転等戸数					R3末入居戸数	R3末入居率
				H29	H30	R元	R2	R3		
大原2号	90戸	90戸	令和4年度	15戸	3戸	13戸	7戸	21戸	8戸	8.89%
借馬	180戸	109戸	令和7年度	6戸	3戸	20戸	12戸	7戸	54戸	49.54%

○ 住宅性能向上への取組み（リフォーム工事）

工事名 借馬団地改修工事
 施工団地 借馬団地12棟31戸(5DK 27戸 2DK 4戸)
 (S46建 15戸 S47建 13戸 S48建 3戸)
 施工内容 ユニットバス、ガス給湯器、流し台
 換気扇、手すり、洗面化粧台等の設置
 工事費 69,300,000円



ユニットバス



流し台

○ 中心市街地等への新設団地の建設

- ・ 新設団地用地選定庁内検討委員会 令和3年度の開催回数 4回（4月、5月、10月及び1月）
- ・ 今後の取組み 優先交渉先を旧大町北高等学校跡地とする。
 県との調整経過を踏まえ、具体的な課題の整理や工程等の見直しを行い、早期の建設予定地の決定に向け、取組みを進める。

○ 市営住宅の譲渡

- ・ 譲渡予定住戸（西平、中村、本村団地）における不動産鑑定評価意見書作成業務
- ・ 譲渡予定建物（西平、中村、本村団地）の保存登記
- ・ 譲渡予定住戸（西平、中村、本村団地）の譲渡承認申請

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	217 219
----	------	------	------------

担当課	総務部	危機管理課	危機管理係	款	9	消防費	
事務事業名	消防団運営経費				項	1	消防費
					目	2	非常備消防費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁	76	
施策目標	市民生活の安全の確保				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	災害に対する市民生活の安全の確保						
個別計画							

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の中核的な存在である消防団員の資質向上 ・市民の防災意識、知識の高揚 	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・災害現場における消防団活動時の安全確保の観点から、消防団装備品の充実を図る。 ・各種訓練の開催により災害対応への強化を図る。 ・地域での活動を通じて、地域住民との連携強化を図る。
-------	---	----	--

事業の内容	消防団 <ul style="list-style-type: none"> ・各種訓練を通じて地域防災力の向上 ・操法大会、ラッパ吹奏大会（R3中止） ・消防フェスタ（R3中止） 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災現場での消火活動、豪雨時の警戒巡視、行方不明者の捜索 ・春と秋の住民参加型訓練や地区の防災訓練（春は中止） ・団員への補償（公務災害報償、退職報償）掛金の支払い
-------	---	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		35,698,253	43,015,294	31,866,977	-11,148,317	-25.9%
	財源内訳	特定財源	9,922,947	22,063,627	17,761,000	-4,302,627	-19.5%
		一般財源	25,775,306	20,951,667	14,105,977	-6,845,690	-32.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
39,171,000	-5,101,000	0		34,070,000	31,866,977	0
不用額	特定財源	細節名	消防団退職報償金支出金	公務災害損害補償金	市町村振興協会コミュニティ助成金	
2,203,023	内訳	金額	15,242,000	1,519,000	1,000,000	

事業の実績・成果

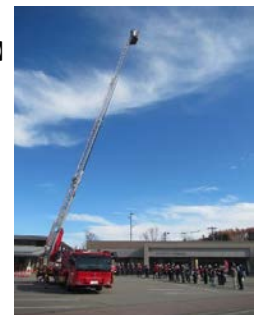
◆ 施策目標に資する活動

- ◇大雨警報に伴う警戒…平、八坂地区の警戒実施
- ◇消防団総合訓練 ・実施日 5月9日 ・参加者数 約80名
- ◇秋の火災予防運動住民参加型訓練（美麻地区） ・実施日 11月14日 ・参加者数 約100名
- ◇消防団年末警戒 ・実施日 12月25日～29日 ・参加者数 延べ約1,000名
- ◇県消防学校入校 ・操法科 11名 ・副団長講習 2名 ・ラッパ科 2名
- ◇ポンプ操法、ラッパ吹奏大会 ・市大会、大北大会、県大会（中止）
- ◇消防フェスタ（中止）
- ◇消防団装備品の充実強化 ・防寒着 600着配備

【防寒着】



【秋の火災予防運動住民参加型訓練】



◆ 事業の成果

- ◇河川の増水状況を確認することにより、早期の自主避難に繋がった。（八坂瀬口地区）
- ◇住民参加型訓練の実施により、防災意識の向上が図れた。
- ◇消防学校の講習により、専門的かつ高度な知識を習得し、災害対応技術の向上が図れた。
- ◇団員への防寒着の配備により、冬期の消防団活動の安全確保を図った。

◆ 前年からの改善点等

あり

新型コロナウイルス感染防止対策として、参加者の削減や十分な距離の確保などの対策を実施し、コロナ禍においても安心して安全な消防団活動を行えるよう環境整備等を行った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	219
担当課	総務部	危機管理課	危機管理係	款	9
事務事業名	消防施設整備事業			項	1
				目	3
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	76
施策目標	市民生活の安全の確保			前年度評価 方向性	継続
施策項目	災害に対する市民生活の安全の確保				
個別計画					

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 市内の消防施設及び消防団車両等を計画的に配備、更新 施設等の計画的な更新により、火災時等の迅速な初期対応が可能な状況を維持し、地域防災力の向上を図ることを目的とする。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 消防設備等の適正な管理及び施設の耐震化を推進し、消防団が災害時に迅速な活動が展開できるようにする。
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防施設の耐震化、不要な消防施設の解体と撤去 老朽化した消防団車両の更新
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	28,546,085	16,303,900	5,688,805	-10,615,095	-65.1%
	財源内訳	特定財源	24,300,000	13,300,000	-13,300,000	皆減
	一般財源	4,246,085	3,003,900	5,688,805	2,684,905	89.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,978,000	0	0	-1,761,000	6,217,000	5,688,805	0
不用額	特定財源	細節名				
528,195	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

◇ 消防団車両の更新

- 消防団組織の再編に伴い更新の年次計画を見直す。（更新基準は導入後20年経過を目途）

◇ 消防団施設の改廃等

- 平 二ツ屋積載車車庫新設

【平 二ツ屋積載車車庫】

- 常盤 西山道海戸消防器具置場解体



◆ 事業の成果

二ツ屋積載車車庫の更新については、第2分団第5部が拠点としており、団から現在の源汲より二ツ屋の方が団員が参集しやすく活動しやすいとのことから、二ツ屋地区へ建設。これにより、災害時等の際に迅速な活動が可能となった。

◆ 前年からの改善点等

あり

これまで使用していた源汲の車庫については、源汲自治会へ無償譲渡することで調整中。

担当課	総務部 危機管理課	危機管理係	款	9	消防費	
事務事業名	防災対策一般経費			項	1	消防費
				目	5	防災費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁	75、76	
施策目標	市民生活の安全の確保			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	災害に対する市民生活の安全の確保					
個別計画						

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織等が購入する防災資機材について補助を実施し、自助、共助を基本として地域防災組織の強化を図る。 ・周辺住民に悪影響を及ぼす恐れのある危険な空家の改善を図る。 	意図 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会等への補助により、災害時に必要となる資機材の確保と地域防災力の強化を図る。 ・危険空家等の解消。
-------	---	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織への補助（資機材補助、運営費補助） ・情報伝達手段の確保（衛星携帯電話、防災行政無線） ・危険空家等の所有者等へ適正な管理のお願い ・特措法に基づく特定空家等への措置（助言、指導、勧告、命令、代執行）
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		4,292,997	3,530,174	7,230,193	3,700,019	104.8%
	財源内訳	特定財源	469,868	311,683	309,160	-2,523	-0.8%
		一般財源	3,823,129	3,218,491	6,921,033	3,702,542	115.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
11,545,000	-2,240,000	0	0	9,305,000	7,230,193	
不用額	特定財源	内訳	自動販売機売上電気料金			
2,074,807	内訳	金額	309,160			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

◇空家等対策

- ・危険空家の報告、相談
- ・報告案件の状況調査
- ・特定空家等認定案件（2件）の取組
- ・危険空家等所有者と接触、適正な管理のお願い

【白塩町自主防災会が補助を活用して購入した資機材】

◇自主防災会、自治会への資機材購入補助

◇戸別受信機購入補助



◆ 事業の成果

◇危険空家

- ・危険空家等報告件数 累計 79件（R3 2件）
- ・危険空家等解体、撤去 累計 24件（R3 1件）
- ・危険空家等売却 累計 1件
- ・危険空家等改善 累計 3件

◇資機材購入補助 21件（19防災会）

◇戸別受信機購入補助 2件



◆ 前年からの改善点等

なし

戸別受信機は受注生産であり、世界的な半導体不足の影響により、納品時期の見通しがつかない状況。製造業者に確認し、製造の見通しがついてから受注受付を再開する予定。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	221 223
----	------	------	------------

担当課	総務部 危機管理課	危機管理係	款 9	消防費
事務事業名	防災施設整備事業		項 1	消防費
			目 5	防災費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち		前期計画登載頁	75
施策目標	市民生活の安全の確保		前年度評価 方向性	継続
施策項目	災害に対する市民生活の安全の確保			
個別計画				

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対して、災害に関する情報提供を行うために防災無線を整備。 被災時における防災備蓄物資、資機材の充実。 	意図	<ul style="list-style-type: none"> 防災無線を適正に管理することで、非常時に迅速かつ正確な情報提供を行う。 備蓄物資、防災資機材の更新。 感染対策備品の備蓄。
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄物資の管理。消費（使用）期限を過ぎた備蓄物資は随時更新。 災害対応に必要な資機材、感染対策備品の整備及び備蓄管理。 防災無線の適正な管理。
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	5,724,055	28,001,970	48,685,926	20,683,956	73.9%
	財源内訳	特定財源	13,550,000	43,400,000	29,850,000	220.3%
	一般財源	5,724,055	14,451,970	5,285,926	-9,166,044	-63.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
49,888,000	0	0	0	49,888,000	48,685,926	
不用額	特定財源	内訳	金額	金額	金額	金額
1,202,074			43,400,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

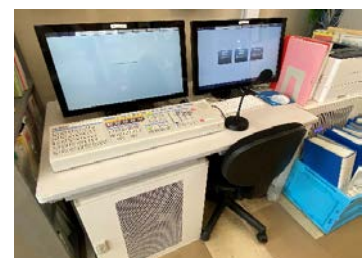
◇ 防災資機材

- 石油ストーブ（10台）
- スポットエアコン（寄贈：1台）
- 遠赤外線ヒーター（寄贈：15台）

【防災資機材：石油ストーブ】



【同報系防災行政無線親局更新】



◇ 同報系防災行政無線

- 親局更新工事
- 保守管理、定期検査
- 消防指令システムとの連動

【スポットエアコン、遠赤外線ヒーター寄贈式】

◇ 防災備蓄物資

- 備蓄食料品の期限切れに伴う購入（フライドライス 600食）



◆ 事業の成果

- 避難所における良好な生活環境を確保。
- 有事の際の迅速な情報手段の確保。

◆ 前年からの改善点等

あり

防災行政無線と消防指令システムの連動により、火災発生時等における情報については、自動で防災行政無線と緊急メールによる提供が可能となった。

担当課	教育委員会	学校教育	課	庶務	係	款	10	教育費	
事務事業名	奨学金事業						項	1	教育総務費
							目	2	事務局費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁	38	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	教育環境の整備								
個別計画									

事業の目的	対象	高等学校や大学等に在学する者で、学力があるにもかかわらず経済的な理由によって就学が困難な者	意図	就学の機会の確保及び経済的な支援
-------	----	---	----	------------------

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 貸与額：高等学校等 月15,000円以内、大学等 月30,000円以内 貸与期間：学校における正規の就学期間以内 利息：無利息 償還期間：卒業6か月後から、貸与期間の2倍の期間内。なお、特別奨学金貸与者は貸与を受けた期間の倍の期間継続して市内に居住した場合は償還免除。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		1,080,000	1,440,000	1,440,000	0	-
	財源内訳	特定財源	845,000	780,000	880,000	100,000	12.8%
		一般財源	235,000	660,000	560,000	-100,000	-15.2%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,880,000				2,880,000	1,440,000	
不用額	特定財源	細節名	奨学金貸付金償還金			
1,440,000	内訳	金額	880,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

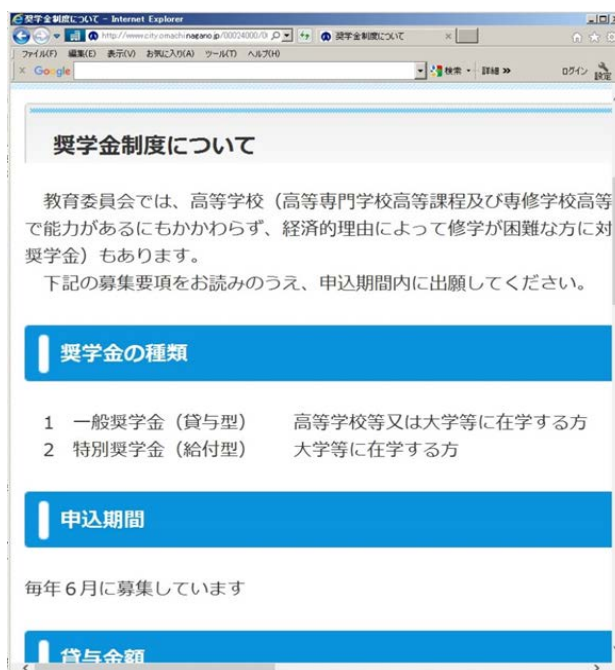
○ 情報提供

- ①市広報紙
 - ・毎年6月号に掲載
- ②市ホームページ
 - ・常設
- ③くらしのガイドブック掲載
 - ・市ホームページ常設

◆ 事業の成果

○ 令和3年度奨学金利用状況

- ①新規貸付現況
 - ・一般奨学金（貸与型）：0件
 - ②継続貸付現況
 - ・特別奨学金（給付型）：2件（4年目）
 - ③償還現況
 - ・償還件数：4件
- ※3年度で2件償還完了



◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	225
----	------	------	-----

担当課	教育委員会	生涯学習	課	八坂公民館	係	款	10	教育費	
事務事業名	山村留学支援事業						項	1	教育総務費
							目	2	事務局費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画掲載頁	-	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	地域で育む教育の推進								
個別計画									

事業の目的	対象	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人 育てる会 ・大町市八坂・美麻山村留学推進協議会 	意図	山村留學生の積極的な受け入れにより、複式学級の回避を図るほか、多方面で教育効果の向上に努め、地元小中学生と留學生相互の健全な成長を助長する。また、保護者や地域と都市住民との交流を促進し、地域の活性化につなげる。
-------	----	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山村留学事業主体の「公益財団法人育てる会」への補助金交付 ・山村留學生受入農家への助成金交付 ・旧市内小学生の「夏休み農山村交流体験活動」（短期山村留学）への参加助成
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	20,340,000	20,340,000	20,340,000	0	-
	財源内訳					
	特定財源	14,000,000	14,000,000	17,355,000	3,355,000	24.0%
	一般財源	6,340,000	6,340,000	2,985,000	-3,355,000	-52.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,340,000				20,340,000	20,340,000	
不用額	特定財源	細節名	過疎地域自立促進特別事業債	ふるさと応援基金繰入金		
0	内訳	金額	16,000,000	1,355,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○（公財）育てる会への支援

- ・補助金 15,500,000円
- ・山村留学児童生徒人数 31名
【内訳】
八坂小学校：10名 八坂中学校：8名
美麻小：6名 中学校：7名
- ・長期山村留学等農山村交流体験事業活動補助



地元生・山留生・保護者とわら細工（郷土ふれあい体験学習）

○八坂・美麻山村留学推進協議会への支援

- ・補助金 4,840,000円
- ・受入農家戸数 8戸
【内訳】
八坂地区：5戸
美麻地区：3戸
- ・受入農家支援
- ・新型コロナウイルス感染対策物品購入



八坂地区文化祭 山留太鼓の発表

◆ 事業の成果

- ・山村留學生の受入れにより、児童生徒数が増加し複式学級の回避等、学校の維持、発展につながっている。
- ・特色ある教育の実施や相互交流により、児童、生徒の健全な成長を助長している。
- ・地元農家へのホームステイや地域行事への参加により、地域の活性化に寄与している。
- ・昭和51年に旧八坂村から始まった山村留学はその効果が認められ、現在では全国で実施されている。

・山村留学児童生徒数

令和3年度	31人
令和2年度	32人
令和元年度	30人

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・感染対策として、(公財)育てる会で実施した抗原検査のキット代を助成した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	225 227
担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係	款	10
事務事業名	コミュニティスクール推進事業			項	1
				目	2
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			前期計画登載頁	37
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成			前年度評価 方向性	継続
施策項目	地域とともにある学校づくり				
個別計画					

事業の目的	対象	保護者及び地域住民等が学校に参画することによる学校教育の充実を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。	意図	学校と地域住民等が共に地域の課題や目標、ビジョンを共有し、地域住民等が積極的に学校運営に参画できる環境を構築し、地域の声を学校運営に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進する。
-------	----	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会の開催。 学校支援コーディネーターの配置。 〃 〃 会議における研修と情報共有。 コミュニティスクール通信による情報発信。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
		総事業費（決算額）	1,876,767	1,899,423	1,795,103	-104,320	-5.5%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	1,876,767	1,899,423	1,795,103	-104,320	-5.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,748,000				2,748,000	1,795,103	
不用額	特定財源	細節名				
952,897	内訳	金額				

事業の実績・成果

<p>◆ 施策目標に資する活動</p> <p>○学校運営協議会</p> <p>大町東小学校 4回（5月13日、10月2日、12月21日、3月8日）</p> <p>大町西小学校3回（6月3日、12月20日、3月10日）</p> <p>大町南小学校4回（5月7日、10月23日、12月13日、3月9日）</p> <p>大町北小学校4回（5月12日、10月29日、12月22日、3月9日）</p> <p>第一中学校3回（5月20日、12月14日、3月8日）</p> <p>仁科台中学校4回（4月22日、10月1日、12月15日、3月11日）</p> <p>八坂小・中学校4回（5月18日、10月11日、12月17日、3月11日）</p> <p>美麻小中学校3回（4月23日、12月10日、3月7日）</p> <p>○学校支援コーディネータ活動・会議</p> <p>各学校の総活動時間合計：約570時間</p> <p>◆ 事業の成果</p> <p>各校の学校運営協議会に教育委員会担当指導主事等が参加し、学校運営や学校支援を含めた連携・挙動活動の状況について情報共有。</p> <p>地域住民の授業や行事等への参画や支援を受け、地域に開かれた特色ある学校運営が図られた。</p> <p>◆ 前年からの改善点等 なし</p>

担当課	教育委員会	学校教育	課	学校教育	係	款	10	教育費	
事務事業名	ICT活用推進事業						項	1	教育総務費
							目	2	事務局費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁	36	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	時代の変化に対応した教育の推進								
個別計画									

事業の目的	対象	社会の情報化の進展に対応できるよう、児童生徒の情報モラルを含む基礎的な情報活用能力を育成する。	意図	ICTを有効に活用した教科等横断的な授業を進め、新学習指導要領に基づいた学習の基盤となる資質・能力を育成する。
-------	----	---	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 情報教育研究委員会におけるICTを活用した授業研究。 デジタル教科書の活用。 クラウドを活用したドリル学習等。 ICTを活用した授業を円滑に進めるためのICT支援員の配置。 ICT機器を使った学習支援ソフトの活用
-------	--

決算数値(単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		8,252,813	5,551,736	5,719,921	168,185	3.0%
	財源内訳	特定財源		1,000,000	1,414,000	414,000	41.4%
		一般財源	8,252,813	4,551,736	4,305,921	-245,815	-5.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,845,000	-270,000			8,575,000	5,719,921	2,030,000
不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	公立学校情報機器整備費補助金		
825,079	内訳	金額	400,000	1,014,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - ICT活用支援員による授業支援(4名・2043時間)
 - デジタル教科書を用いたICT教育の実践(中学校:数学・理科・国語・英語、小学校:算数)
 - 情報教育研究委員会(研究会:3回開催)
 - 小学校
 - 高学年では授業において積極的にクローズドブックを使用するとともに、児童会活動でも活用
 - 新型コロナウイルス感染症に伴う学年閉鎖等においてオンライン授業などに活用
 - 中学校
 - 授業や生徒会活動において積極的にICT機器を活用
 - 新型コロナウイルス感染症に伴う学年閉鎖等においてオンライン授業などに活用
 - 学習支援ソフトの導入あたり、教職員の研修会実施
 - 立川市・大田市姉妹都市中学生サミット(ICT機器を使った交流)



◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	227
----	------	------	-----

担当課	教育委員会	学校教育	課	学校教育	係	款	10	教育費	
事務事業名	小学校管理一般経費（繰越明許費を含む。）						項	2	小学校費
							目	1	小学校管理費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁	38	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価方向性	継続	
施策項目	教育環境の整備								
個別計画									

事業の目的	小学校維持管理に必要となる点検・保守や小学校運営に必要となる事務用機器、物品等の整備による教育環境の充実を図る事業を実施	意図	小学校教育現場において、円滑にかつ安心・安全な環境下で適切な学校運営が推進できるよう取り組む。
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 小学校設備の点検及び管理業務 小学校運営に係る通信運搬、光熱水費、事務用品機器及び物品等の整備 小学校内の施設営繕や樹木選定等の清掃美化業務
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	83,590,999	86,726,327	102,969,661	16,243,334	18.7%
	財源内訳					
	特定財源		4,836,000	7,939,000	3,103,000	64.2%
	一般財源	83,590,999	81,890,327	95,030,661	13,140,334	16.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
94,427,000	7,730,000	4,585,867	3,041,146	109,784,013	102,969,661	4,344,000
不用額	特定財源	細節名	新型コロナウイルス地方創生臨時交付金	学校保健特別対策事業費補助金	東小太陽光発電充電収入	国庫補助（明許繰越分）
2,470,352	内訳	金額	400,000	2,700,000	39,000	4,800,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 小学校校務員 6校（6人×12ヶ月）
- 学校敷地内樹木の消毒作業及び支障木伐採
- 学校警備保障業務（365日） 異常警報感知 なし
- 電気工作物保安業務（年次点検1回から2回実施）
- 消防設備法定点検業務
- 地下タンク及び埋設配管等気密漏洩定期点検業務
- 新型コロナウイルス感染症に係る消毒作業



次亜塩素酸水による床面散布



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	229 231
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	学校教育	課	学校教育	係	款	10	教育費
事務事業名	小学校教育振興一般経費					項	2	小学校費
						目	2	小学校教育振興費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画掲載頁	35	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	基礎的な学力・体力の向上							
個別計画								

事業の目的	対象	小学校の教育教材の整備や学校図書の実、児童の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある児童への支援体制の確立、さらに不登校等の悩みを抱える児童への支援など豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する。	意図	新しい学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。
-------	----	--	----	---

事業の内容	学校医、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置、教育教材用品及び教育用情報機器の整備。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		81,326,700	79,402,426	79,112,854	-289,572	-0.4%
	財源内訳	特定財源	1,448,000	375,000	417,000	42,000	11.2%
		一般財源	79,878,700	79,027,426	78,695,854	-331,572	-0.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
87,629,000	-7,472,000		-115,500	80,041,500	79,112,854	
不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等補助金			
928,646	内訳	金額	417,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある障がい等様々な課題を抱えている児童の教育環境を確保し、学校生活を支える。
- 国際化社会に対応できる人を育てるため、ALTを派遣して英語活動を実施する。
- 知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積くことによって「生きる力」を育む。

◆ 事業の成果

理科設備整備

- ・大町東小学校：天体の学習用具1組、物の運動の学習用具3組、音の学習用具6組
- ・大町西小学校：、温度測定器具1組、顕微鏡6、
- ・大町南小学校：顕微鏡4組
- ・大町北小学校：保管庫1組、土地の学習用具4組、空気の学習用具8組、天体の学習用具1組
- ・八坂小学校：実験支援器具2組、電気測定用具3組
- ・美麻小中学校（前期課程）：温度測定器具5組、実験支援器具2組

電子黒板導入事業

65型電子黒板21台導入（市内小学校に配置済）

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	231 233
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	学校教育課	学校教育係	款	10	教育費	
事務事業名	中学校管理一般経費（繰越明許費を含む。）				項	3	中学校費
					目	1	中学校管理費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画掲載頁	38	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	教育環境の整備						
個別計画							

事業の目的	中学校維持管理に必要となる点検・保守や中学校運営に必要となる事務用機器、物品等の整備による教育環境の充実を図る事業を実施	意図	中学校教育現場において、円滑にかつ安心・安全な環境下で適切な学校運営が推進できるよう取り組む。
-------	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校設備の点検及び管理業務 ・中学校運営に係る通信運搬、光熱水費、事務用品機器及び物品等の整備 ・中学校内の施設営繕や樹木選定等の清掃美化業務
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		43,301,268	44,280,105	52,344,782	8,064,677	18.2%
	財源内訳	特定財源		6,025,000	6,025,000	0	-
		一般財源	43,301,268	38,255,105	49,919,782	11,664,677	30.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
47,358,000	4,770,000	3,814,865	2,117,574	58,060,439	52,344,782	3,836,000
不用額	特定財源	細節名	新型コロナ地方創生臨時交付金	学校保健特別対策事業費補助金	国庫補助金（繰越明許分）	
1,879,657	内訳	金額	400,000	2,025,000	3,600,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 中学校校務員 4校（4人×12ヶ月）
- 学校敷地内樹木の消毒作業及び支障木伐採
- 学校警備保障業務（365日） 異常警報感知 なし
- 電気工作物保安業務（年次点検1回から2回実施）
- 消防設備法定点検業務
- 地下タンク及び埋設配管等気密漏洩定期点検業務
- 新型コロナウイルス感染症に係る消毒作業

（第一中学校敷地内支障木撤去）



次亜塩素酸水による床面散布



施工前



作業中



施工後

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	教育委員会	学校教育	課	学校教育	係	款	10	教育費	
事務事業名	中学校教育振興一般経費						項	3	中学校費
							目	2	中学校教育振興費
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画掲載頁	35	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	基礎的な学力・体力の向上								
個別計画									

事業の目的	生徒の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある生徒への支援体制の確立、生徒の情報活用基礎能力の習得など時代の変化に対応した教育の推進、さらに不登校生徒の学校復帰に向けた指導援助等による豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する。	意図	新しい学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。
-------	--	----	---

事業の内容	学校医、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置、教育教材用品及び教育用情報機器の整備。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	61,474,401	65,284,208	54,568,416	-10,715,792	-16.4%	
	財源内訳	特定財源	2,251,300	906,000	1,020,000	114,000	12.6%
	一般財源	59,223,101	64,378,208	53,548,416	-10,829,792	-16.8%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
59,184,000	-2,255,000		-1,551,074	55,377,926	54,568,416	
不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等補助金	部活動指導員配置事業補助金		
809,510	内訳	金額	628,000	392,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある中1ギャップなどによる不登校傾向の生徒をはじめ様々な課題を抱えている生徒達の教育環境を確保し、学校生活を支える。
 - ALTによるネイティブな外国語の授業より、国際化に対応した深い学びの実践。
 - 知識を詰め込むだけではなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積むことによって「生きる力」を育む。
- ◆ 事業の成果
 - 理科設備整備
 - ・第一中学校：物質とその変化の実験用具9組、標本9組、顕微鏡2組
 - ・仁科台中学校：力の実験用具5組
 - ・八坂中学校：顕微鏡12組、電流と磁界の実験用具3組
 - ・美麻小中学校（後期）実験用コンロ
 - 電子黒板導入事業
 - 65型電子黒板6台導入（市内中学校に配置済）
- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	教育委員会	生涯学習	課	生涯学習・青少年係	款	10	教育費
事務事業名	エネルギー博物館運営費助成事業				項	4	社会教育費
					目	1	社会教育総務費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画掲載頁	41	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築						
個別計画	第7期社会教育計画						

事業の目的	対象	エネルギー博物館運営に対する助成	意図	科学的思考を喚起する貴重な学びの場の社会教育施設として安定した運営維持。
-------	----	------------------	----	--------------------------------------

事業の内容	経常経費分と修繕工事等臨時的経費分の補助
-------	----------------------

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	12,684,000	13,039,000	13,615,000	576,000	4.4%
	財源内訳	特定財源			0	-
	一般財源	12,684,000	13,039,000	13,615,000	576,000	4.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,615,000				13,615,000	13,615,000	
不用額	特定財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 大町エネルギー博物館は、近隣では珍しいエネルギーを中心とした博物館であり、展示・体験・解説などを通じて入館者の科学的思考を喚起する貴重な学びの場の社会教育施設である。いつでも・どこでも・だれもが・なんども学べる機会の提供ができるよう運営費補助を行っている。
 - 参考
 - エネルギー博物館の主な事業
 - ・トヨタプリウスPHVカットモデル展示
 - ・「近年の北アルプス周辺の冬の気象状況」パネル展示
 - ・「超電導重力計」松代地震観測所より搬入・展示
 - ・大町少年少女発明クラブ（21名・17回開催）など

- ◆ 事業の成果

運営費補助により、エネルギーを通じた科学的な分野を学べる社会教育施設として安定した施設運営がされているが、新型コロナウイルス感染症の影響については、前年度より開館日が増えたことや、第2回北アルプス国際芸術祭のアートサイトでもあったため、自主財源となる入館者が6,304人で前年度の4,766人から1,538人増となった。

- ◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計 一般会計 決算書頁 237

担当課	教育委員会	生涯学習	課	生涯学習・青少年 係	款	10	教育費
事務事業名	公民館分館整備助成事業				項	4	社会教育費
					目	1	社会教育総務費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画登載頁	41	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築						
個別計画	第7期社会教育計画						

事業の目的	対象	公民館分館及び地域集会施設の施設整備等に対する補助	意図	地域の拠点となる公民館や集会施設の施設整備に対する補助を行うことにより、環境整備が図られ生涯学習・自治会活動の拠点とし活性化を図る。
-------	----	---------------------------	----	--

事業の内容	施設の改修・改築などに対し対象経費の1/3を補助（上限あり）
-------	--------------------------------

決算数値（単位：円）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
事業費	年度	6,090,000	2,773,000	586,000	-2,187,000	-78.9%
	総事業費（決算額）				0	-
	財源内訳	6,090,000	2,773,000	586,000	-2,187,000	-78.9%
	特定財源					
	一般財源					

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
586,000				586,000	586,000	
不用額	特定財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○秋葉林公民館屋根及び外壁改修工事（補助額586,000円）

<施工前>



<施工後>



◆ 事業の成果

自治会や地区の活動拠点となる施設が整備されることにより、地域の活動の継続・発展が見込まれる。

【実績】

令和元年度 2件、令和2年度 2件、令和3年度 1件

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	237 239
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	生涯学習	課	生涯学習・青少年係	款	10	教育費
事務事業名	生涯学習推進事業				項	4	社会教育費
					目	1	社会教育総務費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画掲載頁	41	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進						
個別計画	第4次大町市生涯学習推進プラン						

事業の目的	対象	一人一人が自ら生きがいを持ち、主体的な「学び」により、心豊かに人生を歩める生涯学習社会の推進を図る。	意図	その生涯にわたってあらゆる機会、あらゆる場所において、学習することができる環境の整備とともに、その主体的な学びの成果を地域に生かし、還元できる生涯学習社会の推進。
-------	----	--	----	---

事業の内容	公民館などの社会教育施設における各種事業の取り組みの推進のほか、生涯学習社会の推進を図るため生涯学習推進プランに基づき、関係部署における全市的な取り組みの進捗管理の実施。 また、生涯学習・青少年係として担っている事務事業名の「生涯学習推進事業」の主な事業内容は、リーダーバンク制度、職員出張講座、「がったつうしん」の発行、郷土冊子の作成。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	財源内訳	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
		総事業費（決算額）	796,835	742,067	833,992	91,925	12.4%
	特定財源	特定財源				0	-
		一般財源	796,835	742,067	833,992	91,925	12.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,041,000				1,041,000	833,992	
不用額	特定財源	細節名				
207,008	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

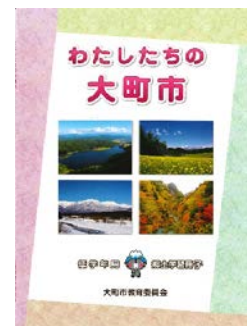
○生涯学習推進プランに基づく進捗管理<生涯学習・青少年係としての取り組み>

- ・「がったつうしん」の年3回の発行
- ・職員出張講座利用数24件・593人
- ・リーダーバンク登録19団体・52人
- ・低学年用郷土学習冊子「わたしたちの大町市」の配布

「がったつうしん」



低学年用郷土学習冊子
「わたしたちの大町市」



◆ 事業の成果

コロナ禍ではあったが、「学び」による心豊かな人生を送るため生涯学習推進のため、第5次大町市生涯学習推進プランを策定した。

◆ 前年からの改善点等

なし

担当課	教育委員会	生涯学習	課	人権教育担当	款	10	教育費
事務事業名	人権教育推進事業				項	4	社会教育費
					目	1	社会教育総務費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち				前期計画登載頁	95	
施策目標	多様性に満ちた共生社会の実現				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	人権教育・啓発の推進						
個別計画	大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針						

事業の目的	対象	全市民（地域、学校、企業）	意図	人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にしたい人権教育の推進を図る。
-------	----	---------------	----	--

- 事業の内容
- ・人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会の研修
 - ・学校人権教育研究委員会による各学校での活動、人権教育指定校の公開授業（2校）の開催
 - ・市内6地区での人権を考える市民の集いの開催
 - ・人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業
 - ・市内小中高の実践記録の作成

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		3,813,298	3,687,777	4,111,830	424,053	11.5%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	3,813,298	3,687,777	4,111,830	424,053	11.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,334,000	0	0	0	4,334,000	4,111,830	
不用額	特定財源	内訳	金額			
222,170						

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

(1) 学校人権教育

- ①市内小中学校における人権教育研究、実践の促進
- ②市内幼保小中高の教職員研修会の実施
 - ・教職員研修会の開催
 - ・公開授業
- ③各学校ごとの人権教育講演会等の実施
- ④人権教育作品集「ヒューマンライツ44号」発行
- ⑤学校人権教育実践録の発行



(2) 社会人権教育

- ①関係団体（人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会）に関わる研修、案内
- ②三団体合同現地視察研修
- ③「人権を考える市民の集い」6地区で開催
 - 平地区6/28 274人、大町地区7/12 174人、八坂地区8/26 103人
 - 美麻地区9/15 98人、常盤地区10/18 229人、社地区11/4 142人

◆ 事業の成果

「人権を考える市民の集い」についてはコロナ禍ではあったが、感染防止対策を徹底しつつ一部短縮開催等、工夫を凝らしながら6地区すべてで開催した。

障害、ネット差別、LGBT等の多様な人権課題への理解を深めるとともに、新型コロナウイルス感染症による偏見差別の防止についても理解を求めた。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	239
----	------	------	-----

担当課	教育委員会	生涯学習	課	生涯学習・青少年係	款	10	教育費
事務事業名	補導・環境浄化活動事業				項	4	社会教育費
					目	2	青少年育成費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画登載頁	41	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	地域で育む教育の推進						
個別計画	第7期社会教育計画						

事業の目的	対象	委嘱した補導委員と共に、補導活動をとおり青少年の健全育成を図る。	意図	「地域の子どもは地域で育てる」という観点から、補導活動をとおり地域全体で青少年を育む機運の醸成を図る。
事業の内容	補導委員と共に、青少年が非行化することのないよう街頭補導やPTAとの合同補導の実施。また、見守りや環境浄化活動などを実施。			

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,765,539	2,758,360	2,888,308	129,948	4.7%
	財源内訳	特定財源				0	-
一般財源		2,765,539	2,758,360	2,888,308	129,948	4.7%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,909,200				2,909,200	2,888,308	
不用額	特定財源	細節名				
	内訳	金額				
20,892						

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 補導委員数 69人
 - 街頭補導活動等の実施
 - ・14班編成で約2時間の活動
 - ・実施回数60回うち4回は臨時活動
 - 青少年センターだより「わかくさ」の発行（年3回・各戸回覧）

青少年センターだより

活動の様子



- ◆ 事業の成果

巡回活動など補導活動をとおり非行への抑止だけでなく、いつでも子ども達を地域全体で見守っているという安心・安全な地域づくりも担っている。引き続き、補導活動をとおり地域全体で青少年の健全育成に取り組む啓発活動を粘り強く続けていく。また、通学路にわいせつ画像のバラマキがあり、緊急活動として4回巡視しながら画像を回収し警察へ届け、犯人逮捕へ導いた。

- ◆ 前年からの改善点等 なし

新型コロナウイルス感染症への基本的感染対策を徹底しながら、地域全体で青少年育成への関心を高めるため、可能な限り事業実施に向け努めた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	239 241
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	款	10	教育費	
事務事業名	青少年育成事業						項	4	社会教育費
							目	2	青少年育成費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁	38	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	地域で育む教育の推進								
個別計画	第7期社会教育計画								

事業の目的	対象	地域全体による青少年の健全育成	意図	市民運動として地域全体で青少年の健全育成に取り組むまちづくり
-------	----	-----------------	----	--------------------------------

事業の内容
大田市青少年育成市民会議の事務局として「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、市民運動として地域全体で子ども達を育む機運の醸成を図るため、春・秋の「あいさつ運動」、毎年8月に開催する「大田市青少年市民大会」、地域子育てセミナー、家庭教育懇談会などを開催。
また、子ども会や育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」の運行を実施。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,745,005	2,591,879	2,574,418	-17,461	-0.7%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	2,745,005	2,591,879	2,574,418	-17,461	-0.7%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
3,503,800				3,503,800	2,574,418	
不用額	特定財源	細節名				
929,382	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○子ども体験学習号

- ・利用件数 2件
- ・利用人数 33人

○青少年育成市民大会

- ・開催日 8月29日（日）
- ・参加者 131人

家庭教育懇談会



あいさつ運動



青少年育成市民大会



◆ 事業の成果

大田市青少年育成市民大会は1年ぶりに規模を縮小し、新型コロナウイルス感染拡大に気をつけ開催。コロナ禍で人とのつながりが希薄になる中で、地域全体で子ども達を見守る連帯感の醸成を図る機会となったと考える。この子ども達を抱える問題や課題について学び、意見交換するなかで問題共有を図りながら、子ども達の健やかな成長を願う意識を地域全体で持ち続けるため、粘り強く各種活動を継続していく。

◆ 前年からの改善点等

なし

新型コロナウイルス感染症への基本的感染対策を徹底しながら、地域全体で青少年育成への関心を高めるため、可能な限り事業実施に向け努めた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計			決算書頁	241
担当課	教育委員会	生涯学習	課	大町公民館	係	款 10
事務事業名	大町公民館活動費				項	4
					目	3
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画登載頁	41
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				前年度評価 方向性	継続
施策項目	社会教育の充実と活性化					
個別計画	第7期社会教育計画					

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点としての機能を発揮。また、住民の地域における課題や思いや住民が主体的に行動する力（自治と活力）を育むことを目的とする。 ・幼児から高齢者までの幅広い年齢層 	意図	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域課題や要求課題等を踏まえうえて企画した事業を通じ、暮らしの質を高め住みよい地域をつくる。
-------	---	----	--

事業の内容	公民館分館事業助成、分館講座の開設支援、文化事業（文化祭の開催・囲碁将棋の普及）、体育事業（市民運動会、球技大会の開催）各種講座の開設など
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,301,066	1,567,720	1,623,165	55,445	3.5%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	2,301,066	1,567,720	1,623,165	55,445	3.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,448,000	-360,000			2,088,000	1,623,165	
不用額	特定財源	細節名				
464,835	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○公民館講座開設

- ・外国人のための日本語講座 32回実施 延べ160人参加
- ・親子教室「すくすく広場」 10回実施 延べ460人参加
- ・菊づくり講座 6回実施 延べ18人参加
- ・デジタル一眼レフカメラ講座 6回開催 延べ54人参加
- ・仏教文学講座 3回実施 延べ158人参加
- ・陶芸講座（前期・後期） 6回実施 延べ114人参加
- ・木彫講座 5回実施 延べ30人参加

新たな生涯学習の提供、サークル活動の活性化等を図ることができた。

○文化事業

- ・大町市文化祭 10/31、11/2・3日開催 延べ9,765人来場

普段各自・各団体で行っている生涯学習を発表する場を提供する事により、更なる生涯学習の意欲を持っていただくとともに、来場者に様々な生涯学習の実態がある事を知っていただく事により、自己の生涯学習の推進を図る事ができた。

◆ 事業の成果

- ・日本語講座は、外国人達にとって貴重な場所となっており、コロナ禍でなかなか参加できなかった受講生が久しぶりに参加して喜ぶ姿を何度か見ており、定期開催が重要と感じた。
- ・すくすく広場は文化会館と連携し記念セレモニーを行うなど、思い出に残る行事となった。
- ・仏教文学講座はコロナ禍でも好評。高齢者ニーズ多く、次年度も新しいテーマで実施したい。

◆ 前年からの改善点等

あり

告知を文化会館と連携し、WEBやSNSを活用するように努めている。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

担当課	教育委員会	生涯学習	課	平公民館	係	款	10	教育費	
事務事業名	平公民館活動費						項	4	社会教育費
							目	3	公民館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画掲載頁	41	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進								
個別計画	大町市第7期社会教育計画								

事業の目的	対象	・地域住民、自治会等 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意図	地域づくりの拠点施設として、公民館事業の充実を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚を図り、地域づくりを支援する。
-------	----	---------------------------------------	----	---

事業の内容
 地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。住民の自主的学習活動を支援するためにサークル体験を実施。自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		1,157,535	620,552	685,146	64,594	10.4%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	1,157,535	620,552	685,146	64,594	10.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,253,000				1,253,000	685,146	
不用額	特定財源	細節名				
567,854	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 平地区市民スポーツ祭 令和3年6月6日（平運動場）ソフトボールの部開催 100名参加
- 平地区少年少女球技大会 新型コロナウイルス感染症予防のため中止
- 平地区市民運動会 新型コロナウイルス感染症予防のため中止
- 平地区マレットゴルフ大会 令和3年10月10日（借馬マレットゴルフ場） 38名参加
- 平地区市民ゴルフ大会 令和3年10月31日（日向山高原ゴルフコース） 35名参加
- スマイルボウリング大会 新型コロナウイルス感染症予防のため中止



◆ 前年からの改善点等

あり

公民館体育事業については、前年度中止となった球技大会については感染症対策を行うことでソフトボールの部のみ開催することができた。公民館講座については「親子でリトミック！」講座を行ったことで参加者が減少傾向にあった親子教室の参加者増加につながった。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	243 245
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	生涯学習課	常盤公民館	係	款	10	教育費	
事務事業名	常盤公民館活動費					項	4	社会教育費
						目	3	公民館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁	41	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	社会教育の充実と活性化							
個別計画	第7期社会教育計画							

事業の目的	対象	地域住民や自治会等を対象に、生涯学習の機会を提供し、人づくり・つながりづくり・地域づくりの支援を行う。	意図	地域住民にとって最も身近な学習拠点として、ニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図り、生活の質を高め住みよい地域をつくる。
-------	----	---	----	---

事業の内容	①講座（親子教室「ともだち広場」、鍬の峰登山、わら細工講座ほか）、②体育事業（常盤地区球技大会、常盤地区運動会、卓球・ソフトバレー大会）、③文化事業（常盤囲碁・マージャン大会、サークル活動発表展示会）、④補助事業（分館事業補助金）
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	財源内訳	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
		総事業費（決算額）	865,358	485,158	440,138	-45,020	-9.3%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	865,358	485,158	440,138	-45,020	-9.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
766,000				766,000	440,138	
不用額	特定財源	細節名				
325,862	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 第56回常盤地区運動会開催
令和3年8月29日（南小学校グラウンド）
・人生航路、松林マラソン、ボール送りリレー ほか
◆新型コロナウイルス感染対策により中止
- 常盤地区球技大会開催
令和3年6月6日（上ーグラウンドほか）
・ソフトボール、マレットゴルフ
◆バレーボールは新型コロナウイルス感染対策により中止
- 常盤公民館サークル活動発表展示会開催
令和4年2月16日～21日（常盤公民館）
・書道、詩、手芸、わら細工 ほか
・来場者：294人
- 常盤卓球・ソフトバレーボール大会
令和4年2月20日（南小学校体育館、常盤公民館）
◆新型コロナウイルス感染対策により中止
- 常盤囲碁・マージャン大会
令和4年3月6日（常盤公民館）
◆新型コロナウイルス感染対策により中止



常盤地区球技大会



サークル展

- 講座「鍬の峰にのぼろう」
令和3年5月23日
・参加者：10人
- 親子教室「ともだち広場」
令和3年6月9日～令和4年3月23日（全16回、うち6回中止）
・親子のふれあいと未就園児の集団生活の学び
・いもほり、クリスマス会、ハロウィン、節分の豆まきほか
・参加者：延べ127人
*新型コロナウイルス感染症対策のため、6回中止となった。



鍬の峰にのぼろう

- そば打ち講座「秋の味覚、新そばを楽しもう「そば打ち教室」
令和3年10月7日～10月28日（全4回）
・参加者：延べ21人
- わら細工講座「丹座とねこつぐら」
令和4年2月17日～3月3日（全5回）
◆新型コロナウイルス感染対策により中止



ともだち広場

- ◆ 事業の成果
コロナ禍により中止となった事業もあったが、実施した事業においては、地域住民を中心に交流の機会をつくることのできた。

- ◆ 前年からの改善点等 あり
新型コロナウイルス感染防止対策として、公民館講堂東側の窓を開閉できるものに取り替えたり、トイレの手洗いを自動水栓化したり、公民館利用者が安心して公民館を利用できる環境整備を行った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	245
担当課	教育委員会	生涯学習	課	社公民館	係 款 10
事務事業名	社公民館活動費			項 4	教育費
				目 3	社会教育費
					公民館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			前期計画登載頁	41
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成			前年度評価 方向性	継続
施策項目	生涯各期における学習活動の充実				
個別計画	大町市社会教育計画				

事業の目的	対象	・地域住民、自治会等 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意図	地域づくりの拠点施設として、公民館事業の充実を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚を図り、地域づくりを支援する。
事業の内容	①講座（親子教室「なかよし広場」、体力upエクササイズ講座ほか）、②体育事業（社地区球技大会、社地区子ども球技大会、社地区運動会、元旦マラソン）、③文化事業（社地区文化祭）、④補助事業（分館事業補助金）			

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	731,432	376,960	349,500	-27,460	-7.3%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	731,432	376,960	349,500	-27,460

令和3年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
933,000				933,000	349,500	
不用額	特定 財源	細節名				
583,500	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 社地区球技大会開催（社B&G、東小学校ほか）
令和3年6月
・ソフトボール、野球（中止）、ソフトバレーボール（中止）
マレットゴルフ（雨天中止）、ゲートボール

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

- 社地区運動会開催
令和3年9月（社B&G多目的広場）
・かけっこ、みんなでジャンプ、世代交流競技、玉入れ他

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

- 社地区文化祭 民俗資料館特別展
令和3年10月30日～11月3日（社公民館）
・菊花展、東小学校児童画展、社地区の蝶標本、どんぐり保育園児作品ほか
・来場者：158人

社地区文化祭

- 社地区元旦マラソン大会
令和4年1月1日（社公民館）
・参加申し込み 定員100人

開閉会式なし、事前申込、時間差のウェーブスタート



社地区球技大会



○ 親子教室「なかよし広場」

新型コロナウイルス感染症対策のため、4回開催中止をしたが、無事開催することができた。

親子教室「なかよし広場」

開催：第1・3・5水曜日 午前9時30分～11時30分

回数：全12回

共催：社地区社会福祉協議会

協力：社民児協、どんぐり保育園

内容：第1回 開講式 サツマイモ植え

第2回 りんりんパークで遊ぼう

第3回 リトミックと子どもの愛着形成について

第4回 色水遊び

第5回 保育園のプールで水遊び

対象：市民（未就園児と保護者）

講師：新井理栄（保育士）



○ 「体力Upエクササイズ講座」

内容：ストレッチ、リズム体操等を組み合わせた体力向上プログラム。日頃の運動不足やメタボを解消しませんか!? 筋力低下によるけが防止に取り組みませんか。

回数：全5回 毎週金曜日

講師：太田陽子（健康づくりトレーナー）



○ 「丹生子城登城講座」

内容：社地区東山の山城、通称：丹生子城について登城してどのような経過でつくられた城でどのような目的の山城か等を現地で考察。

講師：勝野 実（大町市文化財センター所長）



◆ 前年からの改善点等

あり

○ 公民館利用活性化のため、新規の公民館講座からサークル活動への移行を目指した。文化財センターとの共催講座から、R3に木舟城研究会というサークルが発足した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	247
----	------	------	-----

担当課	教育委員会	生涯学習課	八坂公民館	係	款	10	教育費	
事務事業名	八坂公民館活動費					項	4	社会教育費
						目	3	公民館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁	41	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	社会教育の充実と活性化							
個別計画								

事業の目的	対象	・地域住民 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意図	地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業を推進し、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自主グループ等の育成と支援を行う。
-------	----	----------------------------------	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○体育事業（ふれあい運動会：地域参加なし、体操教室等） ○文化事業（文化祭、郷土ふれあい体験学習等） ○学級講座（親子教室、高齢者学級、地域文化伝承事業「八坂塾」等） ○その他（子ども会育成会等の団体事業支援、八坂図書館図書貸し出し、サークル活動団体支援や分館活動事業への支援や補助金交付）
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		970,020	470,705	796,804	326,099	69.3%
	財源内訳	特定財源				0	-
一般財源		970,020	470,705	796,804	326,099	69.3%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,401,000	-160,000			1,241,000	796,804	
不用額	特定財源	細節名				
444,196	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 体育事業

- ・ 盆の球技大会（ソフトボール・マレットゴルフ）
感染防止のため、開催日を8月14日から8月1日に変更し、マレットゴルフ大会のみ実施
開催日：令和3年8月1日
参加者：延べ60人

- ・ 体操教室（元笑気クラブ）
八坂支所と共催
開催日：令和3年10月～11月（全6回）
参加者：延べ34人

- ・ 八坂地区ふれあい運動会
たけのこ保育園、八坂小、中学校、八坂地域合同の運動会
地域と保育園の競技は中止し、小学校と中学校のみ実施
開催日：令和3年9月18日
参加者：150人



八坂地区ふれあい運動会

○ 文化事業

- ・ 八坂地区文化祭
日頃の学習活動、芸能活動の発表を行う
開催日：令和3年10月23日～24日（2日間）
参加者：300人
- ・ 郷土ふれあい体験学習（郷土料理づくり、竹細工、わら細工）
小学生と地域のお年寄りが活動を通じて交流を行う。
開催日：令和3年10月2日
参加者：140人



郷土ふれあい体験学習

○ 学級、講座

- ・ 高齢者学級「高砂大学」
地域の高齢者を対象とした学習講座を年間を通じて開催
開催日：令和3年6月～3月（年5回）
参加者：延べ210人
- ・ 親子教室「すこやか広場」
未就園児とその親を対象とした学習講座を年間を通じて開催
開催日：令和3年6月～3月（年4回）
参加者：延べ74人
- ・ 「八坂塾」竹細工、苔玉、文化財巡り、そば打ち
地域の伝統文化、歴史等を学習し、伝承する
開催日：令和3年5月～12月（全19回）
参加者：延べ209人
- ・ 子育てセミナー
親子で行う体験を通じて子育て力向上を目指す
開催日：令和3年11月27日
参加者：53人



高齢者学級「高砂大学」



子育てセミナー（親子で和風づくり）

○ 中止事業

- ・ 通学合宿、キャンプ
- ・ 八坂、美麻地区市民登山
- ・ 郷土かるた大会
- ・ 八坂、美麻、育てる会スキー交流会
- ・ レクリエーションスポーツ大会

○ 規模縮小事業

- ・ 盆の球技大会
- ・ ふれあい運動会
- ・ 文化祭 文化祭 文化祭
- ・ 高齢者学級、子育て学級

◆ 事業の成果

- ・ 公民館事業の実施により、地域住民の交流する機会が創出され、自治活動の向上や地域の活性化に寄与している。

◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計			決算書頁	247
担当課	教育委員会	生涯学習	課	美麻公民館	係	10
事務事業名	美麻公民館活動費				項	4
					目	3
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画登載頁	41
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				前年度評価 方向性	継続
施策項目	社会教育の充実と活性化					
個別計画	第7期社会教育計画					

事業の目的	対象	・地域住民、自治会等 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意図	地域づくりの拠点施設として、公民館事業の充実を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚を図り、地域づくりを支援する。
-------	----	---------------------------------------	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育事業「地区・学校・保育園合同運動会、夏季球技大会、冬季スポーツ大会」 ・文化事業「元気アップ講座、地区文化祭、親子教室、高齢者・熟年学級、通学合宿・自然体験教室、介護予防教室共催」 ・分館事業補助
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		3,359,368	2,848,517	2,294,813	-553,704	-19.4%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	3,359,368	2,848,517	2,294,813	-553,704	-19.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
3,381,000	-105,000			3,276,000	2,294,813	
不用額	特定財源	細節名				
981,187	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 体育事業

- ・学校・保育園・美麻地区合同運動会 令和3年6月5日
- ・美麻地区夏季球技大会 令和3年8月22日
- ・美麻地区冬季スポーツ（綱引き）大会 令和4年3月6日

新型コロナウイルス感染症予防のため中止



○ 文化事業

- ・美麻地区文化祭（美麻公民館）
令和3年10月24日 参加者 120人
- ・親子教室「コアラ・パンダクラブ」（みあさ保育園ほか）
令和3年5月26日～令和4年3月9日（全4回）
参加者 延べ49人
- ・木彫り教室（美麻公民館）
令和3年11月11日～12月16日（全6回）
参加者 延べ48人
- ・山留センター・八坂公民館・美麻公民館合同スキー活動
令和4年1月9日、2月7日 新型コロナウイルス感染症予防のため中止



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 249

担当課	教育委員会	生涯学習	課	図書館	係	款	10	教育費	
事務事業名	図書資料購入事業						項	4	社会教育費
							目	4	図書館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁	41	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性	やり方改善	
施策項目	地域の芸術文化の創造								
個別計画	第7期社会教育計画・第4次大町市生涯学習推進プラン								

事業の目的	対象	市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、利用者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。	意図	知の拠点として、住民の「知りたい」、「学びたい」に応えられるよう、求める情報をいつでも提供できる環境づくりに努め、住民が自ら調べ、考え、行動できる手助けをする。
-------	----	---	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに適合した資料の選定及び購入 市民のリクエスト本の購入 図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入 図書資料の収集、整理・資料の修理
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		8,287,486	8,208,774	8,165,532	-43,242	-0.5%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	8,287,486	8,208,774	8,165,532	-43,242	-0.5%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,292,000				8,292,000	8,165,532	
不用額	特定財源	細節名				
126,468	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

蔵書購入数 4,203冊
 一般書 2,253冊
 児童書 1,311冊
 郷土資料 41冊
 雑誌 589冊
 AV資料 9点

図書購入リクエスト数 42冊

◆ 事業の成果

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館を余儀なくされたことにより、利用者数及び貸出冊数は大幅に減少したが、コロナ禍においても図書館を利用していただけよう、より一層魅力的な選書及び購入に心がけた結果、「今どこにも行けないが図書館があってよかった。」「図書館に来ればいろんな本に出合えて楽しい。」と利用者から有難い言葉をいただくことができたことは、図書館の一定の役割を果たすことができたと思う。

【実績】

	R元	R2	R3
利用者数（人）	34,802	27,581	24,522
貸出冊数（冊）	146,474	128,225	110,252

◆ 前年からの改善点等

あり

新聞やAmazonなどの書評を参考にしたり、企画展示、講座の開催などに併せて本を選書することにより、市民ニーズに適合した資料の選定及び必要な情報の提供に心がけた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計			決算書頁	251
担当課	教育委員会	生涯学習	課	文化会館	係	款 10
事務事業名	文化会館公演事業				項	4
					目	5
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画登載頁	45
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実				前年度評価 方向性	継続
施策項目	芸術文化の振興					
個別計画	第7期社会教育計画					

事業の目的	対象	基本、大町市民を対象とするが、同規模の文化ホールが近隣市町村にないことから、広域的な利用についても対象とする。	意図	舞台芸術に触れる機会の少ない市民が、気軽に楽しく芸術文化に触れあうことができるよう文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動を促進すると共に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。
-------	----	---	----	---

事業の内容	提供	ミュージカル、落語、クラシックコンサート、ポップスコンサート等の公演の開催。市民文化芸術活動の発表の場の提供
-------	----	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	12,655,049	6,433,108	22,771,455	16,338,347	254.0%
	財源内訳					
	特定財源	1,483,149			0	-
	一般財源	11,171,900	6,433,108	22,771,455	16,338,347	254.0%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
29,931,000	-5,962,000			23,969,000	22,771,455	
不用額	特定財源	細節名				
1,197,545	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

自主事業

「高橋あず美コンサート」「入船亭扇遊 独演会」
「ドス・デル・フィドル with LEO」「劇団四季ファミリーミュージカル」

自主文化事業

「市民芸能SHOW」「DANCE LIVE 2021」「ハーモニーコンサート」
「ミュージックサマー」

共催事業

「谷村新司コンサートツアー」「梯剛之ピアノリサイタルin北アルプス」
「大町市少年少女合唱団定期演奏会」

中止：「BS新日本のうた」「セイジ・オザワ松本フェスティバル スクリーンコンサート

無料イベント

文化会館35周年記念「新婚さんいらっしゃい！」公開収録
「夏休み！キッズ探検隊」「美術展ベストセレクションin信濃大町」
「仮面ライダーリバイスショー」

大町市芸術文化協会の活動支援・市少年少女合唱団の活動支援

◆ 前年からの改善点等

あり

文化会館ホール・楽屋及びリハーサル室の直営修繕および塗装作業の実施

事業の実績・成果

【自主事業】

実施日	公演名称	公演委託料	収支比率	券売数	入場者数
5月22日	高橋あず美コンサート	550,000円	90.9%	200	197
7月17日	入船亭扇遊独演会	500,000円	21.6%	54	54
8月22日	トステルライト with LEO	3,400,000円	22.5%	190	188
3月18日	劇団四季ファミリーミュージカル	4,235,000円	47.9%	461	440

【自主文化事業】

実施日	公演名称	入場者数	内 容
7月18日	ミュージックサマー	300人	市民向け音楽イベント（テストイベント）
11月7日	市民芸能SHOW	200人	市民の芸能一般
11月8日	DANCE LIVE 2021	500人	バレエ、ダンス（コンテンポラリー、ジャズ、ヒップホップ）
11月15日	ハーモニコンサート	200人	器楽、合唱、邦楽ほか

【共催事業】

実施日	公演名称	入場者数	内 容
9月25日	谷村新司コンサートツアー	385人	新型コロナウイルスの影響で2度延期
12月19日	大町市少年少女合唱団定期演奏会	200人	30周年記念
3月20日	梯剛之ピアノリサイタルin北アルプス	520人	新型コロナウイルスの影響でオケストラを無くした演目に変更

【無料イベント】

実施日	公演名称	入場者数	内 容
7月1日	新婚さんいらっしゃい！公開収録	100人	35周年イベント 委託料：1,870,000円
7/31~8/1	夏休み！キッズ探検隊	108人	体験型バックステージツアー
10/2~10/17	美術展ベストセレクションin信濃大町	1,314人	北ア国際芸術祭パートナーシップ事業
11月3日	仮面ライオンパレード	400人	文化祭連携イベント 委託料：550,000円

【協力事業】

実施日	公演名称	入場者数	内 容
7月30日	東京リリックパブリックユーイング	100人	舞台照明、音響、映像出力の協力
10月17日	Smile Vol.9	300人	大町市民芸術祭協力事業 合同イベントを共同

次年度に引き続き、コロナ禍での開催が難しい中、ホール内の新型コロナ感染対策等を万全にし、貸館を含む各主催者と連携しながら、できる限り開催する方向で進めることができた。近隣町村では市民向けのステージイベントが中止になる中、多くのイベント開催ができたことは各団体が今後も継続して実施する足掛かりとなった。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計			決算書頁	253
担当課	教育委員会	生涯学習	課	文化財	係	款 10
事務事業名	文化財保護一般経費			項	4	教育費
				目	6	社会教育費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			前期計画掲載頁	46	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	文化財の保護継承と活用					
個別計画	第7期社会教育計画					

事業の目的	歴史ある文化財を次世代に引き継いでいくため、関係機関・団体と連携し、保護事業に取り組む。併せて、文化財や地域の歴史・文化等に関する学習機会を提供し、文化財等の保護の促進と、積極的な活用による地域の振興を図る。	意図	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化財が適切に保護・保存・継承されること 文化財や地域の歴史・文化等を再発見し、郷土への愛着、誇りや保護意識が醸成されること 文化財等を活かした地域振興を図ること
-------	--	----	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護・保存 文化財所有者等が行う保存修理、保護活用等に対する支援や天然記念物等の環境整備 文化財保護意識等の醸成 文化財に関する講座、観察会や特別展の開催 文化財の調査と活用 未指定文化財等の調査と研究、地域振興のための活用方策の検討
-------	---

決算数値 (単位:円)						
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費 (決算額)	11,160,814	4,592,842	3,769,116	-823,726	-17.9%
	財源内訳	特定財源	110,000		-110,000	皆減
	一般財源	11,160,814	4,482,842	3,769,116	-713,726	-15.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,695,000	-2,940,000	0	0	4,755,000	3,769,116	0
不用額	特定財源	細節名				
985,884	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 文化財の指定
 - 山の神遺跡出土品 有形文化財 考古資料
 - 3月25日諮問・同日答申 (R4.4.13指定)
 - ①押型文土器ほか 4点
 - ②異形部分磨製石器 41点 合計45点
- 指定文化財等保護事業への支援
 - 仁科神明宮自動火災報知設備等取替
 - 千見神明宮本殿保存修理 ほか
- 指定文化財等の管理、環境整備、保全
 - 覚音寺千手観音立像等、居谷里湿原 ほか
- 文化財保護啓発・普及活動
 - 文化財講座の開催 7回 参加者延227人
 - 講演会・展示会、文化財特別展開催
- 文化財等の修繕
 - 居谷里湿原看板修繕 ほか
- 文化財調査 (信州大学受託研究)
 - 本通り周辺の歴史的建造物調査
- 文化財マップ他のWEB上での公開

山の神遺跡出土品
山形押型文土器



山の神遺跡出土品
楕円押型文土器



山の神遺跡出土品
異形部分磨製石器



文化財講座 おおまち歴史のまち探訪
(大町公民館・定住促進係共催)



文化財講座 木舟城・青木城登城
(八坂公民館共催)



◆ 事業の成果

文化財や地域の歴史・文化を情報発信することにより、地域観光の振興を図るとともに、地域の良さを再発見し、郷土への愛着や誇りを醸成するための取り組みが始まっている。

(例) 木舟城研究会の活動の展開 本通り周辺の歴史的建造物と街並み、水の景観を合わせた観光コンテンツ作り

◆ 前年からの改善点等

あり

関係する係と積極的に共催し、効果的な事業の推進を図っている。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	255 257
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	スポーツ	課	スポーツ推進	係	款	10	教育費	
事務事業名	体育大会運営事業						項	5	保健体育費
							目	1	体育振興費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁	47	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	スポーツの振興								
個別計画	スポーツ振興計画								

事業の目的	対象	市民及び各競技団体	意図	市民スポーツ祭をはじめとする各種競技大会の開催や、様々な競技における全国大会等を誘致し、トップレベルの選手が参加する大会を開催し、市民の交流やスポーツの振興を図る。
-------	----	-----------	----	--

事業の内容
例年開催している夏季・冬季市民スポーツ祭、木崎湖カップカヌー大会などの開催及びアルプスマラソン、大北スポーツ競技会、大北縦断駅伝大会、県縦断駅伝大会、おおまびょんカップサッカー大会、県高校駅伝大会等の支援（負担金支出）を計画していたが、コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催中止となった大会もある。アルプスマラソンについては、コロナ感染防止対策を講じながら、人数を制限しての開催となったが1,621名のランナーを迎えて開催することができた。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		5,474,303	2,922,396	3,662,985	740,589	25.3%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	5,474,303	2,922,396	3,662,985	740,589	25.3%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,983,000	-580,000			4,403,000	3,662,985	
不用額	特定財源	細節名				
740,015	内訳	金額				

事業の実績・成果	
◆ 施策目標に資する活動	<p>○スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ祭（夏季・冬季） <ul style="list-style-type: none"> 夏季大会：16競技 延1,051人参加 冬季大会：コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ○スポーツ大会（負担金） <ul style="list-style-type: none"> 県高校駅伝競走大会（10/31）男子20チーム、女子15チーム参加 大北スポーツ競技会 おおまびょんカップ 大町アルプスマラソン
◆ 事業の成果	<p>市民スポーツ祭や、全国から一般競技者が参加するアルプスマラソンなどの大会が、コロナ禍にありながらも、感染防止対策を講じながら開催することができ、健康増進や地域コミュニティ活性化の一助となった。</p>
◆ 前年からの改善点等	なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計		一般会計		決算書頁	257
担当課	教育委員会	スポーツ	課	スポーツ推進	係
事務事業名	スポーツ振興事業			項	5
				目	1
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			前期計画登載頁	47
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実			前年度評価 方向性	継続
施策項目	スポーツの振興				
個別計画	スポーツ振興計画				

事業の目的	対象	幼児期から高齢者まで幅広い年齢層の市民及び競技団体	意図	・市民が健康でいきいきと活力あふれる生活を送ることができるよう、個々のスポーツ活動や関係団体の振興と充実を図る。 ・スポーツの振興により仲間づくりや地域コミュニティの活性化を図る。
-------	----	---------------------------	----	---

事業の内容	【スポーツ教室等の開催】運動あそび教室（巡回運動教室）、ママさんフリータイム広場、ボディバランス教室 【団体活動支援のための補助】大町スポーツクラブ、大町市体育協会、大町スポーツ少年団 【スポーツ振興のための補助】青少年スポーツ振興、生涯スポーツ振興、指導者等人材育成、競技力向上 【松本山雅FCとの連携】保育園等での巡回指導、ホームタウンデー等での大町市のPR 【その他】JAF「夢の教室」※、スポーツイベント（スポフェスおおまち※） ※感染症対策のため実施できず
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		9,736,047	6,314,957	7,866,116	1,551,159	24.6%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	9,736,047	6,314,957	7,866,116	1,551,159	24.6%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
14,596,000	-4,439,000			10,157,000	7,866,116	
不用額	特定財源	細節名				
2,290,884	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○スポーツ教室等

- ・パーソナルトレーナーによるトレーニング講座（全19回 参加者305人）
- ・ボディバランス教室（全8回 参加者60人）
- ・ママさんフリータイム広場（全5回 参加者62人）
- ・運動あそび教室（全6回 Aクラス参加者95人 Bクラス参加者211人）

○スポーツ振興事業補助金

- ・競技力向上事業（1件）
- ・青少年スポーツ振興事業（6件）

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が中止せざるを得なかった



ボディバランス教室

◆ 事業の成果

様々なスポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会等が新型コロナウイルス感染拡大防止により昨年に引き続き事業中止となってしまったが、感染防止対策を施し、開催できた事業では、健康増進と競技力向上につながった。

◆ 前年からの改善点等

あり

- ・中長期に渡り外出や人の集りが控えられる中、運動不足やストレスによる健康2次被害を予防するため、最新のガイドライン等に基づき感染拡大防止対策を行った上で、できる限り教室を開催するよう努めた。
- ・スポーツ振興事業補助金制度の一部見直しを図った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 259

担当課	教育委員会	スポーツ	課	スポーツ推進	係	款	10	教育費	
事務事業名	体育施設整備事業						項	5	保健体育費
							目	2	体育施設費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁	47	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性	継続	
施策項目	スポーツの振興								
個別計画									

事業の目的	対象	市民等が安全で快適に体育施設を利用できるよう、施設の改修、更新等整備を行う。	意図	生涯スポーツの推進のため、必要な施設の整備を行うとともに既存施設の長寿命化を図る。利用が少ない施設については、利用を促進しながら地域の意見や利用状況をもとに、在り方を検討し、適切な管理を行う。
-------	----	--	----	--

事業の内容	H28 第二屋内運動場建設 H29 総合体育館トイレ改修、陸上競技場4種公認 H30 総合体育館音響設備更新 R元 運動公園テニスコート改修 R2 弓道場射場屋根塗装工事、野球場整備工事 R3 美麻新行地区運動施設トイレ解体工事、
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		77,376,140	8,625,654	6,430,930	-2,194,724	-25.4%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	77,376,140	8,625,654	6,430,930	-2,194,724	-25.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
9,380,000				9,380,000	6,430,930	2,000,000
不用額	特定財源	細節名				
949,070	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 美麻新行地区運動施設トイレ解体工事
 - 乗用芝刈り機等作業用備品購入（乗用芝刈り機 1台、自走式芝刈機 3台、プロアー 1台、発電機 1台）

- ◆ 事業の成果
 - ・ 使用不可となったままの建物を撤去し、景観を損ねるものがなくなった。
 - ・ 運動施設管理職員の作業負担の軽減及び天然芝グラウンドの品質が向上した。
 - ・ 施設の適正な維持管理に努め、安全に使用できる環境を提供できた。

◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	259 261
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	学校教育課	庶務係	款	10	教育費
事務事業名	おいしい給食費			項	5	保健体育費
				目	3	学校給食費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			前期計画掲載頁	35	
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成			前年度評価 方向性	継続	
施策項目	基礎的な学力・体力の向上					
個別計画						

事業の目的	①教職員の働き方改革 ②保護者の給食費集金作業 ③児童生徒の食育	①② 学校給食費の公会計化による教職員や保護者の負担軽減と、学校給食費の透明性・公平性を確保。 ③地域食材の活用（地産地消）を図り、郷土食の食育及び郷土愛を育む。
-------	--	---

事業の内容	・学校給食費の賦課徴収 ・納入業者の登録業務 ・納入業者への食材費の支払い ・滞納相談 ・児童手当等の給食費への充当 働き方改革の一つとして、学校給食費を公会計化し、市が徴収管理。学校給食用食材の納入に関し業者の登録を義務付け。地産地消の推進。
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	106,568,150	105,163,803	109,288,400	4,124,597	3.9%	
	財源内訳	特定財源	103,033,405	99,105,180	103,709,340	4,604,160	4.6%
	一般財源	3,534,745	6,058,623	5,579,060	-479,563	-7.9%	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
117,048,000	-7,547,000	0	0	109,501,000	109,288,400	
不用額	特定財源	内訳	金額	学校給食費		
212,600	内訳	金額	103,709,340			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 未収金対応
 - ・児童手当からの充当
96件、526,925円
 - ・就学援助費からの充当
1,368件、7,347,417円
 - ・生活保護費からの充当
27件、155,700円
 - 納入業者登録状況（3年度末）
 - ・市内：29件
 - ・市外：9件



- ◆ 事業の成果
 - ・給食費の公会計化により、教職員の負担軽減が図られている。
 - ・市内全小中学校で統一した献立のもと、「大町を味わう日」を年2回設定し、地域食材を積極的に活用することが、地産地消につながっている。
 - ・地産地消の一環として、地産地消実行委員会から提供された市内産の低農薬米を自校炊飯をしている美麻小中学校給食で試食。この給食を通じ、食の安全、環境や健康問題を考えるきっかけとなった。

- ◆ 前年からの改善点等 あり
 - ・給食費の未納者への早期対応に取り組むことができた。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	261 263
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館	係	10	教育費	
事務事業名	山岳博物館教育普及事業				項	6	山岳博物館費
					目	1	山岳博物館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち				前期計画掲載頁	42	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進						
個別計画	大町市第7期社会教育計画						

事業の目的	対象	市民・市内学生及び大町市を訪れる観光客。	意図	生涯学習の機会の提供。山岳に関わる文化・科学の継承及び教育普及事業を推進する。
-------	----	----------------------	----	---

事業の内容
 ①展示事業：『北アルプスに生きた動物の記録』、『北アルプスの誕生とそこに息づく高山植物のものがたり』、『山の繪 - 山岳風景画』を開催。各展示の関連事業としてミュージアムトーク、講座を開催。②講演会：山岳博物館70周年記念講演『エヴェレストが教えてくれたこと』、友の会総会記念講演『大町市にみる 岳 野 湖 山』③発行物：『企画展解説』、『山と博物館』、『研究紀要』、『年報』④学習会：『さんぱくこども夏期だいがく』ほか⑤学社連携、融合：市内小学校の連携授業、総合学習などの開催。

決算数値 (単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)		3,409,083	4,347,563	4,035,600	-311,963	-7.2%
	財源内訳	特定財源			751,000	751,000	皆増
		一般財源	3,409,083	4,347,563	3,784,600	-562,963	-12.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,112,000			-295,750	4,816,250	4,035,600	
不用額	特定財源	細節名	企画展解説書販売金	ふるさと応援基金繰入金		
780,650	内訳	金額	251,000	500,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動

常設展示：展示資料1,012点（収蔵資料69,808点 + 196ケース）
 特別展『北アルプスに生きた動物の記録』 観覧者3,460人
 ミュージアムトーク 6回 参加者79人 標本づくり講座 2日開催 参加者30人
 鷹狩山自然観察ツアー 2日開催 参加者19人
 企画展『北アルプスの誕生とそこに息づく高山植物のものがたり』 観覧者8,607人
 ミュージアムガイド 4回（うちコロナ感染拡大で2回中止） 参加者32人
 さんぱくゼミナール（コロナで中止）
 特別展『山の繪』 観覧者1,018人
 ミュージアムガイド 4回（うち2回中止） 参加者13人
 講座 『さんぱくこども夏期だいがく』ほか 計37回（うち11回中止） 参加者345人
 山岳博物館70周年記念講演会『エヴェレストが教えてくれたこと』参加者250人
 友の会総会記念講演『大町市にみる岳・野・湖・山』参加者45人
 総合的な学習・職業体験学習等(市内) 32回 6校 延べ400人
 観察会・講演会への講師派遣 27回 参加者1,036人
 博物館実習生の受け入れ 6日間 5人
 『山と博物館』10,500部×4回 『年報』200部 『研究紀要』500部 『企画展解説書』500部
- ◆ 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、博物館の活用を見合わせた学校も見受けられたが、小人数での講座などへの講師派遣、リモート講演の要望が増加増えるなど、多様化した需要への対応に答え社会教育施設としての役割を担っている。
- ◆ 前年からの改善点等 あり

新型コロナウイルス感染症拡大状況により、講座内容にもよるがリモートでの対応も進めている。

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 263

担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館	係	款	10	教育費	
事務事業名	山岳博物館調査研究事業					項	6	山岳博物館費
						目	1	山岳博物館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁	46	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	山岳文化の振興と活用							
個別計画	大町市第7期社会教育計画							

事業の目的	対象	市民及び博物館を活用する観覧者	意図	大学や研究機関と連携し、北アルプス及び山麓地域における自然や文化をテーマとした調査、研究活動を推進する。また、その成果を教育普及活動に反映させる。
-------	----	-----------------	----	---

事業の内容	令和3年度の主な調査研究活動 (1) 高山植物の生活史に関する調査・研究 (2) 山岳美術に関する資料調査 (3) 山岳書籍に関する資料調査 (4) 希少動植物の生態調査・研究 (5) 北アルプス地域の気象に関する調査・研究 (6) 仁科三湖と白馬盆地の成立ちに関する調査・研究 ほか
-------	---

決算数値 (単位:円)							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費 (決算額)		246,067	284,036	258,466	-25,570	-9.0%
	財源内訳	特定財源			72,000	72,000	皆増
		一般財源	246,067	284,036	186,466	-97,570	-34.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
393,000				393,000	258,466	
不用額	特定財源内訳	細節名	自然史系博物館所有の生物多様性情報提供に関わるデータ提供料			
		金額	72,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

主な調査研究項目

- (1) 高山植物の生活史に関する調査研究 (令和3年度企画展で公開)
- (2) 山岳美術に関する資料調査 (令和3年度特別展で公開)
- (3) 山岳書籍に関する資料調査 (令和4年度企画展で公開)
- (4) 希少動植物の生態調査・研究
大北地方の植物分布調査 (長野県植物研究会誌で発表)
- (5) 大町市における野生動物の生態調査 (研究紀要で報告)
- (6) 大北地域におけるニホンオオカミの調査 (研究紀要で報告)
- (7) 北アルプス地域の気象に関する調査研究 (令和4年度企画展などで公開)
- (8) 仁科三湖と白馬盆地の成立ちに関する調査研究 (令和4年度企画展で公開)
- (9) ライチョウの飼育・増殖技術確立を目指した研究 (ライチョウ会議大会などで報告) など



野生動物生態調査(センサーカメラ映像)

◆ 事業の成果

毎年、調査・研究のテーマを決めて実施をしている。成果については、教育普及活動として企画展や常設展示での公開のほか、講座や観察会、広報誌(山と博物館)、研究紀要などを通して、市民をはじめとした観覧者などに広く公開し反映させている。

◆ 前年からの改善点等

あり

調査研究の重要性について知っていただくための市民との共同調査については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため広く参加募集することができず、友の会会員5人と植物分布について共同調査を実施した。成果は、長野県植物研究会誌で発表した。

担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館 係	款	10	教育費		
事務事業名	山岳資料収集保管事業					項	6	山岳博物館費
						目	1	山岳博物館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁	46	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	山岳文化の振興と活用							
個別計画	大町市第7期社会教育計画							

事業の目的	対象	山岳に関する資料や文献などについて、購入や寄贈を受けるなど収集、整理、保管を行い、展示をはじめとした博物館機能の充実を図る。	意図	新規に受け入れた資料は、展示活用などに向けた基礎資料として、整理を行い、後世にわたり活用できるように適正な保管管理を行う。
-------	----	--	----	---

事業の内容
購入や市民からの寄贈のほか新規収集資料については、寄贈資料受け入れなどのための事務手続きと整理作業、博物館資料としての台帳登録管理を行う。
保存については、日常的な害虫駆除のほか、新規受け入れの際には、浸透性の高いフッ化スルフルル系薬剤による包み込み薫蒸を実施し、館内への害虫の持ち込みを防ぐことで資料の永続的な保管を行う。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,739,893	2,214,191	2,232,100	17,909	0.8%
	財源内訳	特定財源			72,000	72,000	皆増
		一般財源	2,739,893	2,214,191	2,160,100	-54,091	-2.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,494,000				2,494,000	2,232,100	
不用額	特定財源	細節名	自然史系博物館所有の生物多様性情報に関するデータ提供料			
	内訳	金額	72,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 資料収集 令和3年度の寄贈などによる収集資料
 自然科学系（植物さく葉標本寄贈 1件・709点）
 （動物骨格標本作製4点・鳥羽根標本作製4点
 魚剥製標本作製4点）
 人文科学系（山岳図書資料寄贈 1件・3点）
- 資料整理 山岳博物館資料整理臨時職員1人
 年間を通して学芸員の指導に基づき整理を実施
- 資料管理 常設展示室・収蔵庫の防虫剤、忌避剤の設置



植物さく葉標本作製

◆ 事業の成果

新規収集した資料は、年度内での台帳整理までの完了を目指している。
 収蔵した資料については、調査研究や常設展のほか企画展など教育普及活動の基盤となるもので、後世にわたり保管管理をしている。

◆ 前年からの改善点等

あり

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、講座などの教育普及活動の開催を中止となった時間に標本作製を行うなど寄贈や購入以外での資料収集を行った。

令和3年度 主要な施策の成果説明書 会計 一般会計 決算書頁 263

担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館	係	款	10	教育費	
事務事業名	動植物飼育栽培繁殖事業					項	6	山岳博物館費
						目	1	山岳博物館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画掲載頁	46	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	山岳文化の振興と活用							
個別計画	大町市第7期社会教育計画							

事業の目的	対象	市民及び観覧者を対象として、貴重な野生動植物を保護し、飼育・繁殖及び栽培、調査研究を行いながら、北アルプスに生息する生物の生体展示を行う。	意図	博物館本館の展示に連携した野生動植物の飼育・栽培及び繁殖・増殖を行い、山岳博物館としての機能の充実を図る。
-------	----	---	----	---

事業の内容
 附属園の機能・役割として、博物館の展示だけでは伝えきれない生体展示としての動物や植物の実物の姿を見ていただき、その生態の不思議と命の大切さを伝える。また、飼育栽培している動植物を活用した調査研究及び教育普及活動を実践する。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		6,550,736	5,930,597	6,009,789	79,192	1.3%
	財源内訳	特定財源			134,000	134,000	皆増
		一般財源	6,550,736	5,930,597	5,875,789	-54,808	-0.9%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,812,000				6,812,000	6,009,789	
不用額	特定財源	細節名	傷病鳥獣救護委託金			
802,211	内訳	金額	134,000			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 動物飼育：哺乳類2種（5個体）、鳥類7種（24個体）
 ブリーディングローン（カモシカ）貸出数1個体
 内訳：埼玉県こども動物自然公園（平成21年～）

 栽培植物：76種 コマクサ、アズミノハラオモダカほか



- 教育普及事業
 付属園まつり 5月1日～5日 延べ1,180人
 クイズラリー 5日 158人・ライチョウガイド 5日 927人
 ワークショップ 2回 23人・どうぶつ観察ツアー 4回 32人
 おおまぴょんと遊ぼう 4回（うち2回雨天中止） 40人

- ◆ 事業の成果
 付属園での教育普及活動の主である付属園まつりは、児童・生徒に対して楽しみながら学べる機会の提供の場として、効果が高いと考えている。
 また、SNSを積極的に活用した情報発信を行うことで、広報・宣伝活動にも寄与している。

- ◆ 前年からの改善点等 あり
 昨年は、教育普及事業が開催できなかったが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、観覧者が安心して参加できるように配慮して実施した。

担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館 係	款	10	教育費		
事務事業名	ライチョウ飼育事業					項	6	山岳博物館費
						目	1	山岳博物館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁	46	
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	山岳文化の振興と活用							
個別計画	大町市第7期社会教育計画							

事業の目的	対象	ニホンライチョウ、スバルバルライチョウ	意図	環境省のニホンライチョウ保護増殖事業の一環として、ライチョウの生息域外及び域内保全事業に寄与するために増殖技術を確立する。ライチョウについての調査研究及び教育普及活動を推進する。
-------	----	---------------------	----	---

事業の内容	繁殖事業の実施。 生態の調査研究、教育普及の実施。 展示公開による教育普及活動。
-------	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		7,974,768	6,820,053	7,647,429	827,376	12.1%
	財源内訳	特定財源	3,016,000		4,155,000	4,155,000	皆増
		一般財源	4,958,768	6,820,053	3,492,429	-3,327,624	-48.8%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,962,000			145,875	9,107,875	7,647,429	
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
1,460,446	内訳	金額	4,155,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

ニホンライチョウ（オス4羽・メス5羽 計9羽）
オス（H28当館生れ）とメス（H28年当館生れ）のペアによる自然繁殖産まれた受精卵を仮母（H29年生まれ）に託して抱卵、ふ化、育雛させた。その結果、1羽の雛が誕生し、成鳥まで成育させることができた。当館では、23年ぶりの自然繁殖の成功となった。

スバルバルライチョウ（オス1羽・メス1羽 計2羽）
オス（H29年横浜市繁殖センター生まれ R2年受入）
メス（H27年当館生れ）

◆ 事業の成果

令和3年度のニホンライチョウ繁殖事業は、オス3羽、メス3羽の合計6羽でスタートし、自然繁殖によりメス1羽が生育した。
また、長野市茶臼山動物園より雌雄それぞれ1羽を導入し、オス4羽、メス5羽の合計9羽となった。展示公開だけでなく、保護増殖事業やSNSなどをおした教育普及活動も実施している。

◆ 前年からの改善点等

あり

ニホンライチョウの繁殖環境のうち、湿度条件を変更させるとともに、メスの抱卵行動を観察し、より安定的な抱卵を行うメスに卵を抱かせることで、自然繁殖に成功した。

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	263 265
----	------	------	------------

担当課	教育委員会	山岳博物館	山岳博物館	係	款	10	教育費	
事務事業名	付属園整備事業					項	6	山岳博物館費
						目	1	山岳博物館費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁	42	
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					前年度評価 方向性	継続	
施策項目	多様な分野の学習活動の充実と促進							
個別計画	大町市第7期社会教育計画							

事業の目的	対象	市民及び観覧者。	意図	老朽化した飼育舎などの整備に加え、楽しく学び、遊び、観光資源としても活用ができるよう付属園整備計画に沿って、高山植物や岩石の展示、憩いの空間展示を兼ね備えた付属園として整備を行っていく。
-------	----	----------	----	---

事業の内容
付属園では、これまでにニホンライチョウ舎とスバルバルライチョウ舎の整備を、ほかの動物舎に先行して整備を進めてきたが、一般動物の飼育施設を整備するにあたっては、動物の生活や福祉に十分配慮するとともに、動物の種類や個体数などに適合した規模や構造を取り入れ、本来の生態や習性が発現できることを目指す。
低山から高山への環境を復元し、動物以外にも植物や岩石などの展示も行い、憩いの場として市民や観覧者が楽しみながら学べる空間整備を行う。

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		867,570	754,875	449,625	-305,250	-40.4%
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	867,570	754,875	449,625	-305,250	-40.4%

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
645,000			-195,375	449,625	449,625	
不用額	特定財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

付属園内の施設、設備などの修繕を実施。
付属園展示改修基本構想（素案）の修正作業を実施。

◆ 事業の成果

課内検討を重ね、付属園展示改修基本構想の見直しを進め素案を作り上げたが、年度内での山岳博物館協議会への諮問には至らなかった。
付属園整備事業が開始されるまでは、老朽化施設の緊急修繕で対応し、施設の長寿命化を図っている。

◆ 前年からの改善点等

あり

近隣飼育展示施設への視察を行い、施設の構造や管理体制の構想案の作成に反映させた。

国民健康保険特別会計（事業勘定）決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款	項	令和3年度 収入済額	令和2年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1	国民健康保険税	496,372,175	508,829,320	-12,457,145	-2.4
	1 国民健康保険税	496,372,175	508,829,320	-12,457,145	-2.4
2	使用料及び手数料	280,100	297,200	-17,100	-5.8
	1 手数料	280,100	297,200	-17,100	-5.8
3	国庫支出金	1,774,000	7,351,000	-5,577,000	-75.9
	1 国庫補助金	1,774,000	7,351,000	-5,577,000	-75.9
4	県支出金	2,177,038,194	2,149,752,363	27,285,831	1.3
	1 県補助金	2,177,038,194	2,149,752,363	27,285,831	1.3
5	財産収入	187,969	278,716	-90,747	-32.6
	1 財産運用収入	187,969	278,716	-90,747	-32.6
6	繰入金	213,322,108	213,124,044	198,064	0.1
	1 他会計繰入金	213,322,108	213,124,044	198,064	0.1
	2 基金繰入金	0	0	0	-
7	繰越金	24,903,736	21,177,655	3,726,081	17.6
	1 繰越金	24,903,736	21,177,655	3,726,081	17.6
8	諸収入	27,576,712	33,579,530	-6,002,818	-17.9
	1 延滞金及び加算金	3,217,460	4,260,973	-1,043,513	-24.5
	2 預金利子	0	0	0	-
	3 貸付金元利収入	2,020,947	2,673,581	-652,634	-24.4
	4 雑入	22,338,305	26,644,976	-4,306,671	-16.2
	合計	2,941,454,994	2,934,389,828	7,065,166	0.2

歳出

(単位：円)

款	項	令和3年度 支出済額	令和2年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	総務費	19,670,128	21,674,000	-2,003,872	-9.2
	1 総務管理費	8,752,578	8,663,458	89,120	1.0
	2 徴税费	10,651,050	12,892,242	-2,241,192	-17.4
	3 運営協議会費	266,500	118,300	148,200	125.3
2	保険給付費	2,128,891,885	2,051,496,994	77,394,891	3.8
	1 療養諸費	1,849,333,007	1,780,173,034	69,159,973	3.9
	2 高額療養諸費	270,772,735	262,489,950	8,282,785	3.2
	3 移送費	0	0	0	-
	4 出産育児諸費	7,143,150	7,454,010	-310,860	-4.2
	5 葬祭諸費	1,350,000	1,380,000	-30,000	-2.2
	6 傷病手当諸費	292,993	0	292,993	皆増
3	国民健康保険事業費納付金	693,549,060	684,916,195	8,632,865	1.3
	1 医療給付費分	466,371,360	454,686,404	11,684,956	2.6
	2 後期高齢者支援金等分	168,016,739	168,260,485	-243,746	-0.1
	3 介護納付金分	59,160,961	61,969,306	-2,808,345	-4.5
4	共同事業拠出金	0	0	0	-
	1 共同事業拠出金	0	0	0	-
5	財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
	1 財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
6	保健事業費	34,115,210	37,831,578	-3,716,368	-9.8
	1 特定健康診査等事業費	18,979,704	24,171,325	-5,191,621	-21.5
	2 保健事業費	15,135,506	13,660,253	1,475,253	10.8
7	基金積立金	187,969	278,716	-90,747	-32.6
	1 基金積立金	187,969	278,716	-90,747	-32.6
8	公債費	0	0	0	-
	1 公債費	0	0	0	-
9	諸支出金	49,809,090	113,288,609	-63,479,519	-56.0
	1 償還金及び還付加算金	21,918,910	37,256,019	-15,337,109	-41.2
	2 繰出金	26,535,000	72,665,000	-46,130,000	-63.5
	3 貸付金	1,355,180	3,367,590	-2,012,410	-59.8
10	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
	合計	2,926,223,342	2,909,486,092	16,737,250	0.6

国民健康保険特別会計（八坂診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款 項	令和3年度収入済額	令和2年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1 診療収入	26,188,469	24,321,763	1,866,706	7.7
1 外来収入	24,960,156	23,172,264	1,787,892	7.7
2 その他の診療収入	1,228,313	1,149,499	78,814	6.9
2 使用料及び手数料	143,565	116,380	27,185	23.4
1 手数料	143,565	116,380	27,185	23.4
3 繰入金	34,868,000	32,655,000	2,213,000	6.8
1 他会計繰入金	24,287,000	21,687,000	2,600,000	12.0
2 事業勘定繰入金	10,581,000	10,968,000	-387,000	-3.5
4 繰越金	1,985,559	1,235,115	750,444	60.8
1 繰越金	1,985,559	1,235,115	750,444	60.8
5 諸収入	671,000	280,000	391,000	139.6
1 雑入	671,000	280,000	391,000	139.6
合計	63,856,593	58,608,258	5,248,335	9.0

歳出

（単位：円）

款 項	令和3年度支出済額	令和2年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1 総務費	47,129,514	41,062,470	6,067,044	14.8
1 施設管理費	47,129,514	41,062,470	6,067,044	14.8
2 医業費	14,639,119	15,560,229	-921,110	-5.9
1 医業費	14,639,119	15,560,229	-921,110	-5.9
3 予備費	0	0	0	-
1 予備費	0	0	0	-
合計	61,768,633	56,622,699	5,145,934	9.1

国民健康保険特別会計（美麻診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款 項	令和3年度収入済額	令和2年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1 診療収入	19,528,130	18,219,353	1,308,777	7.2
1 外来収入	15,961,960	14,357,041	1,604,919	11.2
2 その他の診療収入	3,566,170	3,862,312	-296,142	-7.7
2 使用料及び手数料	214,495	200,210	14,285	7.1
1 手数料	214,495	200,210	14,285	7.1
3 繰入金	17,131,000	21,012,000	-3,881,000	-18.5
1 他会計繰入金	4,868,000	6,673,000	-1,805,000	-27.0
2 事業勘定繰入金	12,263,000	14,339,000	-2,076,000	-14.5
4 繰越金	3,109,811	1,910,765	1,199,046	62.8
1 繰越金	3,109,811	1,910,765	1,199,046	62.8
5 諸収入	620,000	341,000	279,000	81.8
1 雑入	620,000	341,000	279,000	81.8
合計	40,603,436	41,683,328	-1,079,892	-2.6

歳出

（単位：円）

款 項	令和3年度支出済額	令和2年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1 総務費	31,254,363	30,924,066	330,297	1.1
1 施設管理費	31,254,363	30,924,066	330,297	1.1
2 医業費	7,513,663	7,649,451	-135,788	-1.8
1 医業費	7,513,663	7,649,451	-135,788	-1.8
3 予備費	0	0	0	-
1 予備費	0	0	0	-
合計	38,768,026	38,573,517	194,509	0.5

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	決算書頁	23
----	------------------	------	----

担当課	民生部 市民課	国保・年金係	款 6	保健事業費
事務事業名	特定健診・保健指導事業			項 1 特定健康診査等事業費 目 1 特定健康診査等事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁 64
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性 継続
施策項目	健康づくりの推進			
個別計画	大田市健康増進計画			

事業の目的	対象 大田市国民健康保険加入者に対し、特定健康診査及び保健指導を実施する。	意図 特定健診により生活習慣病を発症するリスクの高い者を明確にし、保健指導により生活習慣の改善に向けた働きかけをすることで、被保険者の生活習慣病発症予防・重症化予防を充実させるとともに、医療費の伸びを抑制し、国保財政の健全運営を図る。
-------	---------------------------------------	---

事業の内容	特定健診（診察、身長・体重・腹囲、血液検査、尿検査）の実施 特定保健指導及びそれ以外の保健指導の実施 健診結果報告会の実施
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	19,668,487	24,171,325	18,979,704	-5,191,621	-21.5%	
	財源内訳	特定財源	19,668,487	24,171,325	18,979,704	-5,191,621	-21.5%
	一般財源				0	-	

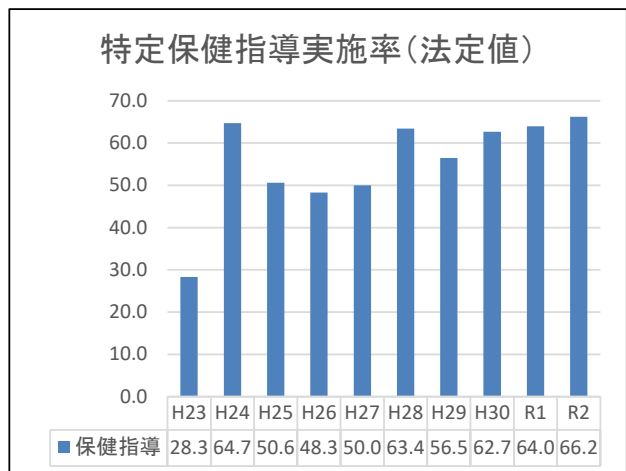
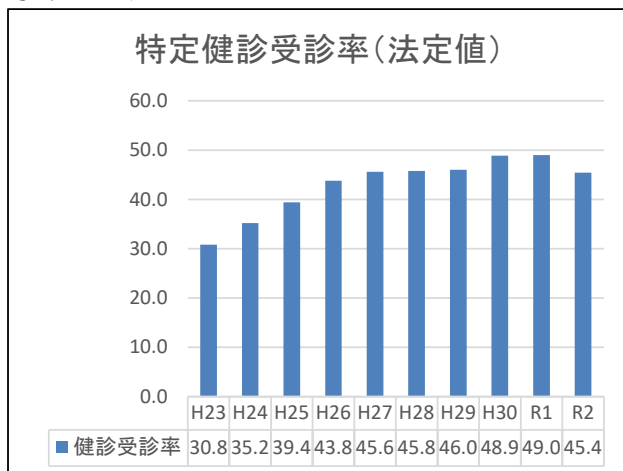
令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
24,489,000	-5,164,000	0	0	19,325,000	18,979,704	
不用額	特定財源	細節名	保険者努力支援分	特別調整交付金、県繰入金	特定健康診査等負担金	保健事業徴収金
345,296	内訳	金額	11,999,704	1,254,000	5,490,000	236,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 特定健診受診者数（暫定値）
 - ・特定健診 1,240 人
 - ・検査結果代行業務 242 人
 - ・職場健診受診者 41 人
 - ・人間ドック受診者数 611 人
- 特定保健指導実施者数（暫定値） 311 人（指導対象者440人）

◆ 事業の成果



◆ 前年からの改善点等

なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	決算書頁	23 25
----	------------------	------	----------

担当課	民生部 市民課	国保・年金係	款 6	保健事業費
事務事業名	保健衛生費	項	2	保健事業費
		目	1	保健事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち			前期計画登載頁 64
施策目標	健康で長生きできる社会の実現			前年度評価 方向性
施策項目	健康づくりの推進			
個別計画	大田市特定健診実施計画			

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者に自身のかかった医療費の総額が分かる医療費通知と後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知を発送。 被保険者のうち人間ドック受診者に費用の一部を助成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療費の総額や後発医薬品の利用差額通知により制度に対する理解を深め、医療費の削減につなげる。 人間ドックの助成は、被保険者の健康保持・増進を図ることを目的としている。
-------	---	--

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療費通知…年3回、被保険者に医療機関にかかった時の総医療費をお知らせしている。 後発医薬品利用差額通知…年2回後発医薬品に切り替えた場合の差額をお知らせしている。 人間ドック助成事業…日帰り及び1泊2日人間ドック、脳ドックを受診した被保険者に対する助成【助成額】人間ドック 64歳以下 日帰り 20,000円、1泊2日 30,000円、単独脳ドック 18,000円
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		16,691,591	13,660,253	15,135,506	1,475,253	10.8%
	財源内訳	特定財源	4,786,513	4,453,000	7,536,000	3,083,000	69.2%
		一般財源	11,905,078	9,207,253	7,599,506	-1,607,747	-17.5%

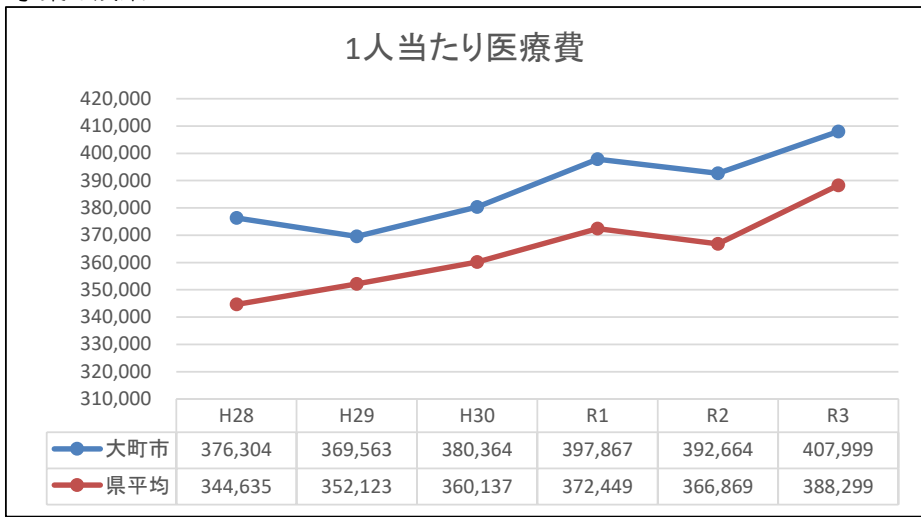
令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,172,000	-5,034,000	0	0	15,138,000	15,135,506	
不用額	特定財源	細節名	保険者努力支援分	特別調整交付金	県線入金	
2,494	内訳	金額	4,350,000	320,000	2,866,000	

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- 健康診査及び人間ドック受診者数

種類	元年度	2年度	3年度
人間ドック（日帰り）	642	524	576
人間ドック（1泊）	30	22	28
脳ドック	6	5	4

- ◆ 事業の成果
- ◆ 事業の成果



◆ 前年からの改善点等 なし

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計 国民健康保険特別会計（事業勘定） 決算書頁 27

担当課	民生部 市民課	国保・年金係	款 9	諸支出金
事務事業名	高額療養費貸付金		項 3	貸付金
			目 1	高額療養費貸付金
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち		前期計画登載頁	64
施策目標	健康で長生きできる社会の実現		前年度評価 方向性	継続
施策項目	安心して受けられる医療の確保			
個別計画				

事業の目的	対象	被保険者のうち、高額な医療費がかかる見込みの人に医療費の貸付を行う。元金として高額療養費を後日充当する。	意図	手術等で高額な医療費がかかる人（特に国保税未納者）に対して、医療の貸付を行い、安心して医療が受けられる環境を確保する。
-------	----	--	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高額な医療費がかかる被保険者からの医療費の相談受付 ・高額療養費貸付金制度の案内及び受付 ・医療機関からの請求に基づき、医療機関へ支払い ・高額療養費の算定後、貸付金を元利収入として返金
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		392,379	3,367,950	1,355,180	-2,012,770	-59.8%
	財源内訳	特定財源	392,379	3,367,950	1,355,180	-2,012,770	-59.8%
		一般財源				0	-

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,000,000	-6,644,000	0	0	1,356,000	1,355,180	
不用額	特定財源	内訳	金額	金額	金額	金額
820	内訳	金額	1,355,180			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- ◆ 施策目標に資する活動
 - 高額療養費貸付件数
 - H29年度23件、H30年度25件、R1年度12件、R2年度15件、R3年度9件
- ◆ 事業の成果

入院等で高額な医療費がかかる場合、本来限度額適用認定証により被保険者が負担すべき限度額まで医療機関の窓口で払う制度があり、通常その制度を利用し、高額な一部負担金は払わなくて良い仕組みがある。高額療養費貸付金を利用する人は、限度額適用認定証の申請漏れのほか、主は国保税未納世帯の被保険者である。

国保税未納世帯の被保険者に対しては、負担と給付の公平性の観点から限度額適用認定証を交付せず、高額な医療費がかかる場合は、国保税の納税相談とともに高額療養費貸付制度を案内している。

年度により利用者数や金額に差があるが、制度がなくなると医療機関への支払いが困難になる被保険者が発生するため、制度を維持していくことは必要であり、義務的経費と考える。

◆ 前年からの改善点等 なし

公営簡易水道事業特別会計決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款	項	令和3年度 収入済額	令和2年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1	使用料及び手数料	40,101,345	40,875,592	-774,247	-1.9
	1 使用料	40,031,345	40,815,092	-783,747	-1.9
	2 手数料	70,000	60,500	9,500	15.7
2	分担金及び負担金	209,000	2,322,100	-2,113,100	-91.0
	1 分担金	209,000	105,600	103,400	97.9
	2 負担金	0	2,216,500	-2,216,500	皆減
3	繰入金	125,501,000	113,373,000	12,128,000	10.7
	1 繰入金	125,501,000	113,373,000	12,128,000	10.7
4	繰越金	11,644,859	12,085,565	-440,706	-3.6
	1 繰越金	11,644,859	12,085,565	-440,706	-3.6
5	諸収入	454,895	1,873,788	-1,418,893	-75.7
	1 雑入	95,700	1,651,700	-1,556,000	-94.2
	2 延滞金加算金及び過料	0	0	0	-
	3 受託事業収入	359,195	222,088	137,107	61.7
6	市債	42,600,000	26,400,000	16,200,000	61.4
	1 市債	42,600,000	26,400,000	16,200,000	61.4
合計		220,511,099	196,930,045	23,581,054	12.0

歳出

(単位：円)

款	項	令和3年度 支出済額	令和2年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	総務費	64,444,163	69,199,303	-4,755,140	-6.9
	1 一般管理費	32,531,856	32,334,014	197,842	0.6
	2 施設管理費	31,912,307	36,865,289	-4,952,982	-13.4
2	建設改良費	85,462,800	54,308,720	31,154,080	57.4
	1 建設改良費	85,462,800	54,308,720	31,154,080	57.4
3	公債費	63,066,038	61,777,163	1,288,875	2.1
	1 公債費	63,066,038	61,777,163	1,288,875	2.1
4	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
合計		212,973,001	185,285,186	27,687,815	14.9

令和3年度 主要な施策の成果説明書

会計 公営簡易水道事業特別会計 決算書頁 15

担当課	建設水道部	上下水道課	水道施設・経営係	款	2	建設改良費	
事務事業名	水道施設整備事業				項	1	建設改良費
					目	1	建設改良費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁	80	
施策目標	自然と共生した環境の創造				前年度評価 方向性	継続	
施策項目	上水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用						
個別計画	大田市水道ビジョン						

事業の目的	対象	公営簡易水道事業において、水道は市民生活に欠かせないライフラインであり、安全で良質な水道水を安定供給し、市民の保健衛生に寄与することを目的とする。	意図	水源保全の強化に努め、老朽化した管路や施設の更新と耐震化を促進するとともに、浄水設備の計画的な整備を実施し、安全な水道水を将来にわたり安定的に供給できる水道づくりを推進する。
-------	----	---	----	---

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 水源保全のための水源調査や改修等の実施 老朽化した水道施設、管路等の計画的な更新および耐震化等の実施 低廉な水道水を安定供給するための事業運営
-------	---

決算数値(単位:円)							
事業費	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年差額	増減率	
	総事業費(決算額)	57,885,359	54,308,720	85,462,800	31,154,080	57.4%	
	財源内訳	特定財源	57,885,359	54,308,720	85,462,800	31,154,080	57.4%
	一般財源				0	-	

令和3年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
85,000,000	0	17,382,000	0	102,382,000	85,462,800	14,124,000
不用額	特定財源	細節名	簡易水道債	一般会計繰入金		
2,795,200	内訳	金額	43,300,000	42,162,800		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○公営簡易水道の安定した給水体制の整備

- 送配水管布設事業

八坂柄沢	送水管 WEET φ40	L=191m
美麻三百地	送水管 HPPE φ30	L=130m
八坂東部	導水管 PEP φ50	L= 120m
八坂大平	配水管 HPPE φ50	L= 74m
	計	515m



- 機械電気計装設備整備事業

美麻石原ポンプ場	浄水装置実施設計	n= 一式
美麻二重ポンプ場ほか	遠隔監視装置	n=7箇所
美麻青具配水池	計装盤更新	n=1基

◆ 事業の成果

○水道管の布設替工事を実施した結果、水道管総延長約125kmの耐震化率は20.2%(前年比0.5%増)となった。今後も計画的な施設更新を継続的に実施し、安全な水道水を安定して供給していく。

耐震化率	R2	R3	増減
基幹管路	35.2%	36.0%	0.8%増
配水管	10.6%	10.9%	0.3%増
水道管全体	19.7%	20.2%	0.5%増

○機械電気計装設備更新事業により遠隔監視装置を市内全施設統一してデジタル化する事業が本年度完了し、施設の維持管理の効率化が図られ、通信費用も縮減することができた。

○水源保全については、八坂東部水源の取水水量が減少し、配水への影響が懸念されたため、集水能力の低下した水源の改修および破損した導水管の布設替えを緊急に実施し、取水量を確保したことにより、水道水の安定供給ができた。

- ◆ 前年からの改善点等 なし